

ネットワーク普通紙ファクス

技術基準適合認定品

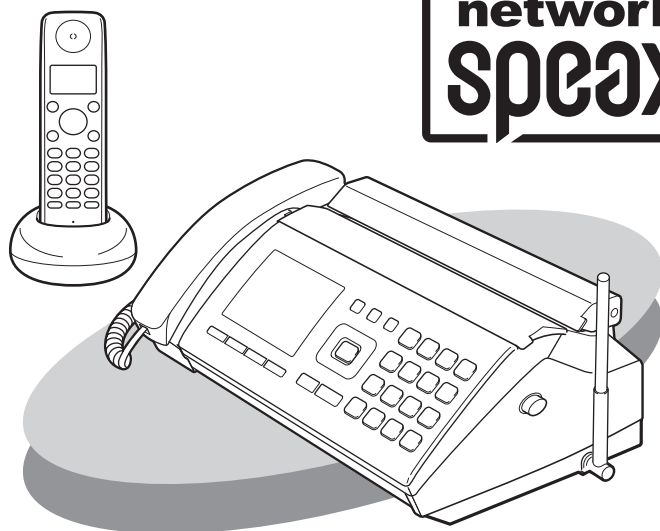
スピークス

エス ビー エヌ エー

SP-NA665

取扱説明書

保証書付



ネットワークスピークス

network
SPEEX

- ・ 設置／接続方法
- ・ 日付／回線種別の設定

1
準
備

- ・ 電話をかける
- ・ 保留
- ・ 転送
- ・ さかのぼり録音

2
電
話
を
使
う

- ・ 電話帳を登録する

3
電
話
帳
を
登
録
す
る

- ・ 留守設定
- ・ おやすみモード

4
留
守
番
電
話
を
使
う

- ・ ファクスを送る
- ・ ファクスを受ける
- ・ 見てからプリント
- ・ コピーを使う

5
フ
ァ
ク
ス
／
コ
ピ
ー
を
使
う

- ・ ナンバー・ディスプレイ

6
ナ
ン
バ
ー
・
デ
ィ
ス
プ
レ
ィ

- ・ キャッチホン
- ・ モデムダイヤルイン

7
そ
の
他
の
機
能
／
設
定

- ・ メール／ネットワーク機能の設定と操作

8
メ
ー
ル
／
ネ
ッ
ト
ワ
ー
ク
機
能
を
使
う

- ・ 困ったときは (Q&A)
- ・ お手入れのしかた
- ・ 消耗品／オプション品のご案内

9
こ
ん
な
と
き
は

- ・ 主な仕様
- ・ 操作早わかりガイド
- ・ 機能設定／登録早見表

10
付
録

■ インクフィルムSP-FA530／SP-FA524S

■ 増設子機SP-ZD51

注
意

- 本商品をご使用の前に必ず本書をお読みください。
- 本書はいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。
- 保証書は裏表紙にあります。

はじめに

このたびは、ネットワーク普通紙ファクス「スピークスSP-NA665」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。カナ子機1台標準添付です。

型名	機器構成	増設できる子機の台数
SP-NA665	親機（本商品）と子機 1 台	最大 2 台

本書の見かた

■本書の表記

待受中	電話やファクスの着信を待っている状態（通話も送信／受信もしていない状態）です。 本書で説明している操作はほとんどの場合「待受中」に行います。 特に断りのない場合は待受中に操作してください。 通話中に行う操作は見出しに次のイラストで示しています。
通話中  通話中	電話をかけたり受けたりして、相手と通話をしている状態です。
親機 子機	親機と子機の操作が異なる場合は、左のマークで示しています。
ボタン名称	本商品の本体にボタン名が印字されているボタンは、そのボタン名を示しています。詳細は「ボタンの名称と機能概要」（➡ P.12、14）をご覧ください。
その他のマーク	説明している操作に関する注意や補足説明などを、次のマークで示しています。
 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項や、知っておくと便利な内容を示しています。

■ご使用にあたってのお願い

- 本商品のご使用にあたって、NTT 東日本または NTT 西日本のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT 東日本または NTT 西日本へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「**機器使用料**」は**不要**となります。詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。
- 本商品と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致しないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、停電、あるいは天災等の外部要因によって、受信文書の全部、または一部が消失したり、通信や録音などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を改造しないでください。改造・回路変更などを行った場合、当社は一切責任を負いません。
- 本商品を廃棄・譲渡するときは、お客様固有の情報の流出による不測の損害などを回避するために、記憶した情報（登録した内容や録音された件など）を消去してください。➡「本商品の登録／設定をお買い求め時に戻したいとき」（P.9-23）
- 子機には防水機能がありませんので、ぬれた手で子機を操作したり、水をかけたりしないでください。水ぬれによる故障は保証対象外です。修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■商標について

- Windows[®]、Internet Explorer[®]、Windows Vista[®]、Microsoft[®]、Outlook[®]は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Camelliaは、日本電信電話株式会社と三菱電機株式会社の登録商標です。
- その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

安全にお使いいただくために ～必ずお読みください～

本商品を安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項の表示と図記号の意味は次のようになっています。

-  **危険** : この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告** : この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

-  (高温注意) : △記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。
-  (分解禁止) : ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  (電源プラグをコンセントから抜け) : ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

危険

電池パック

- 充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。 
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。 
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。 
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。 
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。 
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災・感電の原因となります。 
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックの液漏れ、発熱、破裂の原因となることがあります。 
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。 
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。 
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し、使用を中止してください。 

警告

電源

- AC100Vの商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となります。
差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品の電源プラグは日本国内用AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- 電源プラグおよび充電器のプラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグおよび充電器のプラグは、容易に抜き差し可能なコンセントから給電してください。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグおよび充電器のプラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。



禁止事項

- 本商品を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。
- 充電器の内部には、高電圧がかかっているので、分解しないでください。感電の原因となることがあります。修理は当社相談窓口にご相談ください。
- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- めれた手で本商品を操作しないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。
- 子機をねじったり、重いものを載せたり、(ポケットに入れたままイスなどに)強く押しつけたりして、圧迫しないでください。子機が破損し、火災、けが、やけどの原因となることがあります。



電波に関する注意

- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置、および近くで使用しないでください。
 - ・ 電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。
 - ・ 使用を制限された場所では使用しないでください。例：医療用電子機器の近くなど
- コードレスシステムは、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域には、持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因になります。
- 子機は、総務省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くするなど、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。



警告

設置場所

- 本商品の上やそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ペットの糞尿がかからないようにしてください。発煙や発火の原因となることがあります。

その他の注意事項

- 本商品は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

こんなときは

- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。すぐに本商品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 次のようなときは、電源プラグをコンセントから抜いて、当社相談窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になることがあります。

- ・ 煙が出ている、変な臭いがあるなどの異常状態があるとき
- ・ 本商品を落としたり、破損したとき
- ・ 内部に水が入ったとき



- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



注意

電源

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本商品の電源プラグをコンセントから抜き差しする場合は、必ず、抜いたあと10秒ほど待ってから、電源プラグを差し込んでください。

禁止事項

- 雷が鳴り出したら、親機、充電器、電源コード、電話回線ケーブルに触れたり、周辺機器の接続をしらないでください。落雷により、感電の原因となります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 充電器の充電部分に金属製のピンや指輪などを置かないでください。発熱し、やけどの原因となることがあります。

- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、本商品の上に重いものを載せないでください。本商品の破損、故障の原因となります。

- 通信やコピー等の動作中に電源プラグを抜いたり、本商品の操作パネルを開けたりしないでください。故障の原因となります。

- ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。本商品の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙がつまって、故障の原因となります。

⚠ 注意

- 本商品は、簡易生活防水が施されています。以下のような使用はしないでください。
 - ・ 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
 - ・ 水滴がついた場合は、なるべく早く乾いた布などで拭き取ってください。
 - ・ 受話口や送話口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
 - ・ 子機に水滴がついたまま、充電器に戻さないでください。
- 受話器を無理に引っ張らないでください。親機の落下により、けがや事故の原因となります。

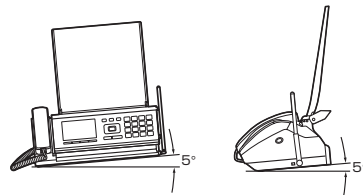
設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 漆、カーペット等、高温で変色する可能性のある材質の上には置かないでください。変色の原因となることがあります。
- 本商品の底面部は温度が上昇しますので、カーペットやソファなどの上に置かないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。
- 極端に暑い場所（35℃以上）や寒い場所（5℃以下）では使用しないでください。誤作動・故障の原因となります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- テレビ、スピーカボックスの近く、こたつの上など、磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

- 子機は、ほこりの多い場所や振動の激しい場所に置かないでください。
- 以下のようなところには置かないでください。
 - ・ クーラー、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
 - ・ ほこりや振動が多い場所
 - ・ 換気の悪い場所
 - ・ 揮発性可燃物やカーテンに近い場所

その他の注意事項

- モニタスピーカに耳を近づけないでください。大音量により耳を痛める場合があります。
- 記録紙は、青焼紙と重ねて保管しないでください。記録紙が変色します。
- インクフィルムは、開封した状態で放置しないでください。
- 本商品は下図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。



- インクフィルム交換および記録紙セットなどで開閉部を開け閉めするときは、指はさみ、指のけがにご注意ください。
- ゴキブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。
- 冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本商品の内部に水滴が付着し、写らない部分が発生する原因となります。
- インクフィルム交換などで操作パネルを開けるときは金属部品の角や歯車部品には、触らないように注意してください。
- 本商品のアンテナを誤って目にささないように注意してください。
- 記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をおすすめします。

⚠ 注意

● インクフィルムは、子供の手の届かないところに保管してください。



● ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。



こんなときは

● 移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線ケーブルなど外部の接続線を外したことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



● 自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、通話に雑音が入ることがあります。



● 本商品の設置場所によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。このような現象が本商品の影響によると思われる場合は、本商品の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。



- ・ 本商品をテレビ等から遠ざける
- ・ 本商品またはテレビ等の向きを変える

● 本商品底面にはゴム製の滑り止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色する恐れがあります。



お 願 い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
 - ・ 振動が多い場所
 - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・ 高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・A V ・ O A 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

禁止事項

- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。

その他のご注意

- 本商品プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

目次

はじめに	2
本書の見かた	2
安全にお使いいただくために	3
目次	8
各部の名称とはたらき	11
親機	11
ボタンの名称と機能概要	12
子機	14
ボタンの名称と機能概要	14
ディスプレイの見かた	15

1 準備

本体と付属品の確認	1-1
設置する場所の確認	1-2
親機と子機の電波の届く範囲	1-2
子機の準備	1-3
子機の使用上のご注意	1-3
電池パックを安全にお使いいただくための ご注意	1-4
子機を組み立てる	1-5
子機を充電する	1-5
子機の日時を設定する	1-6
親機を接続する	1-7
光回線に接続する	1-8
ADSL回線に接続する	1-8
IP電話機能付きの機器に接続する	1-9
IP電話機能付きADSLモデムに接続したときの 注意	1-9
INSネット64に接続する	1-9
ナンバー・ディスプレイ／ダイヤル線を 利用するときの注意	1-9
一般電話回線に接続する	1-10
電話用コンセントの確認	1-10
ブランチ接続していないかどうかの確認	1-10
電話とコピーの動作確認をする	1-11
回線種別／時刻の設定と確認	1-11
回線種別の設定	1-11
時刻の設定	1-11
回線種別を設定し直すには	1-12
時刻を設定し直すには	1-12
記録紙のセット	1-13
おすすめする記録紙	1-13
記録紙のセットのしかた	1-13
組み立てと接続が正しくできたか確認する	1-15
電話をかけてみる	1-15
コピーをとってみる	1-15
回線付加サービスを利用するには (ナンバー・ディスプレイなど)	1-15

2 電話を使う

電話をかける	2-1
ダイヤルボタンを押してかける	2-1
電話帳でかける	2-2
同じ相手先にもう一度かける(リダイヤル)	2-3
受話器や子機を持たずに電話をかける (オンフックダイヤル)	2-4
子機をとるだけで使う(クイック通話)	2-5
クイック通話を設定する	2-5
通話中の相手に待ってもらう(保留)	2-6
受けた電話を転送する(外線転送)	2-7
親機から子機に転送する	2-7
子機から親機に転送する	2-7

子機から子機に転送する	2-7
親機と子機／子機と子機で通話する(内線通話)	2-8
親機から子機にかける	2-8
子機から親機にかける	2-8
子機から子機にかける	2-8
通話の内容を録音する(さかのぼり録音)	2-9
さかのぼり録音を設定する	2-9
さかのぼり録音する	2-10
通話中にさかのぼり録音をする	2-10
電話を切ったあとにさかのぼり録音をする	2-11
録音した通話を消去する／再生する	2-11
電話を切ったあとに直前の通話の録音を 消去する	2-11
保存した通話を聞く／消去する	2-11
その他の電話機能	2-12
お断りメッセージで応答する(迷惑電話お断り)	2-12
携帯電話への通話サービスをかんたんに使う (ケータイお得意ダイヤル)	2-12
ケータイお得意ダイヤルを一時的に解除する	2-13
ダイヤル回線でトーン信号を送る	2-13
ベル音／受話音／スピーカ音の音量を調整する	2-14
ベル音	2-14
受話音	2-15
スピーカ(モニタ音／再生音)	2-15

3 電話帳に登録する

親機の電話帳に相手先を登録する	3-1
相手先の名前と電話番号などを登録する	3-1
登録した名前や電話番号などを変更する	3-3
登録した相手先を消去する	3-3
親機の電話帳から子機に転送する	3-4
電話帳データを保存する	3-5
電話帳データを復元する	3-6
子機の電話帳に相手先を登録する	3-7
相手先の名前と電話番号を登録する	3-7
登録した名前や電話番号を変更する	3-8
登録した相手先を消去する	3-8
リダイヤルデータを電話帳に登録する	3-8

4 留守番電話を使う

留守設定をする	4-1
留守設定を解除する	4-2
録音された用件を聞く／消去する	4-3
再生中の操作	4-4
通話中に留守番電話の用件を再生する	4-4
録音された用件をすべて消去する	4-4
着信ベルや動作音を鳴らなくする(おやすみモード)	4-5
おやすみモードを設定する／解除する	4-5
開始時刻／終了時刻で自動的に切り替える	4-5
その他の留守番電話機能	4-7
自作の応答メッセージを使う	4-7
応答メッセージを録音する	4-7
録音した応答メッセージを消去する	4-7
応答メッセージを選ぶ	4-8
外出先から操作する(外線リモート)	4-8
リモート操作を設定する	4-8
外出先から留守設定をする	4-8
外出先から用件の再生／留守設定／ 留守電ケータイ転送設定を操作する	4-9
録音された用件があるか外出先から確認する (トールセイバ)	4-10

録音した用件を外出先に転送する (留守電ケータイ転送)	4-10
留守電ケータイ転送を設定する	4-10
転送先で用件を聞く	4-11

5 ファクス／コピーを使う

原稿のサイズ／読み取れる範囲	5-1
原稿セットのしかた	5-1
原稿の画質や読み取り濃度を変える	5-2
ファクスを送る	5-3
自動送信する	5-3
電話をかけて通話中に送る(手動送信)	5-3
ファクス送信に関する登録／設定	5-4
自分の名前や電話番号をつけて送る	5-4
相手先の受信記録に自分の電話番号を 表示させる	5-4
相手先の記録紙に印字する発信元を登録する (発信元登録)	5-4
相手先の記録紙に発信元を印字する (発信元記録)	5-5
ダイヤルトーンを待って発信する (ダイヤルトーン検出)	5-5
海外へ送るとき(海外通信)	5-6
送れなかったファクスを確認する(不達レポート)	5-6
ファクスを受ける	5-7
電話やファクスの受けかた	5-7
電話／ファクス切替のしくみ	5-8
受信ファクスの取り扱い	5-8
「受信ファクスの扱い」を変更する	5-9
ファクスをプリントできないときいったんメモリに 蓄積する(メモリ代行受信)	5-9
メモリ代行受信したファクス受信文書を プリントする	5-9
受信したファクスをディスプレイで表示する (見てからプリント)	5-10
受信ファクスをディスプレイに表示する	5-10
受信ファクスを選んでプリントする	5-11
1ページだけプリントする	5-11
ファクス受信に関する設定	5-12
着信モードの説明と設定方法	5-12
電話に出て相手がファクスだったときはかたんに 受信する(ファクスかたん受信)	5-12
受信したファクスを縮小する／分割する	5-13
縮小率を設定する(受信縮小率)	5-13
分割してプリントする(分割記録)	5-13
コピーをとる	5-14

6 ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを設定する／解除する	6-2
ナンバー・ディスプレイによる相手先の表示	6-2
ネーム・ディスプレイご利用時の相手先の表示	6-2
自分の電話番号を通知する／非通知にする	6-3
自作のメッセージで応答する相手先を選択する (応答メッセージ選択)	6-3
受けた電話の相手先によってベル音を変える (着信鳴り分け／プライベートコール)	6-4
あらかじめ選んだ相手先だけベル音を鳴らす (とくていコール)	6-5
番号通知をお願いするメッセージで応答する (番号リクエスト)	6-6
受けたくない相手先からの着信を拒否する (着信拒否)	6-7
着信拒否リストに登録する (着信拒否リスト設定)	6-7

登録した相手先を確認する／消去する (着信拒否)	6-8
着信拒否を設定する／解除する	6-8
着信データを見る／消去する	6-9
留守中に受けた電話を確認する	6-10
着信データを使って電話をかける(コールバック)	6-10
着信データを電話帳に登録する(かたん登録)	6-11

7 その他の機能／設定

キャッチホン	7-1
通話中に別の電話を受ける(キャッチホン)	7-1
キャッチホン・ディスプレイを設定する／解除する	7-1
キャッチホン・ディスプレイの表示	7-2
モデムダイヤルイン	7-3
ダイヤルインを設定する／解除する	7-3
ダイヤルインの動作	7-4
ダイヤルインの利用例	7-5
その他の機能を利用する	7-6
ディスプレイの表示濃度を変える	7-6
ボタンを押したとき音を鳴らす／鳴らさない (キータッチトーン)	7-6
ボタン操作を受け付けなくする／解除する (チャイルドロック)	7-7
チャイルドロックを一時的に解除する	7-7
ベルの音色を変える／メロディにする	7-8
ベルが鳴る回数を変える	7-8
着信ベルの回数を変える	7-8
呼出ベルの回数を変える	7-9
保留のメロディを変える	7-9
無線LANとの電波干渉を少なくする (WIFI BAND)	7-10
子機の通話状態を良くする(ダブルアクセス)	7-10
リストをプリントする	7-11
エラーコード表	7-12

8 メール／ネットワーク機能を使う

メール／ネットワーク機能をお使いになるには	8-1
お使いになれる機能は	8-1
ネットワークの設定をする(メールの準備)	8-2
接続確認をする	8-2
メールを使う準備をする	8-2
「かたん設定シート(QRコード)」を 使った設定(おすすめ)	8-3
メニュー画面より入力「かたんメール設定」	8-4
メールアドレスを表示する	8-6
メール／ネットワークの設定を変更／確認する	8-7
ネットワーク設定を変更／確認する	8-7
IPアドレスを設定する	8-7
IPアドレスを確認する	8-8
MACアドレスを確認する	8-8
装置名を変更する	8-9
スキャンtoパソコンで送信するパソコンの IPアドレスを手動で設定する	8-9
パソコン送信ポート番号を変更する	8-9
ネットワーク接続を修復する	8-10
DNS応答待ち時間を設定する	8-10
最新のエラー番号を表示する	8-10
Webログインユーザ名、パスワードを 設定する	8-12
時刻を自動更新／手動取得する	8-13
メール設定を変更／確認する	8-14
メールの設定内容を確認する	8-14
送信前に受信する	8-14
送信メールサーバの認証を変更する	8-14

APOP認証を変更する	8-15
メール送信ポート番号を変更する	8-16
メール受信ポート番号を変更する	8-16
その他のメールの設定	8-17
件名と時間のプリントを設定する	8-17
プリント縮小率を設定する	8-17
プリント分割を設定する	8-17
受信メールの表示順序を変更する	8-18
文字サイズを変更する	8-18
メールを送信する	8-19
メールを作成／送信する（メッセージ（本文のみ））	8-19
定型文を入力する	8-21
メールを作成／送信する（スキャンtoメール）	
（原稿を添付する）	8-21
スキャンする原稿の画質、原稿サイズ、	
ファイル形式、濃度、明暗、輝度を変える	8-23
画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度、	
明暗、輝度の設定一覧	8-23
送信メール一覧を使う	8-25
送信メール一覧からメールを送信する	8-25
送信メールからメールアドレスを電話帳に	
登録する	8-26
送信メールを消去する	8-26
送信メールに便利な設定	8-27
送信メールの冒頭文を編集する	8-27
送信メールの定型文を編集する	8-27
受信したメールをディスプレイに表示する	8-28
受信したメールをディスプレイに表示する	8-28
受信メール一覧を使う	8-32
受信メールを返信する／転送する	8-32
受信メールを消去する	8-33
既読受信メールを消去する	8-33
受信メールからメールアドレスを電話帳に	
登録する	8-34
受信したメールをプリントする	8-35
受信したメールを手動プリントする	
（メールtoプリント）	8-35
受信メールを選んでプリントする	8-35
本文のみプリントする	8-36
添付ファイルをプリントする	8-36
未読メールをプリントする	8-37
受信したメールを自動プリントする	
（メールtoプリント）	8-38
自動到着確認と自動プリントの設定をする	8-39
自動プリントしたメールをプリント後に	
消去する	8-40
メールフィルタを使う	8-41
特定の相手から受信したメールだけをプリントする	
（メールフィルタ）	8-41
メールフィルタリストに登録する	8-41
メール一覧などからドメインをメールフィルタ	
リストに登録する	8-42
メール一覧などからメールアドレスをメール	
フィルタリストに登録する	8-42
迷惑メールフィルタの設定をする	8-43
迷惑メールフィルタリストに登録する	8-43
受信したメールから迷惑メールフィルタリスト	
に登録する	8-44
迷惑メールを消去する	8-45
携帯電話やパソコンの電話帳データを	
電話帳に登録する（vCard登録）	8-46
パソコンとつないで使う	8-47
ユーティリティソフト（アプリケーション）の	
インストールをする	8-47
ネットワークガイドの開きかた	8-49
ネットワークガイド 目次	8-49

スキャンした画像をパソコンに保存する	
（スキャンtoパソコン）	8-50
スキャンする原稿の画質、原稿サイズ、	
ファイル形式、濃度、明暗、輝度を変える	8-50
画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度、	
明暗、輝度の設定一覧	8-51
ファクス受信文書をパソコンに保存する	
（ファクスtoパソコン）	8-52
転送先にするパソコンを設定する	8-52
ファクス受信文書をメール送信する	
（ファクスtoメール転送）	8-53
転送先のメールアドレスを登録する	8-53
パソコンで設定や閲覧をする（機能設定メニュー）	8-54
ソフトウェアを更新する	8-55
自動更新する／しないの設定	8-55
ソフトウェア更新を行う	8-55
すぐにソフトウェア更新を行う	8-56
現在のソフトウェアの情報を表示する	8-57
更新内容を手動でプリントする	8-57
リモートメンテナンスを実行する	8-58

9 こんなときは

困ったときは	9-1
紙つまりのとき	9-1
つまった紙を取り除く	9-1
ファクスが正常に送れない／受けられないとき	9-2
停電したとき	9-3
操作ができなくなったとき	9-3
困ったときは（Q&A）	9-4
お手入れのしかた	9-15
インクフィルムを交換する	9-15
子機の電池パックを交換する	9-17
日ごろのお手入れ	9-18
親機／子機の外装のお掃除	9-18
親機内部のお掃除（原稿送り用ローラ／	
記録ローラ／ゴム板／インクフィルム押さえ部／	
原稿読み取り部）	9-18
インクフィルム／記録紙の保管	9-20
修理・保守／増設／廃棄	9-21
お客様ご相談窓口	9-21
修理・保守のご案内	9-21
消耗品・オプション品のご案内	9-21
子機を増設するとき	9-22
増設のしかた（識別番号の登録）	9-22
本商品の登録／設定をお買い求め時に	
戻したいとき	9-23

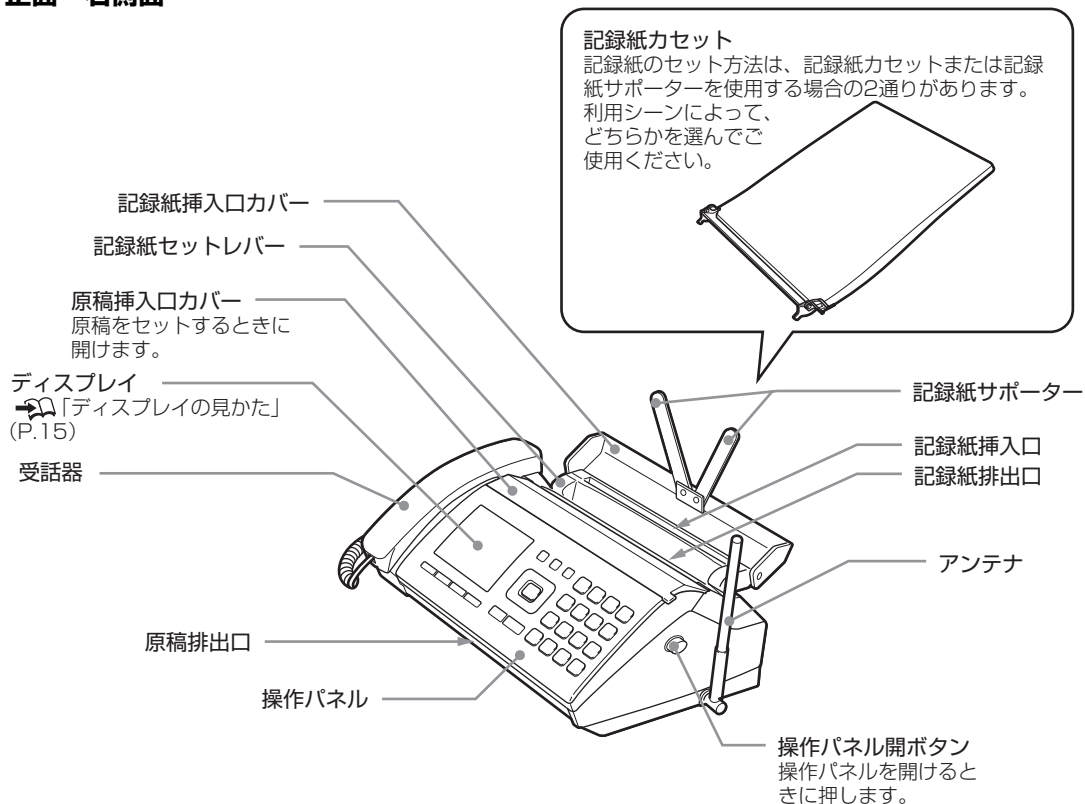
10 付 録

主な仕様	10-1
ファクス	10-1
コードレス電話	10-1
留守番電話	10-1
ネットワーク	10-1
利用可能OS	10-2
操作早わかりガイド	10-3
機能設定／登録早見表	10-6
索引	10-10
文字入力について	10-13
パソコンでPPPoE 接続をしているときのご注意	10-17

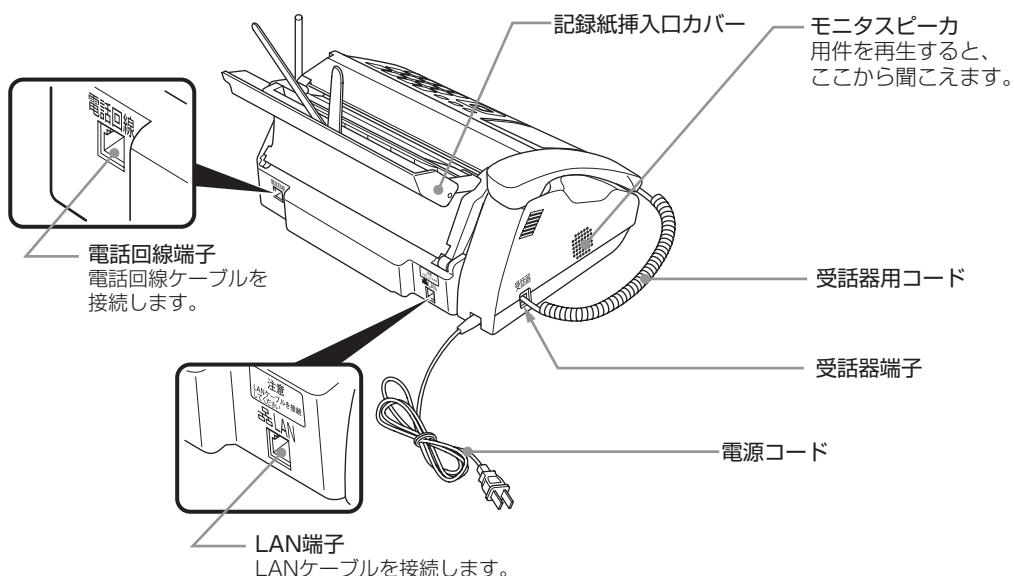
各部の名称とはたらき

親機

■正面・右側面



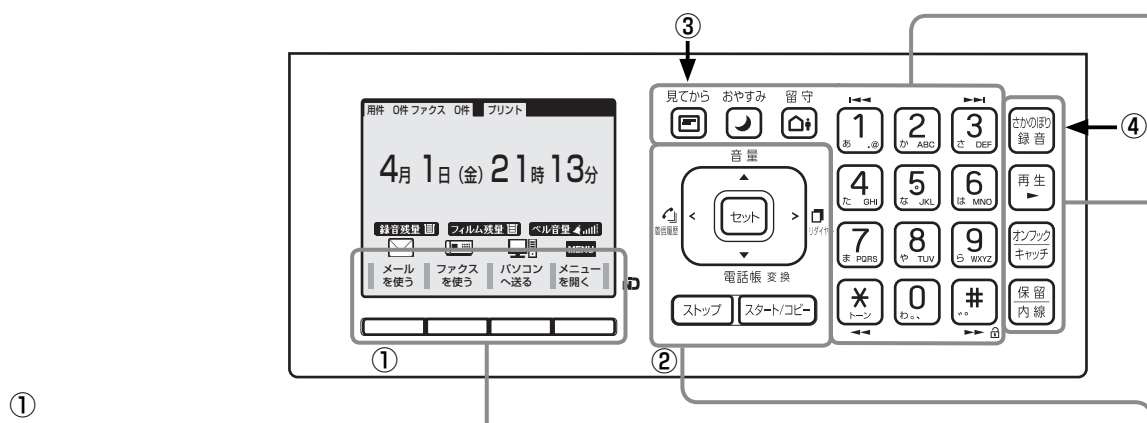
■背面・左側面



※ 本商品のプラスチックの一部に、光の具合によってキズに見える部分があります。これはプラスチック製作過程で生じるもので、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

ボタンの名称と機能概要

本書では操作パネルのボタンの名称を次のように表記しています。本商品にボタン名が印字されているものはそのボタン名がわかるようにしています。



ボタン	本書の表記	機能概要
	例：機能メニューが「メニューを開く」の場合 [メニューを開く]	画面に表示された機能メニューを選択すると、メニューが表示される。 表示されたメニューは、ダイヤルボタンか、[▲] または [▼] で選択する。 ひとつ前の画面に戻るときは： [戻る] を押す。 操作を終了するときや、途中でやめるときは：[ストップ] を押す。 操作の途中で90秒以上何もしないと：待受中に戻る。

②

ボタン	本書の表記	機能概要
同じボタンに2つ以上の機能があります。操作の対象に応じて機能が変わります。	[セット]	入力した数字や文字の決定 選択した項目の決定
	音量	ベル音／受話音／スピーカ音の調整 (→P.2-14)
	電話帳 変換	電話帳を表示させる (→P.2-2)
	着信履歴	入力した文字を変換する (→P.10-15)
	リダイヤル	着信履歴を表示させる (→P.6-9)
	[>] (リダイヤル)	リダイヤルデータを表示させる (→P.2-3)
	[▲] / [▼] / [<] / [>]	電話帳を選択する 登録した情報やメニューの設定項目の選択 カーソルの移動
[ストップ]	[ストップ]	ファクスの送信やコピーをやめる (→P.5-3、5-14)
[スタート/コピー]	[スタート/コピー]	登録や設定を途中でやめる
		ファクスの送信／コピーの開始 (→P.5-3、5-14)
		ファクスの手動送信／受信 (→P.5-3、5-7)
		スキャンtoパソコンの開始 (→P.8-50)

③

ボタン	本書の表記	機能概要
	[見てから]	受信したファクスやメールをディスプレイに表示する (→P.5-10、8-28)
	[おやすみ]	おやすみモードの設定／解除 (→P.4-5)
	[留守]	留守設定／解除 (→P.4-1、4-2)
	[1] ～ [9]、[0]、[#] ダイヤルボタン 例：「ダイヤルボタンで電話番号を入力」	番号の指定、項目の選択 電話番号／日時などの入力 相手先名などの入力
	[*]	再生位置の操作（約15秒前にスキップ） → P.4-4 トーン信号を送る (→P.2-13)
	[#]	再生位置の操作（約30秒先にスキップ） → P.4-4 チャイルドロックの一時解除 (→P.7-7)
	[1]	再生位置の操作（先頭、前の用件） (→P.4-4)
	[3]	再生位置の操作（次の用件） (→P.4-4)

④

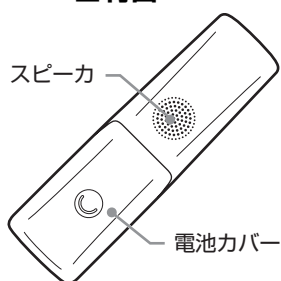
ボタン	本書の表記	機能概要
	[さかのぼり録音]	通話録音を保存する (→P.2-9)
	[再生]	録音された用件の再生 (→P.4-3)
	[オンフック／キャッチ]	受話器を持たずに電話をかける (→P.2-4) キャッチホンを受ける (→P.7-1)
	[保留／内線]	通話を保留にする (→P.2-6) 内線電話をかける (→P.2-8)

子機

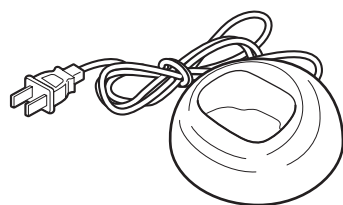
■ 正面



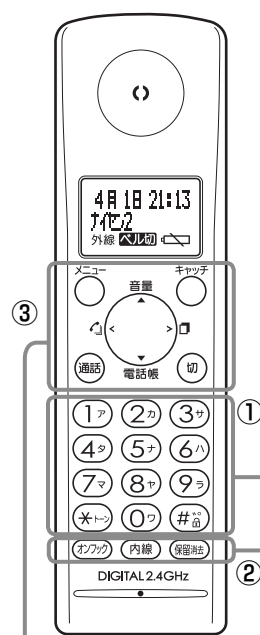
■ 背面



■ 充電器



ボタンの名称と機能概要



ボタン	本書の表記	機能概要
① 1ア 2カ 3サ 4シ 5ナ 6ハ 7マ 8ヤ 9ラ *ト 0ワ #ハ	[1] ~ [9]、[0]、[#] ダイヤルボタン 例:「ダイヤルボタンで電話番号を入力」	番号の指定、項目の選択 電話番号/日時などの入力 相手先名などの入力
(*)	[*]	トーン信号を送る (→P.2-13)
(#)	[#]	チャイルドロックの一時解除 (→P.7-7)
(オフフック)	[オンフック]	子機を持たずに電話をかける (→P.2-4)
(内線)	[内線]	内線電話をかける (→P.2-8)
(保留 消去)	[保留 消去]	通話を保留にする (→P.2-6) 入力文字の消去 (→P.10-16)

ボタン	本書の表記	機能概要
③ メニュー 音量 電話帳 切	[メニュー] [▲] / [▼] / [<] / [>] [音量] [電話帳] [<] (着信データ) [>] (リダイヤル)	メニューの選択 入力した数字や文字の決定 選択した項目の決定 電話帳を選択する 登録した情報やメニューの設定項目の選択 カーソルの移動 ベル音/受話音/スピーカ音の調整 (→P.2-14) 電話帳を表示させる (→P.2-2) 着信データを表示させる (→P.6-9) リダイヤルデータを表示させる (→P.2-3) キャッチホンを受ける (→P.7-1) 電話番号にポーズ (ー) を入れる 電話をかける (→P.2-1) 電話を受ける (→P.5-7) 電話を切る (→P.2-1) 登録や設定を途中でやめる

ディスプレイの見かた

親機

点灯時の絵表示（ピクト）を表しています。

バックライトは、登録・設定中や、通話、ファクス通信、プリントなどの動作中に点灯し、動作終了後、約90秒で消灯します。何も操作しないと、節電のためディスプレイ表示も消えます。

用件 …… 録音されている留守番電話の用件の件数を表示します。
ファクス …… メモリに蓄積したファクス受信文書の件数を表示します。

プリント …… 「受信ファクスの扱い」が「プリント」に設定されています。
見てから …… 「受信ファクスの扱い」が「見てから」に設定されています。
PC転送 …… 「受信ファクスの扱い」が「パソコンへ転送」に設定されています。
→ 「受信ファクスの取り扱い」(P.5-8)

用件 0件 ファクス 0件 見てから 録音可

4月 1日 (金) 21時 13分

録音残量 目 フィルム残量 目 ベル音量

メールを使う ファクスを使う パソコンへ送る メニューを開く

● 録音残量表示

録音残量 目 …… 録音できる残り時間

録音残量なし …… 録音できない
・ 用件が30件に達した
・ 残量が20秒以下

● チャイルドロック表示 (→ P.7-7)

チャイルドロックの状態を表示します。

アイコン	状態
	ロックされています。
(表示なし)	ロックされていません。

● LAN接続表示

LAN接続状態を表示します。

アイコン	状態
	LAN ケーブルが正しく接続されています。
(表示なし)	LAN ケーブルが正しく接続されていません。

● さかのぼり録音表示 (→ P.2-10)

さかのぼり録音の状態を表示します。

アイコン	状態
録音可	通話を保存することができます。
録音中	通話を録音中です。

● 音量表示 (→ P.2-14)



ベル音量 …… ベル音量を示す
スピーカ音量 …… モニタスピーカの音量を示す
受話音量 …… 受話音量を示す
ベル音量 切 …… ベルを鳴らないようにしているとき
スピーカ音量 切 …… モニタスピーカの音を出ないようにしているとき
ベル音量 ステップ …… ステップアップ着信音量を選んだとき

● インクフィルム残量表示

インクフィルムのおおよその残量を表示します。

インクフィルム 残量表示	プリントできる枚数	
	SP-FA524S ※	SP-FA530 ※
	41 ~ 75	61 ~ 95
	11 ~ 40	31 ~ 60
	01 ~ 10	01 ~ 30
	インクフィルムなし (→ P.9-15)	

※：インクフィルムの型番

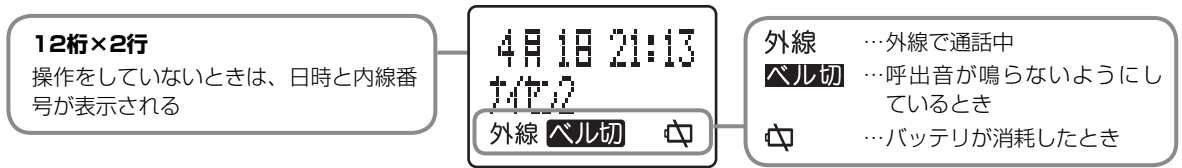
お知らせ

- インクフィルムを交換した場合は、リセットしないと、正しく表示されません (→ P.9-16)。
- 次のような場合は、表示よりもインクフィルムが少なくなっていることがあります。
 - ・ ひんぱんに操作パネルを開け閉めした
 - ・ インクフィルムを手で巻き取った
 - ・ 親機の電源をひんぱんに入切した

子機

点灯時の絵表示（ピクト）を表しています。

バックライトは、ボタン操作開始時や着信時に点灯し、動作終了後、約15秒で消灯します。



■通話時間表示

電話中は、ディスプレイに通話時間の目安が表示されます。

親機 10分30秒 …ダイヤルしたあと、約10秒経つと表示されます。また、相手が出ると0秒から表示し直されます。

お知らせ ● 受話器を戻したあと約5秒間、通話時間が表示されます。

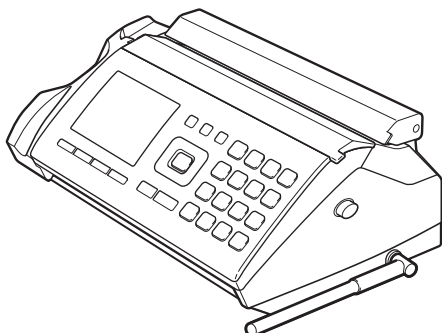
子機 10' 30 …【通話】を押すと表示されます。相手が出てもそのまま続けて表示されます。また相手が出なくても表示されます。

お知らせ ● 通話時間が59分59秒を超えたときは、0分00秒から表示し直されます。

本体と付属品の確認

付属品に足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があった場合には、speax（スピークス）インフォメーションセンターにご連絡ください（☎ 裏表紙）。

■ 親機（本商品） 1台



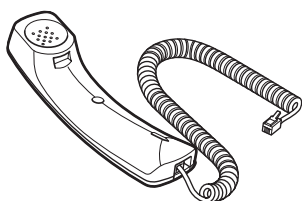
■ インクフィルム（セキュリティ強化タイプ）1本

・ お買い求め後すぐに使用できるよう、あらかじめ本商品にセットしてあります。☞「消耗品・オプション品のご案内」（P.9-21）

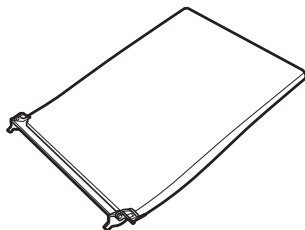
●インクフィルムを交換するときは

インクフィルムを交換するときは、指定のインクフィルムをお使いください。当社指定以外のインクフィルムは使用できません。☞「インクフィルムを交換する」（P.9-15）

■ 受話器 1個



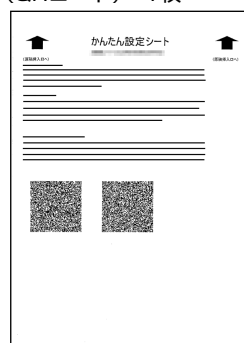
■ 記録紙カセット 1個



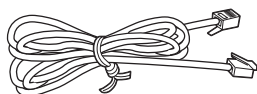
お願い

● 記録紙カセット表面には、シールなどを貼らないでください。記録紙ぶまりの原因となることがあります。

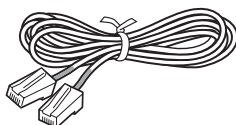
■ かんたん設定シート（QRコード） 1枚



■ 電話回線ケーブル（コネクタ小） 1本



■ LANケーブル（紫カバー付き／コネクタ大） 1本



■ 取扱説明書 1冊（本書）

■ ユーティリティソフト（CD-ROM） 1枚

■ 基本操作ガイド 1部

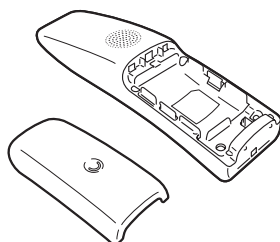
■ かんたん設定ガイド 1部

■ キャリアシート 1部

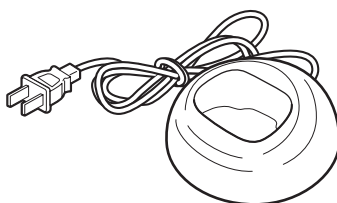
■ 記録紙 100枚

■ 消耗品・オプション 注文のご案内 1枚

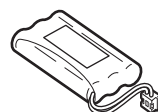
■ 子機（電池カバー付）



■ 子機充電器

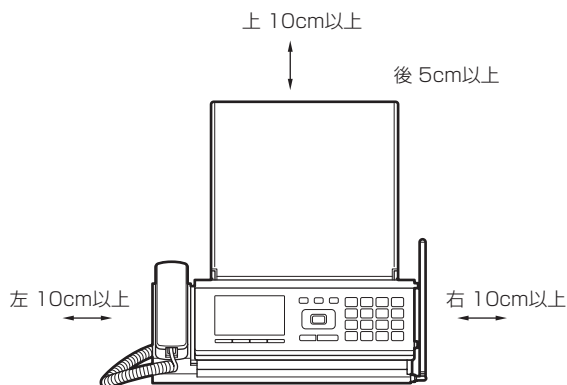


■ 電池パック（子機用）



設置する場所の確認

下の図を参考に操作を行うのに十分なスペースを確保してください。消耗品の交換や点検、お手入れなどを行うスペースも考慮してください。

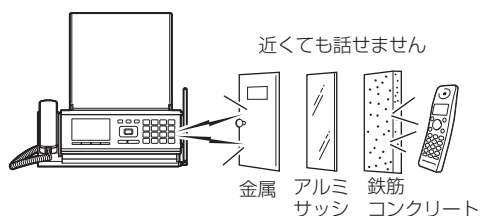
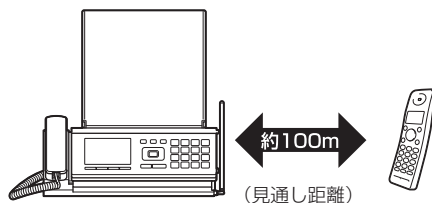


お知らせ

- 親機を壁にかけて使用することはできません。
- 水平な場所に設置しないと、正常に動作しないことがあります。
- 次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因になることがあります。
 - ・ ビジネスホン、モデム、パソコン、ターミナルアダプタ (TA)、ルータ、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
 - ・ 携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器およびACアダプタ
 - ・ テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘアドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
 - ・ 自動車、オートバイ、ネオンサインなど
- 直射日光の当たる場所には置かないでください。送信／コピー画質がうすくなったり、本商品の誤動作、故障の原因となります。
- 「安全にお使いいただくために必ずお読みください」(P.3) の記載も参照してください。

親機と子機の電波の届く範囲

- 使用できる範囲は、親機と子機の間には障害物がない状態で約100mです。子機と親機が離れすぎると、通話できなくなったり、呼出ベルが鳴らなくなったりします。
- 子機と子機で通話(子機増設時のみ)するときも、お互い親機と通話できる範囲でご使用ください。子機どうしが近くても、どちらかが親機と通話できる範囲から外れると、子機どうしの通話はできなくなります。
- 建物内の異なる階層(上下)や屋外を経由すると、通話できないことがあります。
- 親機のアンテナは、まっすぐ立ててお使いください。アンテナを倒した状態では、子機で通話できる範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。
- 親機と子機の間に鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシなどの障害物がある場合は、電波が届きません。
- 親機と子機の間に何も障害物がなくても、次のような場合は、電波の届く範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。



金属製家具の近くなど



マンションなど、鉄筋コンクリートの壁や金属製のドアなどが使用された建物の場合



蛍光灯などの電気製品の近くなど

子機の準備

子機の使用上のご注意

本商品の子機は、2.4～2.4835GHz（ギガヘルツ）の全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域を回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80mです。本商品には、それを示す右記のマークが貼り付けられています。

2.4 F H 8

1
準備

子機
の
準備

■ 電波に関するご注意

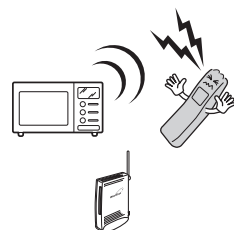
<ワイヤレス機器の使用上のご注意>

本商品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、本商品の電源プラグを抜いて機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合には、speax（スピークス）インフォメーションセンターまでお問い合わせください。（☞裏表紙）

本商品の子機と同じ周波数帯域（2.4GHz）の電波を利用している機器の近く（下記参照）では、電波干渉により子機での通話や周辺機器の動作や性能に影響を及ぼす場合があります。設置およびご使用になる際は下記の点にご注意ください。

- 子機を電子レンジなどの近くで使用しないでください。子機での通話の音声途切れたり、使用できなくなることがあります。親機も電子レンジなどから3m以上離して設置してください。
- ラジオ、テレビ、無線機器およびアンテナ線から3m以上離れてご使用ください。雑音や映像の乱れの原因になります。
- 子機での通話中に声の途切れや雑音が入るときは、ダブルアクセスの設定を変更してみてください。☞「子機の通話状態を良くする（ダブルアクセス）」（P.7-10）
- 無線LAN機器（ルータ、AV機器、防犯機器など）を使用している環境では、子機での通話途切れたり、無線LAN機器の動作に影響を及ぼすことがあります。親機や子機は、なるべく無線LAN機器から3m以上離れてご使用ください。または、WIFI BANDの設定を変更してみてください。☞「無線LANとの電波干渉を少なくする（WIFI BAND）」（P.7-10）、「子機の通話状態を良くする（ダブルアクセス）」（P.7-10）
- その他、下記の中にも同じ周波数帯の電波を使用している機器があります。下記の機器の周辺でも子機での通話の音声途切れたり、使用できなくなる場合があります。機器の動作に影響を与える場合もありますので、なるべく離れて設置およびご使用ください。



- | | | |
|--------------------|---------------------|-----------------------|
| ・ 火災報知機 | ・ アマチュア無線局 | ・ 万引き防止システム |
| ・ 工場や倉庫などの物流管理システム | ・ ワイヤレス機器 | （書店やCDショップなど） |
| ・ マイクロ波治療器 | （テレビ、ビデオ、パソコンなど） | ・ Bluetooth™対応機器やVICS |
| ・ 自動ドア | ・ 鉄道車両や緊急車両の識別システム | （道路交通網システム）など |
| ・ 自動制御装置 | ・ ゲーム機のワイヤレスコントローラー | |

子機は電波を使用しているため、通話を傍受（第三者が無線電波を故意または偶然に受信）されることが考えられます。この点に配慮して（重要な通話は親機を使用するなど）ご使用ください。

■ その他のご注意

- 親機との距離が離れると、送話／受話が途切れるなど通話が不安定になり、子機からのボタン操作の無線信号が親機に正しく伝わらず、動作が不安定になることがあります。このような場合は親機に近づいてご使用ください。
- 通話中に「ポッ、ポッ…」という音がしたときは、通話圏外まで離れています。親機に近づいてください。通話圏外のまましていると、約30秒後に親機側で保留になります。さらに約1分経過すると電話が切れます。なお、電波状態によっては、保留されずに電話が切れてしまうこともあります。
- 通話中に「ピッ、ピッ、ピッ…」という音がしたときは、電池パックの充電残量が少なくなっています。このまま通話を続けると、約1分後に子機通話が切れます。電池パックの充電残量が少なくなる（電池電圧が約3.4V以下になる）と子機は使用できなくなります。
- 車のダッシュボードなど、直射日光の当たるところに放置しないでください。
- ふろ場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。
- めれた手で子機を操作したり、子機に水をかけたりしないでください。子機には防水機能がありませんので、故障の原因になります。
- 子機の通話中に電池パックを取り外さないでください。まれに誤動作することがあります。

電池パックを安全にお使いいただくためのご注意

⚠ 危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を、針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災、感電の原因となります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。
また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

⚠ 注意

- 電池パックの取り付けは、充電器に置いたままで行わないでください。故障の原因となります。

子機を組み立てる

- △注意** ●コネクタの向きが合わない状態で、無理に差し込まないでください。発煙、故障の原因となります。
●電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないようにしてください。断線、故障の原因となります。

1

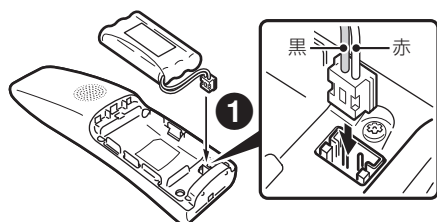
準備

子機の準備

1 子機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープなど梱包材をはがす

2 電池パックを取り付ける

- コネクタを配線の向き（赤／黒）に注意して図のように差し込む
・向きが合わない状態で無理に押し込まないでください。
- 電池パックを図のようにセットし、溝に合わせてコードを収める
- 電池カバーを図のように子機の溝に合わせ、軽く下に押ししながら手前から奥へすべらせるように差し込む
・電池カバーを外すときは、下に押ししながら手前に引きます。



お知らせ

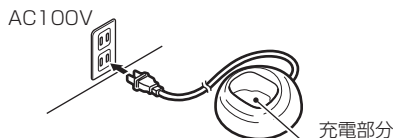
- 親機の電源が接続されていないときは、「ツウ ケンガイ」と表示されます。
- 電池パックのラベルに使用開始の年月日を記入しておくと、交換時期の参考になります。

子機を充電する

- △危険** ●付属の充電器以外を使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- △警告** ●ぬれた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となることがあります。
●充電器および子機をぬらしたり、水につけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- △注意** ●充電器の充電部分に、金属物をのせないでください。発熱・やけどの原因となります。

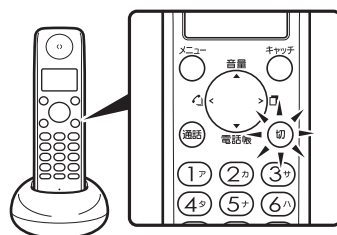
1 充電器を電源に接続する

充電器のプラグを電源コンセントに差し込む



2 子機を充電器に置く

- 図のようにボタンが手前になるように置く
- ・充電が始まると【切】が赤く点灯します。
 - ・充電器に置いている間は【切】が点灯したままになりますが、過充電になることはありません。



お知らせ

- お買い求め時は充電されていません。はじめてご使用のときは、10時間以上充電してください。
- 子機は長期間使わない場合を除いて、できるだけ充電器に戻してください。
・充電器に置いている間は【切】が点灯していますが、充電しすぎることはありません。
- 子機を長期間使わない場合（充電器の電源プラグを抜いておくとき）は、電池パックを取り外してください。
・電池パックを子機に入れたまま充電せずに放置すると劣化することがあります。
- 充電しても使用時間が短くなった場合
・電池パックの寿命です。電池パックを交換してください。→「子機の電池パックを交換する」(P.9-17)
- 充電器はテレビやステレオ、携帯電話の充電器などと別の電源コンセントにつなぐことをおすすめします。
・同じ電源コンセントにつなぐと、雑音の原因となることがあります。
・同じ電源コンセントにつなぐ場合は、テレビやステレオ、携帯電話の充電器などから充電器をできるだけ離して置いてください。

■ 充電について

充電時間：約10時間（お買い求め時、または電池の残量がない状態から）

フル充電した子機の使用可能な時間 連続通話時：約6時間（※） 連続待受時：約300時間

※：ダブルアクセス（P.7-10）を「OFF」に設定した場合の連続通話時間です。「ON」に設定した場合は約4時間、「AUTO」にした場合は約4～6時間になります。

お知らせ ● 親機の電源が入っていない状態では、子機の連続待受時間は短くなります。

■ 残量が不足したときの警告

状態	ディスプレイの表示	警告音
待受中	🔋（点灯）「ジュウデン シテクダサイ」	「ピーピーッ」（ボタンを押したときに鳴る）
通話中	🔋（点灯）	「ピッ、ピッ、ピッ...」

お知らせ ● 通話中に警告音がした場合、そのまま通話を続けると、約1分後に通話が切れます。

子機の日時を設定する

お知らせ

● 子機の日時はNTP時刻設定で更新されません。

1 【メニュー】を押す

メニュー
◆デノワョウトウロク

2 【▲】または【▼】で
「ヒツケ・ジコク」を選び
【メニュー】を押す

メニュー
◆ヒツケ・ジコク

3 ダイヤルボタンで
現在の日付と時刻を入力する

2000年
01月01日 00:00

2009年
04月01日 21:13

日付・時刻の入力する数字が一桁の場合は、十の位に「0」を入力してください。

年：西暦（下2桁）

月日：（例：4月1日→0401）

時刻：24時間制（例：午後9時13分→2113）

4 【メニュー】を押す

お知らせ

● 本商品の時計は平均月差±60秒以内です。周囲の温度により月差は変わります。また、親機の電源が入っていない場合は、さらに月差が大きくなることがあります。

親機を接続する

本商品は、各種回線サービス（光回線、ADSL回線、ISDN回線、一般電話回線など）に接続して使用します。以下を参考に付属のLANケーブルと電話回線ケーブルを、回線接続機器に接続してご利用ください。

お願い

- 受話器用コード、電話回線ケーブルをLAN端子に差し込まないでください。ピン折れ等により接触不良の原因となります。

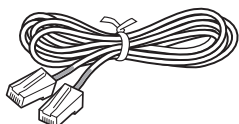
準備

親機を接続する

- 1 本商品と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープなど梱包材をはがす
LANケーブルと電話回線ケーブルを間違えないようお確かめください。

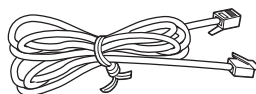
LANケーブル：

コネクタ大／紫カバー付き



電話回線ケーブル：

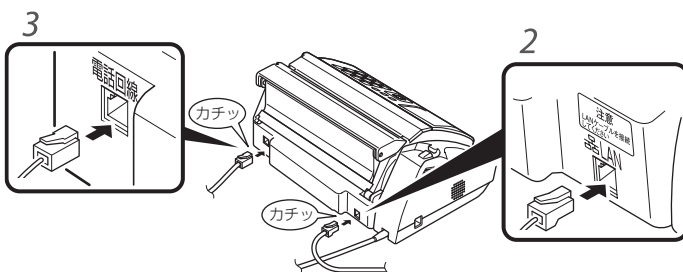
コネクタ小



- 2 本商品背面のLAN端子にLANケーブル（コネクタ大／紫カバー付き）を接続する

お知らせ

- LANケーブルはLAN端子に、間違えずに差し込んでください。



- 3 本商品背面の電話回線端子に電話回線ケーブル（コネクタ小）を接続する

- 4 受話器を取り付ける
受話器端子に受話器用コードを差し込みます。

- 5 アンテナをたてる

- 6 下記を参照し、各接続を行う

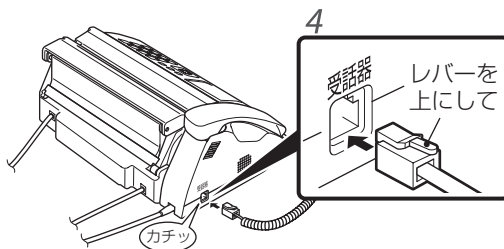
光回線 → 「光回線に接続する」(P.1-8)

ADSL回線 → 「ADSL回線に接続する」(P.1-8)

IP電話機能付き機器 → 「IP電話機能付きの機器に接続する」(P.1-9)

ISDN回線 → 「INSネット64に接続する」(P.1-9)

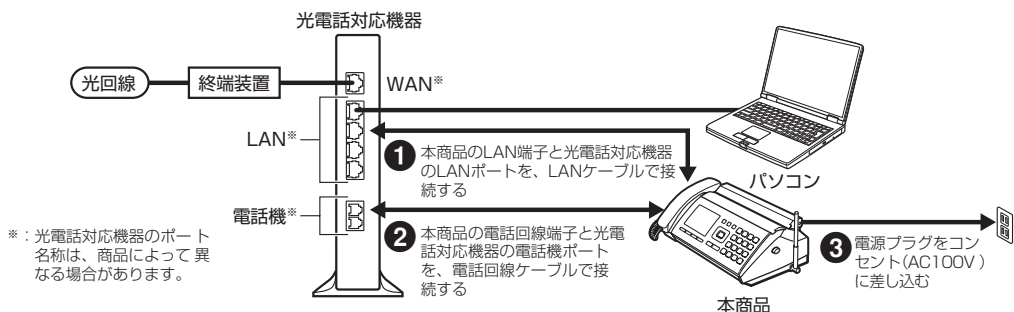
一般電話回線 → 「一般電話回線に接続する」(P.1-10)



お知らせ

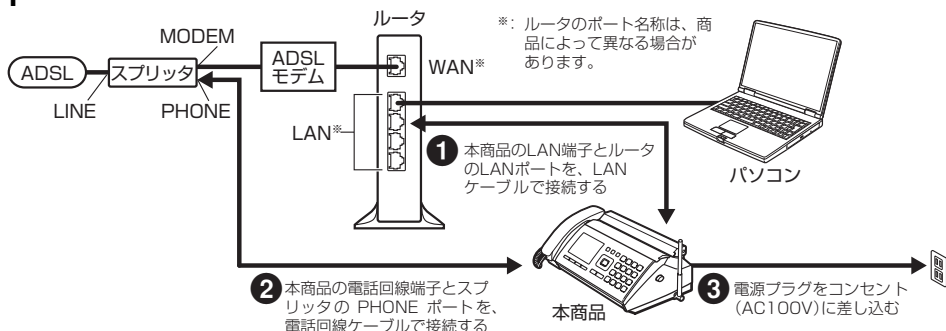
- 受話器用コード、電話回線ケーブル、LANケーブルを抜くときは、レバーを押しながら引き抜いてください。

光回線に接続する

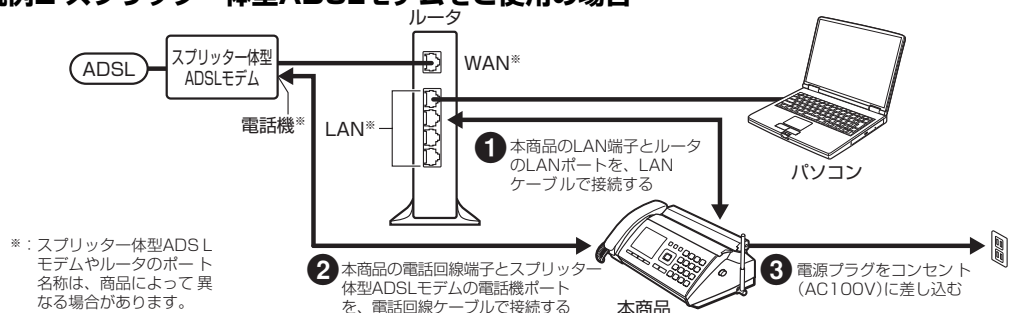


ADSL回線に接続する

■接続例1



■接続例2 スプリッター体型ADSLモデムをご使用の場合



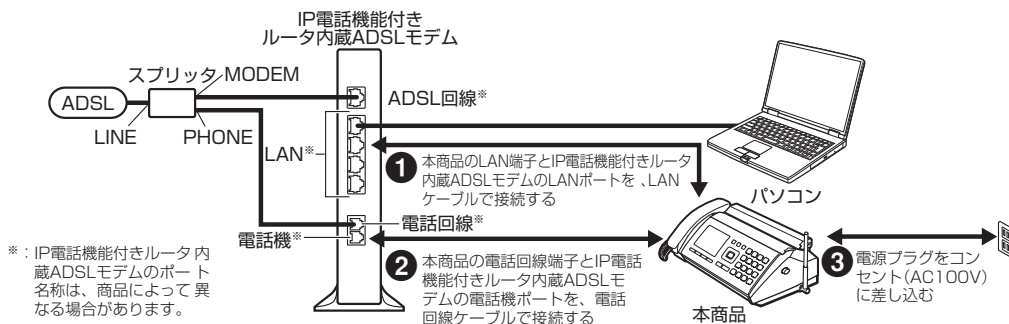
お知らせ

- ルータ機能を持たないADSLモデムに直接接続してもメール機能は利用できません。ADSL回線に接続して電話やファクス、メール機能を利用するには、ADSLモデムのほかにスプリッタやルータが必要です (→P.10-17)。
- 誤った接続をすると、通話中の雑音や本商品誤動作の原因となります。本商品およびADSLモデム、ルータの取扱説明書をよく読んで正しく接続してください。
- ADSL関連機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- ADSLモデムと接続した場合、回線の自動選択ができないことがあります。ご使用の回線種別を確認のうえ、手動設定してください。
→「回線種別を設定し直すには」(P.1-12)
- ADSLモデム、ルータ、スプリッタが一体のものもあります。

一般電話回線からADSL回線に変えたときに電話やファクスが使えなくなることがあります。次のことを確認してください。

確認すること	対処のしかた／お問い合わせ先
ブランチ接続をしていませんか？	ブランチ接続をしている場合は、同じ回線に接続されている他の機器を取り外してください (ブランチ接続 → P.1-10)。
スプリッタを交換することで使えるようになる場合があります。	ご加入のADSL接続事業者にお問い合わせください。

IP電話機能付きの機器に接続する



IP電話機能付きADSLモデムに接続したときの注意

	このようなときは	これを確認してください	対処のしかた／お問い合わせ先
電話	・ナンバー・ディスプレイが正常に動作しない ・携帯電話にかけられない ・フリーダイヤルなど特殊な相手先にかけられない	次の手順で正常に動作するか確認してください。 1. 本商品をADSLモデムから取り外す 2. ADSLモデムを電話用コンセントから取り外す 3. 本商品を直接、電話用コンセントに接続する	左の手順で正常に動作する場合、IP電話のご契約内容やADSLモデムの設定などが原因として考えられます。ご加入のIP電話事業者にお問い合わせください。
ファクス	・ファクスの送信／受信の異常がひんぱんに起こる	IP電話でファクスの送信／受信を行った場合、ADSL回線との接続状態やインターネットの状態などによっては、ファクスが正常に送信／受信できないことがあります。	一般電話回線を経由して電話する方法でご使用ください。詳しくは、お使いのADSLモデムの取扱説明書をご覧ください。ご加入のIP電話事業者にお問い合わせください。

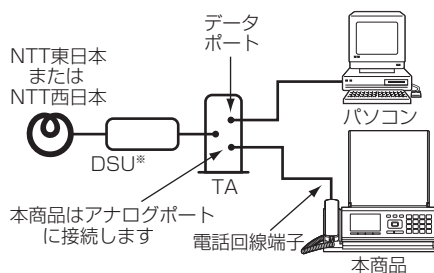
INSネット64に接続する

本商品をターミナルアダプタ (TA) のアナログポートに接続します。詳しい接続方法はターミナルアダプタ (TA) の取扱説明書をご覧ください。

INSネット64を利用するにはNTT東日本・NTT西日本との契約 (有料) が必要です。

お知らせ

- INSネット64に接続するには本商品のほかに次の機器が必要です。
 - ・ ISDNターミナルアダプタ (TA)
 - ・ デジタルサービスユニット (DSU)
- 回線種別はターミナルアダプタ (TA) の取扱説明書でご確認のうえ、設定してください。
 - 「回線種別を設定し直すには」 (P.1-12)
- ターミナルアダプタ (TA) のダイヤル桁間タイマなどの設定によっては次のような電話番号に電話がかけられないことがあります。
 - ・ ポーズ (ー) を入れて電話帳に登録した電話番号
- 本商品をターミナルアダプタ (TA) のアナログポートに接続しただけでは、ネットワーク機能をお使いいただくことはできません。



*: TAとDSUが一体になった製品もあります。

ナンバー・ディスプレイ／ダイヤルインを利用するときの注意

ナンバー・ディスプレイ INSナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ (TA) をお使いください。

ダイヤルイン (モデムダイヤルイン) ターミナルアダプタ (TA) の取扱説明書に従って設定してください。ターミナルアダプタ (TA) の機種または設定によっては、本商品のダイヤルイン機能が使えないことがあります。その場合は、本商品のダイヤルインの設定を「しない」に設定してください。

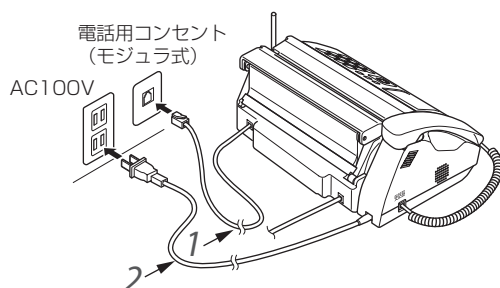
→ 「ダイヤルインを設定する／解除する」 (P.7-3)

一般電話回線に接続する

ご使用の回線サービスがインターネット接続専用の場合、本商品の電話・ファクスを利用するには、電話回線ケーブルを一般電話回線の電話コンセントに接続してください。

1 電話回線ケーブルのもう一方の端を壁などにある電話用コンセントに差し込む

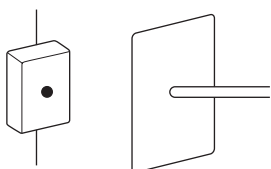
2 電源プラグをコンセント (AC100V) に差し込む



電話用コンセントの確認

壁などにある電話用コンセントを確認してください。直接配線 (ネジ止め式)、プラグ式 (3ピン) の場合、回線の工事が必要になるなど、そのままでは接続できません。

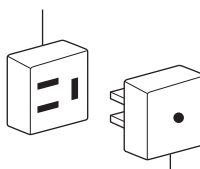
直接配線 (ネジ止め式)



資格者の回線工事がが必要です。

NTT東日本・NTT西日本の窓口へご相談ください。

プラグ式 (3ピン)



市販のモジュラ付電話キャップをお買い求めください。

お知らせ

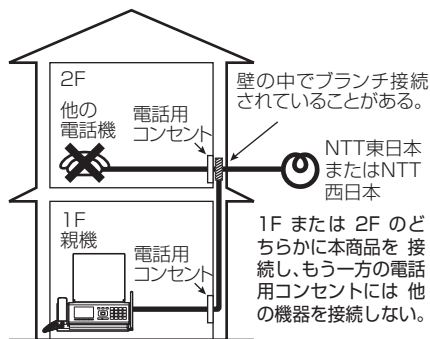
● 接続工事には工事担任者の資格が必要です。

ブランチ接続していないかどうかの確認

壁の中でブランチ接続になっている回線があります。ご自宅に2つ以上の電話用コンセントがある場合は、あらかじめご確認ください。

本商品をブランチ接続の電話回線に接続した場合、他の電話用コンセントに電話機などを接続しないでください。同時に接続すると次のようなことが起こります。

- ・ 電話がかかってきたときに呼出ベルが途中で鳴り止むことがあります。
- ・ ファクスを送受信しているとき、同時に接続されている電話機の受話器をとると、ファクスの画像に異常が起きます。
- ・ ファクスが受信できないことがあります。
- ・ ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイサービスが利用できません。



電話とコピーの動作確認をする

回線種別／時刻の設定と確認

回線種別と時刻の設定は、通常、操作は必要ありません。電話回線とネットワーク回線を接続してから電源コンセントに接続すると、本商品が自動的に設定を開始します。「回線設定して下さい」または「時刻を設定します セット押して下さい」と表示された場合のみ、手動で設定してください。

回線種別の設定

電源プラグをコンセントに接続すると、ボタンのランプが点灯します。ディスプレイが点灯するとボタンのランプは消灯し、本商品が自動的に回線種別（プッシュ回線／ダイヤル回線）を選びます。

電話回線 確認中

・接続した回線に応じて、ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

PBに設定しました

プッシュ回線：「PBに設定しました」 ダイヤル回線：「DPに設定しました」

■「回線を設定して下さい」と表示されたら

手動で設定してください。→「回線種別を設定し直すには」（P.1-12）

お知らせ

- ADSLモデム（IP電話機能付きも含む）／ISDNターミナルアダプタ（TA）／光電話対応機器などを本商品に接続した場合は、回線種別を正しく選択できない場合があります。ご利用の回線種別をご確認のうえ手動で設定してください。

時刻の設定

■インターネットに正常に接続できている場合

インターネットに接続できる環境の場合、回線種別の自動設定が終了すると、NTP時刻設定（→P.8-13）機能により親機の時計が設定され、現在の日時が表示されます。

4月 1日（金） 21時13分

お知らせ

- 接続状態によっては、時刻取得に失敗し、設定されない場合があります。

■インターネットに接続できない場合

右の画面が表示される

時刻設定します
セット押して下さい

1 [セット] を押す

日付・時刻
00 01/01 00:00
完了はセットを押す

時刻を設定せずに終了する場合は：
[ストップ] を押す。

2 ダイヤルボタンで
日付と時刻を入力し
[セット] を押す

日付・時刻
09 04/01 21:13
完了はセットを押す

日付・時刻の入力する数字が一桁の場合は、十の位に「0」を入力してください。
年：西暦（下2桁）
月日：（例：4月1日→0401）
時刻：24時間制（例：午後9時13分→2113）

■時刻を設定し直すときは：→「時刻を設定し直すには」（P.1-12）

お知らせ

- 本商品の時計は平均月差±60秒以内です。周囲の温度により月差は変わります。
- 親機から1日1回「グー」と音がして、原稿読み取り部が光ります。これは親機が自動的に動作チェックを行っているためで、故障ではありません。そのままご使用ください。

回線種別を設定し直すには

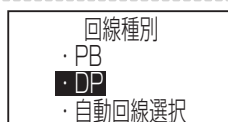
接続した回線に応じて回線種別を設定することができます。

お知らせ

- ご利用の回線種別がわからない場合は、ご加入の電話会社（NTT東日本・NTT西日本など）にお問い合わせください。
- INSネット64をご利用の場合（ターミナルアダプタ（TA）に本商品を接続するとき）はPB（プッシュ回線）に設定してください。
- ADSL回線をご利用の場合でも回線種別の設定は必要です。
- お買い求め後、初めて回線に接続して電源を入れると本商品が自動で回線種別を設定します。手動で回線種別を設定したあとは、電源を入れ直しても自動では設定されません。

1  [メニューを開く] を押す

2 [1]「初期設定」→
[3]「回線種別」
を順に押す



3 [▲] または [▼] で
回線種別を選び
[セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定：DP（ダイヤル回線）

接続した回線に応じて選びます。

プッシュ回線：「PB」

ダイヤル回線：「DP」

本商品に自動選択させる：「自動回線選択」

「電話回線確認」と表示されたら：

電話回線の接続を確認する。

「回線設定して下さい」と表示されたら：

手動でPBまたはDPを選ぶ。

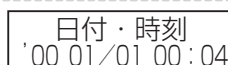
時刻を設定し直すには

お知らせ

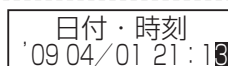
- インターネットに接続できている場合は、「ネットワーク機能」－「NTP時刻設定」（➡P.8-13）を利用して時刻を更新することもできます。

1  [メニューを開く] を押す

2 [1]「初期設定」→
[2]「日付・時刻」
を順に押す



3 ダイヤルボタンで
日付と時刻を入力し
[セット] を押す



4 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

日付・時刻の入力する数字が一桁の場合は、十の位に「0」を入力してください。

年：西暦（下2桁）

月日：（例：4月1日→0401）

時刻：24時間制（例：午後9時13分→2113）

記録紙のセット

おすすめする記録紙

本商品を安定した性能でお使いいただくために、次のような記録紙をお使いください。

オーバーコートなど表面処理をしていない普通紙（コピー用紙）

サイズ : A4

厚さ : 0.08mm ~ 0.1mm

(500枚包でおおよそ40mm ~ 50mmの厚さ)

おすすめの記録紙は、スピークス オフィシャル ショップでお買い求めください。詳しくは、「消耗品・オプション品のご案内」(P.9-21)をご覧ください。

厚さの目安：この取扱説明書（本ページ）の厚さが約0.08mmです。

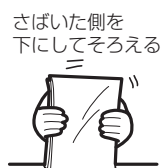
お知らせ

- 感熱紙は使用できません。
- 次のような記録紙は使用しないでください。給紙不良や紙づまりの原因になります。
 - ・ オーバーコートされた普通紙
 - ・ しわのある紙、折れた紙
 - ・ OHPフィルム
 - ・ 湿っている紙
 - ・ 表面に光沢のある紙
 - ・ 薄い紙（紙厚が0.08mm より薄い紙）
 - ・ 一度プリントした紙の裏面
 - ・ 厚い紙（紙厚が0.1mm より厚い紙）
 - ・ 一度複数枚送りした紙
 - ・ 長期間セットしたままの紙
- 記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残った記録紙をすべて取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下にして先端をそろえ、そっと置くようにセットしてください。
- 未使用の記録紙は、お買い求め時の袋などに入れ、日光や湿気の影響を受けにくい場所で保管してください。
- 記録紙はメーカーによって印刷品質や給紙性能が異なります。上記の範囲の記録紙でも、大量にお買い求めになる前に、本商品によるプリントを試してみることをおすすめします。

記録紙のセットのしかた

お知らせ

- 記録紙をセットするときは、右記のように記録紙をさばいてセットしてください。
- プリント中には記録紙を追加しないでください。



■記録紙カセットを使用する場合

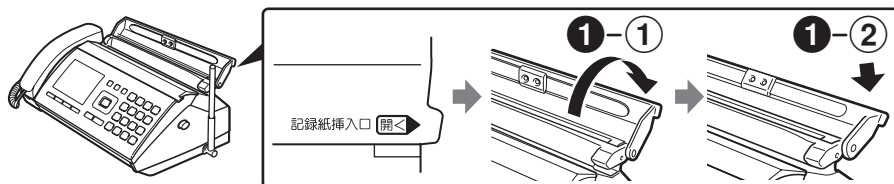
ファクス受信が多い方は、記録紙カセット装着してお使いになることをおすすめします。

お知らせ

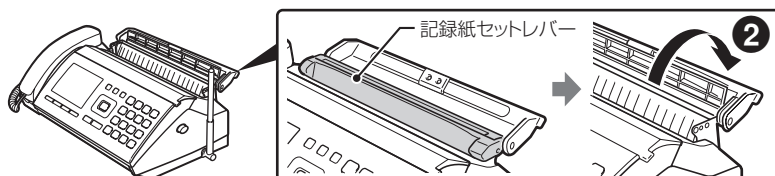
- **セットできる枚数**：最大20枚
- ファクスで送られてきた原稿が長いと、1枚の原稿が2枚以上の記録紙に分割されることがあります。このとき、あとから記録紙を追加すると、1枚目の原稿からくり返しプリントされます。記録紙はなるべく多めにセットしておくことをおすすめします。

1 記録紙カセットを取り付ける

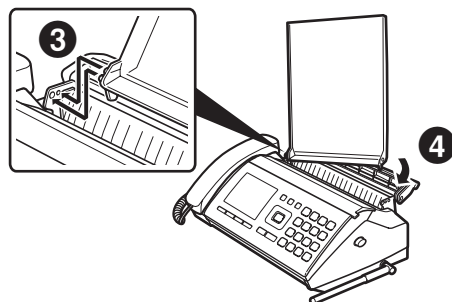
- ① 記録紙挿入口カバーを開き (①-①)、さらに「カチャ」と音がするところまで記録紙挿入口カバーを開く (①-②)



- ② 記録紙セットレバーを開く



- ③ 記録紙カセットの片側を親機の穴に差し込む
- ④ 記録紙カセットの反対側を親機の穴に差し込む
 - ・ 取り付けたあと、記録紙カセットを前後に軽く動かして、外れないことを確認してください。



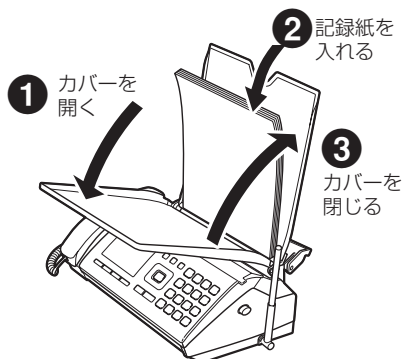
2 記録紙をセットする

- ① 記録紙カバーを開き、手前にたおす
- ② 記録紙を入れる
 - ・ 紙はよくさばき、さばいた方を下にそろえます。

お知らせ

- 無理に押し込まないでください。紙づまりの原因になります。

- ③ 記録紙カバーを閉じる
 - ・ 必ず閉じてからお使いください。



■ 記録紙サポーターを使用する場合

ファクス受信が少ない方におすすめです。

お願い

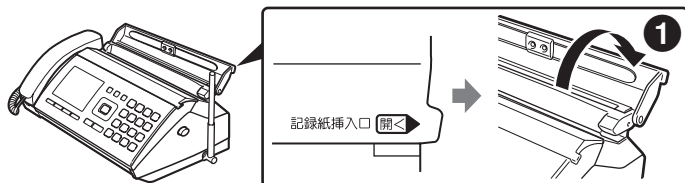
- 親機背面をのぞき込むときは、記録紙サポーターを収納してください。顔などにあたるとけがの原因になることがあります。

お知らせ

- **セットできる枚数**：最大5枚
- 記録紙セットレバーは、左右のロックが確実にかけた状態で記録紙をセットしてください。紙づまりの原因になることがあります。
- 記録紙サポーターを使用する場合は、プリントするときに記録紙をセットしてください。
- プリントしないときは、ホコリよけのため、記録紙挿入口カバーを閉じてください。
- 記録紙セットレバーの「押」マーク（イラストの親指部分）は左側のみに付いていますが、右側を押しても記録紙をセットできます。

1 記録紙サポーターをセットする

- ① 記録紙挿入口カバーを開く



- ② 記録紙サポーターを起こす



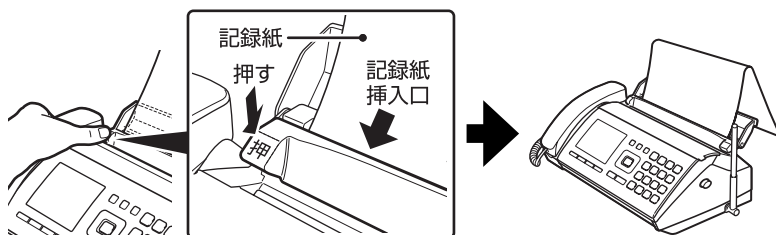
2 記録紙をセットする

- ① 記録紙セットレバーを押しながら、記録紙を記録紙挿入口にかいく突き当たるまで入れる
 - ・ 紙はよくさばき、さばいた方を下にそろえます。

お知らせ

- 無理に押し込まないでください。紙づまりの原因になります。

- ② 記録紙セットレバーから手を離す



組み立てと接続が正しくできたか確認する

お知らせ

- お買い求め時は、ファクスが自動で受けられるように設定されています。→「着信モードの説明と設定方法」(P.5-12)

電話をかけてみる

回線に正しく接続できたか、電話をかけて確認します。→「ダイヤルボタンを押してかける」(P.2-1)
また、別の電話から本商品にかけて正しく受けられるか確認します。→「電話やファクスの受けかた」(P.5-7)

こんなときは	対処方法／参照先
電話がかかけられない	→「困ったときは (Q&A)」(P.9-4)
電話が受けられない	ナンバー・ディスプレイサービスへのご加入と本商品の設定を確認してください。 加入しているとき ：「する」に設定する。 加入していないとき ：「しない」に設定する。
	→「ナンバー・ディスプレイを設定する／解除する」(P.6-2)
	ダイヤルインサービスへのご加入と本商品の設定を確認してください。 ・ダイヤルインサービスをご利用のときは、ナンバー・ディスプレイサービスに加入していなくても、ナンバー・ディスプレイの設定を「する」にします。 →「ダイヤルインを設定する／解除する」(P.7-3)

コピーをとってみる

記録紙が正しくセットできたか、コピーをとって確認します。→「コピーをとる」(P.5-14)

こんなときは	対処方法／参照先	
記録紙排出口から 白紙が出た	原稿を正しくセットしたか確認してください。原稿は裏向きに（コピーする面を記録紙カバーの方へ伏せて）セットします。→「原稿セットのしかた」(P.5-1)	
ディスプレイに メッセージが表示された	記録紙ありません	記録紙を入れます。→「記録紙のセット」(P.1-13)
	記録紙づまり	→「紙づまりのとき」(P.9-1)
	原稿づまり	

■ コピーを途中でやめるには

【ストップ】を押す。

■ 操作を間違えたときは

（親機）【ストップ】を押す。

（子機）【切】を押す。または充電器に戻す。

お知らせ

- お買い求め時の本商品の設定は：→「機能設定／登録早見表」(P.10-6)
- 設定の状態をプリントアウトして確認するには：→「リストをプリントする」(P.7-11)

回線付加サービスを利用するには（ナンバー・ディスプレイなど）

ナンバー・ディスプレイやダイヤルイン、キャッチホン・ディスプレイなど回線付加サービスを利用するには、あらかじめ本商品の設定が必要です。

■ ナンバー・ディスプレイ →「ナンバー・ディスプレイを設定する／解除する」(P.6-2)

※ネーム・ディスプレイを利用する場合は、ナンバー・ディスプレイの設定が必要です。

■ キャッチホン・ディスプレイ →「キャッチホン・ディスプレイを設定する／解除する」(P.7-1)

■ モデムダイヤルイン →「ダイヤルインを設定する／解除する」(P.7-3)

お知らせ

- キャッチホンは、あらかじめ設定しなくてもお使いになれます。→「キャッチホン」(P.7-1)

2 電話を使う

電話をかける

ダイヤルボタンを押してかける

親機

お知らせ

- 次のときは電話がかかけられません。
 - ・ ディスプレイに「内線2 使用中」などと表示されている（子機が使用中）。
 - ・ コピーやファクス、スキャンtoパソコンで読み取り動作をしている。
 - ・ 他の機能の設定や、電話帳などの登録をしている。
- コピーやファクスを使ったあとは受話器が温かくなることがありますが、異常ではありません。

1 受話器をとり
「ツー」という音を確認する

2 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を押す

3 通話が終わったら
受話器を戻す

番号を間違えたときは：

受話器を戻し、もう一度とってから電話番号を押す。
先に電話番号を押してから、受話器をとってもかけられます。

子機

お知らせ

- 次のときは電話がかかけられません。
 - ・ ディスプレイに「カイセン ショウチュウ」と表示されている（親機または他の子機が使用中）。
 - ・ 親機でコピーやファクス、スキャンtoパソコンで読み取り動作中、または機能の設定や電話帳の登録をしている（「ビッ」という音がして「ショウチュウ」と表示される）。
 - ・ ディスプレイに「ツウワ ケンガイ」と表示されている（電波の届かない場所にいる、または親機の電源プラグが抜けている）。
- 「ツウワ ケンガイ」と表示されているときに「通話」を押すと、親機との接続動作を行ったあと待機表示になります。もし待機表示にならなければ、親機に近づいてもう一度「通話」を押してください。
- 通話中に「ピーピーピー」と音がするとき
親機の「スタート／コピー」を押すとこの音が鳴り、通話が切れます。

1 子機を充電器からとり
「通話」を押して
「ツー」という音を確認する

2 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を押す

3 通話が終わったら
「切」を押して
子機を戻す

「通話」が点灯しているときは、親機が受話器をとったときと同じ状態です。受話口から「ツー」という音が聞こえます。

「ツー」の音が聞こえないときは：

「切」を押し、もう一度「通話」を押す。

充電器に置いていないときは：

子機をとり、そのまま「通話」を押す。

先に電話番号を押してから、「通話」を押してもかけられます。

番号を間違えたときは：

「切」を押し、最初からやり直す。

お知らせ

- 充電器に戻すだけでも電話を切ることができます。

お知らせ

- 相手の声が聞こえにくいときは：🔊「ベル音／受話音／スピーカ音の音量を調整する」（P.2-14）
- ボタンを押したときの音を消すには：🔊「ボタンを押したとき音を鳴らす／鳴らさない（キータッチトーン）」（P.7-6）
- 携帯電話への通話サービスをお手軽に利用するには：
🔊「携帯電話への通話サービスをかんたんを使う（ケータイお得ダイヤル）」（P.2-12）

電話帳でかける

あらかじめ電話帳に登録した電話番号を選んで電話をかけます。

親機

1 「電話帳」を押す



2 「▲」または「▼」で
電話する相手先を選び
受話器をとる

相手先を選ぶには：

→ 「電話帳表示画面の説明」(P.3-2)

受話器をとってから「電話帳」を押したときは：

電話する相手を選び「スタート/コピー」を押す。

子機

1 「電話帳」を押す



2 「▲」または「▼」で
電話する相手先を選び
「通話」を押す

登録された相手先の名前が次の順で表示されます。

- 1.スペースで始まる
- 2.数字で始まる
- 3.50音順
- 4.アルファベット
- 5.記号
- 6.電話番号だけ登録した相手先

お知らせ

●登録された相手先をすばやく探す方法

ダイヤルボタンに割り振られた50音の行の文字で探します。

(親機) 「電話帳」を押す。読みカナに登録した最初の文字の行のダイヤルボタンを押す。例：「佐藤」→「サトウ」(さ行)→「[3]」(さ)
ダイヤルボタンに割り付けられた「行」の画面に変わります。

(子機) 名前に登録した最初の文字の行のダイヤルボタンを押す。例：「サトウ」(サ行)→「[3]」(サ)

・記号(ー * & など)で始まる相手先名を探すときは、「[#]」を押します。

・ダイヤルボタンを押しても表示が変わらないときは、該当する行の相手先名が登録されていません。

同じ相手先にもう一度かける（リダイヤル）

以前に電話をかけた相手先の電話番号が自動的に記録されています。同じ相手先にもう一度かけるとき、記録された電話番号を▲▼ボタンで選ぶだけで、かんたんにかけられます。

親機

お知らせ

● 記録される件数と桁数

件数：最大10件 桁数：最大40桁（1件につき）

● 10件を超えると古いものから順に消去されます。

● ファクスを送信した電話番号も記録されます。話し中で通話できなくても記録されます。

● 子機に記録された電話番号にはかけられません。子機でかけた電話番号は親機には記録されません。

リダイヤル画面の説明

リダイヤル 1/6

相手先

佐藤

鈴木

田中

06xxxx1234

03xxxx1234

03xxxx5678

表示切替 登録する 消去する 戻る

最近電話した順に相手先が表示されます。

【▲】または【▼】で相手先を選びます。

【>】で次ページ、【<】で前ページに切り替えます。

<相手先の表示について>

名前：電話帳に登録している相手先

電話番号：電話帳に登録していない相手先

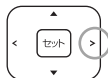
待受中の画面に戻ります。

選んでいる相手先を消去します。➡「■記録された電話番号を消去するには」（本ページ下）

選んでいる相手先を電話帳に登録します。➡「親機の電話帳に相手先を登録する」（P.3-1）

名前が表示されている相手先を、電話番号の表示に切り替えます。

1 【>】（リダイヤル）を押す



リダイヤル画面が表示されます。➡「リダイヤル画面の説明」（本ページ上）

お知らせ

● **電話帳でかけた相手先は：**手順1では登録した相手先名が表示され、受話器をとると登録した相手先名と電話番号が表示されます。

2 【▲】または【▼】で 電話する相手先を選び 受話器をとる

■ 記録された電話番号を消去するには

- 手順2で電話番号を選んだあと、受話器をとらずに 【消去する】を押す。
- 【はい】を押す。

消去をやめる場合は： 【いいえ】を押す。

■ 直前にかけた電話番号にかけるときは

次のようにすると、電話番号を選ばなくてもかけられます。

- 先に受話器をとってから【>】（リダイヤル）を押す。
- 【オンフック／キャッチ】を押してから【>】（リダイヤル）を押す。➡「受話器や子機を持たずに電話をかける（オンフックダイヤル）」（P.2-4）

子機

お知らせ

● 記録される件数と桁数

- 件数：最大10件 桁数：最大24桁（1件につき）
- 10件を超えると古いものから順に消去されます。

- 話し中で通話できなくても記録されます。
- 親機に記録された電話番号にはかけられません。親機でかけた電話番号は子機には記録されません。親機でファクスを送信した電話番号は子機には記録されません。

- 1 子機を充電器からとり
[>]（リダイヤル）を押す



03xxxx1234

お知らせ

- 電話帳でかけた相手先は：登録した相手先名と電話番号が表示されます。

- 2 [▲] または [▼] で
電話する相手先を選び
[通話] を押す

■ 記録された電話番号を消去するには

1. 手順2で電話番号を選んだあと、[通話] を押さずに [保留 消去] を押す。
2. 「ショウキョシマスカ?」が表示されたら、[▲] または [▼] で「ハイ」を選び、[保留 消去]（または [メニュー]）を押す。
消去をやめる場合は：[切] を押すか、「イイエ」を選んで [メニュー] を押す。

受話器や子機を持たずに電話をかける（オンフックダイヤル）

親機の場合は受話器をおいたまま、子機の場合は受話口を耳から離れた状態でも、モニタスピーカから流れる相手の方の応答を確認してから通話することができます。

親機

お知らせ

- オンフックで通話中は、キャッチホンを受けられません。受話器で話しているときに、[オンフック/キャッチ] を押すと通話が切れます。
- 受話器をとって通話したときは、オンフックに切り替えられません。
- 手順3で受話器をとるまで、こちらの声は相手に聞こえません。

- 1 受話器を置いたまま
[オンフック/キャッチ] を押し
「ツー」という音を確認する

オンフック中

オンフックダイヤルのときは、モニタスピーカから音や相手の声が聞こえます。

- 2 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を押す

電話番号：03 xxxx1234

電話番号を間違えたときは：

[オンフック/キャッチ] を押していったん電話を切り、手順1からやり直す。

- 3 相手が電話にでたら
受話器をとって通話する

受話器をとる前に電話を切るには：

[オンフック/キャッチ] を押す。

子機

お知らせ

- 充電器に置いているときは、手順1で [オンフック] を押してもオンフックに切り替えられません。
- 手順3で [オンフック] を押すまで、こちらの声は相手に聞こえません。

- 1 [オンフック] を押し
「ツー」という音を確認する

オンフックダイヤルのときは、モニタスピーカから音や相手の声が聞こえます。

- 2 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を押す

電話番号を間違えたときは：

[切] を押していったん電話を切り、手順1からやり直す。

- 3 相手が電話にでたら
[オンフック] を押して通話する

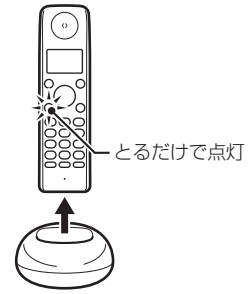
手順3で [オンフック] を押す前に電話を切るには：

[切] を押す。

子機をとるだけで使う（クイック通話）

子機を充電器からとるだけで、電話をかけたり受けたりできるようにする機能を「クイック通話」と言います。

これにより、親機で受話器をとるのと同じように操作できます。



クイック通話を設定する

クイック通話を「ON」に設定すると、子機を充電器からとるだけで電話をかけたり受けたりできるようになります。

子機

1 子機を充電器からとる

2 [メニュー] を押す

メニュー
↕デフォルトワーク

3 [▲] または [▼] で
「クイックツウワ」を選び
[メニュー] を押す

メニュー
↕クイックツウワ
クイックツウワ
↕OFF

4 [▲] または [▼] で
「ON」または「OFF」を選び
[メニュー] を押す

お買い求め時の設定：OFF

[通話] が点灯しているときは：[切] を押す。

下の表を参考に設定してください。

クイック通話の設定	子機を充電器からとると	電話をかける／受けるには
OFF	 点灯しない	子機をとって、[通話] を押す
ON	 点灯する	・ かけるときは子機をとってそのままダイヤルする ・ 受けるときは子機をとるだけで受けられる

本書の表記

本書の中では、クイック通話を「OFF」に設定した場合の操作を説明しています。

通話中の相手に待ってもらう（保留）

 通話中

電話を切らずに相手に待ってもらうことができます。相手先にはメロディ音が流れ、こちらの声は聞こえません。

お知らせ ● 内線通話は保留にできません。

親機

お知らせ ● 保留にすると受話器を戻しても電話は切れません。もう一度受話器をとると通話を再開できます。

- 1 通話中の相手に待ってもらうときに
【保留／内線】を押し
受話器を戻す

保留にしたまま10分以上過ぎると電話が切れます。

- 2 再び相手と通話するには
受話器をとる

子機で保留にした通話を親機で再開するには：

（子機）手順1（ 本ページ下）で保留にし、子機を充電器に戻すか【切】を
押したあと、受話器をとる。

子機

お知らせ

● 保留にすると子機を充電器に戻しても電話は切れません。もう一度子機をとり、【通話】を押すと通話を再開できます。
クイック通話が「ON」のときは、子機をとるだけで通話を再開できます。 「クイック通話を設定する」(P.2-5)

- 1 通話中の相手に待ってもらうときに
【保留 消去】を押す

保留にしたまま10分以上過ぎると電話が切れます。

- 2 再び相手と通話するには
【通話】または【保留 消去】を押す

親機で保留にした通話を子機で再開するには：

（親機）手順1（ 本ページ上）で保留にしたあと、子機をとって【通話】を
押す。クイック通話が「ON」のときは、子機をとるだけで再開できる。

■ 保留中のメロディ音を変えるには： 「保留のメロディを変える」(P.7-9)

■ 通話中の電話機を親機または子機に切り替えるときは

親機から子機へ：親機で【保留／内線】を押し、受話器を戻したあと、子機をとって【通話】を押す。

子機から親機へ：子機で【保留 消去】を押し、【切】を押したあと、親機の受話器をとる。

受けた電話を転送する（外線転送）

📞 通話中

親機で受けた外線を子機に転送できます。また、子機で受けた外線を親機や他の子機に転送できます。

内線番号は次の順に決まります。子機の内線番号は待受中のディスプレイに表示されます。

	内線番号	ディスプレイの表示	
		親機	子機
親機	1	—	—
付属の子機	2	内線2	ナイセン2
増設子機（1台目）	3	内線3	ナイセン3
増設子機（2台目）	4	内線4	ナイセン4

増設子機は別売りです。📞「子機を増設するとき」(P.9-22)

2 電話を使う

保留／外線転送

親機から子機に転送する

1 【保留／内線】を押す

保留中♪→内線?

外線が保留にされ、相手先にメロディ音が流れます。

2 ダイヤルボタンで
転送先の内線番号を押す

内線2 を呼出中

子機の内線番号：[2] / [3] / [4]

すべての子機を一斉に呼び出すとき：[*]

手順2で、親機から呼び出されると、
子機には右の画面が表示されます。

ナイセン1から
チャクシンチュウ

3 転送先の相手がいたら
転送することを相手に伝え
受話器を戻す

・親機が受話器を戻すと、転送先の子機に外線がつながり、転送先で外線通話ができます。

・親機が受話器を戻す前に転送先の子機が【切】を押すと転送されず、再び親機で同じ外線と通話できます。

子機が出ないときは：【保留／内線】を押すと外線通話に戻る。

子機から親機に転送する

1 【内線】を押す

ヨビダシサキ?
1346*

親機および子機の内線番号が表示されます。

2 ダイヤルボタンの
【1】を押す

ナイセン1から
ヨビダシチュウ

外線が保留にされ、相手先にメロディ音が流れます。

親機の内線番号：[1]

手順2で、子機から呼び出されると、
親機には右の画面が表示されます。

内線2 から着信中

3 転送先の相手がいたら
転送することを相手に伝え
【切】を押す

・子機の【切】を押すと、外線が親機につながり、親機で外線通話ができます。

・子機が【切】を押す前に親機が受話器を戻すと転送されず、再び子機で同じ外線と通話できます。

親機が出ないときは：【内線】を押すと外線通話に戻る。

子機から子機に転送する

1 【内線】を押す

ヨビダシサキ?
1346*

親機および子機の内線番号が表示されます。

2 ダイヤルボタンで
転送先の内線番号を押す

ナイセン3から
ヨビダシチュウ

外線が保留にされ、相手先にメロディ音が流れます。

子機の内線番号：[2] / [3] / [4]

親機とすべての子機を一斉に呼び出すとき：[*]

手順2で、子機から呼び出されると、呼び出された子機には右の画面が表示されます。

ナイセン2から
チャクシンチュウ

3 転送先の相手がいたら
転送することを相手に伝え
【切】を押す

・転送する側の子機が【切】を押すと、転送先の子機に外線につながり、転送先で外線通話ができます。

・転送する側の子機が【切】を押す前に転送先の子機が【切】を押すと転送されず、再び転送する側の子機で同じ外線と通話できます。

転送先の子機が出ないときは：【内線】を押すと外線通話に戻る。

親機と子機／子機と子機で通話する（内線通話）

親機と子機、または2台の子機の間で内線通話ができます。

内線番号については、「受けた電話を転送する（外線転送）」（P.2-7）をご覧ください。

お知らせ

- 他の子機や親機を外線で使用しているときや着信しているときは、内線通話はできません。
- 三者の間で内線通話はできません。
- 内線通話は保留にできません。

親機から子機にかける

- 1 受話器をとり
[保留／内線] を押す

内線番号？

- 2 ダイヤルボタンで
呼び出す子機の内線番号を押す

内線2 を呼出中

子機の内線番号：[2] / [3] / [4]

すべての子機を一斉に呼び出すとき：[*]

手順2で、親機から呼び出されると、
子機には右の画面が表示されます。

ナイセン1カラ
チャクシンチュウ

子機から親機にかける

- 1 子機をとり
[内線] を押す

ヨビダンサキ?
134*

親機および子機の内線番号が表示されます。

- 2 ダイヤルボタンの
[1] を押す

ナイセン1ヲ
ヨビダンチュウ

親機の内線番号：[1]

手順2で、子機から呼び出されると、
親機には右の画面が表示
されます。

内線2 から着信中

子機から子機にかける

- 1 子機をとり
[内線] を押す

ヨビダンサキ?
134*

親機および子機の内線番号が表示されます。

- 2 ダイヤルボタンで
呼び出す子機の内線番号を押す

ナイセン3ヲ
ヨビダンチュウ

子機の内線番号：[2] / [3] / [4]

親機とすべての子機を一斉に呼び出すとき：[*]

手順2で、子機から呼び出されると、
呼び出された子機には右の画面が表示
されます。

ナイセン2カラ
チャクシンチュウ

お知らせ

- 親機と子機で内線通話中に外線がかかってくると：内線通話が切れ、外線の呼出ベルが鳴ります。
外線に出るときは：
（親機）受話器を戻し、もう一度受話器をとる。
（子機）[通話] を押す。
- 子機と子機で内線通話中に外線がかかってくると：「ブブブ」という音が鳴り、内線通話は切れません。外線に出る場合は[切]を押して内線通話を切ったあと、[通話] を押します。
- 一斉に呼び出す内線番号（[*]）は子機が2台以上のときに使えます。

通話の内容を録音する（さかのぼり録音）

通話中

さかのぼり録音を設定すると、通話中にさかのぼり録音ボタンを押すだけで外線通話開始からの通話内容を留守番電話の用件として保存することができます。また、電話を切ったあとでも、さかのぼり録音ボタンを押して直前の通話内容を保存することができます。さらに、自動録音モードを設定すると、かかってきた電話の通話内容を自動的に保存することができます。

お知らせ

- 録音できる時間／件数：約40分、または最大30件（留守番電話で録音された用件を含めて）
- 自動録音モードとは：「さかのぼり録音」を押さなくても、かかってきた電話の通話内容を自動的に保存する機能です。
自動録音モードには次の3種類があります。
 - みんな録音：すべてのかかってきた電話の通話内容を保存する
 - 非通知録音：かかってきた非通知の電話（※）の通話内容を保存する
 - 迷惑電話録音：迷惑電話がかかってきたとき、「お断り」を押すと通話内容を保存する
- ※：着信のとき「非通知」「公衆電話」「表示圏外」と表示される電話
- こちらからかけた電話の場合は、通話中または通話終了後に「さかのぼり録音」を押して保存してください。

2 電話を使う

内線通話／さかのぼり録音

さかのぼり録音を設定する

親機

お知らせ

●子機では操作できません。

1  「メニューを開く」を押す

2 [4]「留守番電話機能」→
[9]「さかのぼり録音」
を順に押す

さかのぼり録音：
・する
・しない

3 [▲] または [▼] で
さかのぼり録音の利用「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

手順3で「しない」を選んだ場合は手順7へ進む

4 [▲] または [▼] で
保持時間を選び
[セット] を押す

保持時間：
・0分
・5分
・無制限

自動録音モードの設定を行わない場合は手順7へ進む

5 [▲] または [▼] で
自動録音モード1の設定を選び
[セット] を押す

自動録音モード1：
・しない
・みんな録音
・非通知録音

手順5で「みんな録音」を選んだ場合は手順7へ進む

6 [▲] または [▼] で
自動録音モード2の設定を選び
[セット] を押す

自動録音モード2：
・しない
・迷惑電話録音

7 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定

さかのぼり録音：する
保持時間：0分
自動録音モード：しない

保持時間とは、電話を切ったあと、直前の通話の録音を保持する時間です。次の3種類から選べます。

0分：録音を保持しない
5分：約5分間録音を保持する

無制限：電話の着信などの次の動作まで録音を保持する
→「電話を切ったあとにさかのぼり録音をする」(P.2-11)

自動録音モードの設定をします（自動録音モード1）。

しない：自動での通話録音をしない
みんな録音：すべてのかかってきた電話の通話を保存する
非通知録音：かかってきた非通知の電話の内容を保存する

自動録音モードの設定をします（自動録音モード2）。

しない：「お断り」を押しても通話を保存しない

迷惑電話録音：「お断り」を押すと「さかのぼり録音」を押さなくても通話を保存する

■ さかのぼり録音の状態を確認するには

画面の表示で、さかのぼり録音の状態を確認することができます。

親機の画面に「**📞録音可**」を表示しているときは、通話中にさかのぼり録音することができます。

アイコン	状態
📞録音可	通話を保存することができます。
📞録音中	通話を録音中です。(※)

※：「**📞録音可**」を表示している通話中に「**さかのぼり録音**」を押すと、「**📞録音中**」に変わります。

さかのぼり録音する

通話中にさかのぼり録音をする

📞通話中

お知らせ

- 次の場合、通話録音は保持されません。
 - ・ さかのぼり録音の利用を「しない」に設定している
 - ・ 保持時間を「0分」に設定し、電話を切ったとき **📞** 「**■通話終了後に保持しないように設定する**」(P.2-11)
 - ・ メモリがいっぱいになるとき
- 内線通話は録音できません。
- 録音の途中でメモリがいっぱいになると、録音を終了します。録音残量表示が **録音残量** のときは、録音可能時間が残り少なく(約20秒~15分)なっています。不要な用件はこまめに消去してください。
 - **「■用件を消去するには」**(P.4-3)
 また、ファクス受信文書がメモリに残っているときは、プリントするか消去してください。
 - **「■受信ファクスを消去するには」**(P.5-10)
- 次の操作をすると、録音は終了します。それぞれの操作をする前に「**さかのぼり録音**」を押せば、それまでの通話の録音は保存されます。
 - ・ ファクス通信 ・ 通話中再生

- 通話中に停電が発生すると、「**さかのぼり録音**」を押していても、その通話で録音した内容は保存されません。
- 通話中に次の状況になった場合は、録音は一時中断され、その間は録音されません。録音再開後の通話は、別の用件として録音されます。
 - ・ 保留中
 - ・ 外線転送中
 - ・ キャッチホンによる通話先切り替え中
 - ・ キャッチホン・ディスプレイの情報受信
 - ・ ダイヤルボタンやリダイヤル操作によるダイヤル送中と送出後の約3秒間
 - ・ 「**📞電話帳**」を押して電話帳検索をしたとき
- 残したい部分のみを保存することはできません。
- 通話開始時の会話が録音されていないことがあります。

親機

- 1 通話の内容を残すときは
通話中に「**さかのぼり録音**」を押す

あとXX分録音可能

画面に「**📞録音中**」が表示されます。

通話中に**登録操作**をしているときは：

- 登録操作を終了したのち「**さかのぼり録音**」を押す。
- ・ 録音可能時間が3分未満になると、「まもなく録音終了」と表示されます。
- ・ メモリがいっぱいになると、「メモリがいっぱいです」のメッセージが流れ、「用件／メモリフル」と表示されます。

途中で録音を終了するときは：「**ストップ**」を押す。

- 2 通話が終わったら電話を切る

通話保存しました

お知らせ

- 録音を終了させたあと、再び録音を開始させることはできません。

子機

- 1 通話の内容を残すときは
通話中に「**メニュー**」を押す

📞モデル

オンフック中のときは：

「**オンフック**」を押し、オンフックを解除したあとに「**メニュー**」を押す。

録音を開始すると、親機の画面に「**📞録音中**」が表示されます。

- 2 **▲** または **▼** で
「**ロクオン**」を選び
「**メニュー**」を押す

📞ロクオン

📞ロクオンチュウ

お知らせ

- メモリがいっぱいなどでさかのぼり録音できない場合は、「**ロクオンチュウ**」は表示されません。

途中で録音を終了するときは：

再度「**メニュー**」を押し、**▲** または **▼** で「**ロクオンシュウリョウ**」を選び、「**メニュー**」を押す。

3 通話が終わったら電話を切る

お知らせ

- 録音を終了させたあと、再び録音を開始させることはできません。

電話を切ったあとにさかのぼり録音をする

「さかのぼり録音を設定する」(→P.2-9)の手順4で、「保持時間」を「5分」または「無制限」に設定すると、電話を切ってから直前の通話の録音を保存できます。お買い求め時は、「0分」に設定されており、録音を保持しません。

お知らせ

- 親機の画面に「録音可」を表示しているときは、直前の通話を保存することができます。→「さかのぼり録音の状態を確認するには」(P.2-10)
- 電話を切ってから次の状況が起こると、その時点で録音は消去されます(「**さかのぼり録音**」を押しても、直前の通話は保存できません)。
 - ・ 電話をかける。
 - ・ おやすみモードタイマ切替時刻になる。
 - ・ ソフトウェアの更新
 - ・ 電話がかかってくる。
 - ・ WIFI BANDの設定をする。
 - ・ 留守番電話の操作をする。
 - ・ 停電した。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

- 1 電話を切ったあと
直前の通話の内容を残すときは
保持時間内に「**さかのぼり録音**」を押す

通話保存しました

録音した通話を消去する／再生する

電話を切ったあとに直前の通話の録音を消去する

電話を切ったあとに直前の通話の録音を残したくない場合は、録音を保持しない設定にする方法と、録音を消去する方法があります。

お知らせ

- 子機では操作できません。
- **すでに録音を保存したあとに消去するときは**：留守番電話の用件と同じ操作で消去してください。→「録音された用件を聞く／消去する」(P.4-3)

■ 通話終了後に保持しないように設定する

「保持時間」を「0分」に設定します。→「さかのぼり録音を設定する」(P.2-9)

■ 通話終了後に録音を消去する

「保持時間」を「5分」または「無制限」に設定している場合は、下記の操作で通話終了後に直前の通話を消去することができます。

親機

- 1 [メニューを開く] を押す

- 2 [4]「留守番電話機能」→
[2]「直前の通話内容の消去」
を順に押す

直前の通話内容を
消去しますか？

- 3 [はい] を押す

消去しました

消去をやめるときは：

[いいえ] を押してから [ストップ] を押す。

保存した通話を聞く／消去する

保存した通話は留守番電話の用件と同じ操作で再生できます。また、同じ操作で消去できます。

→「録音された用件を聞く／消去する」(P.4-3)

お知らせ

- 再生と消去は、親機でも子機でも操作できます。

その他の電話機能

お断りメッセージで応答する（迷惑電話お断り） 通話中

いたずら電話や無言電話など迷惑電話を受けたとき、次のメッセージを流して電話を切ることができます。
「申し訳ありませんがお取り次ぎできません。」

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイの設定（ P.6-2）を「する」に設定している場合は、相手の電話番号が着信拒否リストに登録されます。
- 次の場合、この機能は使えません。
 - ・ こちらからかけた電話のとき
 - ・ 通話中にダイヤルボタンや【**オンフック／キャッチ**】（親機）、【**キャッチ**】（子機）を押したとき
 - ・ キャッチホン・ディスプレイを利用して通話中の着信を受けたとき

親機

1 メッセージを流すときに

 【お断り】を押し

受話器を戻す

お断り中

メッセージは3回流れます。

子機

1 メッセージを流すときに 【メニュー】を押す

モトドル

メッセージは3回流れます。

2 【▲】または【▼】で 「オコトワリ」を選び 【メニュー】を押す

オコトワリ

お知らせ

- **通話を再開するには**：メッセージが表示されている間に次の操作を行うと、迷惑電話お断りを中止して、再び相手と話すことができます。
 - （親機）受話器をとる（とっているときは受話器を戻し、もう一度とる）。
 - （子機）【通話】を押す。

携帯電話への通話サービスをかたんに使う（ケータイお得ダイヤル）

あらかじめ事業者識別番号を設定しておく、携帯電話の番号をそのままダイヤルするだけで、設定した事業者識別番号をつけて発信されます。

対象となる携帯電話の番号：

090-、または080-で始まる電話番号

例）事業者識別番号に「00XX」を設定したとき

ダイヤル：090-△△△△-□□□□

発信番号：00XX-090-△△△△-□□□□

お知らせ

- 携帯電話の番号の前に184-、186-をつけても、発信できます。
- PHSの電話番号には対応できません。
- 次の方法でダイヤルした場合も、携帯電話の番号は事業者識別番号をつけて発信されます。
 - ・ 電話帳
 - ・ リダイヤル
 - ・ コールバック（着信履歴から）

親機

お知らせ ● 子機では操作できません。

1 【メニューを開く】を押す

2 【2】「電話機能」→ 【6】「ケータイお得ダイヤル」 を順に押す

ケータイお得ダイヤル：
・ する
・ **しない**

3 【▲】または【▼】で 「する」を選び 【セット】を押す

識別番号入力

お買い求め時の設定：しない

ケータイお得ダイヤルを利用しない場合は：

「しない」を選び、【セット】を押す。
「設定しました」と表示されたら解除されました。
【ストップ】を押すと待受中に戻ります。

4 ダイヤルボタンで 識別番号を入力し [セット] を押す

識別番号入力

00XX■

IP電話解除：
・する
・しない

事業者識別番号の例：

0036（NTT東日本）、0039（NTT西日本）

お願い

- 識別番号に携帯電話の番号を入力しないでください。違う番号にかかったり、携帯電話にかからなくなります。

5 [▲] または [▼] で IP電話の解除「する」または「しない」を選び [セット] を押す

IP電話をご利用の方はIP電話解除番号も設定してください。

する：解除する

しない：解除しない

手順5で「しない」を選んだ場合は、手順7に進む

6 ダイヤルボタンで IP電話解除番号を入力し [セット] を押す

解除番号入力

0000■

お知らせ

- IP電話解除番号はIP電話の事業者にお問い合わせください。
例：0000

7 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

お知らせ

- 本商品を、構内交換機（PBX）など、発信元の電話番号のほかにダイヤルの先頭に外線発信番号「0」をつける必要がある通信機器に接続した場合は、「ケータイお得ダイヤル」を「しない」に設定してお使いください。「する」に設定すると、正しくダイヤルできない場合があります。
- 通話先、通話時間や電話事業者の料金プランによっては、一部の通話料金が安くならないことがあります。事業者識別番号、料金プランなどサービスの詳細は固定電話の事業者にお問い合わせください。
- 発信するときに事業者識別番号は表示されません。誤った番号を設定すると正しく発信できないことがあります。
- 事業者識別番号を設定すると、電話がつながるまでの時間が長くなることがありますが、故障ではありません。
- 光電話サービスや直収電話サービス、ケーブルテレビ局が提供するIP電話サービスなどをご利用の場合、ケータイお得ダイヤルがご利用になれない場合があります。その場合は「ケータイお得ダイヤル」を「しない」に設定してお使いください。詳しくは、ご加入の電話会社にお問い合わせください。
- ケータイお得ダイヤル機能を設定すると自動的に事業者識別番号やIP電話解除番号がダイヤルされますので、正しく電話がかかけられなかったり、通話料金などが異なる場合があります。
- IP電話のご利用で、「ケータイお得ダイヤル」を「する」に設定してお使いの場合は、「184」「186」をつけてダイヤルするときに「184」「186」のあとにポーズを入力しないでください。ポーズを入力すると正しく電話がかかけられない場合があります。
- 固定電話から携帯電話へかけるときのお得な料金サービスは、留守番ケータイ転送のときにも適用されます。

ケータイお得ダイヤルを一時的に解除する

携帯事業者の留守番電話サービスや自動車電話、沿岸船舶電話など一部ご利用になれない番号があります。そのような場合は、携帯電話番号の前に解除番号「1111」をダイヤルしてください。

1 携帯電話の番号をダイヤルするとき 電話番号の前に「1111」をつける

例)
のように発信されます。
ダイヤル：1111-090-△△△△-□□□□
発信番号：090-△△△△-□□□□

ダイヤル回線でトーン信号を送る

通話中

ダイヤル回線に接続しているとき、一時的にトーン信号（プッシュ信号）に切り替えて信号を送ることができます。トーン信号は、電話による自動受付サービスなどを利用するときに必要な場合があります。

親機

子機

お知らせ

- この操作は一時的にトーン信号に切り替えるもので、電話を切るともとの信号に戻ります。本商品を接続している回線を変更した場合は回線種別の設定をやり直してください。→「回線種別を設定し直すには」（P.1-12）
- 親機と子機の操作は同じです。

1 トーン信号が必要なときに [*] を押す

[*] を押したあと、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。

ベル音／受話音／スピーカ音の音量を調整する

ベル音／受話音／スピーカ音の各音量を調整できます。

ベル音

お知らせ ● 外線のベル音と内線のベル音は、どちらか一方の音量を調整すると双方とも同じ音量に調整されます。

親機

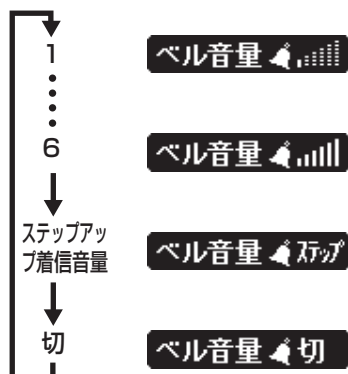
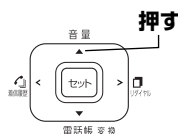
待受中または着信中に音量を調整できます。待受中と着信中では操作方法が異なります。

■ 待受中の調整

音の大きさを調整するには「音量」を押します。

最初に押したときは、そのとき設定されている音量でベルが鳴ります。続けて「音量」を押すと次のようにベル音が変わります。

- ・ 「音量」を押すたびに6段階(1～6)で音が大きくなります。
- ・ 音が最大(6)のとき「音量」を押すと、「ステップアップ着信音量」になります。「ステップアップ着信音量」はだんだん大きくなるベル音です。
- ・ ステップアップ着信音量のとき「音量」を押すと、音が止まります(ベル切)。
- ・ 音が止まっているとき「音量」を押すと、再び小さい音(1)が鳴ります。



■ 着信中の調整

着信中に「音量」を押すと、そのとき設定されている音より一段階大きい音量に設定されます。

「ステップアップ着信音量」に設定されている場合、着信中に「音量」を押すと、押した時点で鳴っていた音より一段階大きい音量に設定されます。

お知らせ

- 着信中に調整するときはステップアップ着信音量に設定できません。最大(6)のとき「音量」を押すと音が止まります(ベル切)。

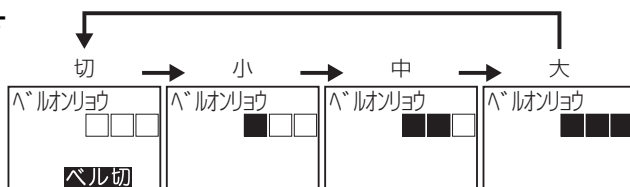
子機

待受中または着信中に音量を調整できます。

音の大きさを調整するには「音量」を押します。

最初に押したときは、そのとき設定されている音量が表示されます。続けて「音量」を押すたび右の図の順で音量の設定が変わります。

- ・ 音量は3段階(小／中／大)と「ベル切」です。



■ 着信中の調整

着信中に「音量」を押すと、そのとき設定されている音より一段階大きい音量に設定されます。

また、着信中に調整した場合、設定した音量は画面に表示されません(「ベル切」は表示されます)。

お知らせ

- 外線転送の着信中および外線通話の着信中には調整できません。

受話音

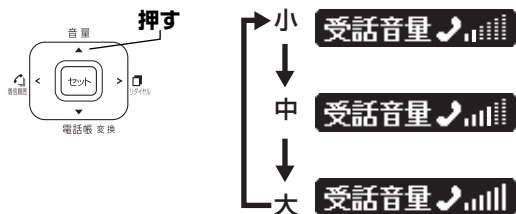
電話中

親機

お知らせ ● 受話器をとり、「ツー」という音がしているとき、または通話中に操作します。

音の大きさを調整するには**【音量】**を押します。
【音量】を押すたび右の図の順で音が変わります。

・ 音量は3段階（小／中／大）です。



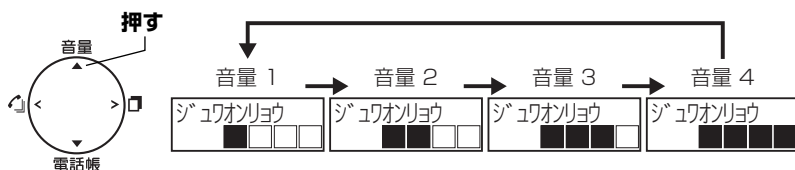
子機

お知らせ ● **【通話】** を押し、「ツー」という音がしているとき、または通話中に操作します。

音の大きさを調整するには**【音量】**を押します。

【音量】を押すたび右の図の順で音が変わります。

・ 音量は4段階（音量1／音量2／音量3／音量4）です。



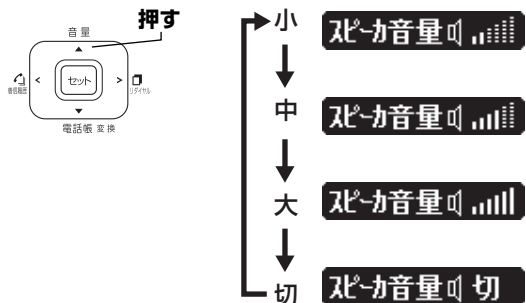
スピーカ（モニタ音／再生音）

親機

お知らせ ● **【オンフック／キャッチ】** を押し、「ツー」という音がしているときに操作します。また、用件などを再生しているときも操作できます。

音の大きさを調整するには**【音量】**を押します。
【音量】を押すたび右の図の順で音が変わります。

・ 音量は3段階（小／中／大）と「切」です。



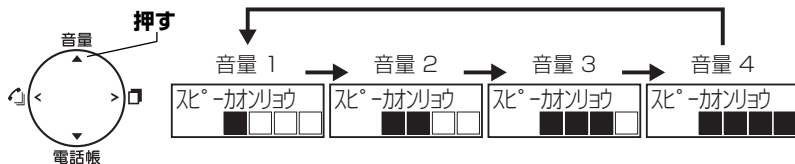
子機

お知らせ ● **【オンフック】** を押し、「ツー」という音がしているときに操作します。

音の大きさを調整するには**【音量】**を押します。

【音量】を押すたび右の図の順で音が変わります。

・ 音量は4段階（音量1／音量2／音量3／音量4）です。



3 電話帳を登録する

親機の電話帳に相手先を登録する

電話帳に電話番号やメールアドレスを登録することができます。あらかじめ登録しておく、電話帳ボタンを使って選ぶだけでかんたんに電話をかけたり、メールを送ったりすることができます。電話番号には、ファクス番号も登録できます。

お知らせ

●登録できる件数：最大200件（※）

※：お買い求め時、すでに「スピークス問合せ」「スピークス消耗品」が登録されています。これも登録件数に含まれます。

●「電話帳フル」と表示されたときは、すでに200件の相手先が登録されています。不要な相手先の名前と電話番号を消去してから登録してください。

→「登録した相手先を消去する」(P.3-3)

●まちがい電話を防ぐため、電話番号を電話帳に登録するときは、画面を見ながら正しく登録してください。

●登録した相手先をプリントアウトして確認するには：→「リストをプリントする」(P.7-11)

●ナンバー・ディスプレイを利用するときは：

・市外局番から入力する。

・「*」「#」「-（ポーズ）」は入力しない。

3 電話帳を登録する

親機の電話帳に相手先を登録する

相手先の名前と電話番号などを登録する

1 「電話帳」を押す

2 「メニューを開く」を押す

1. 電話帳を新規登録する
2. この電話帳を編集する
3. この電話帳を消去する

3 または で「電話帳を新規登録する」を選び「セット」を押す

電話帳登録
残り***件
登録を開始します

名前を入力します
セットを押して下さい

4 「セット」を押し相手先の名前を入力し「セット」を押す

佐藤

読みカナを入力します
セットを押して下さい

名前の文字数：最大全角8文字

→「文字入力について」(P.10-13)

5 「セット」を押し読みカナを確認し「セット」を押す

トウ

電話番号を入力します
セットを押して下さい

読みカナの文字数：最大12文字

→「文字入力について」(P.10-13)

「。」「,」の読みカナは、それぞれ「,」「,」になります。

6 「セット」を押しダイヤルボタンで相手先の電話番号を入力し「セット」を押す

03xxxx1234

メールアドレスを入力します
セットを押して下さい

電話番号を登録しないときは：

電話番号を入力せずに  「入力しない」を押し、手順7へ。

電話番号の桁数：最大32桁

－（ポーズ）を入れるには：

 「ポーズを入力する」を押す。

7 「セット」を押しメールアドレスを入力し「セット」を押す

tuki@abc.def.ne.jp

アドレス属性：
 PC
・携帯

メールアドレスを登録しないときは：

メールアドレスを入力せずに  「入力しない」を押し、手順9へ。

メールアドレスの文字数：

最大英数字／記号50文字

→「文字入力について」(P.10-13)

8 または で相手のメールアドレスが携帯電話の場合は「携帯」を携帯電話以外の場合は「PC」を選び「セット」を押す

佐藤

登録しました

続けて他の相手先を登録するには：

手順4～8をくり返す。

9 登録を終了するときは「ストップ」を押す

途中で登録をやめるときは：「ストップ」を押す。

電話帳に登録した相手先は、[電話帳] を押すと次のように表示されます。

電話帳

あかざたなはまや

📞

佐藤

セットで詳細表示します

メール
を作る

ファクス
を送る

メニュー
を開く

戻る

1つ前の画面に戻ります。

機能メニューが表示されます。
[▲] または [▼] で機能を選び、[セット] を押します。

機能メニュー	
電話帳を新規登録する	電話帳を新規登録できます。📖 「相手先の名前と電話番号などを登録する」(P.3-1)
この電話帳を編集する	選んだ相手先を編集できます。📖 「登録した名前や電話番号などを変更する」(P.3-3)
この電話帳を消去する	選んだ相手先を消去します。📖 「登録した相手先を消去する」(P.3-3)

ファクス電話番号が登録されている相手先を選んで押すと、ファクスを送ることができます。
[スタート/コピー] を押して、ファクスを送ることもできます。

メールアドレスが登録されている相手先を選んで押すと、メールを作って送信することができます。

ピクト	意味
📞	電話番号登録
📧	メールアドレス 属性 (PC)
📱	メールアドレス 属性 (携帯)

相手先を選んで [セット] を押すと、登録されている内容が表示されます。

電話帳

相手先の名前 佐藤

📞 090△△△△XXXX

📧 tuki@abc.def.ne.jp

電話帳表示画面と同様に状態や登録内容をピクト表示します。

電話番号やメールアドレスを表示します。

メール
を作る

ファクス
を送る

メニュー
を開く

戻る

ひとつ前の画面に戻ります。

機能メニューが表示されます。
[▲] または [▼] で機能を選び、[セット] を押します。

機能メニュー	
この電話帳を編集する	選んだ相手先を編集できます。📖 「登録した名前や電話番号などを変更する」(P.3-3)
この電話帳を消去する	選んだ相手先を消去します。📖 「登録した相手先を消去する」(P.3-3)

表示されている相手先にファクスを送ることができます (📖 P.5-1)。
[スタート/コピー] を押して、ファクスを送ることもできます。

表示されている相手先にメールを作って送信することができます (📖 P.8-19)。

3-2

登録した名前や電話番号などを変更する

- 1 「電話帳」を押し
変更する相手先を選ぶ

- 2  「メニューを開く」を押す

1.電話帳を新規登録する
2.この電話帳を編集する
3.この電話帳を消去する

- 3 「▲」または「▼」で
「この電話帳を編集する」を選び
「セット」を押す

名前を編集します
[佐藤]
セットを押して下さい

- 4 「セット」を押し
名前を変更し
「セット」を押す

鈴木
読みカナを編集します
[サトウ]
セットを押して下さい

- 5 「セット」を押し
読みカナを変更し
「セット」を押す

スズキ
電話番号を編集します
[03xxxx1234]
セットを押して下さい

- 6 「セット」を押し
ダイヤルボタンで
電話番号を変更し
「セット」を押す

06xxxx1234
メールアドレスを編集します
[tuki@abc.def.ne.jp]
セットを押して下さい

- 7 「セット」を押し
メールアドレスを変更し
「セット」を押す

hoshi@xxx.yyy.ne.jp
アドレス属性：
・PC
・携帯

- 8 「▲」または「▼」で
入力したメールアドレスがパソコン／携帯電話のどちらのアド
レスかを選び
「セット」を押す

相手先を選ぶには：

→「電話帳表示画面の説明」(P.3-2)

下記の操作で、電話帳詳細画面(→P.3-2)から
手順3の画面を表示させることもできます。

1.  「メニューを開く」を押す。
2. 「▲」または「▼」で「この電話帳を編集する」を
選び、「セット」を押す。

→「文字入力について」(P.10-13)

名前を変更しないときは：

 「編集しない」を押し、手順5へ。

読みカナを変更しないときは：

 「編集しない」を押し、手順6へ。

電話番号の変更方法

番号の入力：ダイヤルボタン
— (ポーズ)：  「ポーズを入力する」
カーソルの移動：[<] [>]
番号をすべて消去：  「クリアする」

電話番号を変更しないときは：

 「編集しない」を押し、手順7へ。

メールアドレスを変更しないときは：

 「編集しない」を押す。

[<] または [>] で、カーソル(入力位置)を移動で
きます。

 「消去する」を押すと、カーソルの文字が消去
されます。

途中で変更をやめるときは：「ストップ」を押す。

登録した相手先を消去する

- 1 「電話帳」を押し
消去する相手先を選ぶ

- 2  「メニューを開く」を押す

1.電話帳を新規登録する
2.この電話帳を編集する
3.この電話帳を消去する

- 3 「▲」または「▼」で
「この電話帳を消去する」を選び
「セット」を押す

佐藤
消去しますか？

- 4  「はい」を押す

消去しました

相手先を選ぶには：

→「電話帳表示画面の説明」(P.3-2)

下記の操作で、電話帳詳細画面(→P.3-2)から
手順3の画面を表示させることもできます。

1.  「メニューを開く」を押す。
2. 「▲」または「▼」で「電話帳を消去する」を選び、
「セット」を押す。

消去するのをやめるときは：

 「いいえ」を押す。

3 電話帳を登録する

親機の電話帳に相手先を登録する

親機の電話帳から子機に転送する

親機に登録した相手先を子機に転送できます。転送された相手先は子機の電話帳に追加されます。

お知らせ

- 子機にあらかじめ登録された相手先は消えません。
- 子機の電話帳にすでに最大件数（100件）の相手先が登録されていると転送できません。
- メールアドレスは転送されません。
- 次のような相手先は転送されません。
 - ・ 同じ名前と同じ電話番号の相手先が子機の電話帳に登録されている
 - ・ 電話番号が25桁以上

- 転送先の子機は転送が終わるまで使用できません。子機のディスプレイに「デンソウチュウ」と表示されます。
- 次のときは転送が中断されます。
 - ・ 子機の登録件数が最大件数（100件）に達した
 - ・ 着信を受けた
 - ・ エラーが発生した

1  [メニューを開く] を押す

2 [2]「電話機能」→
[8]「電話帳転送」
を順に押す

転送方法：
・ 一斉
・ 個別

3 [▲] または [▼] で
転送方法を選び
[セット] を押す

転送内線番号
・ 内線2

4 [▲] または [▼] で
転送する子機の内線番号を選び
[セット] を押す

手順3の選択に応じて次に示す手順に進む
「一斉」 → ■一斉転送
「個別」 → ■個別転送

■一斉転送

転送を開始します
スタートを
押してください

5 [スタート/コピー] を押す

内線 2
電話帳転送中
1/45件

電話帳転送
転送終了しました

■個別転送

🔍 佐藤
🔍 鈴木

5 [▲] または [▼] で
転送する電話帳の相手先を選び
[セット] を押す

転送を開始します
スタートを
押してください

6 [スタート/コピー] を押す

内線 2
電話帳転送中

電話帳転送
転送終了しました

7 終了するときは
[ストップ] を押す

途中で転送をやめるときは：[ストップ] を押す。

転送方法について

一斉：親機の電話帳に登録されている電話帳すべてを転送する場合に選択

個別：親機の電話帳から1件ずつ選んで転送する場合に選択

登録された子機の内線番号が表示されます。

子機が2台以上ある場合は、「内線3」や「内線4」が表示されます。

- ・ 転送中に[ストップ]を押すと、[ストップ]を押したところまで転送されます。
- ・ ディスプレイに転送された件数が表示されます。

転送を終了すると電話帳表示画面に戻ります。

続けて他の相手先を転送するには：

手順5～6をくり返す。

■ 転送された相手先を確認するには
子機の「電話帳」を押す。

■ 次のようなメッセージが表示されたら

メッセージ	原因／対処のしかた
「…〇件 転送NG」 「転送できません」	25桁以上の電話番号や、電話番号のないメールアドレスだけが登録された電話帳が含まれている。「〇件」は転送できなかった件数を示す。子機に転送するときは、電話番号を変更／登録してから転送し直す。 →「登録した名前や電話番号などを変更する」(P.3-3)
「電話帳フル」	子機にはすでに最大件数（100件）の電話番号が登録されている。子機の電話帳から不要な電話番号を削除してから転送し直す。 →「登録した相手先を消去する」(P.3-8)

電話帳データを保存する

親機の電話帳データをメールに添付し、自分のメールアドレスに定期的送信します。電話帳データのバックアップができます。

お知らせ

- 電話帳データの自動送信は、毎月1日に送信されます。
 - ・ 親機の時刻が未設定の場合は、送信できません。
 - ・ 親機の電話帳が未登録の場合や自分のメールアドレスが未登録の場合は、送信できません。
 - ・ 親機の電話帳の登録情報のほか、着信鳴り分け指定、プライベートコール指定、個別特定コール指定の設定が保存されます。
 - ・ 子機に登録されている電話帳データの保存は行えません。
- 今現在の電話帳データを保存したい場合は、手動送信してください。

1

メニューを開く

「メニューを開く」を押す

2

「0」「その他」→
「1」「電話帳データ送信」
を順に押す

1. 手動送信

2. 自動送信

3

「▲」または「▼」で
「自動送信」を選び
「セット」を押す

電話帳データ自動送信：
・ する
・ しない

4

「▲」または「▼」で
「する」を選び
「セット」を押す

5

「電話帳データ送信」画面が表示されたら
「ストップ」を押す

電話帳データは毎月1日に自動送信し
送信を開始すると右の画面表示がされる

電話帳データ作成中

電話帳データ
送信中

通信終了

お買い求め時の設定：しない

新たにデータを登録した電話帳を、すぐにデータ保存するときは：
「▲」または「▼」で「手動送信」を選び、[セット]を押す。

3 電話帳を登録する
親機の電話帳に相手先を登録する

電話帳データを復元する

誤って電話帳データを消去してしまった場合などに、自分のメールアドレスに送信しておいた電話帳データを登録（復元）することができます。

お知らせ

- メール自動プリント、未読メールプリントを行った場合、電話帳データの保存用メールはプリントされませんが既読となります。
- 電話帳データの保存用メールは、既読受信メール消去の対象外となります。不要になった保存用メールは個別に消去してください。
→ 「受信メールを消去する」(P.8-33)
- メールの自動到着確認を設定している場合、バックアップデータの送信を完了してから一定時間を経過すると【見てから】が点灯します。
メールを選択・表示すると消灯します。
- 電話帳データの保存用メールは、迷惑メールフィルタの対象外となります。

1 【見てから】を押す

2 【▲】または【▼】で 「受信メール一覧を見る」を選び 【セット】を押す

受信メール一覧を見る
受信ファクス一覧を見る

3 【▲】または【▼】で 件名に「◆◇電話帳データ◇」と 表示されたメールを選び 【セット】を押す

13:30 佐藤 ◇電話帳データ◇
10:20 鈴木 明日の予定
10:10 田中 ファイルを送ります

メール受信中

日付: 2009/ 4/10 13:30:00
差出人: xxx@abc.def.ne.jp
件名: ◇◇電話帳データ◇◇
【ご注意】本メールに添付されているファイルの登録（復元）操作を行うと、現在登

電話帳データ送信で送信したメールの件名には「◆◇電話帳データ◇◇」と表示されます。

お知らせ

- 電話帳データの復元を行うと、復元前に親機に登録されていた電話帳は消去され、復元用電話帳の内容に書き換わります。

4 添付一覧を開く 【添付一覧を開く】を押す

添付ファイル一覧 1/1
[PB]復元用電話帳.pb

5 登録する 【登録する】を押す

電話帳データを
登録（復元）しますか？

6 はい 【はい】を押す

現在の電話帳データは
消去されます
よろしいですか？

中止するときは： いいえ 【いいえ】を押す。

7 はい 【はい】を押す

電話帳登録中

登録しました

中止するときは： いいえ 【いいえ】を押す。

8 【ストップ】を押す

子機の電話帳に相手先を登録する

相手先の電話番号をあらかじめ登録しておくと、電話帳ボタンを使って選ぶだけでかんたんに電話がかけられます。

お知らせ

- 登録できる件数：最大100件
- 子機にメールアドレスは登録できません。
- 複数の子機をお使いの場合、子機ごとに操作してください。
- 「デンワチョウ フル」と表示されたときは、すでに100件の相手先が登録されています。不要な相手先の名前と電話番号を消去してから登録してください。→「登録した相手先を消去する」(P.3-8)
- 60秒以内にボタンを操作しないと、「ピーピーピー」と鳴り、登録が中止されます。中止されたときは最初からやり直してください。
- まちがい電話を防ぐため、電話番号を電話帳に登録するときは、画面を見ながら正しく登録してください。
- 親機の電話帳に登録した相手先を、子機に転送するには：→「親機の電話帳から子機に転送する」(P.3-4)

相手先の名前と電話番号を登録する

1 子機を充電器からとる

- 2 「メニュー」を押し
「デンワチョウトウロク」が表示されたら
もう一度「メニュー」を押し

メニュー
↓デンワチョウトウロク
ナマイ?
ノコリ100ケン

- 3 相手先の名前を入力し
「メニュー」を押し

ナマイ?
サトウ
デンワバンゴウ?
_

- 4 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を入力し
「メニュー」を押し

デンワバンゴウ?
03xxxx1234_
トウロク シマシタ

【通話】が点灯しているときは：「切」を押す。

→「子機をとるだけで使う（クイック通話）」
(P.2-5)

名前の文字数：最大12文字

→「文字入力について」(P.10-16)

電話番号の桁数：最大24桁

12桁を超える番号は横にスクロール表示されます。

ー（ポーズ）を入れるには：

「キャッチ」を押す。

ナンバー・ディスプレイを利用するときは：

・市外局番から入力する。

・「*」「#」「ー（ポーズ）」は入力しない。

途中で登録をやめるときは：「切」を押す。

3 電話帳を登録する

子機の電話帳に相手先を登録する

登録した名前や電話番号を変更する

- 1 子機を充電器からとり
[電話帳] を押す

サトウ
03xxxx1234

【通話】が点灯しているときは：[切] を押す。
→「子機をとるだけで使う（クイック通話）」
(P.2-5)

- 2 [▲] または [▼] で
変更する相手先を選び
[メニュー] を押す

サトウ

- 3 名前を変更し
[メニュー] を押す

スズキ

→「文字入力について」(P.10-16)
電話番号だけ変更するときは：
名前を変更せずに [メニュー] を押す。

- 4 ダイヤルボタンで
電話番号を変更し
[メニュー] を押す

スズキ
06xxxx1234

電話番号の変更方法
番号の入力：ダイヤルボタン
ー（ポーズ）：[キャッチ]
カーソルの移動：[<] [>]
ー文字消去：[保留 消去]
番号をすべて消去：[保留 消去] を長く押す（2秒以上）。

電話番号を変更しないときは：
そのまま [メニュー] を押す。
途中で変更をやめるときは：[切] を押す。

登録した相手先を消去する

お知らせ ● 1度の操作で複数の子機の登録内容は消去できません。

- 1 子機を充電器からとり
[電話帳] を押す

サトウ
03xxxx1234

【通話】が点灯しているときは：[切] を押す。
→「子機をとるだけで使う（クイック通話）」
(P.2-5)

- 2 [▲] または [▼] で
消去する相手先を選び
[保留 消去] を押す

ショウキョ シマスカ?
▲ハイ

- 3 [保留 消去]（または [メニュー]）を押す

ショウキョ シマシタ

消去するのをやめるときは：[切] を押す。

リダイヤルデータを電話帳に登録する

- 1 リダイヤルデータに記録された電話番号を選ぶ

→「同じ相手先にもう一度かける（リダイヤル）」
(子機)手順1～2 (P.2-4)

- 2 [メニュー] を押す

ナマエ?
_ ノコリ 100ケン

「デンワチョウ フル」が表示されたら：
→「登録した相手先を消去する」(本ページ上)

- 3 相手先の名前を入力し
[メニュー] を押す

サトウ

→「文字入力について」(P.10-16)

- 4 [メニュー] を押す

トウロク シマシタ

4 留守番電話を使う

留守設定をする

留守中に受けた電話の用件を録音するときは留守設定をします。留守設定がされているときでも、ファクスは自動的に受けられます。

お知らせ

● 録音できる時間と件数

時間：最大3分／件（すべての用件を合計して最大約40分。自作の応答メッセージの録音時間を含む。）

件数：最大30件

● 着信ベルの回数が8回以上に設定され、「トールセイバ」が「しない」に設定されている場合は、ファクスを自動受信できないことがあります。

→ 「ベルが鳴る回数を変える」(P.7-8)

→ 「録音された用件があるか外出先から確認する（トールセイバ）」(P.4-10)

● 留守設定がされているときでも、受話器や子機をとれば電話が受けられます。

● 在宅中に留守設定をしておく：相手の声をモニタスピーカで確認してから電話にでられます（居留守モニタ）。

親機

1 「留守」を押す

応答メッセージ 固定

応答メッセージが流れます。



留守設定

留守設定がされると応答メッセージが流れ、「留守」が点灯します。

モニタスピーカの音量を調整するには：

応答メッセージが流れている間に調整する。→ 「ベル音／受話音／スピーカ音の音量を調整する」(P.2-14)

子機

お知らせ

● 次のときはリモコン操作ができません。

- ・ ディスプレイに「カイセンシヨウチュウ」と表示されている（親機または他の子機が使用中）。
- ・ 親機でコピーやファクス、スキャンtoパソコンで読み取り動作中、または機能の設定や電話帳の登録をしている（「ビビッ」という音がして「シヨウチュウ」と表示される）。
- ・ ディスプレイに「ツウワケンガイ」と表示されている（電波の届かない場所にいる、または親機の電源プラグが抜けている）。

1 子機を充電器からとる

2 「メニュー」を押す

メニュー
デモンストラチュウ

3 「▲」または「▼」で「リモコンソウサ」を選び「メニュー」を押す

メニュー
リモコンソウサ
リモコンチュウ

4 「リモコンチュウ」が表示されたら「7」を押す

5 「切」を押す

「通話」が点灯しているときは：「切」を押す。

→ 「子機をとるだけで使う（クイック通話）」(P.2-5)

「ビビッ」と音がするときは：

親機が使用中なので、しばらく待ってやり直す。

お知らせ

- 「リモコンチュウ」が表示されてから、1分以内に押します。

留守設定がされると子機を受話口から「留守設定をしました。」のメッセージが流れます。

4 留守番電話を使う

留守設定をする

応答メッセージは本商品の状態に応じて異なります。

本商品の状態	メッセージ「ただいま留守にしております。...」
通常	「...電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方はそのまま送信してください。」※
・用件が録音できない ・ファクスは受信できる (用件がいっぱい)	「...ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますがのちほどおかけ直してください。」
・用件は録音できる ・ファクスが受信できない	「...電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方は恐れ入りますがのちほどおかけ直してください。」
・用件が録音できない ・ファクスが受信できない (メモリ残量が不足)	「...恐れ入りますがのちほどおかけ直してください。」

お知らせ

- 留守設定をしても応答メッセージが聞こえないときは：次の確認をしてください。
 - ・モニタスピーカの音量が「切」になっていないか。→「ベル音／受話音／スピーカ音の音量を調整する」(P.2-14)
 - ・自作の応答メッセージが正しく録音されているか。→「自作の応答メッセージを使う」(P.4-7)
 - ・着信中に「留守」を押したか。→着信中に押すと応答メッセージは聞こえないが、留守設定はされる(呼出ベルに変わったあとでは留守設定ができません)。

※：「通常」の応答メッセージは自作のメッセージに変更できます。→「自作の応答メッセージを使う」(P.4-7)

留守設定をしたとき、メモリ残量が不足していると次のメッセージが流れます。

メッセージ	状態	対処のしかた
「用件がいっぱいです。 不要な用件を消去してください。」	留守設定ができません。	不要な用件を消去する→「録音された用件を聞く／消去する」(P.4-3)
「メモリ残量が少なくなっています。 不要な用件を消去してください。」	すぐに用件を録音できなくなります。	メモリ受信したファクス受信文書がある場合→「■受信ファクスを消去するには」(P.5-10)

留守設定を解除する

親機

お知らせ

- 録音された用件があると：「留守」が点滅し、ディスプレイに録音された用件の件数が表示されます。

1 「留守」を押す

用件再生

留守設定が解除されると録音された用件に応じてメッセージが流れ、「留守」が消灯します。

録音された用件に応じて次のメッセージが流れます。

メッセージ	再生
「用件は〇〇件です。」	録音されたすべての用件が再生されます。1件ごとに録音された日時を音声で知らせます(タイムスタンプ)。 再生を途中でやめるには：「ストップ」を押す。 お知らせ ●ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は：ディスプレイに相手先の電話番号、電話帳に登録された相手先の名前が表示されます。なお、さかのぼり録音のときは表示されません。
「用件はありません。」	録音された用件はありません。

■モニタスピーカの音量を調整するには：→「ベル音／受話音／スピーカ音の音量の調整する」(P.2-14)

子機

1 子機を充電器からとる

2 「メニュー」を押す

メニュー
デモンストラチュウ

3 「▲」または「▼」で「リモコンウサ」を選び「メニュー」を押す

メニュー
リモコンウサ
リモコンチュウ

4 「リモコンチュウ」が表示されたら「9」を押す

【通話】が点灯しているときは：「切」を押す。

→「子機をとるだけで使う(クイック通話)」(P.2-5)

「ビビッ」と音がするときは：

親機が使用中なので、しばらく待ってやり直す。

お知らせ

- 「リモコンチュウ」が表示されてから、1分以内に押します。

留守設定が解除されると子機の受話口から「留守設定を解除しました。」のメッセージが流れます。

5 「切」を押す

録音された用件を聞く／消去する

録音された用件は留守設定を解除したときに自動的に再生されますが、一度再生された用件でも消去しなければ何度でもくり返し聞くことができます。

親機

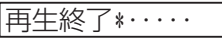
1 [再生]を押す

用件が再生されます。

再生された用件が聞こえないときは：

モニタスピーカの音量が「切」になっていないか確認する。→「ベル音／受話音／スピーカ音の音量を調整する」(P.2-14)

■ 用件を消去するには

消去する用件	操作のしかた
再生中の用件（1件）を消去する	1. 消去する用件が再生されている間に  [消去する] を押す。 消去する用件の再生終了後に「消去しました。」というメッセージが流れ、次の用件が再生されます。 お知らせ ● すぐに用件を消去したいときは：手順1で  [消去する] [3] を順に押すと、用件と録音日時の再生を待たずに用件が消去され、次の用件が再生される。 2. 操作を終了するときは [ストップ] を押す。
聞き終わった用件をすべて消去する （一部でも再生した用件は消去される）	再生終了後、右の画面が表示されている間（約6秒間）  [再生終了*.....] に  [消去する] を押す。

お知らせ

● 録音された用件をすべて（再生していないものも含めて）消去するには：→「録音された用件をすべて消去する」(P.4-4)

● 録音された用件を通話中の相手に聞かせるには：→「通話中に留守番電話の用件を再生する」(P.4-4)

子機

1 子機を充電器からとる

2 [メニュー]を押す

メニュー
↓デジタライズ

3 [▲] または [▼] で 「リモコンソウサ」を選び [メニュー]を押す

メニュー
↓リモコンソウサ
リモコンチュウ

4 「リモコンチュウ」が表示されたら [2]を押す

[通話] が点灯しているときは： **[切]** を押す。

→「子機をとるだけで使う（クイック通話）」(P.2-5)

「ビビッ」と音がするときは：

親機が使用中なので、しばらく待ってやり直す。

お知らせ

● 「リモコンチュウ」が表示されてから、1分以内に押します。

用件が再生されます。

5 [切]を押す

■ 用件を消去するには

消去する用件	操作のしかた
再生中の用件（1件）を消去する	1. 消去する用件が再生されている間に [8] を押す。 消去する用件の再生終了後に「消去しました。」というメッセージが流れ、次の用件が再生されます。 お知らせ ● すぐに用件を消去したいときは：手順1で [8] [3] を順に押すと、用件と録音日時の再生を待たずに用件が消去され、次の用件が再生される。 2. 操作を終了するときは [切] を押す。
聞き終わった用件をすべて消去する （一部でも再生した用件は消去される）	再生終了後、「ビビビビビ」の音が聞こえている間（約6秒間）に [8] を押す。 「再生済みの用件を消去しました。」のメッセージが流れたら、 [切] を押す。

4 留守番電話を使う

録音された用件を聞く／消去する

再生中の操作

再生速度を変えたり、再生中の用件をとばして次の用件を聞いたり、もう一度最初から聞いたりすることができます。

操作	ボタン		詳細
	親機	子機	
再生速度を変える	[再生]	[2]	押すたびに「通常→高速→低速→通常...」の順で変わる。
最初から再生する	[1]	[1]	再生中の用件を最初から再生する。2度続けて押すと、1つ前の用件を再生する。
次の用件を再生する	[3]	[3]	次の用件を再生する。2度続けて押すとさらに次の用件を再生する。
再生をやめる	[ストップ]	[#]	再生を中止する。 お知らせ ● 再び最初から再生するには 親機 [再生] を押す。 子機 [2] を押す。
消去する（1件）	 [消去する]	[8]	再生中の用件を消去する。 再生終了後に「消去しました。」のメッセージが流れる。

■再生中にスキップしたいときは（30秒スキップ再生）

用件を再生しているときに、再生箇所をスキップすることができます。

お知らせ ● 子機では操作できません。

ボタン	機能
[#]	1回押すと、約30秒先に進む。
[*]	1回押すと、約15秒前に戻る。

通話中に留守番電話の用件を再生する

 通話中

通話中に留守番電話の用件を相手に聞かせることができます。

親機

お知らせ ● 子機では操作できません。
● さかのぼり録音で録音した用件があると、その用件も再生されます。

1 用件を相手に聞かせるときに
[再生] を押す

0分15秒 1 / 2

待受時の再生と同じ操作で再生速度を変えたり、用件をとばして再生したりできます。
📖 「再生中の操作」（本ページ上）

2 再生を終了するときは
[ストップ] を押す

録音された用件をすべて消去する

まだ一度も再生していない用件も含めてすべて消去します。

親機

お知らせ ● 子機では操作できません。

1  [メニューを開く] を押す

2 [4] 「留守番電話機能」 →
[1] 「全用件消去」
を順に押す

全ての用件を
消去しますか？

3  [はい] を押す

消去しました

消去をやめるときは：
 [いいえ] を押す。

お知らせ ● 一度再生された用件だけ消去するには：📖 「■用件を消去するには」（P.4-3）

着信ベルや動作音を鳴らなくする（おやすみモード）

おやすみモードに設定すると着信ベルやファクス受信時の動作音が鳴らなくなります。就寝時など、電話やファクスの動作音が気になるときに設定してください。

お知らせ

- おやすみモードに設定すると
 - ・ 着信ベルが鳴りません。ただし、特定の相手先からの着信だけベルを鳴らすように設定することもできます。
→ 「あらかじめ選んだ相手先だけベル音を鳴らす（とくていコール）」（P.6-5）
 - ・ 留守設定されます。受けた電話には留守番電話が応答します。モニタスピーカから音（相手の声など）は出ません。
 - ・ ファクスはメモリに受信します。「ピー」という受信音は鳴りません。
- メモリ残量が不足していると、留守設定されないことやデータ量の多いファクスを受信できないことがあります。不要な用件を消去するか、メモリに蓄積されたファクス受信文書を出力または消去してから設定してください。
 - 「録音された用件を聞く／消去する」（P.4-3）
 - 「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」（P.5-9）
- おやすみモードのとき受けた電話やファクスは
 - ・ 受けた電話は留守番電話が録音します。→ 「録音された用件を聞く／消去する」（P.4-3）
 - ・ 受けたファクスはメモリに蓄積されます。「受信ファクスの扱い」が「プリント」の場合、おやすみモードを解除すると記録紙にプリントされます。

おやすみモードを設定する／解除する

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

1 「おやすみ」を押す

- ・ 消灯しているときに押すと、設定されます。
- ・ 点灯しているときに押すと、解除されます。

設定されると：「おやすみ」と「留守」が点灯します。

- ・ 用件が録音されると「留守」が点滅します。

解除されると：「おやすみ」と「留守」が消灯します。

- ・ 録音された用件があると再生されます。→ 「留守設定を解除する」（P.4-2）
- ・ 「受信ファクスの扱い」が「プリント」の場合、メモリに受信したファクス受信文書があるとプリントされます。

■ おやすみモードを設定する前に留守設定をしていたときは

- ・ おやすみモードだけ解除するには：「おやすみ」を押す。
- ・ おやすみモードと同時に留守設定も解除するには：「留守」を押す。

開始時刻／終了時刻で自動的に切り替える

あらかじめ時間帯（開始時刻／終了時刻）を設定しておくと、自動的におやすみモードに切り替わります。

お知らせ

- 開始時刻と終了時刻をそれぞれ設定します。
 - ・ 開始時刻だけ設定した場合は、手動で解除します。
 - ・ 終了時刻だけ設定した場合は、手動でおやすみモードに設定したあと、終了時刻になると自動的に解除されます。
- 次の場合は、おやすみモードが自動的に解除されたときに留守設定されます。
 - ・ 留守設定してから、おやすみモードを設定したとき。
 - ・ 用件が録音されているとき。
- メモリ残量が不足しているとおやすみモードに切り替わらないことがあります。不要な用件を消去するか、メモリに蓄積されたファクス受信文書を出力または消去してください。
 - 「録音された用件を聞く／消去する」（P.4-3）
 - 「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」（P.5-9）
- 停電したときはおやすみモードが解除されます。現在の時刻を設定するまでタイム切替は機能しません。→ 「時刻の設定」（P.1-11）

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

1 「メニューを開く」を押す

2 [4]「留守番電話機能」→ [8]「おやすみタイム切替」 を順に押す

おやすみ開始タイム：
・ する
・ しない

3 [▲] または [▼] で 開始時刻の設定「する」または「しない」を選び [セット]を押す

手順3で「しない」を選んだ場合は、手順5へ進む

お買い求め時の設定

おやすみ開始タイム：しない

おやすみ終了タイム：しない

4 留守番電話 を使う

おやすみモード

- 4** ダイヤルボタンで
開始時刻を入力し
[セツト] を押す

おやすみ開始時刻

2 : 05

おやすみ終了タイマ：
・する

しない

- 5** [▲] または [▼] で
終了時刻の設定「する」または「しない」を選び
[セツト] を押す

手順5で「しない」を選んだ場合は、手順7へ進む

- 6** ダイヤルボタンで
終了時刻を入力し
[セツト] を押す

おやすみ終了時刻

7 : 00

- 7** 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

開始時刻（手順4）と終了時刻（手順6）は、24時間制で入力します。

一桁の時刻は十の位に0を入れます。

例：午後10時5分→ [2] [2] [0] [5]

入力した時刻の訂正方法

1桁訂正：カーソルを合わせ再入力する



[クリアする] を押すと、「00 : 00」に戻る

表示された時刻を変更しないときは：

そのまま [セツト] を押す。

その他の留守番電話機能

自作の応答メッセージを使う

留守番電話の応答メッセージにはあらかじめ内蔵された固定のメッセージがありますが、その他に自分で録音したメッセージも使えます。応答メッセージの録音は本商品を使って行います。

お知らせ

● 録音できるメッセージの数と録音時間は

メッセージの数：2種類（録音し直せる） 録音時間：約20秒（1種類のメッセージにつき）

● 留守設定されたままでも録音できます。

● できるだけ人の声だけのメッセージを録音することをおすすめします。本商品の録音方式は人の声に合わせて設定されています。

● 「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。」とメッセージが流れたときは、不要な用件を消去してから録音してください。 → 「録音された用件を聞く／消去する」(P.4-3)

親機

お知らせ

● 子機では操作できません。

応答メッセージを録音する

1 [メニューを開く] を押す

2 [4]「留守番電話機能」→ [3]「応答メッセージ録音」 を順に押す

応答メッセージ録音：
・ 応答メッセージ1
・ 応答メッセージ2

3 [▲] または [▼] で 「応答メッセージ1」または 「応答メッセージ2」を選び [セット] を押す

受話器を
上げて下さい

4 受話器をとり [スタート/コピー] を押す

録音開始
スタートを
押して下さい

録音中 20秒
終了はストップボタン

5 録音を終了するときは [ストップ] を押し 受話器を戻す

受話器を
置いて下さい

応答メッセージ再生中

お知らせ

● すでに録音されたメッセージがあると上書き消去されます。録音し直す方を選んでください。

録音する音声は受話器に向けます。

お知らせ

● 20秒以内で録音します。20秒を過ぎると自動的に録音が終了します。

● 録音中に着信があると中止されます。最初から録音し直してください。

終了すると録音したメッセージが再生されます。

お知らせ

● [ストップ] を押さずに受話器を戻すと、受話器を戻す音が録音されてしまいます。

■ 録音したメッセージを変更するには 最初から録音し直す。

録音した応答メッセージを消去する

1 [メニューを開く] を押す

2 [4]「留守番電話機能」→ [4]「応答メッセージ消去」 を順に押す

応答メッセージ消去：
・ 応答メッセージ1
・ 応答メッセージ2

3 [▲] または [▼] で 「応答メッセージ1」または 「応答メッセージ2」を選び [セット] を押す

応答メッセージ1
消去しますか？

4 [はい] を押す

消去しました

お知らせ

● 本商品にあらかじめ内蔵された固定のメッセージは消去できません。

消去したい方を選んでください。

消去をやめるときは：

 [いいえ] を押す。

4 留守番電話
を使う

その他の留守番電話機能

応答メッセージを選ぶ

- 1 留守設定をして
応答メッセージが流れている間に
[<] または [>] で選択する



応答メッセージ 固定

お知らせ

- 自作のメッセージが録音されていないと選択できません。➡「応答メッセージを録音する」(P.4-7)
- ・ 留守設定をしたときは、前に使用したメッセージが選択されています。
- ・ 留守設定をして応答メッセージが流れている間に操作します。➡「留守設定をする」(P.4-1)

外出先から操作する（外線リモート）

外出先から電話をかけて留守番電話に録音された用件を聞くことができます。留守番電話の設定を変えることもできます。

お知らせ

- 着信モードの設定が「電話専用」で、留守設定をしていない場合は、外線リモート操作ができません。➡「着信モードの説明と設定方法」(P.5-12)

リモート操作を設定する

外出先からリモート操作ができるように設定します。外出先からの電話がご本人であることを確認するためのパスワード(4桁の暗証番号)もあわせて設定します。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- パスワードは4桁の数字を自分で決めます。また、他人に知られないように注意してください。

- 1 [メニューを開く] を押す

- 2 [4]「留守番電話機能」→
[6]「リモート操作」
を順に押す

リモート操作：
・ する
・ **しない**

- 3 [▲] または [▼] で
「する」を選び
[セット] を押す

リモートPW入力

- 4 ダイヤルボタンで
パスワードを入力し
[セット] を押す

リモートPW入力

- 5 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

1234

お買い求め時の設定：しない

リモート操作を解除する場合は：

「しない」を選び、[セット] を押す。
「設定しました」と表示されたら解除されました。
[ストップ] を押すと待受中に戻ります。

入力を間違えたときは：

[クリアする] を押して、入力し直す。

すでに入力されているときは：

変更する場合は入力し直す。変更しない場合はそのまま [セット] を押す。

外出先から留守設定をする

外出先から本商品に電話をかけて操作します。トーン信号（プッシュ信号）を送れる電話機からかけてください。

お知らせ

- 着信モードの設定が「電話専用」のとき、外出先からの留守設定はできません。➡「着信モードの説明と設定方法」(P.5-12)
- ダイヤルインをご利用の場合は、親機の番号に掛けてください。
- パスワードの入力を3回間違えると電話が切れます。そのときは電話をかけ直してください。

- 1 外出先から本商品に電話をかける

- 2 呼出音が変わったら
#、パスワード、#の順でダイヤルする

#1234#

ダイヤルの例

- 3 「パスワードが一致しました。」
「留守設定をしました。」
のメッセージが聞こえたら
電話を切る

パスワードは「リモート操作を設定する」(➡本ページ上) で決めた4桁の数字です。

「パスワードを入れ直してください。」のメッセージが聞こえたら：もう一度、パスワードをダイヤルする (例：#1234#)。

外出先から用件の再生／留守設定／留守電ケータイ転送設定を操作する

外出先から本商品に電話をかけて操作します。トーン信号（ブッシュ信号）を送れる電話機からかけてください。

お知らせ

- 留守設定されていない場合は先に留守設定をします。☎「外出先から留守設定をする」(P.4-8)
- 電話をかけたときに応答メッセージが流れず呼出音が変わったら、留守設定されていません。
- ダイヤルインをご利用の場合は、親機の番号にかけてください。
- パスワードの入力を3回間違えると電話が切れます。そのときは電話をかけ直してください。
- 携帯電話やPHSから操作するときは、送話口から雑音が入らないように注意してください。
- 外線リモートで再生するだけでは用件は消去されません。

1 外出先から本商品に電話をかける

2 応答メッセージが流れている間に #、パスワード、#の順でダイヤルする

#1234#

ダイヤルの例

お知らせ

- 最初の「#」をダイヤルすると応答メッセージが止まります。止まらないときはもう一度「#」からダイヤルします。

パスワードは「リモート操作を設定する」(☎ P.4-8) で決めた4桁の数字です。

「パスワードを入れ直してください。」のメッセージが聞こえたら：もう一度、パスワードをダイヤルする（例：#1234#）。

ナンバー・ディスプレイを利用している場合は：用件のあとに相手先の電話番号が音声で通知される。

お知らせ

- 用件が再生されたあと、しばらくの間（約1分間）何もしないと電話が切れます。

3 「パスワードが一致しました。」 「用件は○件です。」 のメッセージのあとに 用件が再生される

さまざまな操作ができます

☎■外線リモート操作（本ページ下）

4 操作が終わったら 電話を切る

■外線リモート操作

操作		ダイヤルボタン (外出先の電話機)	詳細
再生	1つ前の用件	#1#（再生中に押す）	1つ前の用件を再生する。 1つ目の用件を再生しているときは最初から再生する。
	再生	#2#	最初から再生する。
	速度を変える	#2#（再生中に押す）	通常→高速→低速→（通常に戻る）の順で変わる。
	次の用件	#3#（再生中に押す）	次の用件を再生する。続けて押すとさらに次の用件を再生する。
消去	再生中の用件（1件）	#8#（再生中に押す）	再生中の用件（1件）が消去される。
	再生済の用件（全件）	#8# （ピッピッピの間に押す）	再生を終了したあと、「ピッピッピ」の音がしている間（約6秒間）に押すと、再生済みの用件がすべて消去される。
留守電ケータイ転送	設定	#61#	☎「録音した用件を外出先に転送する（留守電ケータイ転送）」(P.4-10)
	解除	#62#	
留守設定	設定	#7#	☎「留守設定をする」(P.4-1)
	解除	#9#	☎「留守設定を解除する」(P.4-2)

4 留守番電話 を使う

その他の留守番電話機能

録音された用件があるか外出先から確認する（トールセイバ）

呼出音の回数で録音された用件があるかどうか確認できます。録音された用件がないときは通話料金がかかる前に電話を切ることができます。

トールセイバを設定すると電話がつながるまでの呼出音の回数が右に示すように変わります。呼出音が3回鳴ったときは録音された用件がないので、そのとき電話を切ると通話料金がかかりません。

用 件	呼出音
ある	2 回
ない	5 回

親 機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- すでに再生した用件でも消去されずに残っていると、録音された用件があるものとして動作します。

1

メニュー
を開く

〔メニューを開く〕を押す

2

〔4〕「留守番電話機能」→
〔5〕「トールセイバ」
を順に押す

トールセイバ：
・ する
・ **しない**

3

〔▲〕または〔▼〕で
トールセイバ「する」または「しない」を選び
〔セット〕を押す

4

「設定しました」と表示されたら
〔ストップ〕を押す

お買い求め時の設定：しない

録音した用件を外出先に転送する（留守電ケータイ転送）

あらかじめ転送先の電話番号を登録しておく、留守番電話の用件が録音されたときに自動的に転送先に電話をかけて、用件転送することができます。

お知らせ

転送先に設定できる電話番号：1件

- 留守電ケータイ転送は、留守設定しているときに動作します。→「留守設定をする」（P.4-1）
- あらかじめ「リモート操作」を「する」にしておく必要があります。→「リモート操作を設定する」（P.4-8）
- 転送先にはトーン信号（ブッシュ信号）を送れる電話機を指定してください。
- 録音された用件が6秒未満のときは転送されません。
- おやすみモードに設定しているときは転送されません。
- 用件が録音されてから転送されるまでに親機の電源が切れた場合は転送されません。

留守電ケータイ転送を設定する

親 機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- 転送先に指定した携帯電話やPHSの電源が入っていないときは転送できないことがあります。
- 転送を試みている途中で新たな用件が録音された場合は、先に録音された用件から転送を試みた回数が手順5で設定した回数になった時点で、転送は中止されます。

1

メニュー
を開く

〔メニューを開く〕を押す

2

〔4〕「留守番電話機能」→
〔7〕「留守電ケータイ転送」を
順に押す

留守電ケータイ転送：
・ する
・ **しない**

3

〔▲〕または〔▼〕で
留守電ケータイ転送「する」を選び
〔セット〕を押す

転送先番号入力

お買い求め時の設定：しない

留守電ケータイ転送を解除する場合は：

「しない」を選び、〔セット〕を押す。
「設定しました」と表示されたら解除されました。
〔ストップ〕を押すと待受中に戻ります。

- 4 ダイヤルボタンで
転送先の電話番号を入力し
[セット] を押す

転送先番号入力
03xxxx1234
転送回数
10回

- 5 ダイヤルボタンで
転送回数を入力し
[セット] を押す

- 6 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

- 転送先の電話番号や転送回数を変更するには
手順1からやり直してください。

電話番号の桁数：最大40桁

入力を間違えたときは：

 [クリアする] を押し、入力し直す。

携帯電話やPHS以外の電話番号も転送先に指定できます。

設定できる転送回数：01～10回

お知らせ

- 電話がつながらなかったときに指定した回数だけくり返し転送を試みます。

転送を試みる時間間隔：

1～5回までは1分間隔、それ以後は30分間隔でくり返す。

留守番電話の用件が録音されると「用件転送待ち」と表示されます。また、転送中は「用件転送中」と表示されます。

転送先で用件を聞く

あらかじめ指定した電話機で受けて操作します。→「留守電ケータイ転送を設定する」(P.4-10)

- 1 転送先で電話を受ける

- 2 「用件転送します。パスワードを入れてください。」の
メッセージが流れている間に
#、パスワード、#の順でダイヤルする

#1234#
ダイヤルの例

パスワードは「リモート操作を設定する」(→P.4-8) で決めた4桁の数字です。

お知らせ

- 最初の「#」をダイヤルすると応答メッセージが止まります。止まらないときはもう一度「#」からダイヤルします。
- メッセージが5回流れる間にパスワードをダイヤルしないと電話が切れます。
- パスワードを入力する前に電話を切ると留守電ケータイ転送がくり返されることがあります。
- パスワードの入力を3回間違えると電話が切れます。そのときは電話をかけ直してください。

「パスワードを入れ直してください。」のメッセージが流れたら：もう一度、パスワードを入れ直す
(例：#1234#)。

- 3 「パスワードが一致しました。」
「用件は○件です。」
のメッセージのあとに
用件が再生される

- 4 用件を聞き終わったら
電話を切る

- 転送先で再生速度の切り替えや用件の消去／留守電ケータイ転送の設定や解除／留守設定などを行うには
手順2でパスワードをダイヤルしたあとに外線リモートの操作を行う。→「■外線リモート操作」(P.4-9)

4 留守番電話 を使う

その他の留守番電話機能

5 ファクス／コピーを使う

原稿のサイズ／読み取れる範囲

■ 読み取れる原稿のサイズと厚さ

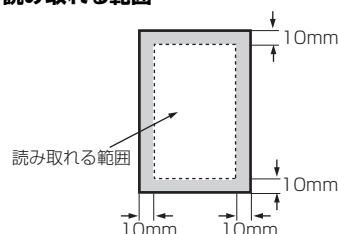
原稿の枚数		1枚	2枚以上
幅×長さ	最大	210mm×600mm (コピーのとき：A4サイズ)	210mm×297mm (A4サイズ)
	最小	128mm×128mm	
厚さ*		0.05～0.15mm	0.065～0.10mm

※：厚さの目安：新聞紙：約0.05～0.06mm 上質紙：約0.10mm

官製はがき：約0.23mm

この取扱説明書（このページ）の厚さが約0.08mmです。

■ 読み取れる範囲



お知らせ

- 1枚だけセットするときと2枚以上セットするときでは、読み取れるサイズと厚さが異なります。
- 幅や厚さが異なる原稿を一緒にセットしないでください。
- クリップやホチキスの針は取り除いてください。
- インクや修正液、ノリなどはよく乾かしてからセットしてください。
- 鉛筆などで書かれた原稿には、キャリアシートをお使いください。
- 次のような原稿をファクスで送るときは、あらかじめ上記の表「■読み取れる原稿のサイズと厚さ」に合った普通紙に、本商品とは別のコピー機でコピーしてからセットしてください。
 - ・ 透明な原稿（フィルムやトレーシングペーパーなど）。
 - ・ ノリやテープで貼り合わせた原稿。
 - ・ やぶれやしわのある原稿。まるまった原稿。
 - ・ 上記の「読み取れる原稿のサイズ」より小さい原稿、大きい原稿。
 - ・ 化学処理された原稿（感熱紙、感圧紙、裏カーボン紙など）。
 - ・ 上記の「読み取れる原稿の厚さ」より薄い原稿、厚い原稿。

原稿セットのしかた

お知らせ

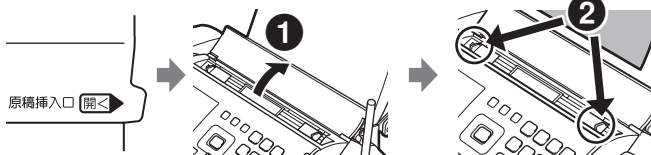
- セットできる原稿の枚数：最大5枚
- 6枚以上の原稿を送る場合、送信の途中で追加しないでください。何回かに分けて送ってください。
- 記録紙排出口に残っている紙は、あらかじめ取り除いてください。
- セットした原稿は無理に引き抜かないでください。セットした原稿を取り除くときは、[ストップ]を押してください。

1 原稿挿入口カバーを開く

2 原稿セットガイドを読み取る原稿の幅に合わせる

お知らせ

- 原稿セットガイドが原稿の幅に合っていないと、原稿が斜めに入ったり、紙ぶまりの原因になります。



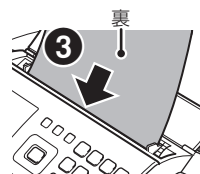
3 読み取る面を「裏向き」に原稿を軽く差し込む

- ・ 原稿が自動的に引き込まれるまで、軽く差し込んでください。

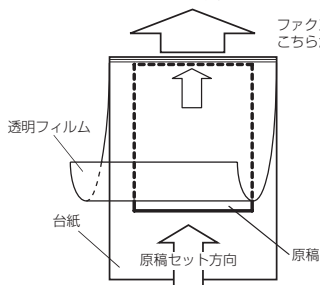
お知らせ

- 無理に押し込まないでください。原稿は自動的に2cm程度引き込まれます。

- ・ 2枚以上の原稿をセットすると下（裏向きに伏せた面）から順に読み取られます。



■ キャリアシートの使いかた



ファクスの原稿挿入口へは
こちらから差し込んでください

1. 左図のように原稿をキャリアシートの台紙と透明フィルムの間にセットしてください。原稿は奥までしっかり差し入れてください。
2. 読み取る面を「裏向き」にして、キャリアシートの台紙と透明フィルムとのじしろ側を原稿挿入口に差し込んでください。

お知らせ

- キャリアシートをお使いの場合、一度に読み取れる原稿枚数は1枚です。

原稿の画質や読み取り濃度を変える

ファクスやコピーで原稿を読み取るときの濃度や画質を調整できます。濃度や画質のモードを調整すると、小さい文字や写真の原稿を鮮明に読み取ったり、大きな文字の原稿を短時間で読み取ったりすることができます。原稿の色や濃度に応じて調整してください。

お知らせ

- 次のような原稿は鮮明に読み取れないことがあります。
 - ・ 青色のサインペンやボールペンで書いた原稿（ブルーブラックや紺色に近いものは読み取れます）
 - ・ うすい鉛筆や蛍光マーカーで書いた原稿
 - ・ 下地が赤色で文字や図が黒色の原稿（モノクロでは赤と黒が判別できません）
- 受信したファクスの濃度は調整できません。相手先のファクスの送信濃度を調整してもらってください。
- コピーをとると読み取り濃度を確認することができます。ファクスを送る前に確認することをおすすめします。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

1 原稿をセットし

画質を
変更する

「画質を変更する」を押す

スキャン画質：普通
スキャン濃度：■■■■□□

2 [▲] または [▼] で

「スキャン画質」または「スキャン濃度」を選び
設定を選んで「セット」を押す

お買い求め時の設定：

スキャン画質：普通

スキャン濃度：■■■■□□

➡ 「原稿セットのしかた」(P.5-1)

スキャン画質の選びかた：

[▲] または [▼] で画質を選ぶ。➡ 「画質の目安」(本ページ下)

スキャン濃度の選びかた：

[▲] または [▼] で濃度を選ぶ。➡ 「読み取り濃度の目安」(本ページ下)

お知らせ

- 読み取り濃度は、通常は「■■■■□□」(普通)に戻しておいてください。

画質を変更しないときは：[変更を取り消す]を押す。

ファクスを送る：➡ 「自動送信する」(P.5-3)

コピーをとる：➡ 「コピーをとる」(P.5-14)

3

変更を
完了する

「変更を完了する」を押し

そのまま続けてファクスを送ったりコピーをとる

■ 画質の目安

画質	読み取り時間	原稿の画質（目安）	注意
普通 ※1	短い ↑ ↓ 長い	文字の大きさが このくらいのとき	※1：「普通」に設定しても、コピーは「小さい」で読み取られます。 ※2：色地の原稿を送るときは「普通」または「小さい」に設定してください。「写真」で送ると送信時間が極端に長くなることがあります。 ※3：「写真」に設定したとき白い部分にゴマ模様が出るときは、読み取り濃度をうすくしてみてください。 ➡ 「原稿の画質や読み取り濃度を変える」(本ページ上)
小さい		文字の大きさが このくらいのとき	
写真 ※2、3		写真があるとき 	

お知らせ

- 黒い部分が多い原稿、色地の原稿、縦の罫線のある原稿はファクスの送信時間が長くなることがあります。
- 画質モードの設定によってモーター音が大きくなるがありますが、故障ではありません。

色のついた原稿や文字がうすい原稿のときは：➡ 「原稿の画質や読み取り濃度を変える」(本ページ上)

■ 読み取り濃度の目安

読み取り濃度	表示	原稿の目安
よりうすく読み取る	■□□□□	色の濃い原稿
↑	■■□□□	下地に色がある原稿、新聞など
普通	■■■□□	コピーした原稿、黒のペンで書いた原稿など
↓	■■■■□	鉛筆で書いた原稿など
より濃く読み取る	■■■■■	うすい色の原稿

ファクスを送る

お知らせ

- 子機では操作できません。
- あらかじめ原稿に適した画質の設定になっていることを確認してください。→ 「原稿の画質や読み取り濃度を変える」(P.5-2)
- 原稿は自動的に排出されます。途中で一時的に止まる場合がありますが、無理に引き抜かないでください。
- 相手先のファクスの機種によって、送信時間が長くなることがあります。
- 海外にファクスを送るときは：→ 「海外へ送るとき（海外通信）」(P.5-6)

自動送信する

1 原稿をセットする

2 「ファクスを使う」を押す

3 または で「ファクスを送る」を選び「セット」を押す

1. 電話帳から宛先を選ぶ
2. 着信履歴から宛先を選ぶ
3. リダイヤルから宛先を選ぶ
4. 直接ダイヤルする

4 または で宛先の選びかたを選び「セット」を押す

5 または で宛先を選び「スタート/コピー」を押す

原稿が排出され、「ピーツ」と鳴ったら送信終了です。

→ 「原稿セットのしかた」(P.5-1)

「直接ダイヤルする」を選んで送信するときは：ダイヤルボタンで宛先を入力し、「スタート/コピー」を押す。

途中で送信をやめるときは：「ストップ」を押す。
原稿が排出されずに残ったときは、もう一度「ストップ」を押すと排出される。

お知らせ

- 「リダイヤル待ち 1回目」と表示されることがあります。これは、送信相手が話し中などで送信できない場合、自動的に送信をくり返している場合（オートリダイヤル）に表示されます。約1分間隔で5回までくり返し、それでも送信できない場合は不達レポートがプリントされます。→ 「送れなかったファクスを確認する（不達レポート）」(P.5-6)

電話をかけて通話中に送る（手動送信）

電話をかけてから、そのまま通話中にファクスを送れます。相手先のファクスが自動受信になっていない場合、電話で受信操作をお願いしてから送ります。相手先から電話がかかってきた場合も、そのまま通話中にファクスを送れます。

1 原稿をセットする

2 電話をかけ相手に受信操作をお願いする

3 「スタート/コピー」を押して電話を切る

→ 「原稿セットのしかた」(P.5-1)

→ 「電話をかける」(P.2-1)
受話器から「ピーヒョロヒョロ」という音がするときは、相手先のファクスが自動受信になっています。そのまま手順3に進みます。

「スタート/コピー」を押したあとに、相手が受信操作をしても送れます。
電話を切らずにそのまま通話続けることもできます。

途中で送信をやめるときは：「ストップ」を押す。
原稿が排出されずに残ったときは、もう一度「ストップ」を押すと排出される。

お知らせ

- 不達レポートがプリントされたとき：→ 「送れなかったファクスを確認する（不達レポート）」(P.5-6)
 - ・ 途中で送信をやめたときは、不達レポートはプリントされません。
 - ・ 不達レポートをプリントしないように設定することもできます。→ 「送れなかったファクスを確認する（不達レポート）」(P.5-6)
 - ・ 不達レポートをプリントしないように設定しているときは、通信管理レポートを確認してください。→ 「リストをプリントする」(P.7-11)

ファクス送信に関する登録／設定

自分の名前や電話番号をつけて送る

自分の電話番号を相手先の受信記録に表示させたり、自分の名前や電話番号を相手先の記録紙にプリントさせたりできます。名前や電話番号をつけて送ると、相手先では誰から受けたファクスなのか確認できます。

相手先の受信記録に自分の電話番号を表示させる

相手先の受信記録に表示させる電話番号を登録します。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- 登録した電話番号は相手先のディスプレイに表示されたり、通信管理レポートにプリントされたりします。ファクスの内容と一緒に記録紙にプリントされる電話番号ではありません。
- 相手先のファクスによっては表示やプリントができないことがあります。
- ご自宅の電話番号が変わったときは登録し直してください。

1  [メニューを開く] を押す

2 [1]「初期設定」→
[6]「自分の電話番号」
を順に押す

自分の電話番号

3 ダイヤルボタンで
自分の電話番号を入力し
[セット] を押す

自分の電話番号

03xxxx1234

4 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

■ 登録した電話番号を変更するには

手順3で  [クリアする] を押して、番号を入力し直す。

■ 登録した電話番号を消すには

手順3で  [クリアする] を押して、[セット] を押す。

お買い求め時の設定：未登録

電話番号の桁数：最大20桁

入力した電話番号を修正するには：

【<】または【>】で修正する文字にカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力し直す。

スペース（空白）を入力するには： [スペースを入力する] を押す。

相手先の記録紙に印字する発信元を登録する（発信元登録）

送ったファクスの内容と一緒に相手先の記録紙にプリントさせる名前や電話番号を登録します。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- 登録した文字はファクスを送ると相手先の記録紙の上端にプリントされます。
- 電話番号をプリントさせるには、入力する文字列の中に含めます。「相手先の受信記録に自分の電話番号を表示させる」（ 本ページ上）で登録した電話番号はプリントされません。

1  [メニューを開く] を押す

2 [1]「初期設定」→
[8]「発信元登録」
を順に押す

発信元の名前
を入力します
セットを押して下さい

3 [セット] を押し
プリントさせる名前や電話番号を入力し
[セット] を押す

佐藤

4 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

■ 登録した発信元を変更するには

手順3で  [消去する] を押して、入力し直す。

■ 登録した発信元を消すには

手順3で  [消去する] を押して、すべての文字を消してから、[セット] を押す。

お買い求め時の設定：未登録

発信元を示す名前や電話番号を入力します。

登録できる文字数：最大40文字

 「文字入力について」(P.10-13)

相手先の記録紙に発信元を印字する（発信元記録）

あらかじめ登録した発信元の名前や電話番号を、相手先の記録紙にプリントするかしないかを設定します。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- プリントさせる発信元の名前や電話番号をあらかじめ登録する必要があります。
→ 「相手先の記録紙に印字する発信元を登録する（発信元登録）」（P.5-4）

1  [メニューを開く] を押す

2 [1]「初期設定」→
[7]「発信元記録」
を順に押す

発信元記録：
・ する
・ しない

3 [▲] または [▼] で
プリント「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定：プリントする

- ・ 「する」に設定すると、本商品に設定した日付や時刻、ページ番号もプリントされます。
- ・ 「しない」を選択すると、日付や時刻、ページ番号もプリントされません。

お知らせ

- 登録内容を確認するには：システムリストをプリントすると登録内容が確認できます。→ 「リストをプリントする」（P.7-11）

■ プリント例（相手先の記録紙）

自動的にプリントされます。 登録した内容がプリントされます。 時刻を設定しているときは日付・時刻がプリントされます。 ページ番号が自動的にプリントされます。

FROM 佐藤 2009年 4月 1日 12時00分 P. 1

ダイヤルトーンを待って発信する（ダイヤルトーン検出）

ファクスを送るときや留守電ケータイ転送するときに、ダイヤルトーンを検出してから発信するように設定できます。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

1  [メニューを開く] を押す

2 [3]「ファクス機能」→
[6]「ダイヤルトーン検出」
を順に押す

ダイヤルトーン検出：
・ する
・ しない

3 [▲] または [▼] で
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定：しない

ダイヤルトーンを待たずに発信するには：
「しない」を選ぶ。

海外へ送るとき（海外通信）

海外へファクスを送るとき通信ミスが少なくなるように設定できます。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- ファクスを受けるときの通信には影響しません。

1

メニュー
を開く

「メニューを開く」を押す

2

「3」「ファクス機能」→
「2」「海外通信」
を順に押す

海外通信：
・ する
・ **しない**

3

「▲」または「▼」で
「する」または「しない」を選び
「セット」を押す

4

「設定しました」と表示されたら
「ストップ」を押す

お買い求め時の設定：しない

海外への送信が終了したら、「しない」に戻してください。

送れなかったファクスを確認する（不達レポート）

ファクスが正常に送れなかったとき、不達レポートを出力するかしないかを設定できます。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

1

メニュー
を開く

「メニューを開く」を押す

2

「3」「ファクス機能」→
「3」「不達レポート」
を順に押す

不達レポート：
・ **する**
・ しない

3

「▲」または「▼」で
不達レポートの出力「する」または「しない」を選び
「セット」を押す

4

「設定しました」と表示されたら
「ストップ」を押す

お買い求め時の設定：出力する

不達レポートを出力しない場合は：「しない」を選ぶ。

■ 「通信結果」の見かた

表示	不達の原因
話し中	相手先が通話中または通信中
呼び出し	相手先から通話予約などの呼び出しを受けた
無応答	・ 相手先が受信できない状態。または電話に出ない ・ 電話回線が正しく接続されていない。または接続コードが断線している
(2桁の数字)	→ 「エラーコード表」(P.7-12)

■ 不達レポートの例

不達 レポ ート
2009年 4月 1日 14時33分

鈴木

以下の文書が送信できませんでした。

通信開始日時	通信時間	相手先	モード	枚数	通信結果
4月 1日 14時33分		03XXXX1234	G3	0	話し中

通信結果
話し中

ファクスを受ける

電話やファクスの受けかた

ベルが鳴ったら受話器や子機をとり、電話やファクスを受けます。着信モードが「ファクス専用」または「電話／ファクス切替」に設定されているときは、自動的にファクスを受信します。自動受信する前に受話器や子機をとった場合は、手動で受信させることもできます。

🔊「着信モードの説明と設定方法」(P.5-12)

親機

ベルが鳴ったら
受話器をとる

受けた着信が電話の場合は、着信ベルが数回鳴ったあとに呼出ベルに変わりますが、ベルの音は同じです。どちらのベルが鳴っているときでも電話が受けられます。

受話器から
...



相手の声がしたとき

そのまま通話する

電話の着信です。外線か内線かは着信音でわかります。



「ボーボーボー」の音がしたあと、
次のメッセージが聞こえたとき

「ファクシミリを受信します。
受話器を置いてお待ちください。」

受話器を戻す

「ファクスかんたん受信」を「する」に設定しているときは、ファクスの着信をお知らせするメッセージが聞こえます。(ファクスかんたん受信 🔊P.5-12) 受話器を戻すと自動受信します。



「ボーボーボー」の音がしたあと、
メッセージが聞こえないとき

【スタート／コピー】を押す

ファクスの着信です。手動で受信してください。



何も音がしないとき

【スタート／コピー】を押す

ファクスの着信の場合があります。ファクスの手動受信を試してください。

通話が終わったら
受話器を戻す

お知らせ

- 記録紙排出口にたくさんの紙(10枚以上)をためないようにしてください。
- 通話中に受信操作ができたり、受信終了後に通話を続けることができます。

子機

ベルが鳴ったら
子機を充電器からとり
【通話】を押す

子機の着信ベルは親機よりも少し遅れて鳴ります(電波の状況によって、遅れかたに若干の差があることがあります)。

受けた着信が電話の場合は、着信ベルが数回鳴ったあとに呼出ベルに変わりますが、ベルの音は同じです。どちらのベルが鳴っているときでも電話が受けられます。

充電器に置いていないときは: そのまま【通話】を押します。

受話口から
...



相手の声がしたとき

そのまま通話する

電話の着信です。外線か内線かは着信音でわかります。



「ボーボーボー」の音がしたあと、
次のメッセージが聞こえたとき

「ファクシミリを受信します。
受話器を置いてお待ちください。」

【切】を押し、子機を戻す

「ファクスかんたん受信」を「する」に設定しているときは、ファクスの着信をお知らせするメッセージが聞こえます。(ファクスかんたん受信 🔊P.5-12) 【切】を押すと自動受信します。



「ボーボーボー」の音がしたあと、
メッセージが聞こえないとき

【内線】を押し、【6】を押す

ファクスの着信です。手動で受信してください。



何も音がしないとき

【内線】を押し、【6】を押す

ファクスの着信の場合があります。ファクスの手動受信を試してください。

通話が終わったら
【切】を押し、
子機を充電器
に戻す

お知らせ

- 子機で通話中に、親機の【スタート／コピー】を押すと、「ピーピーピー」という音が鳴り、通話が切れます。
- 通話中に受信操作ができます。

5
ファクス
コピーを使う

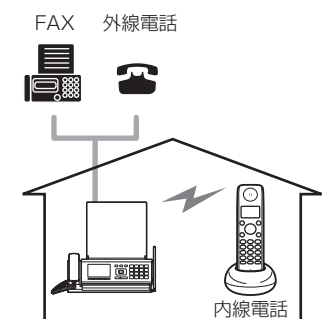
ファクスを受ける

電話／ファクス切替のしくみ

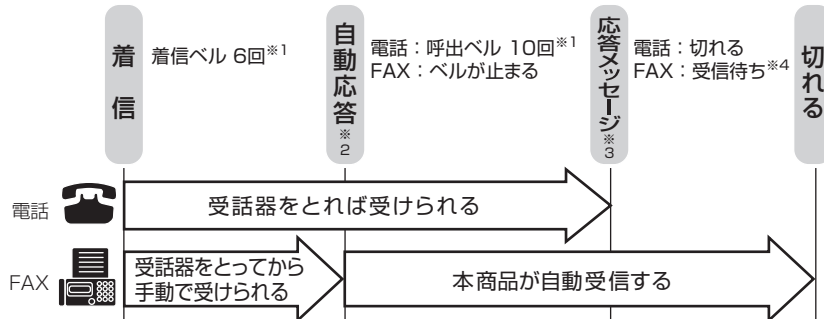
本商品の受ける着信には外線電話、ファクスと内線電話（他の親機や子機からの呼び出し）があります。本商品では着信の種類を着信音や受話器（または子機）をとったときの音で判断できます。

本商品では外線からの着信があると電話かファクスかを自動的に判断して、電話なら呼出ベルを鳴らし、ファクスなら自動受信することができます。これを「電話／ファクス自動切替」と言います。

■外線／内線



■電話／ファクス自動切替のしくみ



※1：着信ベル／呼出ベルの回数は変えられます。☞「ベルが鳴る回数を変える」(P.7-8)

※2：本商品が電話かファクスかを自動的に判断します。この時点で相手先に通話料がかかります。

※3：相手先に次の応答メッセージを流します。

「ファクスミリのの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますがのちほどおかけ直しください。」

※4：ファクスの受信をしばらく待ちます（30～40秒）。相手先では信号音がします。

着信の種類によって、着信ベルが次のように変わります。

着信ベル	受話器をとると	着信の種類	操作	参照先
「ブルブル、ブルブル…」 と長く鳴る※1	相手の声がする	外線電話	そのまま相手と話せる	「電話やファクスの受けかた」 (☞P.5-7)
	「ポーポーポー」 と音がする	ファクス	受話器を戻すとファクスを受信する※2	
	何も音がしない※3	ファクス かもしれない	ファクスを手動受信する	
6回で止まる※4	(受話器をとらない)	ファクスなら本商品が自動受信する		—
		電話なら本商品が録音する(留守設定時)		「留守設定をする」 (☞P.4-1)
「ピピ、ピピ…」 と短く鳴る	相手の声がする	内線電話	そのまま相手と話せる	「電話やファクスの受けかた」 (☞P.5-7)

この表は、お買い求め時の設定のまま使用した場合の本商品の動作を記しています。設定を変更するとそれぞれの動作も変わります。

※1：外線の着信音の音色は変えられます。☞「ベルの音色を変える／メロディにする」(P.7-8)

※2：「ファクスかんたん受信」を「しない」に設定しているときは手動で受信します（ファクスかんたん受信☞P.5-12、手動受信☞P.5-7）。

※3：相手先のファクスの機種によって音がしないことがあります。この場合はファクスの手動受信を試して確認します（手動受信☞P.5-7）。

※4：着信ベルの回数は変えられます。☞「ベルが鳴る回数を変える」(P.7-8)

「トールセイバ」が「する」に設定されていると、留守設定のときの着信ベルの回数が変わります。

☞「録音された用件があるか外出先から確認する（トールセイバ）」(P.4-10)

受信ファクスの取り扱い

受信したファクスには、確認のしかたが3つあります。

1. プリント	記録紙にプリントする ファクスを自動的に記録紙へプリントします。受信が完了すると「見てから」が点灯し、プリントが完了すると消灯します。 ファクスがプリントできないときは、いったんメモリに蓄積されます（☞P.5-9）。
2. 見てから	ファクス受信文書をプリントしない。ディスプレイで確認してプリントする ☞「受信したファクスをディスプレイで表示する（見てからプリント）」(P.5-10)
3. パソコンへ転送	ファクス受信後にパソコンへ転送する ☞「ファクス受信文書をパソコンに保存する（ファクスtoパソコン）」(P.8-52)

「受信ファクスの扱い」を変更する

1  [メニューを開く] を押す

2 [3] 「ファクス機能」 →
[7] 「受信ファクスの扱い」
を順に押す

受信ファクスの扱い：
・プリント
・**見てから**
・パソコンへ転送

3 [▲] または [▼] で
取り扱いかたを選び
[セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定：見てから

「パソコンへ転送」を選んだときは：[▲] または
[▼] で保存するパソコンを選び、[セット] を
押す。→「転送先にするパソコンを設定する」
(P.8-52)

ファクスをプリントできないときいったんメモリに蓄積する(メモリ代行受信)

「ファクス受信文書の扱い」を「プリント」に設定している場合で、次のようなときは受信したファクスがメモリに蓄積されます。紙づまりなどにより受信の途中でプリントできなくなったときでも、あとでメモリに蓄積されたファクスをプリントできます。→「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」(本ページ下)

・記録紙がない ・プリントされていないファクスやレポートがメモリに残っている ・記録紙がつまっている
・インクフィルムがない ・操作パネルが開いている ・サーマルヘッドが過熱している

メモリ代行受信されると、ディスプレイに次のように表示されます。

■ 記録紙がないときの例

X[メモリ受信文書あり]

(交互)

スタート押下

お知らせ

- メモリ残量が不足して代行受信できないときは、着信ベルが鳴り続けます。不要な用件を消去してください。→「録音された用件を聞く／消去する」(P.4-3)
- 正常にプリントされたページはメモリから消去されます。
- 「受信ファクスの扱い」を「見てから」や「パソコンへ転送」に設定しているときは「メモリ受信文書あり」を表示しません。→「受信ファクスの取り扱い」(P.5-8)

■ 記憶容量

A4 (700文字程度) の原稿で約85枚 (最大50文書) です。ただし、メモリ代行受信だけでなく、留守番電話の応答メッセージや用件、さかのぼり録音などを含むすべての記憶容量となります。

メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする

親機

お知らせ ● 子機では操作できません。

1 プリントの妨げとなっている
原因を取り除く

X[メモリ受信文書あり]

(交互)

スタート押下

2 [スタート/コピー] を押す

記録紙をセットして
スタート押下

3 記録紙カセットや記録紙サポーターに
十分な記録紙が入っているか確認し
[スタート/コピー] を押す

プリント中

対処のしかた → 「困ったときは (Q&A)」(P.9-4)

記録紙が十分に入っていないときは、記録紙を入れてから [スタート/コピー] を押します。

「記録紙ありません」が表示されたら：

複数枚の記録紙を入れ (記録紙カセット：20枚
まで、記録紙サポーター：5枚まで)、手順2から
やり直す。

→ 「記録紙のセット」(P.1-13)

5
ファクス
コピーを使う

ファクスを受ける

受信したファクスをディスプレイで表示する (見てからプリント)

「受信ファクスの扱い」を「見てから」に設定すると、ファクスの内容をディスプレイに表示したり、選んでプリントすることができます。➡「受信ファクスの取り扱い」(P.5-8)

受信ファクスをディスプレイに表示する

親機

お知らせ

- 受信したファクスがあると【見てから】が点灯します。
- 子機では操作できません。
- A4サイズより長いファクスの場合、A4を超えた部分は表示されません。
- 表示したファクスが未読ファクスの場合、手順3で 【表示する】または【セット】を押すと、複数ページあっても既読ファクスになります。
- 記憶容量は、A4（700文字程度）の原稿で約85枚（最大50文書）です。ただし、メモリ代行受信だけでなく、留守番電話の応答メッセージや用件、さかのぼり録音などを含むすべての記憶容量となります。

受信ファクス一覧の説明

受信ファクス一覧 1/3				
日付	時刻	枚数	相手先	
4/	1 13:30	3枚	03xxxx1234	
3/30	12:33	1枚	鈴木	
3/29	16:33	1枚	田中	

セットでファクスを表示します

印刷する 表示する 消去する 戻る

受信した日時が新しい順に相手先が表示されます。
【▲】または【▼】で相手先を選びます。
【>】で次ページ、【<】で前ページに切り替えます。

<相手先の表示について>

名前 : 電話帳に登録している相手先、
ネームディスプレイを利用している場合
電話番号 : 電話帳に登録していない相手先、
ネームディスプレイを利用していない場合

1つ前の画面に戻ります。

選んでいるファクスを消去します。➡「 受信ファクスを消去するには」(本ページ下)

選んでいるファクスの内容を表示します。➡「 受信ファクスをディスプレイに表示する」(本ページ下)

選んでいるファクスをプリントします。➡「 受信ファクスを選んでプリントする」(P.5-11)

ビクト	意味
	未読
	既読

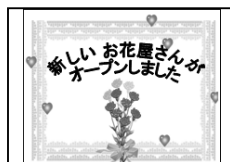
1 【見てから】を押す

受信メール一覧を見る
 受信ファクス一覧を見る

2 【▲】または【▼】で「受信ファクス一覧を見る」を選び【セット】を押す

4/	1 13:30	3枚	03xxxx1234	
3/30	12:33	1枚	鈴木	
3/29	16:33	1枚	田中	

3 【▲】または【▼】で表示するファクスを選び 【表示する】を押す



受信ファクスが表示されます。➡「 受信ファクス表示画面の説明」(P.5-11)

■ 受信ファクスを消去するには

1. 手順3で受信ファクスを選んだあと 【消去する】を押す。

2. 【はい】を押す。

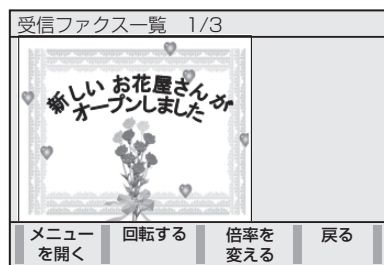
消去をやめる場合は: 【いいえ】を押す。

受信ファクス表示画面の説明

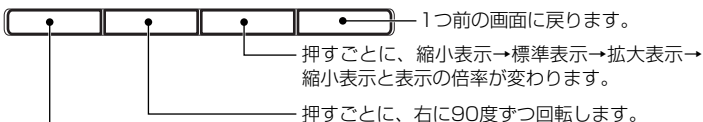
【▲】【▼】【<】【>】で画面をスクロール表示することができます。

受信したファクスは、右画面のように表示されます。ファクスが複数ページのときは、1ページ目が表示されます。

<受信したファクス>



—【▲】または【▼】でスクロール表示することができます。



機能メニューが表示されます。

【▲】または【▼】で機能を選び、【セット】を押します。

機能メニュー	
次のページを表示する	複数ページの場合、次のページを表示できます。
全画面表示する	ボタンを消して画像を全画面に表示します。 【セット】を押すと、全画面表示を終了します。
このページを印刷する	表示しているページだけをプリントします。 →「1ページだけプリントする」(本ページ下)

受信ファクスを選んでプリントする

お知らせ ● プリントが正常に終了した場合は、自動的に削除されます。

1 記録紙をセットする

2 「受信ファクスをディスプレイに表示する」 (→P.5-10) の手順1～2と 同じ操作をする



3 【▲】または【▼】でプリントするファクスを選び



→「記録紙のセット」(P.1-13)

複数ページある場合は、すべてのページがプリントされます。

続けてファクスを選んでプリントする場合は：

手順3をくり返す。

プリント中に【ストップ】を押すと、プリントが終了します。

5
ファクス
コピーを使う
見てからプリント

1ページだけプリントする

1 記録紙をセットする

2 「受信ファクスをディスプレイに表示する」 (→P.5-10) の手順1～2と 同じ操作をする



3 【▲】または【▼】でプリントするファクスを選び



4 【メニューを開く】を押す



5 【▲】または【▼】で 「このページを印刷する」を選び 【セット】を押す

→「記録紙のセット」(P.1-13)

複数ページがある場合は：

下記の操作でプリントするページを表示する。

1. 【メニューを開く】【メニューを開く】を押す。
2. 【▲】または【▼】で「次のページを表示する」を選び、【セット】を押す。

表示したページだけがプリントされます。

続けてファクスを選んでプリントする場合は：

【戻る】を押して、手順3～5をくり返す。
プリント中に【ストップ】を押すと、プリントが終了します。

ファクス受信に関する設定

着信モードの説明と設定方法

着信ベルが鳴ったあとの動作を選べます。本商品は電話やファクスを受けると指定された回数の着信ベルを鳴らしたあと、着信モードの設定に応じて電話の呼出ベルを鳴らしたり、ファクスを自動受信したりします。➡「ベルが鳴る回数を変える」(P.7-8)

着信モード	本商品の利用目的／着信ベルのあとの動作
電話／ファクス切替※	電話もファクスもどちらも受けるときに設定します。 ・電話の場合は呼出ベルが鳴ります。・ファクスの場合は自動的に受信します。
ファクス専用	本商品の番号で受けるのがファクスに決まっているときに設定します。 ・ファクスの場合は自動受信します。 ・電話の場合は着信ベルが鳴っている間に受話器や子機をとれば受けられます。 ・相手先に「ピーヒョロヒョロ」というファクスの信号音を流します。
電話専用	ファクスを自動的に受信したくないときに設定します。 ・電話の場合は受話器や子機をとると話せます。電話に出なければ相手先に通話料はかかりません。 ・ファクスを受信する場合は、電話に出てから手動受信します。➡「電話やファクスの受けかた」(P.5-7)

※：「電話やファクスの受けかた」(➡P.5-7)の操作をご利用になる場合の設定です。

お知らせ

- 「電話専用」に設定し、トールセイバを「しない」に設定している場合、留守設定中は、着信ベルが5回鳴ったあと留守番機能がはたります(トールセイバ➡P.4-10)。
- 「ファクス専用」に設定し、着信ベルを0回に設定すると、相手先がファクスのときは着信ベルが1回も鳴らずにファクスを受信します。この場合は電話を受けられません(着信ベルの回数を変える➡P.7-8)。
- 留守設定中は、「ファクス専用」に設定をしても留守設定が優先されます(留守設定をする➡P.4-1)。

親機

お知らせ ●子機では操作できません。

1  [メニューを開く] を押す

2 [2]「電話機能」→
[3]「着信モード」
を順に押す

着信モード：
・電話／ファクス切替
・ファクス専用
・電話専用

3 [▲] または [▼] で着信モードを選び
[セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

お買い求め時の設定：電話／ファクス切替

着信モードは、上記の表を参考に選んでください。

電話に出て相手がファクスだったときはかんたんに受信する(ファクスかんたん受信)

ファクスを受けたときの着信ベルで受話器をとっても、受話器を戻すだけでファクスを受けられるように設定できます。手動受信の操作をする必要がなくなります。

お知らせ

- ファクスを受けたときに受話器をとると、「ポーポーポー」の音がしたあと、「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」とメッセージが流れます。
- 電話を受けたときに音質によって本商品がファクスの受信動作をする場合があります。ひんぱんに起こる場合は「しない」に設定してください。

親機

お知らせ ●子機では操作できません。

1  [メニューを開く] を押す

2 [3]「ファクス機能」→
[1]「ファクスかんたん受信」
を順に押す

ファクスかんたん受信：
・する
・しない

3 [▲] または [▼] で「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

お買い求め時の設定：する

手動で受けるときは：「しない」を選ぶ。
手動受信の方法は、「電話やファクスの受けかた」(➡P.5-7)を参照してください。

4 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

受信したファクスを縮小する／分割する

受信したファクスを縮小してプリントしたり、プリント可能な範囲を超える部分を分割するように設定できます。

縮小率を設定する（受信縮小率）

親機

お知らせ

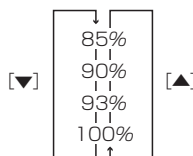
- 子機では操作できません。
- 発信元の記録がついたA4サイズの原稿が送られてくると、A4の記録紙に収まらないことがあります。このようなときに、縮小してプリントするとA4の記録紙1枚に収めることができます。
- もとの原稿と比較した正確な縮小率にはならないことがあります。プリントされるサイズは、相手先のファクスの機種や回線の状態で変化します。

1 [メニューを開く] を押す

2 [3] 「ファクス機能」 → [4] 「受信縮小率」 を順に押す

受信縮小率：
・85%
・90%
・**93%**
・100%

お買い求め時の設定：93%



3 [▲] または [▼] で 縮小率を選び [セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

分割してプリントする（分割記録）

受信したファクスが記録紙1枚のプリント可能な範囲に収まらない場合、分割してプリントすることができます。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

1 [メニューを開く] を押す

2 [3] 「ファクス機能」 → [5] 「分割記録」 を順に押す

分割記録：
・**する**
・しない

お買い求め時の設定：する

3 [▲] または [▼] で 「する」または「しない」を選び [セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

お知らせ

- 「しない」に設定すると、1枚の記録紙に収まらなかった部分はプリントされず、消去されます。

5 ファクス コピーを使う

ファクス受信に関する設定

コピーをとる

親機

お知らせ ●子機では操作できません。

1 原稿をセットする

📖 「原稿セットのしかた」(P.5-1)

お知らせ

- あらかじめ原稿に適した画質モードになっていることを確認してください。📖 「原稿の画質や読み取り濃度を変える」(P.5-2)

2 「スタート/コピー」を押す

コピー中

途中でコピーをやめるときは：

【ストップ】を押す。

原稿が排出されずに残ったときは、もう一度【ストップ】を押すと排出される。

お知らせ

- 原稿は自動的に排出されます。無理に引き抜かないでください。
- 個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。
 - ・ 貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。絶対にコピーしないでください。
 - ・ 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内などの限られた範囲内で使用するなど、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーが禁止されています。
 - ・ パスポートや免許証、民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。

6 ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイは、電話をかけてきた相手先やファクスを送ってきた相手先の電話番号を表示する回線付加サービスです。電話に出る前に相手先を確認したり、相手先の電話番号を利用した便利な機能がご利用になれます。なお、ナンバー・ディスプレイは、NTTの回線付加サービスの名称ですので、ご利用の電話会社により名称が異なる場合があります。

ナンバー・ディスプレイにより本商品の便利な機能がご利用になれます。

便利な機能	詳細	参照先
着信表示	電話をかけたり、ファクスを送ってきた相手先の電話番号が表示されます。	P.6-2
着信履歴	相手先の電話番号が記録されます（親機：20件、子機：20件）。 ・留守設定されているときの着信を記録し、用件再生とともに音声で通知します。 ・着信履歴に記録された相手先を電話帳または着信拒否リストに登録できます。	P.6-9 P.6-10 P.6-11
コールバック	着信履歴に記録された電話番号を使ってかんたんに電話がかけられます。	P.6-10
着信拒否	あらかじめ登録した相手先からの着信を拒否できます。	P.6-7
迷惑電話お断り	お断りメッセージで応答した相手先を着信拒否リストに登録できます。	P.2-12
応答メッセージ選択	相手先に応じて応答メッセージを選べます。自作の応答メッセージが使えます。	P.6-3
着信鳴り分け プライベートコール	・相手先に応じてベル音やメロディを選べます。 ・相手先に応じてベル音を鳴らす親機や子機を選べます。	P.6-4
とくていコール	特定の相手先からの着信だけベルを鳴らせます（おやすみモードのとき）。	P.6-5
番号リクエスト	番号非通知でかけてきた相手先に番号通知をお願いするメッセージで応答できます。	P.6-6

■ ネーム・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイについて

- ・ナンバー・ディスプレイとともにネーム・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたときに、ディスプレイに相手先が通知してきた電話番号と発信者名（名前や会社名）が表示されます。📞「ネーム・ディスプレイご利用時の相手先の表示」（P.6-2）
- ・ナンバー・ディスプレイとともにキャッチホン・ディスプレイを契約すると、キャッチホンを受けたときに相手先を電話番号で確認できます。同時にネーム・ディスプレイをご利用の場合は、ディスプレイに相手先が通知してきた発信者名（名前や会社名）も表示されます。📞「キャッチホン・ディスプレイを設定する／解除する」（P.7-1）

ナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイをご利用になるには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。

お問い合わせ・お申し込み		電話番号：116 （局番なし） 受付時間： 午前9：00～午後9：00（年中無休、ただし年末年始12月29日～1月3日を除く）
お知らせ		
● ナンバー・ディスプレイによる本商品の機能をご利用になる場合、次のことに注意してください。 ・電話帳などに登録する電話番号は市外局番から入力してください。また、「－（ポーズ）」「＊」「＃」は入力しないでください。 ・停電しているときはご利用になれません。 ● 次の場合は電話番号が表示されません。 ・国際電話 ・オペレータ扱いの電話（100番・105番） ・公衆電話 ・番号非通知でかけてきた電話 ・圏外からかけてきた電話 ・電話回線の雑音などで正常にデータを受信できなかったとき ● ナンバー・ディスプレイに加入すると次のサービスがご利用できなくなります。 ・転送電話（ボイスワープを除く） ・ダイヤルQ2（情報提供側） ・テレドーム（情報提供側） ・ノーリング情報サービス（センター回線）		

本商品を接続している回線によって次のことにご注意ください。

NTT東日本またはNTT西日本以外の直収電話		ご加入の電話会社にお問い合わせください。
ブランチ接続 （📞P.1-10）	ナンバー・ディスプレイをご利用になれません。	
構内交換機／ホームテレホン	ナンバー・ディスプレイをご利用にならない場合があります。	
ISDN回線	ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ（TA）をご利用ください。	

同時に次の回線付加サービスをご利用になるときはご注意ください。

ダイヤルイン	「モデムダイヤルインサービス」にご加入ください。本商品はPB 信号方式のダイヤルインサービスには対応しておりません。
---------------	--

ナンバー・ディスプレイを設定する／解除する

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイのサービスへの加入の有無に応じて設定してください。異なる設定をすると電話が受けられないことがあります。
加入している場合：「する」 **加入していない場合**：「しない」
ただし、モデムダイヤルラインに加入している場合は、ナンバー・ディスプレイの加入にかかわらず「する」に設定してください。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

1

メニュー
を開く

「メニューを開く」を押す

2

「5」「ナンバー・ディスプレイ」を押す

ナンバー・ディスプレイ：
・する
・しない

3

「▲」または「▼」で
ナンバー・ディスプレイの利用
「する」または「しない」を選び
「セット」を押す

1. 鳴分&プライベートコール
2. とくていコール
3. 番号リクエスト
4. 着信拒否
5. 着信拒否リスト設定

お買い求め時の設定：する

続けてナンバー・ディスプレイによる「便利な機能」を設定しない場合は
「ストップ」を押して待受中に戻る

ナンバー・ディスプレイによる「便利な機能」とは：
→ P.6-1

ナンバー・ディスプレイによる相手先の表示

着信があるとディスプレイに次のように表示されます。電話をかけてきた相手先が電話帳に登録されている場合と、登録されていない場合では表示が異なります。また、通信の状態が表示されることもあります。

電話帳の登録	表示（親機）	表示（子機）
登録されている	佐藤 03xxxx1234	サトウ 03xxxx1234
登録されていない	03xxxx1234	03xxxx1234

お知らせ

- 同じ電話番号に対して親機と子機に登録された相手先名が異なるときは、それぞれの相手先名が表示されます。

着信の状態	表示（親機）	表示（子機）
番号非通知でかけてきたとき	非通知	ヒツウチ
公衆電話からかけてきたとき	公衆電話	コウシュウデンワ
海外など圏外からかけてきたとき	表示圏外	ヒョウジケンガイ
電話回線の雑音などで 正常に受信できなかったとき	受信エラー	ジュシンエラー

ネーム・ディスプレイご利用時の相手先の表示

ネーム・ディスプレイを契約（有料）すると、電話がかかってきたときに、相手の電話番号と相手の名前や会社名（発信者名）が、ディスプレイに表示されます。このサービスを利用するためには、ネーム・ディスプレイの契約のほかに、ナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。サービスを契約したあと、ナンバー・ディスプレイを「する」に設定すると、ネーム・ディスプレイを利用できます。

お知らせ

- 電話をかけてきた相手が、番号通知、発信者名通知を選択している場合のみ表示します。
- 表示されている発信者名は、電話をかけてきた相手がNTT東日本またはNTT西日本に申し込みをした名称です。
- リダイヤル／着信履歴の相手先表示欄には、発信者名が表示されます。電話帳に相手の名前が登録されている場合は、その名前が優先して表示されます。
- 着信履歴リストをプリントしたときは、相手先名欄に、発信者名がプリントされます。電話帳に相手先の名前が登録されている場合は、その名前が優先されます。→ 「リストをプリントする」(P.7-11)
- 本商品で表示できない文字を受信した場合は、「※」を表示します。
- キャッチホン・ディスプレイを契約されているときは、通話中にかかってきた相手の発信者名が表示されます。

	電話帳の登録	電話がかかってきたとき	留守番電話が応答しているとき	留守録着信履歴を表示しているとき
親機	登録されている(※1)	魚屋さん 03xxxx1234 着信中	魚屋さん 03xxxx1234 留守電応答中	魚屋さん 03xxxx1234 0分15秒 1/1
	登録されていない	鈴木商店 03xxxx1234 着信中	鈴木商店 03xxxx1234 留守電応答中	鈴木商店 03xxxx1234 0分15秒 1/1

※1：電話帳に登録されている場合の画面は、下記を例としています。

例) 発信者名：鈴木商店

電話帳に登録されている名前：魚屋さん

自分の電話番号を通知する／非通知にする

相手先がナンバー・ディスプレイを利用している場合に、自分の電話番号を通知するかどうかを、電話をかけるときに指定できます。これは「発信者番号通知サービス」のお申し込み内容によっても異なります。詳しくはご加入の電話会社(NTT東日本、NTT西日本など)へお問い合わせください。

お知らせ

- 電話番号を通知する相手先にはご注意ください。意図しない相手からの電話勧誘など、思わぬ使われかたをすることがあります。

相手先に電話番号を通知するか非通知にするか	「発信者番号通知サービス」のお申し込み内容	
	通話ごと非通知	回線ごと非通知
通知する	相手先の電話番号をそのままダイヤルする	[1] [8] [6] のあとに 相手先の電話番号をダイヤルする
非通知にする	[1] [8] [4] のあとに 相手先の電話番号をダイヤルする	相手先の電話番号をそのままダイヤルする

自作のメッセージで応答する相手先を選択する(応答メッセージ選択)

留守設定しているとき、自作のメッセージで応答する相手先を選択できます。電話帳に登録されている相手先だけ自作のメッセージで応答するか、すべての相手先に自作のメッセージで応答するかを設定します。

「する」	電話帳に登録された相手先だけ自作のメッセージで応答する。 ・登録されていない相手先には固定のメッセージで応答します。
「しない」	すべての相手先に自作のメッセージで応答する。

お知らせ

- 選択した相手先に流す応答メッセージは留守設定をするときに選びます。固定の応答メッセージも選べます。🔊「応答メッセージを選ぶ」(P.4-8)
- 自作のメッセージを録音していないときは固定のメッセージになります。🔊「応答メッセージを録音する」(P.4-7)

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

1  [メニューを開く] を押す

2 [5] 「ナンバー・ディスプレイ」を押す

ナンバー・ディスプレイ:
・する
・しない

3 [▲] または [▼] で
「する」を選び
[セット] を押す

1. 鳴分&プライベートコール
2. とくていコール
3. 番号リクエスト
4. 着信拒否
5. 着信拒否リスト設定

4 [6] 「応答メッセージ選択」を押す

応答メッセージ選択:
・する
・しない

お買い求め時の設定：しない

5 [▲] または [▼] で
応答メッセージの選択「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

6 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

受けた電話の相手先によってベル音を変える(着信鳴り分け/プライベートコール)

電話帳に登録されている相手先によって、ベル音やメロディを変えられます(着信鳴り分け)。また、特定の親機や子機だけベル音を鳴らすように設定できます(プライベートコール)。

お知らせ

- 着信鳴り分けの設定により、ベル音が鳴っていない親機/子機をとっても電話に出られます。
- ベル音が鳴らない子機から内線通話の呼び出しはできません。すぐに中断されます。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

1  [メニューを開く] を押す

2 [5] 「ナンバー・ディスプレイ」を押す

ナンバー・ディスプレイ:
・する
・しない

3 [▲] または [▼] で
「する」を選び
[セット] を押す

1. 鳴分&プライベートコール
2. とくていコール
3. 番号リクエスト
4. 着信拒否
5. 着信拒否リスト設定

4 [1] 「鳴分&プライベートコール」を押す



5 相手先を選び
[セット] を押す

着信鳴り分け指定:
・指定なし
・ベル(標準)
・ベル(鳴り分け)
・メロディ(A)

6 [▲] または [▼] で
ベル音の音色またはメロディを選び
[セット] を押す

プライベートコール指定:
・すべて
・内線1(親機)
・内線2(子機)
・内線3(子機)

7 [▲] または [▼] で
ベル音を鳴らす親機または子機を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
設定を続けますか?

8 設定を終了するときは
 [いいえ] を押す

お買い求め時の設定

着信鳴り分け : 指定なし
プライベートコール : すべて

お知らせ

- 電話帳に相手先が1件も登録されていない場合は、「電話番号が未登録です」とメッセージが表示されます。→ 「相手先の名前と電話番号などを登録する」(P.3-1)

着信鳴り分け/プライベートコールを指定する相手先を選びます。

相手先を選ぶには:

→ 「電話帳表示画面の説明」(P.3-2)

選べる音色/メロディ: → 「ベルの音色を変える/メロディにする」(P.7-8)

ベル音を変えないときは: 「指定なし」を選ぶ。

子機が2台以上ある場合は、「内線3」や「内線4」が表示されます。

内線番号を選びます。

すべての親機/子機を鳴らすときは: 「すべて」を選ぶ。

続けて他の相手先を登録するには:  [はい] を押し、手順5からくり返す。

■ ベル音/メロディを聞いて確認するには

手順6でベル音/メロディを選んでるとき([セット]を押す前)に  [再生する] を押す。

・ 確認中の音量を調整するには  [音量を変える] を押します。

・ 音を止めるには  [停止する] を押します。

あらかじめ選んだ相手先だけベル音を鳴らす（とくていコール）

おやすみモードに設定しているときに、特定の相手先からの着信だけベル音を鳴らすことができます。

お知らせ

- とくていコールを設定したときのベル音／メロディ
電話帳に登録された相手先：あらかじめ選んだベル音。
🔊 「受けた電話の相手先によってベル音を変える（着信鳴り分け／プライベートコール）」（P.6-4）
公衆電話／表示圏外：「ベル（標準）」の音色で鳴ります。
- 「トールセイバ」を「する」に設定していると、子機のベル音が一度も鳴らずに留守番電話が応答を始めることがあります（子機の着信ベルは親機より遅れて鳴るため、最初の2回の呼出音が鳴らないことがある）。🔊 「録音された用件があるか外出先から確認する（トールセイバ）」（P.4-10）
- 「とくていコール」を「する」に設定しても、「着信ベル回数」が「0回（無鳴動受信）」で「トールセイバ」が「しない」に設定されていると、留守番電話が応答し、呼出ベルが鳴りません。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

1  「メニューを開く」を押す

2 [5] 「ナンバー・ディスプレイ」を押す

ナンバー・ディスプレイ：
・する
・しない

3 [▲] または [▼] で
「する」を選び
[セット] を押す

1. 鳴分&プライベートコール
2. とくていコール
3. 番号リクエスト
4. 着信拒否
5. 着信拒否リスト設定

4 [2] 「とくていコール」を押す

とくていコール：
・する
・しない

5 [▲] または [▼] で
「する」を選び
[セット] を押す

とくていコール設定：
・電話帳設定
・公衆・圏外設定

6 [▲] または [▼] で
「電話帳設定」または「公衆・圏外設定」を選び
[セット] を押す

手順6の選択に応じて次に示す手順に進む

「電話帳設定」→■電話帳設定

「公衆・圏外設定」→■公衆・圏外

■ 電話帳設定

電話帳設定：
・電話帳すべて
・電話帳個別

7 [▲] または [▼] で
「電話帳すべて」または「電話帳個別」を選び
[セット] を押す

お買い求め時の設定

とくていコール：しない

電話帳設定：電話帳すべて

公衆・圏外設定：なし

設定する相手先の種別を選びます。

電話帳に登録された相手先：「電話帳設定」

公衆電話・表示圏外：「公衆・圏外設定」

電話帳に登録されたすべての相手先を設定するか、個別に指定するかを選びます。

すべての相手先：「電話帳すべて」

1件ずつ選ぶ：「電話帳個別」

手順7で「電話帳すべて」を選んだときは「設定しました」と表示されたら【ストップ】を押して待受中に戻る

「電話帳個別」を選んだときは（電話帳表示画面が表示される）手順8に進む

例：「電話帳個別」を選んだ場合



8 相手先を選び
【セット】を押す

個別とくていコール：
・する
・しない

9 【▲】または【▼】で
「する」または「しない」を選び
【セット】を押す

電話帳個別設定：
設定を続けますか？

続けて他の相手先を設定するときは ☐ はい ☒ はい 【はい】 を押し
手順8～9をくり返す

10 設定を終了するときは ☐ いいえ ☒ いいえ 【いいえ】 を押す

とくていコールを設定する相手先を選びます。

相手先を選ぶには：

➡「電話帳表示画面の説明」（P.3-2）

手順8で選んだ相手先からの着信でベル音を鳴らすか鳴らさないかを選びます。

ベルを鳴らす : する
ベルを鳴らさない : しない

■公衆・圏外

公衆・圏外設定：

・なし
・公衆電話
・圏外
・公衆電話&圏外

7 【▲】または【▼】で相手先の種別を選び
【セット】を押す

8 「設定しました」と表示されたら
【ストップ】を押す

どこからの着信でベル音を鳴らすかを選びます。

公衆電話からの着信：「公衆電話」

表示圏外からの着信：「圏外」

公衆電話／表示圏外ともに鳴らす
：「公衆電話&圏外」

公衆電話／表示圏外ともに鳴らさない：「なし」

番号通知をお願いするメッセージで応答する（番号リクエスト）

番号非通知でかけてきた相手に番号通知をお願いするメッセージを流し、電話を切ることができます。

お知らせ

- 画面に「番号リクエスト中」と表示され、相手先には次のメッセージが流れます。メッセージは変えられません。
「番号を通知しておかけ直してください。また、回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけ直してください。」
- 「番号リクエスト中」と表示している間に親機の受話器をとると、番号リクエスト中の相手とつながります。
- 「番号リクエスト中」と表示した直後に子機の【通話】を押すと、相手とつながる場合があります。
- 応答終了後すぐに電話をかけると、番号リクエストした相手とつながる場合があります。少ししてからおかけください。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

1 ☐ メニューを開く ☒ メニューを開く 【メニューを開く】を押す

2 【5】「ナンバー・ディスプレイ」を押す

ナンバー・ディスプレイ：
・する
・しない

3 【▲】または【▼】で
「する」を選び
【セット】を押す

1. 鳴分&プライベートコール
2. とくていコール
3. 番号リクエスト
4. 着信拒否
5. 着信拒否リスト設定

お買い求め時の設定：しない

4 [3]「番号リクエスト」を押す

番号リクエスト：
・する
・しない

5 [▲] または [▼] で 番号リクエスト「する」または「しない」を選び [セット] を押す

お知らせ

- 「番号リクエスト」を「する」に設定すると
 - ・留守設定されているときも、番号非通知の電話やファクスが受けられません。
 - ・表示圏外からの着信は受けられます。

6 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

受けたくない相手先からの着信を拒否する（着信拒否）

あらかじめ着信拒否に登録した相手先からの電話を自動的に切ることができます。このときベル音は鳴りません。また、相手先にはお断りのメッセージを流します。公衆電話や表示圏外からの着信を拒否することもできます。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。

着信拒否リストに登録する（着信拒否リスト設定）

1 [メニューを開く] を押す

2 [5]「ナンバー・ディスプレイ」を押す

ナンバー・ディスプレイ：
・する
・しない

3 [▲] または [▼] で 「する」を選び [セット] を押す

1. 鳴分&プライベートコール
2. とくていコール
3. 番号リクエスト
4. 着信拒否
5. 着信拒否リスト設定

4 [5]「着信拒否リスト設定」を押す

着信拒否リスト設定：
・登録
・確認

5 [▲] または [▼] で 「登録」を選び [セット] を押す

着信拒否リスト登録
01)
■

6 ダイヤルボタンで 相手先の電話番号を入力し [セット] を押す

着信拒否リスト登録
01)
03xxxx1234■

登録できる件数：最大50件

お知らせ

- 「着信拒否リストフル」と表示されたときは、リストから不要な電話番号を消去してください。
→「登録した相手先を確認する／消去する（着信拒否）」（P.6-8）

入力を間違えたときは：



【クリアする】を押し、入力し直す。

お知らせ

- 「登録済みです」が表示されたときは、すでに登録済みなので、追加登録されません。

登録した相手先を確認する／消去する（着信拒否）

着信拒否リストに登録した相手先を確認したり、リストから消去することができます。

- 1 「着信拒否リストに登録する（着信拒否リスト設定）」（☎P.6-7）の手順1～4と同じ操作をする

着信拒否リスト設定：
・登録
・確認

- 2 [▲] または [▼] で
「確認」を選び
[セット] を押す

着信拒否リスト
01)
03xxxx1234

お知らせ

- 着信拒否リストに1件も登録されていない場合は、「未登録です」とメッセージが表示されます。

- 3 [▲] または [▼] で登録された相手先を選ぶ

- 4 表示された電話番号を消去するときは

消去する

[消去する] を押す

消去せずに終了するには：[ストップ] を押す。

着信拒否を設定する／解除する

お知らせ

- 「着信拒否」を「する」に設定すると、留守設定されているときも、着信拒否リストに登録した相手先からの電話やファクスが受けられません。
- 画面に「着信拒否中」と表示され、相手先には「申し訳ありませんがお取り次ぎできません。」とメッセージが流れます。
- 「着信拒否中」と表示している間に親機の手話器をとると、着信拒否中の相手とつながります。
- 「着信拒否中」と表示した直後に子機の【通話】を押すと、相手とつながる場合があります。
- 応答終了後すぐに電話をかけると、着信拒否した相手とつながる場合があります。少ししてからおかけください。

- 1 「着信拒否リストに登録する（着信拒否リスト設定）」（☎P.6-7）の手順1～3と同じ操作をする

1. 鳴分&プライベートコール
2. とくていコール
3. 番号リクエスト
4. 着信拒否
5. 着信拒否リスト設定

- 2 [4]「着信拒否」を押す

着信拒否：
・する
・しない

- 3 [▲] または [▼] で
着信拒否を「する」を選び
[セット] を押す

公衆電話：
・する
・しない

- 4 [▲] または [▼] で
公衆電話からの着信拒否
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

表示圏外：
・する
・しない

- 5 [▲] または [▼] で
表示圏外からの着信拒否「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

- 6 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

お買い求め時の設定

着信拒否 : する
公衆電話拒否 : しない
表示圏外拒否 : しない

着信拒否を解除する場合は：

「しない」を選び、[セット] を押す。
「設定しました」と表示されたら解除されました。
[ストップ] を押すと待受中に戻ります。

着信データを見る／消去する

電話を受けた日時と電話番号を本商品が着信データに記録します。電話を受けた日時をあとから確認したり、着信データに記録された電話番号に電話をかけたりできます。電話帳に登録されている相手先は、名前が表示されます。

お知らせ

- 記録される件数：最大20件
- 20件を超えると古いものから順に消去されます。

親機

お知らせ

- 電話やファクスを使用しているときは着信履歴を見られません。
- ネーム・ディスプレイを契約されている場合は、相手の電話番号と発信者名が表示されます。→「ネーム・ディスプレイご利用時の相手先の表示」(P.6-2)

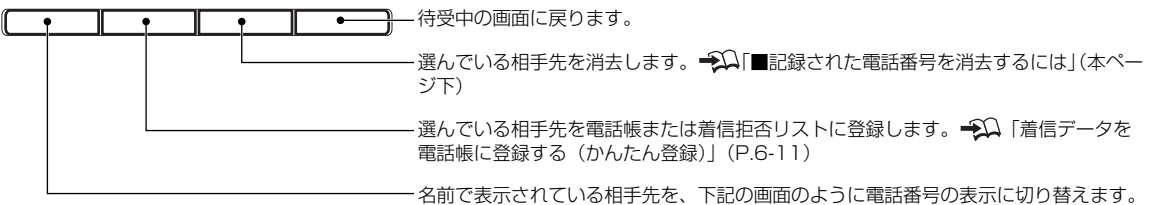
着信履歴表示画面の説明

着信履歴 1/20		
日付	時刻	相手先
4/ 1	22:00	佐藤
3/30	21:30	06xxx1234
3/30	20:00	公衆電話
3/30	18:00	非通知
3/29	21:00	田中携帯
3/28	23:00	03xxx5678

着信した日時が新しい順に相手先が表示されます。
 【▲】または【▼】で相手先を選びます。
 【>】で次ページ、【<】で前ページに切り替えます。

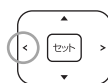
<相手先の表示について>

名前：電話帳に登録している相手先、ネーム・ディスプレイを利用している場合は、相手の名前や会社名（発信者名）
 電話番号：電話帳に登録していない相手先
 非通知：番号非通知でかけてきたとき
 公衆電話：公衆電話からかけてきたとき
 表示圏外：海外など圏外からかけてきたとき



着信履歴 1/20		
日付	時刻	相手先
4/ 1	22:00	090xxx1234
3/30	21:30	06xxx1234
3/30	20:00	公衆電話
3/30	18:00	非通知
3/29	21:00	090△△△△XXX
3/28	23:00	03xxx5678

1 【<】（着信履歴）を押す



4/ 1	22:00	佐藤
3/30	21:30	06XXX1234
3/30	20:00	公衆電話

お知らせ

- 着信履歴が記録されていないときは、「データはありません」とメッセージが表示されます。

2 【▲】または【▼】で記録された電話番号を選ぶ

3 終了するときは【ストップ】を押す

■ 記録された電話番号を消去するには

- 手順2で電話番号を選んだあと 【消去する】を押す。
- 【はい】を押す。
 消去をやめる場合は： 【いいえ】を押す。

子機

お知らせ

- 子機が電波の届かないところにある場合は着信データは記録されません。→「設置する場所の確認」(P.1-2)

1 〔<〕(着信データ)を押す



4月 1日 17:15
03xxxx1234

お知らせ

- 着信データが記録されていないときは、「チャクシンデータ アリマセン」とメッセージが表示されます。

2 〔▲〕または〔▼〕で 記録された電話番号を選ぶ

3 終了するときは〔切〕を押す

■ 記録された電話番号を消去するには

1. 手順2で電話番号を選んだあと〔保留 消去〕を押す。
2. 「ショウキョ シマスカ?」が表示されたら、〔▲〕または〔▼〕で「はい」を選び、〔保留 消去〕を押す。
消去をやめる場合は：〔切〕を押す。

着信データは右のように表示されます。

電話帳に登録している相手先		電話帳に登録していない相手先
4月 1日 17:15 サトウ	〔<〕 → ← 〔>〕	4月 1日 17:15 03xxxx1234
		4月 1日 17:15 03xxxx1234

留守中に受けた電話を確認する

留守設定しているときに受けた電話は、着信履歴とは別に「留守録着信履歴」にも記録されます。留守録着信履歴は留守番電話に録音された用件を再生するときに表示されます。

留守録着信履歴は次のように表示されます。

	電話帳に登録している相手先	電話帳に登録していない相手先
親機	佐藤 03xxxx1234 相手先の名前と電話番号が表示されます。	03xxxx1234 相手先の電話番号が表示されます。
子機	ディスプレイの表示はありません。音声で再生されます。 ・ 用件を再生したあとに留守録着信履歴を再生します。 ・ 用件が録音されていないときはビジートーン（話中音）のあとに再生されます。番号通知がないときは、その理由が音声で通知されます。	
外線リモート	音声で再生されます。→「外出先から操作する（外線リモート）」(P.4-8)	

お知らせ

- 留守録着信履歴は
・ 留守番電話で録音された用件が消去されると同時に消去されます。
・ 電話帳や着信拒否リストには登録できません。コールバックには使えません。

着信データを使って電話をかける（コールバック）

着信履歴に記録された電話番号を選ぶだけでかんたんに電話がかけられます。

親機

1 着信履歴に記録された電話番号を選ぶ

4/ 1 22:00 佐藤
3/30 21:30 06xxxx1234
3/30 20:00 公衆電話

→「着信データを見る／消去する」(親機)手順 1 ~ 2 (P.6-9)

2 受話器をとる

ファクスの送信に着信履歴を使うには：

原稿をセットしてから記録された電話番号を選び、〔スタート/コピー〕を押す。

1 着信データに記録された電話番号を選ぶ

4月 1日 17:15
03xxxx1234☞「着信データを見る／消去する」(子機)手順 1
～2 (P.6-10)

2 [通話] を押す

着信データを電話帳に登録する(かんたん登録)

親機

お知らせ ● 親機では電話帳と着信拒否リストに登録できます。

1 着信履歴に記録された電話番号を選ぶ

2 [登録する] を押す登録先は？
・電話帳
・着信拒否リスト3 [▲] または [▼] で登録先を選び
[セット] を押す

手順3の選択に応じて次に示す手順に進む

「電話帳」→■電話帳

「着信拒否リスト」→■着信拒否リスト

■電話帳

名前を入力します
セットを押して下さい

お知らせ

● 「電話帳フル」が表示されたときは、不要な電話帳を消去してください。☞「登録した相手先を消去する」(P.3-3)

4 [セット] を押し
相手先の名前を入力し
[セット] を押す

佐藤

読みカナを入力します
セットを押して下さい

☞「文字入力について」(P.10-13)

5 [セット] を押し
読みカナを確認し
[セット] を押すメールアドレスを入力します
セットを押して下さい6 [セット] を押し
メールアドレスを入力し
[セット] を押す

tuki@abc.def.ne.jp

アドレス属性：
・PC
・携帯

☞「文字入力について」(P.10-13)

メールアドレスを登録しないときは：

 [入力しない] を押す。7 [▲] または [▼] で
入力したメールアドレスがパソコン／
携帯電話のどちらのアドレスかを選び
[セット] を押す

登録しました

8 「登録しました」と表示されたら [ストップ] を押す

■着信拒否リスト

着信拒否リストに
登録しました

4 「登録しました」と表示されたら [ストップ] を押す

お知らせ

- 「着信拒否リストフル」と表示されたときは、着信拒否リストから不要な電話番号を消去してください。☞「登録した相手先を確認する／消去する(着信拒否)」(P.6-8)
- 「着信拒否リストに登録済みです」と表示されたときは、すでにその電話番号は着信拒否リストに登録されているので、追加登録されません。
- 着信拒否リストには相手先の名前を登録しません。

- 子機では着信拒否リストには登録できません。
- 子機にメールアドレスは登録できません。

1 着信データに登録された電話番号を選ぶ

2 [メニュー] を押す

ナマエ?
_ ノコリ100ケン

3 相手先の名前を入力し
[メニュー] を押す

サトウ

4 [メニュー] を押す

→「着信データを見る／消去する」(子機)手順1
～2 (P.6-10)

「電話帳フル」が表示されたら：

→「登録した相手先を消去する」(P.3-8)

→「文字入力について」(P.10-16)

7 その他の機能／設定

キャッチホン

通話中に別の相手先からかかってきた電話に出ることができます。

通話中に別の電話を受ける（キャッチホン）

📞 通話中

お知らせ

- キャッチホンをご利用になるには、電話会社（NTT東日本、NTT西日本など）との契約（有料）が必要です。
- ファクスの送信中や受信中に電話がかかってきた場合は、次の点にご注意ください。
 - ・ 画像に線が入ったり、通信が中断されてしまうことがあります。
※キャッチホンⅡサービスをご利用になり、割り込みの回数を「0回」に設定していただくと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。
 - ・ 着信音が鳴らないため、電話がかかってきたことがわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんので、ご了承願います。
- キャッチホンの着信がないときは【**オンフック／キャッチ**】（親機）、【**キャッチ**】（子機）を押さないでください。押すと電話が切れます。
- 受話器で通話中に他の方から電話がかかってきた場合、必ず【**オンフック／キャッチ**】（親機）、【**キャッチ**】（子機）を押して切り替えてください。他の方法ではうまく切り替わらないことがあります。
- オンフックで通話中（親機）はキャッチホンを受けられません。【**オンフック／キャッチ**】を押すと、先につながっていた相手先との通話が切れてしまいます。受話器をとってから押してください。
- 通話中にかかってきた別の相手先がファクスの場合は、「ボーボー」という音が聞こえてもファクスかんたん受信（➡P.5-12）ははたさできません。ファクスを受信する場合は、先に話していた相手先に電話を切ってもらい、手動受信（➡P.5-7）してください。
※手動受信しなかった場合、ファクスを送信した相手先では通信エラーになります。続けてファクスが送られてくることが考えられますので、早めにお話を終わらせることをおすすめします。

親機

1 「ブルルル・プップ」
と鳴ったら
【**オンフック／キャッチ**】を押す

2 あとから電話をかけてきた相手と話す

3 先の相手先と再び話すには
【**オンフック／キャッチ**】を押す

- ・ オンフックで通話中は、受話器をとってから【**オンフック／キャッチ**】を押します。
- ・ 「ブルルル・プップ」はキャッチホンの着信音です。
- ・ 先に話していた相手との通話は保留にされます。
【**オンフック／キャッチ**】を押すたびに先の相手とあとの相手を切り替えて話せます。

子機

● 親機の操作と同じです。キャッチホンを受けるときは【**キャッチ**】を押します。

お知らせ

- キャッチホンの相手先がファクスのときは、先に話していた相手に電話を切ってもらい、手動受信してください。➡「電話やファクスの受けかた」(P.5-7)
 - ・ ファクスかんたん受信では受けられません（ファクスかんたん受信 ➡P.5-12）。
 - ・ 手動受信をしないと相手先では通信エラーになります。
 - ・ ファクスの受信中は先の相手との通話に切り替えることができません。

キャッチホン・ディスプレイを設定する／解除する

キャッチホン・ディスプレイをご利用になると、キャッチホンを受けたときに相手先の電話番号が表示できます。

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイをご利用になるにはNTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。
お問い合わせ先：ナンバー・ディスプレイと同じです。➡「ナンバー・ディスプレイ」(P.6-1)

本商品を接続している回線によって次のことに注意してください。

NTT東日本またはNTT西日本 以外の直取電話	キャッチホン・ディスプレイをご利用になれないことがあります。詳しくは、ご加入の電話会社にお問い合わせください。
ISDN回線	キャッチホン・ディスプレイをご利用になれません。

他の回線付加サービスについて次のことに注意してください。

ナンバー・ディスプレイ	キャッチホン・ディスプレイをご利用になるには、ナンバー・ディスプレイにも加入が必要です。
ダイヤルインサービス	ダイヤルインをご利用になる場合は「モデムダイヤルインサービス」にご加入ください。本商品はPB信号方式のダイヤルインサービスには対応していません。

1  [メニューを開く] を押す

2 [5]「ナンバー・ディスプレイ」を押す

ナンバー・ディスプレイ：
・する
・しない

3 [▲] または [▼] で
「する」を選び
[セット] を押す

1. 鳴分&プライベートコール
2. とくていコール
3. 番号リクエスト
4. 着信拒否
5. 着信拒否リスト設定

4 [7]「キャッチホン」を押す

キャッチホン：
・する
・しない

5 [▲] または [▼] で
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

6 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定：しない

キャッチホン・ディスプレイの表示

下記の他はナンバー・ディスプレイの表示と同じです。📞「ナンバー・ディスプレイによる相手先の表示」(P.6-2)

キャッチホンの相手先	表示（親機／子機）
着信拒否を設定している相手先	「着信拒否」を「する」に設定していても、相手先の番号、「公衆電話」「表示圏外」がそれぞれ表示される（着信拒否📞P.6-7）。
公衆電話	
海外など表示圏外	
非通知の相手先	「番号リクエスト」を「する」に設定していても、「非通知」が表示される（番号リクエスト📞P.6-6）。
プライベートコールに設定している相手先	相手先の電話番号が表示される（プライベートコール📞P.6-4）。
・キャッチホンが入ると約30秒間表示して、その後は通話時間の表示に戻ります。	
・キャッチホンをとったときはその時点で通話時間の表示に戻ります。とる前に相手が電話を切っても約30秒間は表示されます。	

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイをご利用になると、電話番号情報を転送するため次のようなことが起こります。
 - ・ キャッチホンの着信音（ブルラー・プップ）のあと、「ピポ」という音がして通話が約1秒間途切れます。
 - ・ 子機で通話中の場合は、「ザッ」というノイズが聞こえます。
- キャッチホンで受けた電話は着信履歴に記録されます。
 - ・ 親機で通話中にキャッチホンが入ると親機だけに記録されます。
 - ・ 子機で通話中にキャッチホンが入ると、通話中の子機と親機の両方に記録されます。通話していない子機には記録されません。
- 次の場合、キャッチホンが着信しても相手先の電話番号が表示されないことがあります。
 - ・ 保留中、留守番電話動作中、コピー中、ファクス送受信中、登録・設定操作中、通話再生中、外線転送中
 - ・ 大声で通話したとき、周囲の雑音が大きいとき
 - ・ NTT東日本またはNTT西日本の交換機とお客様宅との距離が遠いとき
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり送信や受信が中断されることがあります。またこの場合、電話がかかってきたことがわかりませんが、キャッチホン・ディスプレイおよび本商品の異常ではありません。
- キャッチホン・ディスプレイで受けた電話は、着信拒否、番号リクエストを設定していても、相手にメッセージを流して自動的に切ることはできません。

モデムダイヤルイン

モデムダイヤルインをご利用になると、1本の電話回線で2つ以上の電話番号が使えます。電話とファクスで異なる番号を使い分けたり、親機と子機で異なる番号を使い分けたりすることができます。

モデムダイヤルインをご利用になるには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。

お問い合わせ先	電話番号：116（局番なし）
申し込み内容	ダイヤルインの種類：「モデムダイヤルイン」 電話番号（送出番号）：下4桁を指定 ・指定しないと現在使用している電話番号が変わることがあります。
確認事項	ダイヤルインサービスの利用開始日

お知らせ

- 「モデムダイヤルイン」（モデム信号方式）を指定してください。本商品はPB信号方式のダイヤルインには対応しておりません。
- モデムダイヤルインは、NTT東日本またはNTT西日本の他の回線付加サービスと同時に使えない場合があります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスが利用できないことがあります。詳しくは、NTT東日本またはNTT西日本にお問い合わせください。
- 電話番号は複数になりますが、同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。
- 停電中は電話／ファクスともにご利用になれません。

本商品を接続している回線によって次のことにご注意ください。

NTT東日本またはNTT西日本以外の直収電話	ダイヤルインサービスをご利用になれないことがあります。詳しくは、ご加入の電話会社にお問い合わせください。
ブランチ接続（P.1-10）	モデムダイヤルインをご利用になれません。
ISDN回線	ターミナルアダプタ（TA）の機種によってはご利用になれないことがあります。

ダイヤルインを設定する／解除する

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- ダイヤルインサービスが開始されてから設定してください。開始前に設定すると、電話がつながらなくなることがあります。

1  【メニューを開く】を押す

2 【5】「ナンバー・ディスプレイ」を押す

ナンバー・ディスプレイ：
・する
・しない

3 【▲】または【▼】で
「する」を選び
【セット】を押す

1. 鳴分＆プライベートコール
2. とくていコール
3. 番号リクエスト
4. 着信拒否
5. 着信拒否リスト設定

4 【8】「ダイヤルイン」を押す

ダイヤルイン：
・する
・しない

5 【▲】または【▼】で
ダイヤルインの利用を「する」を選び
【セット】を押す

ファクス専用：
・する
・しない

6 【▲】または【▼】で
ファクス用の番号の登録「する」または「しない」を選び
【セット】を押す

手順6で「しない」を選んだときは手順8に進む

お買い求め時の設定：しない

お知らせ

- ダイヤルインを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの加入にかかわらず、「する」にします。

ダイヤルインを解除する場合は：

「しない」を選び、【セット】を押す。
「設定しました」と表示されたら解除されました。
【ストップ】を押すと待受中に戻ります。

7
機能／設定

その他の
モデムダイヤルイン

7 ダイヤルボタンで
ファクス用番号を入力し
[セット] を押す

ファクス番号入力

1111

ファクス用番号の下4桁を入力します。

お知らせ

- ファクス用番号と同じ番号を、親機用番号、子機用番号に登録することはできません。

8 ダイヤルボタンで
親機用番号を入力し
[セット] を押す

内線番号入力

内線1 = 222

- ・ 「内線1」は親機を示します。
- ・ 下4桁を入力します。

9 [▲] または [▼] で
共通鳴動「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

共通鳴動：
・ する
・ **しない**

親機の電話番号に電話がかかったとき

する（共通鳴動する） : 子機のベルも鳴らす

しない（共通鳴動しない） : 

10 ダイヤルボタンで
子機用番号を入力し
[セット] を押す

内線番号入力

内線2 = 333

- ・ 子機の内線番号に応じて割り当てる電話番号（下4桁）を入力します。

- ・ 子機の内線番号  「受けた電話を転送する（外線転送）」（P.2-7）

子機が複数台あるときは手順10をくり返す

11 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

■ 電話番号を変更するには

同じ手順で最初から設定をやり直してください。

■ ダイヤルインの利用を解除するには

手順5で「しない」を選びます。また、「ナンバー・ディスプレイ」を「しない」にするとダイヤルインも解除されます。

ダイヤルインの動作

電話番号（契約者回線番号）とダイヤルインの追加番号により、電話用番号とファクス用番号に使い分けることができます。

	電話がかかってくると	ファクスが送られてくると
電話用番号	ベルが鳴り、電話／ファクスが自動的に切り替えられます。切り替えをしないときは着信モードを「電話専用」にします。  「着信モードの説明と設定方法」（P.5-12）	ベルが鳴り、受話器をとると「ポーポーポー」の音がします。無音のこともあります。 ファクスを手動受信できます。  「電話やファクスの受けかた」（P.5-7）
ファクス用番号	ベルは鳴らず、電話には出られません。	ベルは鳴らず、自動的にファクスを受信します。

	留守設定をしているときは
電話用番号	通常の留守番電話と同じ動作をします。 ・ 電話の用件は録音されます。 ・ ファクスは自動的に受信します。
ファクス用番号	・ 電話の用件は録音されません。 ・ ファクスは自動的に受信します。
子機用番号	子機のベルが鳴ります。 ・ 電話の用件は録音されます。 ・ ファクスは自動的に受信します。

プライベートコールの設定が「すべて」ではないときは（プライベートコール P.6-4）

ダイヤルインで割り当てた番号にかかわらず、プライベートコールで指定した親機／子機のベルが鳴ります。

ダイヤルインの利用例

■ こう使いたいとき

利用例 A	利用例 B
・ 電話用番号とファクス用番号を使い分けたい。 ・ 電話がかかってきたら、親機も子機も鳴らしたい。	・ 3 つの電話番号（親機と子機 2 台）を使いたい。 ・ ファクス用の番号は使わない。

■ こう契約／設定すると

ダイヤルインの契約（NTT 東日本または NTT 西日本）

契約内容	利用例A	利用例B
契約者回線番号	××× - aaaa (電話用)	××× - cccc (親機用)
ダイヤルイン 追加番号	××× - bbbb (ファクス用)	××× - dddd (付属子機用) ××× - eeee (増設子機用)

本商品の設定

必要な登録設定 →「ダイヤルインを設定する／解除する」(P.7-3)	利用例A	利用例B
ダイヤルイン	○	○
ファクス専用	○	×
ファクス	bbbb	—
内線1（親機）	aaaa	cccc
共通鳴動	○※	×
内線2（子機1）	aaaa	dddd
内線3（子機2）	—	eeee

※：親機に電話がかかってきたときに、子機のベルも鳴らします。

■ このように動作します

動作	ダイヤルする番号	親機の状態	子機の状態
Aに電話	××× - aaaa	ベルが鳴る	ベルが鳴る
Aにファクス	××× - bbbb	ベルが鳴らずに、自動受信	ベルが鳴らない
Bの親機に電話	××× - cccc	ベルが鳴る	ベルが鳴らない
Bの付属子機に電話	××× - dddd	ベルが鳴らない	付属子機のベルだけ鳴る
Bの増設子機に電話	××× - eeee	ベルが鳴らない	増設子機のベルだけ鳴る
Bにファクス	××× - cccc	ベルが鳴り、自動受信	ベルが鳴らない

お知らせ

- 利用例Aのファクス用番号に電話しても着信ベルは鳴りません。電話に出られません。
- ベルが鳴っていない親機や子機でも電話に出られます。

その他の機能を利用する

ディスプレイの表示濃度を変える

ディスプレイに表示される文字の濃度を調整できます。

親機

お知らせ ● 子機では操作できません。

1  [メニューを開く] を押す

2 [1]「初期設定」→
[5]「表示濃度」
を順に押す



3  [薄く] または  [濃く] で表示濃度を調整し
[セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定： ■■■■■■□□□

8段階で調整できます。



ボタンを押したとき音を鳴らす／鳴らさない（キータッチトーン）

ボタンを押したときの「ピッ」という音がキータッチトーンです。この音を鳴らすか鳴らさないかを設定できます。

親機

1  [メニューを開く] を押す

2 [1]「初期設定」→
[9]「キータッチトーン」
を順に押す

キータッチトーン：
・する
・しない

3 [▲] または [▼] で
キータッチトーンの設定「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定： する

子機

お知らせ ● 「タッチトーンOFF」（鳴らさない）にすると、エラーや設定終了の通知音も鳴らなくなります。

1 [メニュー] を押す

メニュー
↓デジカボウトウク

2 [▲] または [▼] で
「タッチトーン」を選び
[メニュー] を押す

メニュー
↓タッチトーン

タッチトーン
↓ON

3 [▲] または [▼] で
「ON」または「OFF」を選び
[メニュー] を押す

お買い求め時の設定： ON

[通話] が点灯しているときは：

[切] を押してから [メニュー] を押す。

鳴らす／鳴らさないを選びます。

ON：鳴らす

OFF：鳴らさない

ボタン操作を受け付けなくする／解除する（チャイルドロック）

ボタンを押しても受け付けないように設定できます。お子様のいたずらや間違えて押したときの動作を防止できます。

親機

1  [メニューを開く] を押す

2 [1]「初期設定」→
[0]「チャイルドロック」
を順に押す

チャイルドロック：
・する
・しない

3 [▲] または [▼] でチャイルドロックの設定
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

5 しばらく（約90秒）何も操作しないと
バックライトが消灯し
ロックされる

お買い求め時の設定：しない

ロックすると、画面に  が表示されます。

お知らせ

- バックライトが点灯している間は操作がロックされません。
- ロックされているときボタンを操作すると、「チャイルドロック中 解除 #を2秒押す」とメッセージが表示されます。

子機

1 [メニュー] を押す

メニュー
◆デジノチャイルドロック

2 [▲] または [▼] で
「チャイルドロック」を選び
[メニュー] を押す

メニュー
◆チャイルドロック

チャイルドロック
◆OFF

3 [▲] または [▼] で「ON」または「OFF」を選び
[メニュー] を押す

4 しばらく（約100秒）何も操作しないと
ロックされる

チャイルドロックチュウ

お買い求め時の設定：OFF

お知らせ

- ロックされているときボタンを操作すると、「チャイルドロックチュウ カイジョ #ナガオシ」とメッセージが表示されます。

チャイルドロックを一時的に解除する

ボタンを押すだけで一時的に解除できます。機能メニューから設定し直さなくても電話やファクスをご利用になれます。ご利用のあとは、しばらく（親機：約90秒、子機：約100秒）何も操作しないと再びロックされます。

親機

子機

お知らせ ● 親機と子機の操作は同じです。

1 [#] を長く押す（2秒以上）

〈親機〉

チャイルドロックを
一時解除しました

〈子機〉

チャイルドロック
イジノカイジョ

お知らせ

- 次のときはチャイルドロックが一時的に解除されます。
 - ・ 外線を着信したとき
 - ・ 親機または子機を使用しているとき

7 その他の機能／設定

その他の機能を利用する

ベルの音色を変える／メロディにする

ベル音の音色を変えられます。また、ベル音の代わりにメロディにできます。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。親機のベル音を変えると子機のベル音も変わります。
- 着信鳴り分けを設定している場合は、着信鳴り分けの設定で選んだ音色／メロディになります（着信鳴り分け→P.6-4）。

1

メニューを開く

「メニューを開く」を押す

2

「電話機能」→
「ベル音・メロディ」
を順に押す

ベル音・メロディ：
・ベル（標準）
・ベル（鳴り分け）
・メロディ（A）
・メロディ（B）

お買い求め時の設定：ベル（標準）

3

「▲」または「▼」で
ベルの音色やメロディを選び
「セット」を押す

次の5種類から選べます。

ベル（標準）：通常の音色

ベル（鳴り分け）

メロディ（A）：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク

メロディ（B）：春

メロディ（C）：トルコ行進曲

4

「設定しました」と表示されたら「ストップ」を押す

■ベル音／メロディを聞いて確認するには

手順3でベル音／メロディを選んでいるとき（「セット」を押す前）に「再生する」を押す。

・確認中の音量を調整するには「音量を変える」を押します。

・音を止めるには「停止する」を押します。

ベルが鳴る回数を変える

着信ベルや呼出ベルの回数を変えられます。着信があってから回線が接続されるまでに鳴るベルを「着信ベル」と言います。設定した回数の着信ベルが鳴り終わると回線が接続され、「呼出ベル」に変わります。この時点で、相手先に通話料金がかかります。また、本商品のベルの音は変わりませんが、相手先に聞こえる呼出音は、呼出ベルに変わると高い音になります。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- 着信モードを「電話専用」に設定している場合、着信ベルの回数を変更できません。→「着信モードの説明と設定方法」（P.5-12）
- 着信ベルを8回以上に設定するとファクスを受けられないことがあります。ただし、通話中に送信されたファクスは受けられます。
- 着信ベルの回数はトールセイバの設定によっても変わります（トールセイバ→P.4-10）。
- 子機で鳴る着信ベルは親機よりも遅れて鳴り始めるので、指定した回数よりも少なくなります。

着信ベルの回数を変える

1

メニューを開く

「メニューを開く」を押す

2

「電話機能」→
「着信ベル回数」
を順に押す

着信ベル回数

06回

お買い求め時の設定：6回

3

ダイヤルボタンで
ベルの回数を入力し
「セット」を押す

設定できる回数：00～19回

一桁のときは頭に0をつけます（例：4→04）。

ベルを鳴らさずファクスを受けるには：

「00」を入力する。

訂正するときは：「クリアする」を押す。

4

「設定しました」と表示されたら「ストップ」を押す

着信モード	着信ベルを「00」にしたときの本商品の動作／対応のしかた
電話／ファクス切替	相手先が電話のときは、回線が接続されてから約 5 秒後に呼出ベルが鳴ります。相手先が電話をかけてからファクスを送信したときは、呼出ベルが鳴ります。電話に出てから手動受信してください。☎「電話やファクスの受けかた」(P.5-7)
ファクス専用	着信ベルが 1 回も鳴らずにファクスを受信します。電話は受けられません。

呼出ベルの回数を変える

お知らせ

- 着信モードを「電話専用」または「ファクス専用」に設定している場合は、呼出ベルの回数を変更できません。

1  **メニューを開く** [メニューを開く] を押す

2 [2]「電話機能」→
[5]「呼出ベル回数」
を順に押す

呼出ベル回数

10回

3 ダイヤルボタンで
ベルの回数を入力し
[セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定：10回

設定できる回数：01～19回

一桁のときは頭に 0 をつけます (例：8→08)。

訂正するときは： [クリアする] を押す。

保留のメロディを変える

通話を保留にしたときに相手先に流すメロディを選べます。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- 相手先に流れる音量は調整できません。

1  **メニューを開く** [メニューを開く] を押す

2 [2]「電話機能」→
[7]「保留メロディ」
を順に押す

保留メロディ：

・聖者の行進

・茶色の小瓶

3 [▲] または [▼] で
メロディを選び
[セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定：聖者の行進

次の2種類から選べます。
「聖者の行進」、「茶色の小瓶」

■ メロディを聞いて確認するには

手順3でメロディを選んでいるとき ([セット] を押す前) に  [再生する] を押す。

・ 確認中の音量を調整するには  [音量を変える] を押します。

・ 音を止めるには  [停止する] を押します。

7 その他の機能／設定

その他の機能を利用する

無線LANとの電波干渉を少なくする（WIFI BAND）

無線LAN機器との電波干渉が考えられるときは、WIFI BANDの設定を変更してみてください。

本設定は、コードレス電話機の使用チャンネル帯域を設定します。なお、ご使用の環境により効果が異なることがあります。

親機

お知らせ

- 子機では操作できません。
- 外線通話中および親機と子機での内線通話中では変更できません。
- 子機と子機での内線通話中（子機が2台以上のとき）は操作が可能ですが、操作後、再起動するときに内線通話が切れます。

1  [メニューを開く] を押す

2 [2]「電話機能」→
[9]「WIFI BAND」
を順に押す

WIFI BAND :
・設定1
・**設定2**
・設定3
・設定4

3 [▲] または [▼] で
設定を選び
[セット] を押す

再起動します

お買い求め時の設定：設定 2

次の4種類から選べます。

設定1 / 設定2 / 設定3 / 設定4

設定を変更すると、本商品は自動的に再起動します。

子機の通話状態を良くする（ダブルアクセス）

子機での通話中に、声の途切れや雑音が入るときは、設定を変更してみてください。

子機

お知らせ

- 親機では操作できません。
- 通話中は操作できません。
- 子機が複数あるときは、それぞれの子機で設定してください。
- 子機の通話時は無線LAN機器の動作に影響を及ぼすことがあります。そのような場合は、ダブルアクセスを「OFF」にするともっとも影響が少なくなります。
- ダブルアクセス機能は子機で外線通話したときに有効です。内線通話時はダブルアクセス機能は動作しません。

1 [メニュー] を押す

メニュー
◆デフォルトワーク

2 [▲] または [▼] で
「ダブルアクセス」を選び
[メニュー] を押す

メニュー
◆ダブルアクセス

ダブルアクセス
◆AUTO

3 [▲] または [▼] で
設定を選び
[メニュー] を押す

お買い求め時の設定：AUTO

- ・ 設定によって、子機の連続通話時間は以下のようになります。
ON（設定）：約4時間
OFF（解除）
AUTO：約4～6時間
- ・ 「AUTO」を選ぶと、電波の状態によって自動的にONとOFFを切り替えます。

リストをプリントする

電話帳に登録した内容、着信履歴、設定の状態、ファクスの送信／受信の履歴をプリントできます。

親機

お知らせ ● 子機では操作できません。

1  **【メニューを開く】**を押す

2 **【6】「リストプリント」**を押す

- 1. 電話番号リスト
- 2. 着信履歴リスト
- 3. システムリスト
- 4. 通信管理レポート
- 5. メールアドレスリスト

3 **【▲】** または **【▼】** で
プリントしたいリストを選び
【セット】を押す

プリントを途中で止めるには：**【ストップ】**を押す。

次の5種類から選べます。
電話番号リスト
着信履歴リスト
システムリスト
通信管理レポート
メールアドレスリスト

■「記録紙ありません」が表示されたら
しばらく（約5秒）するとディスプレイに
右のように表示される

レポートあり

（交互）

スタート押下

1 **【スタート／コピー】**を押す

記録紙をセットして
スタート押下

2 記録紙カセットや記録紙サポーターに
記録紙をセットし
【スタート／コピー】を押す

レポート出力中

📄「記録紙のセット」(P.1-13)

■ リストの種類

リスト名	項目	補足
電話番号リスト	・ 相手先名 ・ 電話番号 ・ 着信鳴り分けの設定 ・ プライベートコールの設定 ・ とくていコールの設定 ※ 50 件／1 ページ	相手先名は、登録された読みカナにより、次の順にプリントされます。 1. スペースで始まる名前 2. 数字で始まる名前 3. 50 音順 4. アルファベット 5. 記号 6. 読みカナが登録されていない 子機の電話帳の内容はプリントされません。 登録内容がないときはディスプレイに「電話番号が未登録です」が表示されます。
着信履歴リスト	・ 着信日時 ・ 着信履歴（電話番号） ・ 相手先名	子機に記録された着信履歴はプリントされません。 ナンバー・ディスプレイをご利用にならないと、着信履歴は記録されません。着信履歴がないときはディスプレイに「データはありません」が表示されます。
システムリスト	・ 設定項目 ・ 設定内容	—
通信管理レポート	・ 通信開始日時 ・ 通信時間 ・ 相手先 ・ モード ・ 送信枚数 ・ 受信枚数 ・ 通信結果 ※最新の20 件まで	ファクスの通信結果の詳細📄「 ■通信管理レポート（通信結果）の詳細 」(P.7-12) 通信データがないときはディスプレイに「データはありません」が表示されます。

7
機能／設定

その他の機能を利用する

リスト名	項目	補足
メールアドレスリスト	・ 相手先名 ・ メールアドレス ・ アドレス属性	相手先名は、登録された読みカナにより、次の順にプリントされます。 1. スペースで始まる名前 2. 数字で始まる名前 3. 50 音順 4. アルファベット 5. 記号 6. 読みカナが登録されていない 登録内容がないときはディスプレイに「メールアドレスが未登録です」と表示されます。

■ 通信管理レポート（通信結果）の詳細

表示	意味	表示	意味
話し中	相手先が話し中	(2 桁の数字)	 「エラーコード表」（本ページ下）
呼び出し	相手先から通話予約などの呼び出しを受けた	O.K.	正常に送信／受信された
無応答	・ 相手先が受信できない状態。または電話に出ない ・ 回線が正しく接続されていない。または電話回線ケーブルが断線している	中断	通信中に中断操作をした

エラーコード表

エラーコード	内容と対処方法	参照ページ
40	受信中に記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。	P.1-13
41	記録紙がつかまりました。取り除いてください。	P.9-1
45	メモリがいっぱいになりました。不要な留守電の用件を消去するか、メモリ代行受信したファクス受信文書があるときは、アラームを解除して出力するか、消去してください。	P.4-3、5-9
46	原稿がつかまりました。セットし直してください。	P.5-1、9-1
47	操作パネルが開いています。閉めてください。	P.9-2
71	・ 相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手先に確認してください。 ・ 相手先が番号非通知の着信を拒否している可能性があります。電話番号を通知して、もう一度送り直してください。	— P.6-3
74,75	電話回線に雑音が多くて送信できませんでした。もう一度送り直してください。	—
76,77	送信の途中で相手先が受信を終了してしまいました。相手先のファクスの記録紙がなくなった、相手先のメモリがいっぱいになった、もしくは、記録紙がつかまった可能性があります。相手先に確認してください。	—
92,96,97,98	受信の途中で相手先が送信を終了してしまいました。相手先で原稿がつかまった可能性があります。相手先に確認してください。	—
BA	インクフィルムがなくなりました。新しいインクフィルムに交換してください。	P.9-15

なお、上記以外にも、電話回線や相手先での異常が考えられます。もう一度送信／受信してみてください。

8 メール／ネットワーク機能を使う

メール／ネットワーク機能をお使いになるには

本商品をLANにつないでご利用になれるメール／ネットワーク機能について説明します。パソコンとの連携機能については、添付CD-ROM内の「ネットワークガイド」をあわせてご覧ください。

お使いになれる機能は

下記の機能をご利用になる際は、利用する各機能の「事前に必要な設定」をご確認ください。

メール送信／スキャンtoメール (→P.8-21)

メールを作成して携帯電話やパソコンに送信することができます。また、ファクス送信のように画像を携帯電話やパソコンにメール送信できます。

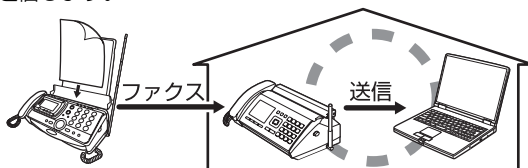


事前に必要な設定：

ネットワークの設定をする(メールの準備) (→P.8-2)

ファクスtoパソコン (→P.8-52)

ファクス受信文書をネットワーク接続されたパソコンに送信します。



事前に必要な設定：

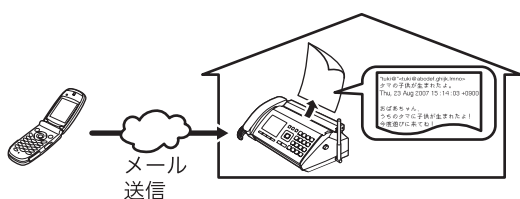
ネットワークの設定をする(メールの準備) (→P.8-2)

ユーティリティソフト(アプリケーション)のインストールをする (→P.8-47)

その他電子マニュアルに記載の事項*

メール受信／メールtoプリント (→P.8-28、8-35)

携帯電話やパソコンからのメールを受信して画面表示させることができます。また、必要に応じてプリントすることができます。

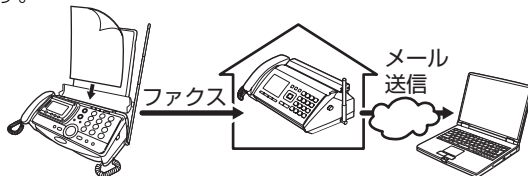


事前に必要な設定：

ネットワークの設定をする(メールの準備) (→P.8-2)

ファクスtoメール転送 (→P.8-53)

受信したファクスを指定したメールアドレスに送信します。

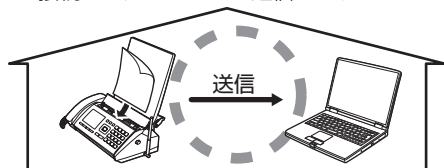


事前に必要な設定：

ネットワークの設定をする(メールの準備) (→P.8-2)

スキャンtoパソコン (→P.8-50)

ファクス送信のような操作で、スキャンした画像をネットワーク接続されたパソコンに送信します。*



事前に必要な設定：

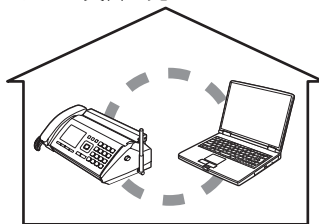
ネットワークの設定をする(メールの準備) (→P.8-2)

ユーティリティソフト(アプリケーション)のインストールをする (→P.8-47)

その他電子マニュアルに記載の事項*

パソコンで設定・閲覧 (→P.8-54)

Internet ExplorerなどのWebブラウザで電話帳の編集や受信したファクス文書を見ることができます。



事前に必要な設定：

ネットワークの設定をする(メールの準備) (→P.8-2)

ユーティリティソフト(アプリケーション)のインストールをする (→P.8-47)

その他電子マニュアルに記載の事項*

*：詳細は付属のCD-ROM内のネットワークガイドをご覧ください。

メール／ネットワーク機能をお使いになるには

8

メール／ネットワーク機能を使う

ネットワークの設定をする（メールの準備）

接続確認をする

お知らせ

- 本商品を使用するには、ルータ機能を持った機器が必要です。ルータ機能がない機器を使って、すでにインターネット接続されているお客様は、ルータ（別売）をご用意いただき、最初に「パソコンでPPPoE接続をしているときのご注意」（➡P.10-17）にしたがってパソコンの設定変更およびルータの設定をしてください。
- QRコードは暗号化されているため、携帯電話などのバーコードリーダーでは読み取ることができません。暗号化には「camellia」を使用しています。「camellia」はBSDライセンス1.2.0を使用しています。

1 光電話対応機器やルータ等、インターネット接続するための機器に電源が入っているか確認する

➡「親機を接続する」（P.1-7）

2 本商品のLAN端子と光電話対応機器やルータ等のLANポートが、LANケーブルで接続されているか確認する（接続されていない場合は接続する）

➡「親機を接続する」（P.1-7）

メールを使う準備をする

メールを使うための設定として、以下の3つの方法があります。

はじめての方でも、かんたんにメール設定をしていただくために「かんたん設定シート（QRコード）」を使ったメール設定をおすすめします。

いずれかひとつの方法で設定すれば、他の方法での設定は不要です。

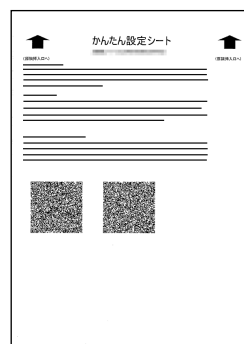
■ 「かんたん設定シート（QRコード）」を使う（➡P.8-3）

■ メニュー設定画面から入力する「かんたんメール設定」（➡P.8-4）

「かんたん設定シート（QRコード）」に登録されているメールアドレスではないものを設定したいときに、「かんたんメール設定」を使った操作をおすすめします。

■ パソコンを使って「機能設定メニュー」から設定する（➡P.8-54）

「かんたんメール設定」で設定する内容を、メニュー画面から入力する代わりに、パソコンから入力できます。

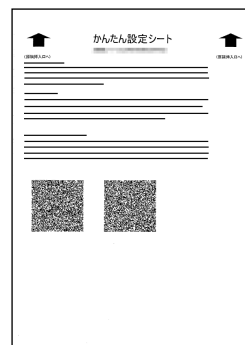


「かんたん設定シート（QRコード）」を使った設定（おすすめ）

「かんたん設定シート（QRコード）」には、メールアドレスなどの各種設定項目の情報が初期値としてQRコードで印刷されています。

「かんたん設定シート（QRコード）」を本商品にスキャンさせるだけのかんたんな操作で、メールの送受信に必要な設定やメールの通信テストを行うことができます。

本商品を最初にお使いいただく際には、この方法での設定をおすすめします。



お知らせ

- お客様がご自分で設定変更をしたあとに、「かんたん設定シート読取」を行うと、初期値に戻ってしまいますので、故障などによる再設定などの場合以外は、スキャンしないでください。
- 「かんたん設定シート」に印刷されたQRコードの数は変わることがあります。

- 1** **【メニューを開く】**を押す
- 2** **【1】「初期設定」→**
【1】「かんたん設定シート読取」
を順に押す

かんたん設定シートを
セットして下さい
- 3** 「かんたん設定シート（QRコード）」を
セットする

スタートを
押して下さい
- 4** **【スタート/コピー】**を押す

原稿読取中 P01

かんたん設定シート
解析中

かんたん設定シート
登録完了

「セルフメールテスト」（送信）を行います。

テストメール
送信中

通信終了
- 5** **【見てから】**を押す

受信メール一覧を見る

受信ファクス一覧を見る

21:08 XXX[セルフメール]

「セルフメールテスト」（受信）を行います。
- 6** 「受信メール一覧を見る」を選び
【セット】を押す
メールが来ない場合は、しばらくたってか
ら再度**【見てから】**を押してください。
- 7** **【セット】**または **【表示する】**を押す

メール受信中

日付: 2009/ 4/ 1 21:13

差出人: XXX

件名: [セルフメールテスト]

【▲】【▼】で、画面をスクロールすることができます。

「セルフメールテスト」が正常に終了すると、メールをお使いになれます。

- 8** 「セルフメールテスト」の内容を確認したら
【ストップ】を押す

「セルフメールテスト」は、自分のメールアドレスに送信します。

正常に設定終了できない場合は：

エラーコードが表示されます。エラー詳細を確認してください。

エラーコード

- 01 原稿を表裏にいていませんか？
- 02 原稿を上下逆に挿入していませんか？
- 03 違う原稿をセットしていませんか？
- 04 原稿が汚れていませんか？
- 05 違う原稿をセットしていませんか？
- 06 違う原稿をセットしていませんか？
- 07 原稿が汚れていませんか？
- 08 原稿が汚れていませんか？
- 09 電話帳がすべて登録されていませんか？

待受中に戻ります。

メニュー画面より入力「かんたんメール設定」

お知らせ

- 自分のメールアドレスやメールサーバアドレスなどを登録しますので、プロバイダより提供された郵便物等の通知（メールアドレス等が記載されているもの）をお手元にご用意ください。

パソコンをお持ちの方は、パソコンから設定すると便利です。📖「パソコンで設定や閲覧をする（機能設定メニュー）」（P.8-54）

1  **「メニューを開く」** を押す

2 **「1」「初期設定」→「4」「かんたんメール設定」**
を順に押す

自分のメールアドレスを
使用するための設定を
開始します

3 **「セット」** を押す

【手順1】
プロバイダから提供された
郵便物等の通知を
お手元にご用意ください

4 **「セット」** を押す

【手順2】
メールアドレスの
設定を行います

5 **「セット」** を押す

自分のメールアドレスを
入力します
セットを押して下さい

6 **「セット」** を押し
自分のメールアドレスを入力し
「セット」 を押す

tuki@abc.def.ne.jp

【手順3】
メール送信に必要な
設定を行います

7 **「セット」** を押す

送信メールサーバを
入力します
セットを押して下さい

8 **「セット」** を押し
送信メールサーバを入力し
「セット」 を押す

abc.def.ne.jp

【手順4】
メール受信に必要な
設定を行います

9 **「セット」** を押す

受信メールサーバを
入力します
セットを押して下さい

お知らせ

- メールアドレスを取得するには、別途プロバイダとの契約が必要です。
- 自分のメールアドレス、送信メールサーバ、受信メールサーバがわからない場合には、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- 操作の途中で10分間何もしないと、かんたんメール設定を終了して待受中に戻ります。

プロバイダによって名称が異なる場合があります。

本商品での名称	プロバイダで使用している名称例
自分のメールアドレス	・メールアドレス ・電子メールアドレス ・送信元メールアドレス

メールアドレスの文字数：

英数字／記号で最大半角50文字

📖「文字入力について」（P.10-13）

送信メールサーバの入力時、送信メールサーバが未登録の場合、メールアドレスの@以降が自動的に挿入されます。

プロバイダによって名称が異なる場合があります。

本商品での名称	プロバイダで使用している名称例
送信メールサーバ	・メールサーバ（※） ・送信メール（SMTP）サーバ名 ・送信用メールサーバ ・SMTPサーバ

※：プロバイダによっては、送信メールサーバ、受信メールサーバが同じで、メールサーバと表記されている場合があります。この場合は、それぞれに同じアドレスを入力してください。

送信メールサーバの文字数：

英数字／記号で最大半角50文字

📖「文字入力について」（P.10-13）

- 10 **「セット」** を押し
受信メールサーバを入力し
「セット」 を押す

bc.def.ne.jp

メールアカウントを
入力します
セットを押して下さい

受信メールサーバの入力時、受信メールサーバが未登録の場合、メールアドレスの@以降が自動的に挿入されます。

お知らせ

- IMAP4はサポートしていません。

プロバイダによって名称が異なる場合があります。

本商品での名称	プロバイダで使用する名称例
受信メールサーバ	・メールサーバ (※) ・POPサーバ ・受信メール (POP3) サーバ名 ・受信用メールサーバ

※：プロバイダによっては、送信メールサーバ、受信メールサーバが同じで、メールサーバと表記されている場合があります。この場合は、それぞれに同じアドレスを入力してください。

受信メールサーバの文字数：

英数字／記号で最大半角50文字

→「文字入力について」(P.10-13)

メールアカウントの入力時、メールアカウントが未登録の場合、メールアドレスの@より前が自動的に挿入されます。

プロバイダによって名称が異なる場合があります。

本商品での名称	プロバイダで使用する名称例
メールアカウント	・アカウント名 ・ユーザ名 ・ユーザID ・受信ユーザ名 ・POPアカウント ・メールID

メールアカウントの文字数：

英数字／記号で最大半角50文字

→「文字入力について」(P.10-13)

プロバイダによって名称が異なる場合があります。

本商品での名称	プロバイダで使用する名称例
メールパスワード	・パスワード ・POPパスワード

メールパスワードの文字数：

英数字／記号で最大半角32文字

→「文字入力について」(P.10-13)

設定後のメールパスワードは、「*」で表示されます。

- 11 **「セット」** を押し
メールアカウントを入力し
「セット」 を押す

uki

メールパスワードを
入力します
セットを押して下さい

- 12 **「セット」** を押し
メールパスワードを入力し
「セット」 を押す

- 13 **「▲」** または **「▼」** で
画面をスクロールし
設定した内容を確認する

設定確認は上下キーで
画面をスクロールして表示してください

⋮
[1]メールアドレス設定
⋮

- 14 確認ができたら
完了する **「完了する」** を押し
「メール接続テスト」 に進む

インターネットに接続して
メール接続テストを
行います。

詳細設定したいときは：  **「詳細を表示する」** を押し。

設定変更したいとき：  **「設定を変更する」** を押し。

お知らせ

- 「メール接続テスト」は、 **「メニューを開く」** を押し、**[8]「メール機能」** → **[1]「メール設定」** → **[2]「メール接続テスト」** を順に押してもテストすることができます。

15  [はい] を押す

メール接続テスト中
数分かかる場合があります
少しお待ち下さい

メール接続テストに
成功しました

メールの設定が
正しく行われています
本商品のメール機能を利用
することができます

「メール接続テスト」を行わない場合は：

 [いいえ] を押す。

「LANケーブルが未接続です」と表示されたときは：
接続を確認してください。→  「親機を接続する」
(P.1-7)

「IPアドレスが取得できません」と表示されたときは：
ルータの設定を確認してください。

「通信エラー」が表示されたときは：
メッセージを確認し、対応してください
(→  P.8-10)。

「送信メールサーバは認証が必要です。認証を「する」
に設定します」と表示されたときは：

 [はい] を押すと、自動的に「送信メールサー
バの認証」が「する」に設定されます。

「認証ユーザ名」と「認証パスワード」は、それ
ぞれ「メールアカウント」と「メールパスワード」
と同じものが設定されます。

16 [ストップ] 押して待受中に戻る

「メール接続テスト」が正常に終了すると、メールをお使いになれます。

メールアドレスを表示する

登録した自分のメールアドレスを確認できます。

1  [メニューを開く] を押す

2 [8] 「メール機能」 →
[2] 「メールアドレス表示」
を順に押す

メールアドレス
tuki@abc.def.ne.jp

3 確認したら [ストップ] を押す

メール／ネットワークの設定を変更／確認する

お願い

- 「ネットワークの設定をする（メールの準備）」（P.8-2）で、正常に「セルフメールテスト」または「メール接続テスト」ができていれば、本章の設定は不要です。
- 「かんたん設定シート（QRコード）」を使った設定をすると（P.8-3）、インターネット接続サービスの指定の内容が登録され、記載の「お買い求め時の設定」と異なる設定がされている場合があります。変更すると接続できなくなる場合がありますのでご注意ください。

ネットワーク設定を変更／確認する

IPアドレスを設定する

本設定は、特殊な場合以外、変更は必要ありません。また、設定を変えると、メール等ネットワーク接続機能が使えなくなる場合があります。

お知らせ

- DHCPの設定につきましては、お使いのADSLモデムやルータの取扱説明書をご覧ください。
- DHCPとは：インターネットに一時的に接続するコンピュータに、IPアドレスなど必要な情報を自動的に割り当てるプロトコルです。
- DHCPサーバ機能を持ったルータにつなぐ場合、ルータのDHCPサーバ機能を有効にして「DHCP使用：する」「DNS設定：自動」に設定することを推奨します。
- ネットワーク通信がうまくいかないときは、ルータや他の機器などネットワーク全体の設定を見直してください。

1 [メニューを開く] を押す

2 [7] 「ネットワーク機能」 → [1] 「IPアドレス設定」 を順に押す

DHCPを使用：
・する
・しない

3 [▲] または [▼] でDHCPを使用「する」または「しない」を選び [セット] を押す

手順3の選択に応じて次に示す手順に進む
「する」 → ■DHCPを使用する場合
「しない」 → ■DHCPを使用しない場合

■DHCPを使用する場合

DNS設定：
・手動
・自動

4 [▲] または [▼] で DNS手動設定する場合は「手動」を選び [セット] を押す

DNSサーバアドレス1

0 0 0 0

5 ダイヤルボタンで DNSサーバアドレス1を入力し [セット] を押す

DNSサーバアドレス2

0 0 0 0

6 ダイヤルボタンでDNSサーバアドレス2を入力し [セット] を押す

7 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

お買い求め時の設定

DHCPを使用：する
DNS設定：自動

DNS自動設定する場合は：

「自動」を選び、[セット] を押す。

「設定しました」と表示されたら、[ストップ] を押すと待受中に戻ります。

DNS手動設定する場合は：

お使いのネットワーク環境に合わせて、正しく設定してください。

DNSサーバアドレスの設定が不要なときは：

入力せずに [セット] を押す。

メール／ネットワークの設定を変更／確認する

8

メール／
ネットワーク
機能を使う

■DHCPしない場合

- 4 ダイアルボタンで
IPアドレスを入力し
[セット] を押す

IPアドレス			
0	0	0	0

- 5 ダイアルボタンで
サブネットマスクを入力し
[セット] を押す

サブネットマスク			
0	0	0	0

- 6 ダイアルボタンで
ゲートウェイを入力し
[セット] を押す

ゲートウェイ			
0	0	0	0

- 7 ダイアルボタンで
DNSサーバアドレス1を入力し
[セット] を押す

DNSサーバアドレス1			
0	0	0	0

- 8 ダイアルボタンで
DNSサーバアドレス2を入力し
[セット] を押す

DNSサーバアドレス2			
0	0	0	0

- 9 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

**IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、
DNSサーバアドレスを手動設定する場合は：**

お使いのネットワーク環境に合わせて、正しく設定してください。

DNSサーバアドレスの設定が不要なときは：
入力せずに [セット] を押す。

IPアドレスを確認する

本確認は、サポート時に使用します。

- 1  [メニューを開く] を押す

- 2 [7] 「ネットワーク機能」 →
[2] 「IPアドレス表示」
を順に押す

IPアドレス
xxx.yyy.zzz.aaa

- 3 確認したら [ストップ] を押す

MACアドレスを確認する

本確認は、サポート時に使用します。

- 1  [メニューを開く] を押す

- 2 [7] 「ネットワーク機能」 →
[3] 「MACアドレス表示」
を順に押す

MACアドレス
xyyyzz aabbcc

- 3 確認したら [ストップ] を押す

装置名を変更する

パソコンとつないで使う場合、パソコンに表示される装置名です。お買い求め時の設定のままで、お使いいただけます。

1  [メニューを開く] を押す

2 [7]「ネットワーク機能」→
[4]「装置名編集」
を順に押す

装置名を
入力します
セットを押して下さい

3 [セット] を押し
装置名を入力し
[セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

お買い求め時の設定：FAX+半角英数字6文字

装置名の文字数：最大半角英数字20文字

→「文字入力について」(P.10-13)

スキャンtoパソコンで送信するパソコンのIPアドレスを手動で設定する

※通常、設定する必要はありません。

送信先パソコンのIPアドレス設定が固定IPアドレスに設定されている場合、本設定を行うことで、送信先パソコンが自動で見つかるのを待たずにスキャンtoパソコンすることができます。

1  [メニューを開く] を押す

2 [7]「ネットワーク機能」→
[5]「パソコン送信宛先設定」
を順に押す

パソコン送信宛先設定：
・手動宛先設定1
・手動宛先設定2
・手動宛先設定3

3 [▲] または [▼] で
設定する相手先を選び
[セット] を押す

手動宛先設定1

0 0 0 0

4 ダイヤルボタンで
送信先パソコンのIPアドレスを入力し
[セット] を押す

5 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

パソコン送信ポート番号を変更する

※通常、変更する必要はありません。

スキャンtoパソコン、ファクスtoパソコンするときの、送信先パソコンのポート番号を設定します。

スキャンtoパソコン、ファクスtoパソコンが失敗する場合は、パソコンの「ポート番号確認」(→P.8-48)で、使用しているパソコン送信ポート番号を確認し、同じ番号にあわせて設定してください。

1  [メニューを開く] を押す

2 [7]「ネットワーク機能」→
[6]「パソコン送信ポート番号」
を順に押す

パソコン送信ポート番号：
・25
・10025
・20025
・30025

3 [▲] または [▼] で
設定する番号を選び
[セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

お買い求め時の設定：25

次の7種類から選べます。

25 / 10025 / 20025 / 30025 / 40025 /
50025 / 60025

ネットワーク接続を修復する

お使いになっていて、突然「メールが送れなくなった」などの異常時に「ネットワークの接続修復」で正常に戻ることができます。設定が正しいことを確認のうえ、行ってください。

1  [メニューを開く] を押す

2 [7]「ネットワーク機能」→
[7]「ネットワークの接続修復」
を順に押す

お待ち下さい

完了しました

3 [ストップ] を押す

DNS応答待ち時間を設定する

※通常、変更する必要はありません。

DNSサーバへの問い合わせの際、DNSサーバからの応答を待つ時間を設定します。

1  [メニューを開く] を押す

2 [7]「ネットワーク機能」→
[8]「DNS応答待ち時間」
を順に押す

DNS応答待ち時間：
・5秒
・60秒

お買い求め時の設定：5秒

次の2種類から選べます。
5秒／60秒

3 [▲] または [▼] で設定する秒数を選び
[セット] を押す

4 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

最新のエラー番号を表示する

メール送受信の異常発生後に、ディスプレイにエラー番号とエラー要因を表示させることができます。

1  [メニューを開く] を押す

2 [9]「最新のエラー表示」を押す

通信エラー E7 0001 [受信エラー]
●原因/可能性
・メールアカウントの入力間違い

最後に発生したエラー番号と解決策が表示されます。
[▲] [▼] で、画面をスクロールすることができます。

3 確認したら [ストップ] を押す

■代表的なエラー番号

エラー番号	原因/可能性	確認箇所	解決方法
E40001 E50001	・ 受信メールサーバの入力間違い	[メール設定] ・ 受信メールサーバ	1. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください
E52001	・ メールアカウントの入力間違い ・ メールパスワードの入力間違い ・ APOP認証の設定間違い ・ メールサーバがビジー状態	[メール設定] ・ 受信メールサーバ └ メールアカウント └ メールパスワード ・ APOP認証	1. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 2. しばらくたってから、もう一度お試しください
E5AF4B	・ 送信メールサーバの入力間違い	[メール設定] ・ 送信メールサーバ	1. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください
E5DF57	・ 自分のメールアドレスの入力間違い	[メール設定] ・ メールアドレス設定 └ 自分のメールアドレス	1. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください
E70001 E71001	・ メールアカウントの入力間違い ・ メールパスワードの入力間違い ・ 受信メールサーバがAPOP認証に対応していない	[メール設定] ・ 受信メールサーバ └ メールアカウント └ メールパスワード ・ APOP認証	1. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 2. お使いの受信メールサーバがAPOP認証に対応しているか、プロバイダにご確認ください 対応していない場合は、APOP認証を「しない」に設定して、もう一度お試しください
E721F4 E72217	・ 認証ユーザ名の設定間違い ・ 認証パスワードの設定間違い	[メール設定] ・ 送信メールサーバの認証 └ 認証ユーザ名 └ 認証パスワード	1. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください

エラー番号	原因／可能性	確認箇所	解決方法
E73000	送信メールサーバが認証に対応していない	[メール設定] ・送信メールサーバの認証	1. お使いの送信メールサーバが認証に対応しているか、プロバイダにご確認ください 対応していない場合は、送信メールサーバの認証を「しない」に設定して、もう一度お試しください
EA0006	【メール、ファクスtoメール転送をお使いの場合】 ・送信メールサーバの入力間違い ・メール送信ポート番号の入力間違い ・ネットワーク接続の異常 ・送信メールサーバがダウンしている 【スキャンtoパソコン、ファクスtoパソコンをお使いの場合】 ・転送先パソコンの電源が入っていない ・転送先パソコンのIPアドレスが変更されている ・パソコン送信宛先設定のIPアドレスの入力間違い ・パソコン送信ポート番号の入力間違い ・ネットワーク接続の異常	【メール、ファクスtoメール転送をお使いの場合】 [メール設定] ・送信メールサーバ ・メール送信ポート番号 【スキャンtoパソコン、ファクスtoパソコンをお使いの場合】 [ネットワーク機能] ・パソコン送信宛先設定 ・パソコン送信ポート番号	【メール、ファクスtoメール転送をお使いの場合】 1. LANケーブルの接続、ルータ等のネットワーク機器の接続と設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 2. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 3. しばらくたってから、もう一度お試しください 【スキャンtoパソコン、ファクスtoパソコンをお使いの場合】 1. LANケーブルの接続、ルータ等のネットワーク機器の接続と設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 2. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 3. 転送先パソコンの設定をご確認のうえ、もう一度お試しください
EA2209	自分のメールアドレスの入力間違い	[メール設定] ・メールアドレス設定 └自分のメールアドレス	1. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください
EA2212	送信メールサーバの認証の設定間違い	[メール設定] ・送信メールサーバの認証 └認証ユーザ名 └認証パスワード	1. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください
EA2XXX	・自分のメールアドレスの入力間違い ・送信メールサーバの認証の設定間違い ・ネットワーク接続の異常	[メール設定] ・メールアドレス設定 └自分のメールアドレス ・送信メールサーバの認証 └認証ユーザ名 └認証パスワード	1. LANケーブルの接続、ルータ等のネットワーク機器の接続と設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 2. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください
EA3XXX	・宛先メールアドレスの入力間違い ・電話帳の登録間違い ・ファクス転送先メールアドレスの入力間違い ・送信メールサーバの認証の設定間違い ・自分のメールアドレスの入力間違い ・ネットワーク接続の異常	[ファクス機能] ・ファクスtoメール転送 [メール設定] ・メールアドレス設定 └自分のメールアドレス ・送信メールサーバの認証 └認証ユーザ名 └認証パスワード	1. LANケーブルの接続、ルータ等のネットワーク機器の接続と設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 2. 宛先メールアドレスをご確認のうえ、もう一度お試しください 3. 電話帳からメールアドレスを入力している場合、電話帳に登録したメールアドレスが間違っていないかご確認ください 4. ファクスtoメール転送をご利用になっている場合、転送先メールアドレスを間違えていないかご確認ください 5. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください
EA5006	ネットワーク接続の異常	—	1. LANケーブル接続状態をご確認ください 2. 無線LANルータやコンバータをご利用の場合は、無線状態をご確認ください 3. しばらくたってから、もう一度お試しください
EAA000	・IPアドレス設定の設定間違い ・DNSサーバアドレスの設定間違い ・送信メールサーバの入力間違い ・メール送信ポート番号の入力間違い ・DNSサーバがダウンしている ・DNSサーバからの応答が遅れている	[ネットワーク機能] ・IPアドレス設定 └DNS設定 ・DNS応答待ち時間 [メール設定] ・送信メールサーバ ・メール送信ポート番号	1. LANケーブルの接続、ルータ等のネットワーク機器の接続と設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 2. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 3. しばらくたってから、もう一度お試しください
EABF50	・受信メールサーバの設定間違い ・メールアカウントの設定間違い ・メールパスワードの設定間違い ・メール受信ポート番号の設定間違い ・メールサーバがAPOP認証に対応していない	[メール設定] ・受信メールサーバ └メールアカウント └メールパスワード ・送信前に受信 ・APOP認証 ・メール受信ポート番号	1. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 2. お使いの受信メールサーバがAPOP認証に対応しているか、プロバイダにご確認ください 対応していない場合は、APOP認証を「しない」に設定して、もう一度お試しください

エラー番号	原因／可能性	確認箇所	解決方法
EC0006	- 受信メールサーバの設定間違い - メール受信ポート番号の設定間違い - メールサーバがダウンしている	[メール設定] - 受信メールサーバ - メールアカウント - メールパスワード - メール受信ポート番号	1. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 2. しばらくたってから、もう一度お試しください
EC2006	- 受信メール件数の上限を超えた - ネットワーク接続の異常	—	1. LANケーブルの接続、ルータ等のネットワーク機器の接続と設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 2. パソコンで受信メールを引き取るか、削除のうえ、もう一度接続をお試しください
EC7XXX	- メール消去中の回線異常 - ネットワーク接続の異常	—	1. LANケーブルの接続、ルータ等のネットワーク機器の接続と設定をご確認のうえ、もう一度お試しください
ECD001	- IPアドレス設定の設定間違い - DNSサーバアドレスの設定間違い - 受信メールサーバの入力間違い - メール受信ポート番号の入力間違い - DNSサーバがダウンしている - DNSサーバからの応答が遅れている	[ネットワーク機能] - IPアドレス設定 - DNS設定 - DNS応答待ち時間 [メール設定] - 受信メールサーバ - メール受信ポート番号	1. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 2. LANケーブルの接続、ルータ等のネットワーク機器の接続と設定をご確認のうえ、もう一度お試しください 3. しばらくたってから、もう一度お試しください
ED3000	- メールヘッダの受信に失敗した - LANケーブルの接続異常 - 無線状態の異常	—	1. LANケーブル接続状態をご確認ください 2. 無線LANルータやコンバータをご利用の場合は、無線状態をご確認ください 3. パソコンで受信メールを引き取るか、削除のうえ、もう一度お試しください
ED4001	受信メール件数の上限を超えた	—	1. パソコンで受信メールを引き取るか、削除のうえ、もう一度お試しください
上記以外	- ネットワーク接続の異常 - 設定の入力間違い	[ネットワーク機能] [メール設定]	1. LANケーブル接続状態をご確認ください 2. 無線LANルータやコンバータをご利用の場合は、無線状態をご確認ください 3. 設定をご確認のうえ、もう一度お試しください

お知らせ

- エラー番号で、設定確認、接続の確認をしてもわからない場合は、speax（スピークス）インフォメーションセンターにご相談ください（☎裏表紙）。

Webログインユーザ名、パスワードを設定する

パソコンのブラウザに本商品の設定などを表示する場合に、ユーザ名とパスワードを設定できます。

- 1**  **【メニューを開く】**を押す

- 2** **【7】「ネットワーク機能」→
【9】「Webログイン設定」**
を順に押す

Webログイン認証：
・する
・ **しない**

- 3** **【▲】**または**【▼】**で
「する」を選び
【セット】を押す

ログインユーザ名を
入力します
セットを押して下さい

- 4** **【セット】**を押して
ログインユーザ名を入力し
【セット】を押す

user

ログインパスワードを
入力します
セットを押して下さい

- 5** **【セット】**を押して
ログインパスワードを入力し
【セット】を押す

password

設定しました

- 6** **【ストップ】**を押す

お買い求め時の設定

Webログイン認証 : しない
ログインユーザ名 : user
ログインパスワード : password

ログインユーザ名とログインパスワードを設定しない場合は：「しない」を選び、**【セット】**を押す。
 「設定しました」と表示されたら解除されました。
【ストップ】を押すと待受中に戻ります。

ログインユーザ名の文字数：最大半角英数字10文字
 ☞「文字入力について」(P.10-13)

ログインパスワードの文字数：
 最大半角英数字10文字
 ☞「文字入力について」(P.10-13)

時刻を自動更新／手動取得する

NTPサーバに定期的に接続し、親機の時計を自動的に合わせます。また、手動時刻取得の操作で、すぐに時刻を更新することもできます。特殊な場合を除いて、本項目の設定は不要です。

お知らせ

- NTP (network time protocol) サーバとは：現在時刻を教えてくれるサーバです。
- NTPサーバに接続するにはインターネットに接続できる環境が必要です。

1  [メニューを開く] を押す

2 [7] 「ネットワーク機能」 →
[0] 「NTP時刻設定」
を順に押す

1.自動時刻更新
2.手動時刻取得
3.NTPアドレス指定

3 [▲] または [▼] で
時刻の更新方法または「NTPアドレス指定」を選び
[セット] を押す

手順3の選択に応じて次の手順に進む

「自動時刻更新」 → ■自動時刻更新

「手動時刻取得」 → ■手動時刻取得

「NTPアドレス指定」 → ■NTPアドレス指定

■自動時刻更新

自動時刻更新：
・する
・しない

4 [▲] または [▼] で
自動時刻更新
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

設定しました

お買い求め時の設定

自動時刻更新 : する

NTPアドレス指定 : しない

「する」に設定した時点から、1週間毎に時刻を更新します。

5 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

■手動時刻取得

時刻取得中

時刻更新完了

手順3で [2] 「手動時刻取得」を押すと、操作後すぐに時刻の更新を開始します。

「接続失敗」と表示されたときは：

LAN未接続など、ネットワークトラブルによりインターネットに接続できない。

「時刻取得失敗」と表示されたときは：

NTPサーバが見つからなかったなどで、時刻が取得できない。

4 [ストップ] を押す

■NTPアドレス指定

NTPアドレス指定：
・する
・しない

4 [▲] または [▼] で
NTPアドレスの指定
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

NTPアドレスを
入力します
セットを押して下さい

「する」を選んだ場合は、任意のNTPサーバを指定することができます。「しない」を選んだ場合は、あらかじめ設定されているサーバに接続します。

5 [セット] を押し
NTPアドレスを入力し
[セット] を押す

設定しました

NTPアドレスの文字数：

英数字／記号で最大半角50文字

→ 「文字入力について」(P.10-13)

6 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

メール設定を変更／確認する

お願い

- 「かんたん設定シート（QRコード）」を使った設定をすると（☞P.8-3）、インターネット接続サービスの指定の内容が登録され、記載の「お買い求め時の設定」と異なる設定がされている場合があります。変更すると接続できなくなる場合がありますのでご注意ください。

メールの設定内容を確認する

1  **「メニューを開く」** を押す

2 [8] 「メール機能」 →
[1] 「メール設定」 →
[1] 「設定確認／設定変更」
を順に押す

設定確認は上下キーで
画面をスクロールして表示してください

[1] メールアドレス設定

3 [▲] または [▼] で
変更する設定を確認する

4  **「完了する」** を押す

5 **「ストップ」** を押す

送信前に受信する

メール送信の際に、POP認証を行うかどうかを設定します。メールの受信は行われません。

1 「メールの設定内容を確認する」
（☞本ページ上）の手順1～2
と同じ操作をする

設定確認は上下キーで
画面をスクロールして表示してください

[1] メールアドレス設定

お買い求め時の設定：しない

2  **「設定を変更する」** を押す

1. メールアドレス設定を変更する
2. 送信メールサーバを変更する
3. 受信メールサーバを変更する
...

3 [▲] または [▼] で
「送信前に受信を変更する」を選び
[セット] を押す

送信前に受信：
・ する
・ **しない**

4 [▲] または [▼] で
送信前に受信「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

5 「設定しました」と表示されたら **「ストップ」** を押す

送信メールサーバの認証を変更する

プロバイダによっては、メールを送信する際、認証が必要な場合があります（SMTP認証）。送信メールサーバに認証が必要かどうかは、お使いのプロバイダにお問い合わせください。

1 「メールの設定内容を確認する」
（☞本ページ上）の手順1～2
と同じ操作をする

設定確認は上下キーで
画面をスクロールして表示してください

[1] メールアドレス設定

お買い求め時の設定：しない

2 設定を変更する 「設定を変更する」を押す

1.メールアドレス設定を変更する
2.送信メールサーバを変更する
3.受信メールサーバを変更する
⋮

3 「▲」または「▼」で「送信メールサーバの認証を変更する」を選び「セット」を押す

送信メールサーバの認証：
・する
・しない

4 「▲」または「▼」で送信メールサーバの認証「する」または「しない」を選び「セット」を押す

手順4で「しない」を選んだときは「設定しました」と表示されたら【ストップ】を押して待受中に戻る
「する」を選んだときは「■「する」を選んだ場合」に進む

■「する」を選んだ場合

5 「セット」を押し認証ユーザ名を入力し「セット」を押す

認証ユーザ名を入力します
セットを押して下さい

uki
>

認証ユーザ名の文字数：最大英数字／記号50文字

→「文字入力について」(P.10-13)

認証ユーザ名の入力時、認証ユーザ名が未登録の場合「メールアカウント」と同じものが自動的に挿入されます。

6 「セット」を押し認証パスワードを入力し「セット」を押す

認証パスワードを入力します
セットを押して下さい

XX
>

認証パスワードの文字数：最大英数字／記号32文字

→「文字入力について」(P.10-13)

設定後の認証パスワードは「*」で表示されます。
認証パスワードの入力時、認証パスワードが未登録の場合「メールパスワード」と同じものが自動的に挿入されます。

7 「設定しました」と表示されたら【ストップ】を押す

APOP認証を変更する

※通常、変更する必要はありません。

プロバイダによっては、メールを受信する際、より安全にメールを受信するため、APOPに対応していることがあります。APOPに対応しているかどうかは、お使いのプロバイダにお問い合わせください。

1 「メールの設定内容を確認する」(→P.8-14)の手順1～2と同じ操作をする

設定確認は上下キーで画面をスクロールして表示してください
⋮
[1]メールアドレス設定
⋮

お買い求め時の設定：しない

2 設定を変更する 「設定を変更する」を押す

1.メールアドレス設定を変更する
2.送信メールサーバを変更する
3.受信メールサーバを変更する
⋮

3 「▲」または「▼」で「APOP認証を変更する」を選び「セット」を押す

APOP認証：
・する
・しない

4 ▲ または ▼ で
APOP認証「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

5 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

メール送信ポート番号を変更する

送信メールサーバで使用する、ポート番号を指定します。

通常25または587を使用します。お使いのプロバイダの設定に合わせて変更してください。

1 「メールの設定内容を確認する」
(P.8-14) の手順1～2と同じ
操作をする

設定確認は上下キーで
画面をスクロールして表示してください
⋮
[1] メールアドレス設定
⋮

お買い求め時の設定： 25

2  [設定を変更する] を押す

1. メールアドレス設定を変更する
2. 送信メールサーバを変更する
3. 受信メールサーバを変更する
⋮

3 ▲ または ▼ で
「メール送信ポート番号を変更する」を選び
[セット] を押す

メール送信ポート番号
25

4 メール送信ポート番号を入力し
[セット] を押す

設定できるメール送信ポート番号： 1～65535

- ・ 左詰め5桁に入力されます。
- ・ 入力後に  [クリアする] を押すと、お買い求め時の設定の番号が表示されます。

5 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

メール受信ポート番号を変更する

メールを受信するときのサーバを指定するための設定です。詳しくはプロバイダより提供された郵便物等の通知をご覧ください。

1 「メールの設定内容を確認する」
(P.8-14) の手順1～2と同じ
操作をする

設定確認は上下キーで
画面をスクロールして表示してください
⋮
[1] メールアドレス設定
⋮

お買い求め時の設定： 110

2  [設定を変更する] を押す

1. メールアドレス設定を変更する
2. 送信メールサーバを変更する
3. 受信メールサーバを変更する
⋮

3 ▲ または ▼ で
「メール受信ポート番号を変更する」を選び
[セット] を押す

メール受信ポート番号
110

4 メール受信ポート番号を入力し
[セット] を押す

設定できるメール受信ポート番号： 1～65535

- ・ 左詰め5桁に入力されます。
- ・ 入力後に  [クリアする] を押すと、お買い求め時の設定の番号が表示されます。

5 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

その他のメールの設定

件名と時間のプリントを設定する

受信したメールの件名、送信された時刻、送信元メールアドレスをメールの冒頭にプリントできます。

- 1  [メニューを開く] を押す

お買い求め時の設定： する

- 2 [8] 「メール機能」 →
[4] 「受信メール機能」 →
[4] 「件名と時間のプリント」
を順に押す

件名と時間のプリント：
・ する
・ しない

- 3 [▲] または [▼] で
件名と時間のプリント「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

- 4 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

プリント縮小率を設定する

添付ファイルをプリントするときの縮小率を設定できます。

- 1  [メニューを開く] を押す

お買い求め時の設定： 100%

- 2 [8] 「メール機能」 →
[4] 「受信メール機能」 →
[5] 「プリント縮小率」
を順に押す

プリント縮小率：
・ 85%
・ 90%
・ 93%
・ 100%

- 3 [▲] または [▼] で
プリント縮小率を選び
[セット] を押す

- 4 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

プリント分割を設定する

添付ファイルがA4に入りきらない場合に、2枚以上に分割してプリントするかどうかを設定します。設定しない場合、2枚目以降はプリントされません。

- 1  [メニューを開く] を押す

お買い求め時の設定： する

- 2 [8] 「メール機能」 →
[4] 「受信メール機能」 →
[6] 「プリント分割」
を順に押す

プリント分割：
・ する
・ しない

- 3 [▲] または [▼] で
プリント分割「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

- 4 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

受信メールの表示順序を変更する

受信メールを表示するときの順序を変更します。

- 1  [メニューを開く] を押す
- 2 [8]「メール機能」→
[4]「受信メール機能」→
[1]「メール表示順序」
を順に押す
- 3 [▲] または [▼] で
メール表示順序「昇順」または「降順」を選び
[セット] を押す
- 4 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

メール表示順序：
・昇順
・降順

お買い求め時の設定：昇順

表示順序はメールサーバの設定によって異なります。

文字サイズを変更する

画面に表示する文字の大きさの設定ができます。

- 1  [メールを使う] を押す
- 2 [▲] または [▼] で
「受信メール一覧を見る」を選び
[セット] を押す
- 3 [▲] または [▼] で
メールを選び
[セット] を押す
- 4  [メニューを開く] を押す
- 5 [▲] または [▼] で
「文字サイズ設定を変更する」を選び
[セット] を押す
- 6 [▲] または [▼] で
文字サイズ設定を選び
[セット] を押す

1.受信メール一覧を見る
2.送信メール一覧を見る
3.送信メールを作る
4.未読受信メールを印刷する

13:30 佐藤 こんにちは
10:20 鈴木 明日の予定
3/30 田中 ファイルを送ります

日付:2009/ 4/ 1 21:13:30
差出人:佐藤
件名:こんにちは
新しいお花屋さんがオープンしました。

文字サイズ設定：
・小さい
・大きい

お知らせ

- 送信メール一覧画面からでも、文字サイズを変更できます。[▲] または [▼] で「送信メール一覧を見る」を選び、[セット] を押してください。

設定後の文字サイズは、受信メール／送信メールともに設定した同じ大きさで表示されます。

メールを送信する

メールを作成／送信する (メッセージ (本文のみ))

1  [メールを使う] を押す

1. 受信メール一覧を見る
2. 送信メール一覧を見る
3. 送信メールを作る
4. 未読受信メールを印刷する

2 [▲] または [▼] で
「送信メールを作る」を選び
[セット] を押す

宛先: (入力できます)
件名: メール#0001(FAX06E824)
本文: メールを送ります
原稿: 添付しない

3 [▲] または [▼] で
「宛先」を選び
[セット] を押す

1. 宛先を電話帳から入力する
2. 宛先を直接入力する

4 [▲] または [▼] で
「宛先を電話帳から入力する」または「宛先を直接入力する」を選び
[セット] を押す

手順4の選択に応じて次に示す手順に進む
電話帳から相手先を選ぶ→■宛先を電話帳から入力する
メールアドレスを入力する→■宛先を直接入力する

■ 宛先を電話帳から入力する

 佐藤
鈴木

5 [▲] または [▼] で
送信する相手先を選ぶ

6  [宛先を決定する] を押し
手順7に進む

宛先: 佐藤
宛先: (入力できます)
件名: メール#0001(FAX06E824)
本文: メールを送ります
原稿: 添付しない

■ 宛先を直接入力する

>

5 メールアドレスを入力し
[セット] を押す

tuki@abc.def.ne.jp

送信メール作成画面が表示されます。→「送信メール作成画面の説明」(P.8-20)

「原稿: 添付する」に変更するときは:

1. [▲] または [▼] で「原稿」を選び、[セット] を押す。
2. [▲] または [▼] で「添付する」を選び、[セット] を押す。

宛先は5件まで指定できます。

メールアドレスが登録されている電話帳の宛先が表示されます。

→「電話帳表示画面の説明」(P.3-2)

宛先を選んで [セット] を押すと、宛先の詳細画面が表示され、メールアドレスを確認してから手順6に進むことができます。

複数の宛先を入力する場合は: [▲] または [▼] で決定した宛先下の「宛先: (入力できます)」を選んで [セット] を押し、手順4からくり返す (5宛先まで)。

宛先を変更する場合は: [▲] または [▼] で変更する宛先を選んで [セット] を押し、手順4からくり返す。

宛先を消去する場合は:

- ① [▲] または [▼] で消去する宛先を選び、[セット] を押す。
- ② [▲] または [▼] で「宛先を消去する」を選び、[セット] を押す。

メールアドレスの文字数:

英数字／記号で最大半角50文字

→「文字入力について」(P.10-13)

6 ▲ または ▼ で
入力したメールアドレスがパソコン/
携帯電話のどちらのアドレスかを
選んで
[セット] を押し
手順7に進む

アドレス属性:

・PC
・携帯

宛先: tuki@abc.def.ne.jp
宛先: (入力できます)
件名: メール#0001(FAX06E824)
本文: メールを送ります
原稿: 添付しない

7 「件名」を選び
[セット] を押す

メール#0001(FAX06E824)

8 件名を入力し
[セット] を押す

こんにちは

宛先: 佐藤
宛先: (入力できます)
件名: こんにちは
本文: メールを送ります
原稿: 添付しない

9 「本文」を選び
[セット] を押す

メールを送ります

10 本文を入力し
[セット] を押す

新しいお花屋さんが

宛先: 佐藤
宛先: (入力できます)
件名: こんにちは
本文: 新しいお花屋さんが
原稿: 添付しない

11 送信する [送信する] を押す

複数の宛先を入力する場合は: ▲ または ▼ で
決定した宛先下の「宛先: (入力できます)」を選
んで [セット] を押し、手順4からくり返す (5宛
先まで)。

宛先を変更する場合は: ▲ または ▼ で変更す
る宛先を選んで [セット] を押し、手順4からく
り返す。

宛先を消去する場合は:

- ① ▲ または ▼ で消去する宛先を選び、[セッ
ト] を押す。
- ② ▲ または ▼ で「宛先を消去する」を選び、
[セット] を押す。

メールの通し番号と装置名があらかじめ表示されま
す。件名は変更できます。

件名の文字数: 最大半角60文字/全角30文字

→ 「文字入力について」(P.10-13)

定型文を入力するには: → 「定型文を入力する」
(P.8-21)

登録されている冒頭文が表示されます。

冒頭文を変更するには: → 「送信メールの冒頭文
を編集する」(P.8-27)

本文を入力しないときは:

[セット] を押し、手順11へ。

お知らせ

- 操作の途中で10分間何もしないと、下書き保存
確認画面が表示されたあと、本文入力を終了し
て待受中に戻ります。

本文の文字数: 最大半角1000文字/全角500文字

→ 「文字入力について」(P.10-13)

定型文を入力するには: → 「定型文を入力する」
(P.8-21)

「添付する」にしたが、宛先に属性がセットされてい
ないときは: 宛先の属性を指定する画面が表示さ
れます。

作成途中のメールを送信せずに保存するには:

下書きを保存する [下書きを保存する] を押す。

下書き保存されたメールは、送信メール一覧画面
に「」で示します。→ 「送信メール一覧画
面の説明」(P.8-25)

送信メール作成画面の説明

送信メール作成

宛先: (入力できます)
件名: メール#0001(FAX06E524)
本文: メールを送ります。
原稿: 添付する

▲ または ▼ で項目を選び、
[セット] を押すと編集できま
す。

お知らせ

- 件名、本文中の半角カナ文字は、全角文字に変
換して送信されます。

セットで宛先を入力します

送信する 下書きを
保存する 画質を
変更する



メールに添付する原稿を読み取るときの設定を変更できます。→ 「スキャンする原
稿の画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度、明度、輝度を変える」(P.8-23)

作成途中のメールを送信せずに保存します。

作成したメールを送信します。

定型文を入力する

「件名」または「本文」作成時に、下記の操作であらかじめ登録された「定型文」を使って入力することができます。定型文には、固定定型文（→「固定定型文一覧表」(P.10-15)）と、自分で自由に登録できる定型文（→「送信メールの定型文を編集する」(P.8-27)）があります。

1 件名または本文の入力画面で

メニュー
を開く

【メニューを開く】を押す

1. 定型文を挿入する
2. スペースを挿入する
...

2 [▲] または [▼] で 「定型文を挿入する」を選び 【セット】を押す

定型文 1/20
自由 定型1 定型2 定型3
おはようございます。

3 [<] または [>] でカテゴリーのタブを [▲] または [▼] で入力する定型文を選び 【セット】を押す

カテゴリーについて

各カテゴリーの定型文は、下記のとおりです。

自由 : 自由に登録した定型文 → 「送信メールの定型文を編集する」(P.8-27)

定型1 : 主にあいさつ文や伝言

定型2 : 主にビジネス文やその返信文

定型3 : 顔文字

「自由」に登録した定型文がないときは、「自由」のタブは選べません。

メールを作成／送信する（スキャンtoメール） （原稿を添付する）

お知らせ

- 携帯電話の相手先に送るときは、次の点にご注意ください。
 - ・ 送信先の携帯電話がパケット定額制の契約でない場合は、パケット通信料が高額になることがあります。
 - ・ 送信先の携帯電話の機種によっては、受信した画像が表示できない、または受信できないことがあります。
 - ・ 高画質で送っても、携帯電話が対応していない場合、その携帯電話で受信できる画質に変換されることがあります。

1 原稿をセットする

→ 「原稿セットのしかた」(P.5-1)

原稿は、原稿セットガイドに合わせて、センター寄せの状態で原稿挿入口にセットしてください。

原稿をセットしたあと【電話帳】を押し、相手先を選んで【メールを作る】を押すと手順8に進みます。

2 メールを使う

メール
を使う

【メールを使う】を押す

1. 受信メール一覧を見る
2. 送信メール一覧を見る
3. 送信メールを作る
4. 未読受信メールを印刷する

3 [▲] または [▼] で 「送信メールを作る」を選び 【セット】を押す

宛先: (入力できます)
件名: メール#0001(FAX06E824)
本文: メールを送ります
原稿: 添付する

送信メール作成画面が表示されます。→ 「送信メール作成画面の説明」(P.8-20)

4 「宛先」を選び 【セット】を押す

1. 宛先を電話帳から入力する
2. 宛先を直接入力する

5 [▲] または [▼] で 「宛先を電話帳から入力する」または「宛先を直接入力する」を選び 【セット】を押す

手順5の選択に応じて次に示す手順に進む
電話帳から相手先を選ぶ → ■宛先を電話帳から入力する
メールアドレスを入力する → ■宛先を直接入力する

メールを送信する

8
メール
ネット
ワーク
機能
を使う

■宛先を電話帳から入力する



6 ▲ または ▼ で
送信する相手先を選ぶ

7 宛先を
決定する [宛先を決定する] を押し
手順8に進む

宛先：佐藤
宛先：(入力できます)
件名：メール#0001(FAX06E824)
本文：メールを送ります
原稿：添付しない

■宛先を直接入力する

6 ダイヤルボタンで
メールアドレスを入力し
[セット] を押す

tuki@abc.def.ne.jp

アドレス属性：
・PC
・携帯

7 ▲ または ▼ で
入力したメールアドレスが
パソコン／携帯電話のどちらの
アドレスかを選んで [セット] を押し
手順8に進む

宛先：tuki@abc.def.ne.jp
宛先：(入力できます)
件名：メール#0001(FAX06E824)
本文：メールを送ります
原稿：添付しない

8 「件名」を選び
[セット] を押す

メール#0001(FAX06E824)

9 件名を入力し
[セット] を押す

こんにちは
宛先：佐藤
宛先：(入力できます)
件名：こんにちは
本文：メールを送ります
原稿：添付しない

10 「本文」を選び
[セット] を押す

メールを送ります

11 本文を入力し
[セット] を押す

新しいお花屋さんが
宛先：佐藤
宛先：(入力できます)
件名：こんにちは
本文：新しいお花屋さんが
原稿：添付しない

メールアドレスが登録されている電話帳の宛先が表示されます。

☞「電話帳表示画面の説明」(P.3-2)

宛先を選んで [セット] を押すと、宛先の詳細画面が表示され、メールアドレスを確認してから手順7に進むことができます。

複数の宛先を入力する場合は：▲ または ▼ で決定した宛先下の「宛先：(入力できます)」を選んで [セット] を押し、手順5からくり返す (5宛先まで)。

宛先を変更する場合は：▲ または ▼ で変更する宛先を選んで [セット] を押し、手順5からくり返す。

宛先を消去する場合は：

- ① ▲ または ▼ で消去する宛先を選び、[セット] を押す。
- ② ▲ または ▼ で「宛先を消去する」を選び、[セット] を押す。

メールアドレスの文字数：

英数字／記号で最大半角50文字

☞「文字入力について」(P.10-13)

複数の宛先を入力する場合は：▲ または ▼ で決定した宛先下の「宛先：(入力できます)」を選んで [セット] を押し、手順5からくり返す (5宛先まで)。

宛先を変更する場合は：▲ または ▼ で変更する宛先を選んで [セット] を押し、手順5からくり返す。

宛先を消去する場合は：

- ① ▲ または ▼ で消去する宛先を選び、[セット] を押す。
- ② ▲ または ▼ で「宛先を消去する」を選び、[セット] を押す。

メールの通し番号と装置名があらかじめ表示されます。件名は変更できます。

件名の文字数：最大半角60文字／全角30文字

☞「文字入力について」(P.10-13)

定型文を入力するには：☞「定型文を入力する」(P.8-21)

登録されている冒頭文が表示されます。

冒頭文を変更するには：☞「送信メールの冒頭文を編集する」(P.8-27)

本文を入力しないときは：[セット] を押し、手順12へ。

お知らせ

- 操作の途中で10分間何もしないと、下書き保存確認画面が表示されたあと、本文入力を終了して待受中に戻ります。

本文の文字数：最大半角1000文字／全角500文字

☞「文字入力について」(P.10-13)

定型文を入力するには：☞「定型文を入力する」(P.8-21)

12 送信する [送信する] を押す

「添付する」にしたが、宛先に属性がセットされていないときは：宛先の属性を指定する画面が表示されます。

作成途中のメールを送信せずに保存するには：

下書きを保存する [下書きを保存する] を押す。

下書き保存されたメールは、送信メール一覧画面に「下書き」で示します。→「送信メール一覧画面の説明」(P.8-25)

スキャンする原稿の画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度、明暗、輝度を変える

メールに添付する原稿を読み取るときの設定を変更できます。「画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度、明暗、輝度の設定一覧」(→本ページ下)を参照のうえ、設定してください。

1 送信メール作成画面で

画質を変更する [画質を変更する] を押す

スキャン画質：文字
スキャンサイズ：A4
ファイル形式：TIFF
スキャン濃度：■■■■□□

2 [▲] または [▼] で 「スキャン画質」「スキャンサイズ」などを選び [セット] を押す

3 [▲] または [▼] で 設定を選び [セット] を押す

4 変更を完了する [変更を完了する] を押す

→「画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度、明暗、輝度の設定一覧」(本ページ下)

宛先に携帯電話のアドレスが1つ以上ある場合、スキャンする「画質、原稿サイズ、ファイル形式」は、自動的に携帯電話向けの設定に変更されます。

変更を取り消し、もとの設定に戻したいときは：

変更を取り消す [変更を取り消す] を押す。

画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度、明暗、輝度の設定一覧

[▲] または [▼] で画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度、明暗、輝度を選んで [セット] を押し、[▲] または [▼] で設定を選びます。選択終了後、[セット] を押すと設定を完了します。選択できる設定と詳細は下記の通りです。

	携帯電話に送信する場合				パソコンに送信する場合		
	【推奨】標準画質		高画質				
スキャン画質	カラー標準	モノクロ標準	カラー高画質	モノクロ高画質	カラー画像	モノクロ画像	文字
スキャンサイズ	A4 / A5 / B5		A4 / A5 / B5		A4 / A5 / B5		A4
ファイル形式	推奨は JPG (JPEG) PDF も選べます		JPG (JPEG) / PDF		JPG (JPEG) / PDF		TIFF / PDF
スキャン濃度	明暗／輝度	濃度	明暗／輝度	濃度	明暗／輝度	濃度	濃度
階調	1677 万色 (カラー)	256 階調 (モノクロ)	1677 万色 (カラー)	256 階調 (モノクロ)	1677 万色 (カラー)	256 階調 (モノクロ)	2 階調 (白／黒)
送信可能枚数	5 枚		5 枚		5 枚		5 枚
ファイル容量 の目安 (※) ／ 1 枚あたり (参考値)	約 100KB	約 60KB	約 300KB	約 160KB	A4 : 約 880KB A5 : 約 400KB B5 : 約 600KB	A4 : 約 400KB A5 : 約 260KB B5 : 約 330KB	約 40KB

携帯電話に送る場合の推奨指定

※：画質「文字」はA4判700字程度の原稿(独自)の場合、その他の画質は文字と写真・絵が混在した原稿(独自)の場合のファイル容量の目安です。ファイル容量は原稿の内容によって変わります。

メールを送信する

8

メールネットワーク機能を使う

お知らせ

● 携帯電話にメール送信する場合の注意事項

送信先の携帯電話にメール（画像ファイル付き）を受信する機能、および画像を表示する機能が搭載されている必要があります。

- ・ 携帯電話側で受信できる画像容量は、機種等によって異なります。
⇒ カラー／モノクロとも、ファイル容量の小さい「標準」モードを推奨します。

・ 原稿サイズ選択について

設定したサイズごとの原稿読み取り範囲は以下のとおりです。ただし、設定したサイズより大きい原稿の場合でも、設定したサイズで読み取ります。また、設定のサイズより原稿が小さい場合は、余白部分がついた画像となります。

A4……………横208×縦291mm

A5……………横146×縦204mm

B5……………横180×縦251mm

・ ファイル形式選択について

携帯電話によって表示できるファイル形式が異なります。

①JPG（JPEG）… カメラ付きの多くの携帯電話で画像表示が可能です。

②PDF ……………PDFビューア機能のある携帯電話で画像表示が可能です。

送信先の携帯電話に、PDFを表示する機能があるかどうか分からない場合は、JPG（JPEG）での送信をおすすめします。

● パソコンにメール送信する場合の注意事項

・ 画質モードの選択について

画質「文字」……………文字が見やすくなります。文字が多い原稿に適しています。

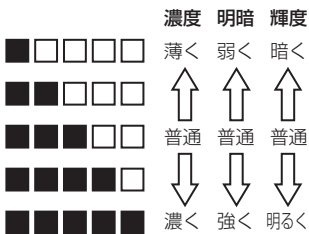
画質「モノクロ画像」……………文字と写真・絵が混在している原稿をモノクロで送るときに適しています。

画質「カラー画像」……………カラーで送るときに選択します。

● T.37対応ファクスに送信する場合の注意事項

ビジネス用のファクスなど、T.37対応とされるファクスに対して送信する場合は、画質「文字」、ファイル形式「TIFF」を選択してください。他の画質やファイル形式で送信した場合、受信機側でプリントされない場合があります。

■ 明暗（コントラスト）／輝度（明るさ）／濃度の設定方法



「カラー」の画質を選んだときは「明暗／輝度」、「モノクロ」「文字」の画質を選んだときは「濃度」の調整ができます。

原稿が極端に薄い場合などを除き、普通の設定で 사용되는ことをおすすめします。

■ 鉛筆などで書いた原稿やA5サイズ未満の原稿を送る場合は：

鉛筆などで書かれた原稿は読み取り面を汚してしまうので、キャリアシートを使って送信します。またA5サイズ未満の原稿もキャリアシートを使って送信します。

A5サイズ未満の原稿はキャリアシートの中央、とじしろ側に突き当ててセットし、原稿サイズの選択でA5を選んで送信してください。

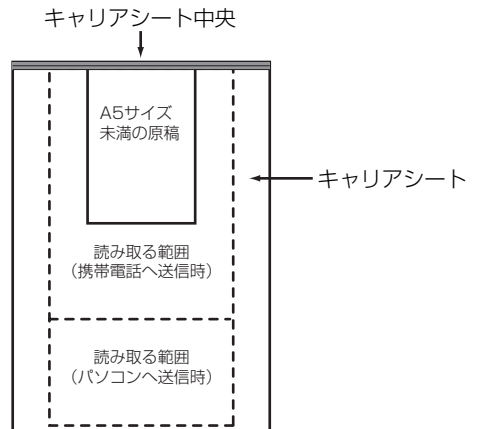
お知らせ

● A5サイズ未満の原稿はキャリアシートを使うことで送信できますが、画像の周りに余白が付きます。

A5サイズを選択したときに読み取る範囲（点線部分）

携帯電話へ送信時：約 横146×縦204mm

パソコンへ送信時：約 横146×縦297mm



送信メール一覧を使う

送信メール一覧画面の説明

【メールを使う】**【メールを使う】**を押し、**【▲】**または**【▼】**で「送信メール一覧を見る」を選んで**【セット】**を押すと、送信メール一覧が表示されます。送信したメールの履歴を確認したり、下記のような操作を行うことができます。

お知らせ

- 最大30件まで保存します。
- 30件以上ある場合は、古いものから消去されます。
- 添付ファイルは保存されません。

送信メール一覧 1/3			
日時	宛先	件名	
OK 13:30	佐藤	こんにちは	
10:20	鈴木	明日の予定	
3/30	田中	開封済：新しい	

セットでメールを表示します

メニューを開く 編集する 消去する 戻る

作成した日時が新しい順にメールが表示されます。
【▲】または**【▼】**でメールを選びます。
【>】で次ページ、**【<】**で前ページに切り替えます。

<宛先の表示について>

名前：電話帳に登録している宛先
 メールアドレス：電話帳に登録していない宛先
 空白（スペース）：宛先が指定されていない

1つ前の画面に戻ります。

選んでいるメールを消去します。

「送信メール作成」画面が表示されます。

✉「メールを作成／送信する（メッセージ（本文のみ）」（P.8-19）、
 「メールを作成／送信する（スキャンtoメール）（原稿を添付する）」（P.8-21）

機能メニューが表示されます。

【▲】または**【▼】**で機能を選び、**【セット】**を押します。

アイコン	意味
OK	送信できた
NG	送信できていない
✉	下書きメール

機能メニュー	
アドレスを電話帳登録する	宛先のメールアドレスを電話帳に登録します。
アドレスをフィルタ登録する	宛先のメールアドレスをメールフィルタリストに登録します。
ドメインをフィルタ登録する	宛先のメールアドレスのドメインをメールフィルタリストに登録します。
全ての送信メールを消去する	すべての送信メールを消去します。

送信メール一覧からメールを送信する

お知らせ

- 送信メール一覧のメールには、添付された原稿は保存されていません。原稿を添付したい場合は、再度添付してください。

1 **【メールを使う】**を押す

1. 受信メール一覧を見る
 2. 送信メール一覧を見る
 3. 送信メールを作る
 4. 未読受信メールを印刷する

2 **【▲】**または**【▼】**で「送信メール一覧を見る」を選び**【セット】**を押す

OK 13:30 佐藤 こんにちは
 10:20 鈴木 明日の予定
 3/30 田中 開封済：新しい

送信メール一覧が表示されます。

3 **【▲】**または**【▼】**で編集するメールを選び**【編集する】**を押す

宛先：（入力できません）
 件名：メール#0001 (FAX06E824)
 本文：メールを送ります
 原稿：添付する

4 変更したい項目がある場合は**【▲】**または**【▼】**で項目を選び**【セット】**を押す

原稿を追加したいときは：

1. 「原稿」を選び、**【セット】**を押す。
2. 「添付する」を選び、**【セット】**を押す。

✉「メールを作成／送信する」（P.8-19、8-21）

5 [送信する] を押す

作成途中のメールを送信せずに保存するには：

 [下書きを保存する] を押す。

下書き保存されたメールは、送信メール一覧画面に「」で示します。→「送信メール一覧画面の説明」(P.8-25)

送信メールからメールアドレスを電話帳に登録する

1 [メールを使う] を押す

1. 受信メール一覧を見る
2. 送信メール一覧を見る
3. 送信メールを作る
4. 未読受信メールを印刷する

2 [▲] または [▼] で「送信メール一覧を見る」を選び [セット] を押す

OK 3:30 佐藤 こんには
10:20 鈴木 明日の予定
3/30 田中 開封済:新しい

送信メール一覧が表示されます。→「送信メール一覧画面の説明」(P.8-25)

3 [▲] または [▼] で電話帳に登録するメールを選び [メニューを開く] を押す

1. アドレスを電話帳登録する
2. アドレスをフィルタ登録する
3. ドメインをフィルタ登録する
4. 全ての送信メールを消去する

4 [▲] または [▼] で「アドレスを電話帳登録する」を選び [セット] を押す

メールアドレスが複数ある場合は、[▲] または [▼] で登録するメールアドレスを選んでください。

5 [セット] を押す

電話帳登録
残り**件
登録を開始します

名前を入力します
セットを押して下さい

6 [セット] を押し電話帳に登録する

→「親機の電話帳に相手先を登録する」(P.3-1)
メールアドレスは、入力された状態で表示されます。

お知らせ

● 受信メールの差出人のメールアドレスが50文字より多い場合は、登録できません。

送信メールを消去する

1 [メールを使う] を押す

1. 受信メール一覧を見る
2. 送信メール一覧を見る
3. 送信メールを作る
4. 未読受信メールを印刷する

2 [▲] または [▼] で「送信メール一覧を見る」を選び [セット] を押す

OK 3:30 佐藤 こんには
10:20 鈴木 明日の予定
3/30 田中 開封済:新しい

送信メール一覧が表示されます。→「送信メール一覧画面の説明」(P.8-25)

3 [▲] または [▼] で消去するメールを選び [消去する] を押す

このメールを
消去しますか？

4 [はい] を押す

送信メールに便利な設定

送信メールの冒頭文を編集する

冒頭文を設定しておく、メール送信時、自動的に本文の最初に冒頭文が挿入されます。

1  [メニューを開く] を押す

2 [8]「メール機能」→
[3]「送信メール機能」→
[1]「冒頭文の編集」
を順に押す

冒頭文を
入力します
セットを押して下さい

3 [セット] を押し
冒頭文を入力し
[セット] を押す

佐藤です。■

4 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定：メールを送ります。

冒頭文の文字数：最大半角200文字／全角100文字
→「文字入力について」(P.10-13)

送信メールの定型文を編集する

定型文には、本商品にあらかじめ登録されている定型文と、お客様が自由に登録できる定型文があります。下記では、お客様が自由に登録できる定型文の編集をします。

1  [メニューを開く] を押す

2 [8]「メール機能」→
[3]「送信メール機能」→
[2]「定型文の編集」
を順に押す

1. <未登録>
2. <未登録>
3. <未登録>
:

定型文は、20件登録できます。

3 [▲] または [▼] で
編集する定型文を選び
[セット] を押す

■

4 定型文を入力し
[セット] を押す

こんにちは、佐藤です。■

定型文の文字数：最大半角38文字／全角19文字
→「文字入力について」(P.10-13)

5 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

メールを送信する

8

メール
ネット
ワーク
機能
を使う

受信したメールをディスプレイに表示する

■【見てから】ランプについて

自動到着確認「する」に設定すると、メールサーバに未読メールがあるときに【見てから】が点灯します。(➡P.8-38)

【見てから】のランプで、未読メールがあるかどうか確認できます。

見てから



ランプの表示	状 態
点灯	未読メールまたは未読ファクスがあります
消灯	未読メールまたは未読ファクスはありません

お知らせ

- 携帯電話からの絵文字、装飾文字は表示／プリントできません。また、HTML形式のメールは表示／プリントできない場合があります。
- 「メールがあります」と「スタート押下」が交互に表示されているときは：記録紙がなくなったなどの理由でプリントできていない状態ですので、プリント完了後にメール受信してください。(➡「■プリントできないとき」(P.8-38))

受信したメールをディスプレイに表示する

1 【見てから】または

メール
を使う

【メールを使う】を押す

【見てから】を押した場合

●受信メール一覧を見る
●受信ファクス一覧を見る

メール
を使う

【メールを使う】
を押した場合

1.受信メール一覧を見る
2.送信メール一覧を見る
3.送信メールを作る
4.未読受信メールを印刷する

お知らせ

- 受信したメールの本文が、全角500文字を超えている場合、超えた部分は表示されません。
- 添付ファイルのサイズが大きすぎる場合、正常に表示できないことがあります。

2 【▲】または【▼】で

「受信メール一覧を見る」を選び
【セット】を押す

21:13 佐藤 こんには
10:20 鈴木 明日の予定
3/31 田中 ファイルを送ります

3 【▲】または【▼】で

表示するメールを選び

表示する

【表示する】または【セット】を

押す

日付: 2009/ 4/ 1 21:13:30
差出人: 佐藤
件名: こんには

新しいお花屋さんがオープンしました。

受信メール一覧が表示されます。(➡「受信メール一覧画面の説明」(P.8-29))

電話帳データ送信で送信したデータは、件名に「◆◇電話帳データ◇◆」と表示されます(➡P.3-6)。

表示する

【表示する】を押すと、アイコンが「既読」に変わります。

「メール確認中」と表示されたあと、受信メールが表示されます。

【▲】【▼】で、画面をスクロールすることができます。

➡「受信メール表示画面の説明」(P.8-30)

添付ファイルがある場合は手順4に

添付ファイルがない場合や確認しない場合は手順6へ進む

4

添付一覧
を開く

【添付一覧を開く】を押す

[JPEG]aaa1.jpg
[PDF]aaa2.pdf
[TIFF]aaa3.tif
[TEXT]aaa4.txt

添付ファイル一覧が表示されます。添付ファイル一覧には、[] にファイル形式と、続けて後ろにファイル名が1行で表示されます。

添付ファイル一覧に表示されるファイル数は、最大10個までです。

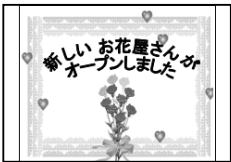
添付ファイルがない場合は、ボタンが表示されません。

添付ファイルを見ずに他のメールを表示するときは：

戻る

【戻る】を押して手順3に戻る。

5 [▲] または [▼] で
表示する添付ファイルを選び
表示する [表示する] を押す



添付ファイルが表示されます。📖「添付ファイル表示画面の説明」(P.8-31)

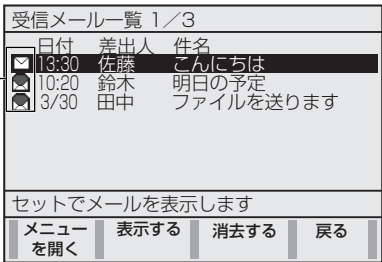
お知らせ
● PDF、JPG (JPEG)、TIFF、TXT以外の形式のファイルは表示できません。

添付ファイルをご覧になれます。
[▲] [▼] [<] [>] で、画面をスクロールすることができます。

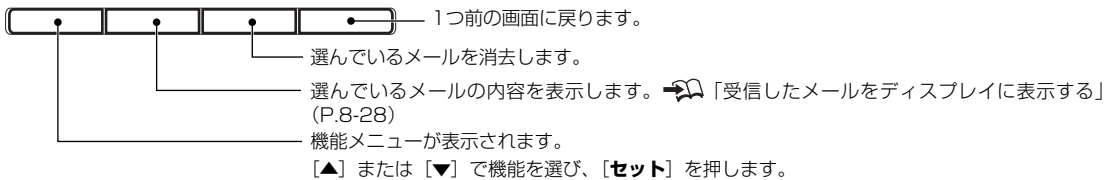
6 終了するときは [ストップ] を押す

他の添付ファイルを表示するには：
戻る [戻る] を押して添付ファイル一覧画面に戻り、手順5を行う。

受信メール一覧画面の説明



<差出人の表示について>
名前 : 電話帳に登録している相手先
メールアドレス : 電話帳に登録していない相手先



アイコン	意味
☐	未読
☑	既読

お知らせ
● メールサーバにあるメールが2,000件を超えた場合、☐・☑は表示されません。不要なメールはこまめに消去してください。📖「受信メールを消去する」(P.8-33)

機能メニュー	
このメールを印刷する	選んだ受信メールをプリントします。📖「受信メールを選んでプリントする」(P.8-35)
このメールに返信する	選んだ受信メールに返信します。📖「受信メールを返信する／転送する」(P.8-32)
このメールを転送する	選んだメールを他の宛先に転送します。📖「受信メールを返信する／転送する」(P.8-32)
アドレスを電話帳登録する	受信したメールのアドレスを電話帳に登録します。📖「受信メールからメールアドレスを電話帳に登録する」(P.8-34)
アドレスをフィルタ登録する	受信したメールのアドレスをメールフィルタリストに登録します。📖「メール一覧などからメールアドレスをメールフィルタリストに登録する」(P.8-42)
ドメインをフィルタ登録する	受信したメールのドメインをメールフィルタリストに登録します。📖「メール一覧などからドメインをメールフィルタリストに登録する」(P.8-42)
件名を迷惑フィルタ登録する	受信したメールの件名を迷惑メールフィルタリストに登録します。📖「受信したメールから迷惑メールフィルタリストに登録する」(P.8-44)
アドレスを迷惑フィルタ登録する	受信したメールのアドレスを迷惑メールフィルタリストに登録します。📖「受信したメールから迷惑メールフィルタリストに登録する」(P.8-44)
ドメインを迷惑フィルタ登録する	受信したメールのドメインを迷惑メールフィルタリストに登録します。📖「受信したメールから迷惑メールフィルタリストに登録する」(P.8-44)
受信メールを全て既読にする	受信したメールをすべて既読にします。
既読受信メールを消去する	既読メールをすべて消去し、未読メールのみを残します。📖「既読受信メールを消去する」(P.8-33)
迷惑メールを消去する	迷惑メールを消去します。📖「迷惑メールを消去する」(P.8-45)
表示項目を切り替える	受信メール一覧画面を「日時・差出人・件名」表示、または「差出人」のみの表示に切り替えます。

受信したメールをディスプレイに表示する

8
機能メニュー
メールネットワーク

受信メール表示画面の説明

受信メール

日付：2009/ 4/ 1 10:15:30

差出人：佐藤

件名：こんにちは

新しいお花屋さんがオープンしました。

メニューを開く

添付一覧を開く

消去する

戻る

<差出人の表示について>

名前：電話帳に登録している相手先

メールアドレス：電話帳に登録していない相手先

【▲】または【▼】でスクロール表示することができます。

表示できる文字数は：先頭から最大全角500文字（半角1000文字）

1つ前の画面に戻ります。

表示しているメールを消去します。

添付ファイルの一覧を開きます。
（添付ファイルがない場合は、表示されません。）

機能メニューが表示されます。

【▲】または【▼】で機能を選び、【セット】を押します。

機能メニュー	
このメールの本文を印刷する	メールの本文をプリントします。📖「本文のみプリントする」(P.8-36)
このメールに返信する	メールに返信します。📧「受信メールを返信する／転送する」(P.8-32)
このメールを転送する	メールを他の宛先に転送します。📧「受信メールを返信する／転送する」(P.8-32)
アドレスを電話帳登録する	メールのアドレスを電話帳に登録します。📖「受信メールからメールアドレスを電話帳に登録する」(P.8-34)
アドレスをフィルタ登録する	メールのアドレスをメールフィルタリストに登録します。📖「メール一覧などからメールアドレスをメールフィルタリストに登録する」(P.8-42)
ドメインをフィルタ登録する	メールのドメインをメールフィルタリストに登録します。📖「メール一覧などからドメインをメールフィルタリストに登録する」(P.8-42)
件名を迷惑フィルタ登録する	メールの件名を迷惑メールフィルタリストに登録します。📖「受信したメールから迷惑メールフィルタリストに登録する」(P.8-44)
アドレスを迷惑フィルタ登録する	メールのアドレスを迷惑メールフィルタリストに登録します。📖「受信したメールから迷惑メールフィルタリストに登録する」(P.8-44)
ドメインを迷惑フィルタ登録する	メールのドメインを迷惑メールフィルタリストに登録します。📖「受信したメールから迷惑メールフィルタリストに登録する」(P.8-44)
文字サイズ設定を変更する	表示する文字サイズの大きさを変更します。📖「文字サイズを変更する」(P.8-18)

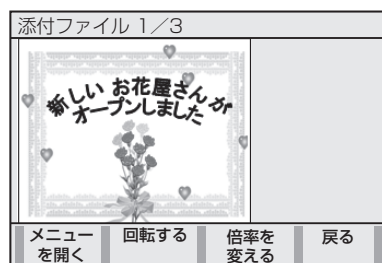
添付ファイル表示画面の説明

お知らせ ● 表示できるファイル形式は、PDF、JPG（JPEG）、TIFF、TXTです。

■ ファイル形式がJPEG、PDF、TIFFの場合

添付ファイルは、右画面のように表示されます。複数ページの場合は、1ページ目が表示されます。

<添付ファイル>



— [▲] または [▼] でスクロール表示することができます。



押すごとに、縮小表示→標準表示→拡大表示→縮小表示と表示の倍率が変わります。

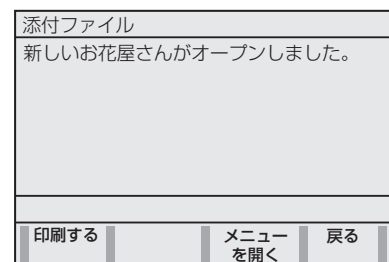
押すごとに、右に90度ずつ回転します。

機能メニューが表示されます。

[▲] または [▼] で機能を選び、[セット] を押します。

機能メニュー	
次のページを表示する	複数ページの場合、次のページを表示できます。
全画面表示する	ボタンを消して画像を全画面に表示します。[セット] を押すと、全画面表示を終了します。
このページを印刷する	表示しているページだけをプリントします。→「■ 画面に表示しているページのみプリントする場合」(P.8-37)
画質を変更する (2値→4値または4値→2値)	画質を変更して再表示します。 添付ファイルがJPG（JPEG）またはPDF-JPG（JPEG）の場合に表示されます。

■ ファイル形式がTXTの場合



— [▲] または [▼] でスクロール表示することができます。

表示できる文字数は：先頭から最大全角500文字（半角1000文字）



1つ前の画面に戻ります。

機能メニュー	
文字サイズ設定を変更する	ディスプレイに表示する文字サイズを変更します。

添付ファイルをプリントします。

受信メール一覧を使う

受信メールを返信する／転送する

- 1 [見てから] または
 [メールを使う] を押す

[見てから] を押した場合

● 受信メール一覧を見る
受信ファクス一覧を見る

 [メールを使う]
を押した場合

1. 受信メール一覧を見る
2. 送信メール一覧を見る
3. 送信メールを作る
4. 未読受信メールを印刷する

- 2 [▲] または [▼] で
「受信メール一覧を見る」を選び
[セット] を押す

☑ 13:30 佐藤 こんにち
☑ 10:20 鈴木 明日の予定
☑ 3/30 田中 ファイルを送ります

受信メール一覧が表示されます。📖「受信メール一覧画面の説明」(P.8-29)

- 3 [▲] または [▼] で
返信または転送するメールを選び
 [メニューを開く] を押す

1. このメールを印刷する
2. このメールに返信する
3. このメールを転送する
...

■返信する場合

- 4 [▲] または [▼] で
「このメールに返信する」を選び
[セット] を押す

宛先: 佐藤
宛先: (入力できます)
件名: Re: こんにち
本文: メールを送ります
原稿: 添付しない

返信の送信メール作成画面が表示されます。
宛先を選んだ受信メールの差出人のメールアドレス
と件名 (Re:) が入力されます。

- 5 メールを作成し
送信する

📖「メールを作成／送信する (メッセージ (本文のみ))」(P.8-19)

原稿を添付するには:

1. 原稿をセットする。📖「原稿セットのしかた」(P.5-1)
2. [▲] または [▼] で「原稿」を選び、[セット] を押す。
3. [▲] または [▼] で「添付する」を選び、[セット] を押す。

📖「複数の宛先を入力する場合は」(P.8-19)

お知らせ

- 受信メールの差出人のメールアドレスが50文字より多い場合は、返信できません。

■転送する場合

- 4 [▲] または [▼] で
「このメールを転送する」を選び
[セット] を押す

宛先: (入力できます)
件名: Fw: こんにち
本文: メールを送ります
原稿: 添付しない

転送の送信メール作成画面が表示されます。
件名 (Fw:) が入力されます。

- 5 メールを作成し
送信する

📖「メールを作成／送信する (メッセージ (本文のみ))」(P.8-19)

原稿を添付するには: 📖本ページ上

📖「複数の宛先を入力する場合は」(P.8-19)

お知らせ

- 受信メールの本文は最大全角350文字まで転送することができます。
- 受信メールの添付ファイルは転送されません。

受信メールを消去する

お知らせ

- メールサーバにあるメールが2,000件を超えた場合、・は表示されません。
- 消去したメールはサーバから完全に消去され、再取得することはできません。

1 「見てから」または



「メールを使う」を押す

「見てから」を押した場合



「メールを使う」を押した場合

1. 受信メール一覧を見る
2. 送信メール一覧を見る
3. 送信メールを作る
4. 未読受信メールを印刷する

2 「▲」または「▼」で

「受信メール一覧を見る」を選び
「セット」を押す



3 「▲」または「▼」で

消去するメールを選び



「消去する」を押す

このメールを
消去しますか？

4 「はい」



「はい」を押す

既読受信メールを消去する

既読メールをすべて消去し、未読メールのみを残すことができます。

お知らせ

- 電話帳データの保存用メールは、既読であっても消去されません。→「電話帳データを復元する」(P.3-6)
- メールサーバにあるメールが2,000件を超えた場合、・は表示されません。また、メールサーバにあるメールが2,000件を超えると、「既読受信メールを消去する」を選んでも消去されません。不要なメールはこまめに消去してください。→「受信メールを消去する」(本ページ上)

1 「見てから」または



「メールを使う」を押す

「見てから」を押した場合



「メールを使う」を押した場合

1. 受信メール一覧を見る
2. 送信メール一覧を見る
3. 送信メールを作る
4. 未読受信メールを印刷する

2 「▲」または「▼」で

「受信メール一覧を見る」を選び
「セット」を押す



受信メール一覧が表示されます。→「受信メール一覧画面の説明」(P.8-29)

3 「メニューを開く」



「メニューを開く」を押す

1. このメールを印刷する
2. このメールに返信する
3. このメールを転送する
- ...

4 「▲」または「▼」で

「既読受信メールを消去する」を選び
「セット」を押す

5 「はい」



「はい」を押す

既読メールを
消去しますか？

消去をやめる場合は： 「いいえ」を押す。

受信メールからメールアドレスを電話帳に登録する

- 1** **【見てから】** または
 **【メールを使う】** を押す

【見てから】 を押した場合

受信メール一覧を見る
 受信ファクス一覧を見る

 **【メールを使う】**
 を押した場合

1.受信メール一覧を見る
 2.送信メール一覧を見る
 3.送信メールを作る
 4.未読受信メールを印刷する

- 2** **【▲】** または **【▼】** で
 「受信メール一覧を見る」を選び
【セット】 を押す

13:30 佐藤 こんには
 10:20 鈴木 明日の予定
 3/30 田中 ファイルを送ります

受信メール一覧が表示されます。📖「受信メール一覧画面の説明」(P.8-29)

- 3** **【▲】** または **【▼】** で
 電話帳に登録する受信メールを選び
 **【メニューを開く】** を押す

1.このメールを印刷する
 2.このメールに返信する
 3.このメールを転送する
 …

- 4** **【▲】** または **【▼】** で
 「アドレスを電話帳登録する」を選び
【セット】 を押す

電話帳登録
 残り**件
 登録を開始します

名前を入力します
 セットを押して下さい

- 5** **【セット】** を押し
 電話帳に登録する

📖「親機の電話帳に相手先を登録する」(P.3-1)
 メールアドレスは、入力された状態で表示されます。

お知らせ

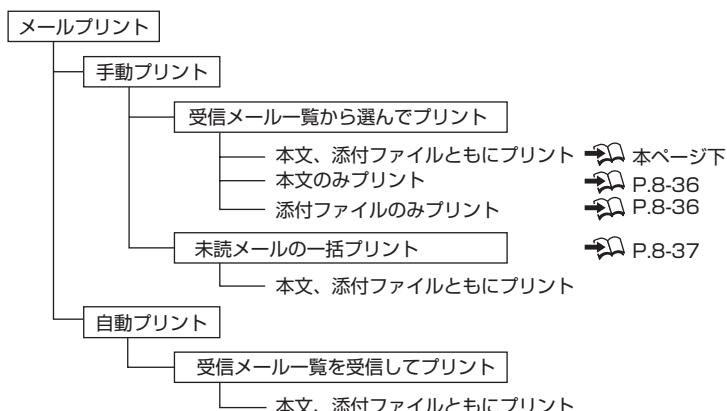
- 受信メールの差出人のメールアドレスが50文字より多い場合は、登録できません。

受信したメールをプリントする

メールプリントのしかたには、「手動プリント」と「自動プリント」があります。

「手動プリント」は、受信メール一覧から選んでプリントしたり、受信メールをディスプレイに表示してからプリントします。

「自動プリント」は、自動的にメールを受信してプリントします。



受信したメールを手動プリントする（メールtoプリント）

受信メールを選んでプリントする

本文、添付ファイルともにプリントします。

1 記録紙をセットする

→「記録紙のセット」(P.1-13)

2 「見てから」または

メールを使う

「メールを使う」を押す

「見てから」を押した場合

受信メール一覧を見る
受信ファクス一覧を見る

メールを使う

「メールを使う」を押した場合

1.受信メール一覧を見る
2.送信メール一覧を見る
3.送信メールを作る
4.未読受信メールを印刷する

3 [▲] または [▼] で 「受信メール一覧を見る」を選び 「セット」を押す

13:30 佐藤 こんには
10:20 鈴木 明日の予定
3/30 田中 ファイルを送ります

受信メール一覧が表示されます。→「受信メール一覧画面の説明」(P.8-29)

4 [▲] または [▼] で プリントするメールを選び メニューを開く 「メニューを開く」を押す

1.このメールを印刷する
2.このメールに返信する
3.このメールを転送する
...

5 [▲] または [▼] で 「このメールを印刷する」を選び 「セット」を押す

プリントが終わると右の画面が表示される

プリント済メールを
消去しますか？

プリントがスタートします。複数ページある場合は、すべてのページがプリントされます。

受信したメールをプリントする

8

メールネットワーク機能を使う

- 6 プリントしたメールを消去する場合は **【はい】**、
消去しない場合は **【いいえ】** を押す

- 7 受信メール一覧が表示されたら
【ストップ】 を押す

消去しなかったメールは、受信メール一覧画面に既読を示す  が表示されます。

お知らせ

- 消去したメールはサーバから完全に消去され、再取得することはできません。

本文のみプリントする

- 1 「受信メールを選んでプリントする」
(→P.8-35) の手順1~3と同じ
操作をする



- 2 **【▲】** または **【▼】** で
プリントするメールを選び
 【表示する】 を押す

- 3 **【メニューを開く】** を押す

- 4 **【▲】** または **【▼】** で
「このメールの本文を印刷する」を選び
【セット】 を押す

プリントが終わると右の画面が表示される

プリント済メールを
消去しますか？

- 5 プリントしたメールを消去する場合は **【はい】**、
消去しない場合は **【いいえ】** を押す

- 6 受信メール一覧が表示されたら
【ストップ】 を押す

プリントがスタートします。複数ページある場合は、すべてのページがプリントされます。

消去しなかったメールは、受信メール一覧画面に既読を示す  が表示されます。

お知らせ

- 消去したメールはサーバから完全に消去され、再取得することはできません。

添付ファイルをプリントする

選んだ添付ファイルをプリントしたり、添付ファイルの画面に表示したページをプリントすることができます。

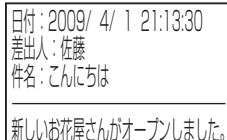
お知らせ

- PDF、JPG (JPEG)、TIFF、TXT以外の形式のファイルはプリントできません。

- 1 「受信メールを選んでプリントする」
(→P.8-35) の手順1~3と同じ
操作をする



- 2 **【▲】** または **【▼】** で
添付ファイルをプリントするメールを選び
 【表示する】 を押す



- 3 **【添付一覧を開く】** を押す



受信メール一覧が表示されます。→「受信メール一覧画面の説明」(P.8-29)

「メール受信中」と表示されたあと、受信メールが表示されます。

「xxx.vcf」ファイルは、携帯電話メール機能などを使って、携帯電話の電話帳データを電話帳登録できるファイルです。

- 4 [▲] または [▼] で
プリントする添付ファイルを選ぶ

添付ファイルをプリントするケースによって次に示す手順に進む

■選んだ添付ファイルの内容をすべてプリントする場合

- 5  [印刷する] を押す

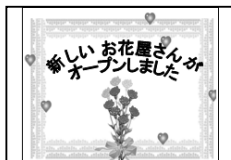
ファイル形式によっては、プリントできない場合があります。

プリントがスタートします。

- 6 添付ファイル一覧が表示されたら
[ストップ] を押す

■画面に表示しているページのみプリントする場合

- 5  [表示する] を押す



他のページを表示させるには：

1. 手順5のあと  [メニューを開く] を押す。
2. [▲] または [▼] で「次のページを表示する」を選び、[セット] を押す。

- 6  [メニューを開く] を押す

1. 次のページを表示する
2. 全画面表示する
3. このページを印刷する

- 7 [▲] または [▼] で
「このページを印刷する」を選び
[セット] を押す

プリントがスタートします。

- 8 添付画像が表示されたら
[ストップ] を押す

未読メールをプリントする

未読受信メールを本文、添付ファイルともにプリントします。

- 1 記録紙をセットする

- 2  [メールを使う] を押す

1. 受信メール一覧を見る
2. 送信メール一覧を見る
3. 送信メールを作る
4. 未読受信メールを印刷する

- 3 [▲] または [▼] で
「未読受信メールを印刷する」を選び
[セット] を押す

プリントがスタートします。複数ページある場合は、すべてのページがプリントされます。

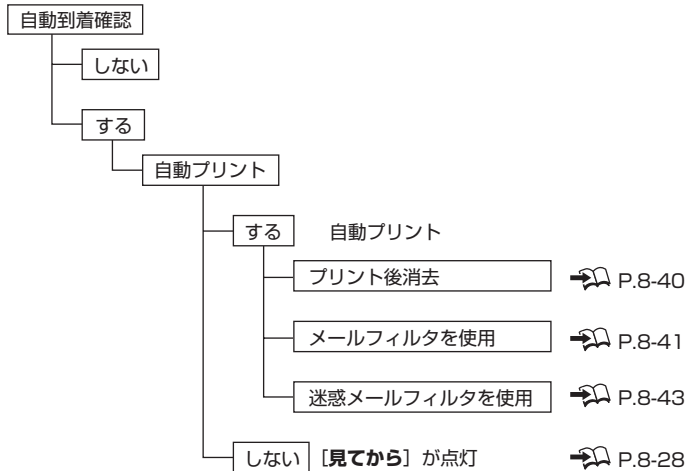
未読受信メールがないときは、「未読はありません」と表示されます。

電話帳データの保存用メールはプリントされませんが、既読となります。📞「電話帳データを復元する」(P.3-6)

受信したメールを自動プリントする（メールtoプリント）

「自動到着確認」を「する」に設定すると、自動的にメールを受信します。自動的にメールを受信し、プリントできます。また、特定の相手からの受信したメールだけをプリントしたり、プリントしたメールを消去することもできます。

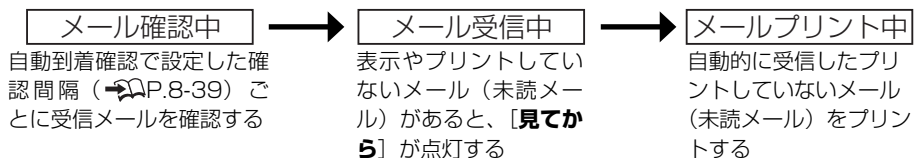
📖 「自動到着確認と自動プリントの設定をする」(P.8-39)、「特定の相手から受信したメールだけをプリントする（メールフィルタ）」(P.8-41)



お知らせ

- 携帯電話からの絵文字、装飾文字は表示／プリントできません。また、HTML形式のメールは表示／プリントできない場合があります。
- おやすみモードを設定しているときは、「自動到着確認と自動プリントの設定をする」(📖 P.8-39) で設定した自動プリントは動作しません。
- 短いメールは1枚の用紙につめてプリントされます。
- 「プリント後消去」を「する」に設定していても 📖 P.8-40)、プリントできないメールは消去できません。
- **記録紙とインクフィルムを節約したり、不要なメールをプリントしたくない場合は：**
短いメール1件でも、1枚分の記録紙とインクフィルムを使用します。また、自動プリントを「する」に設定すると、受信したすべての未読メールをプリントします。記録紙とインクフィルムを節約したいときや、不要なメールをプリントしたくない場合は、状況に合わせて次の方法をご利用ください。
 - ・ 自動プリントを「しない」に設定し、手動プリントで相手先を確認してからプリントする 📖 「自動到着確認と自動プリントの設定をする」(P.8-39)、「受信したメールを手動プリントする（メールtoプリント）」(P.8-35)
 - ・ 自動プリントの自動到着確認を延ばす 📖 「自動到着確認と自動プリントの設定をする」(P.8-39)
 - ・ メールフィルタリストを利用し、プリントするメールを制限する 📖 「特定の相手から受信したメールだけをプリントする（メールフィルタ）」(P.8-41)
- 自動プリントで一度プリントしたメールは、電源を入れ直しても再度自動プリントされません。
- 自動プリントしたかどうかをプリント済みメール情報として記憶しています。
- メールサーバにあるメールが2,000件を超えると、自動プリントを「する」に設定していても自動プリントされません。不要なメールはこまめに消去してください。📖 「受信メールを消去する」(P.8-33)

■ 自動プリントしているとき



■ プリントできないとき

記録紙がなくなったなどの理由でプリントできないときは、



画面に右のように表示されます。

プリントするときは：記録紙をセットし、[スタート／コピー]を押す。📖 「記録紙のセット」(P.1-13)

■ 途中でプリントをやめるときは：

[ストップ]を押す。

プリントを中断したメールは、既読メール表示またはプリントしたことがあるメールとなります。

自動到着確認と自動プリントの設定をする

自動到着確認を「する」および自動プリント「する」に設定すると、受信メールがあるかどうかを一定時間で確認し、受信メールがあった場合は自動的にプリントします。

お知らせ

- 自動プリント「する」に設定した場合でも、電話帳データの保存用メールはプリントされません。→「電話帳データを復元する」(P.3-6)

1  [メニューを開く] を押す

2 [8] 「メール機能」 →
[4] 「受信メール機能」
を順に押す

1.メール表示順序
2.自動到着確認
3.自動プリント
⋮

3 [2] 「自動到着確認」を押す

自動到着確認：
・する
・**しない**

4 [▲] または [▼] で
自動到着確認「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

「する」を選んだときは「■「する」を選んだ場合」に進む
「しない」を選んだときは「■「しない」を選んだ場合」に進む

■ 「する」を選んだ場合

到着確認間隔：
・5分
・**10分**
・15分

5 [▲] または [▼] で
設定したい到着確認時間を選び
[セット] を押す

自動プリント：
・する
・**しない**

設定できる確認間隔時間：5～90分（5分刻み）

6 [▲] または [▼] で
自動プリント「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

7 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

■ 「しない」を選んだ場合

5 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定：しない

受信したメールをプリントする

8

メール
ネットワーク
機能を使う

自動プリントしたメールをプリント後に消去する

自動プリントした受信メールをサーバから消去するかどうかを設定します。

1  **「メニューを開く」**を押す

2 **【8】「メール機能」** →
【4】「受信メール機能」
を順に押す

1.メール表示順序
2.自動到着確認
3.自動プリント
⋮

3 **【3】「自動プリント」** →
【1】「プリント後消去」
を順に押す

プリント後消去：
・する
・**しない**

4 **【▲】** または **【▼】** で
プリント後消去「する」または
「しない」を選び
【セット】 を押す

5 「設定しました」と表示されたら
【ストップ】 を押す

お問い合わせ時の設定：しない

お知らせ

- 「する」に設定した場合、正常にプリントした受信メールはサーバから完全に消去され、再取得することはできなくなります。

メールフィルタを使う

メールフィルタとは、特定の種類の電子メールを自動的に選別する機能です。

特定の相手から受信したメールだけをプリントする（メールフィルタ）

メールフィルタリストに登録した特定のメールアドレスまたはドメインの受信メールだけを自動プリントすることができます。特定の相手から受信したメールだけをプリントしたいときは、必ず設定してください。また、迷惑メールをプリントしないためにも、メールフィルタリストの登録をおすすめいたします。「メールフィルタ」を使用するには「メールフィルタリスト」への登録が必要です。

🔗 「自動到着確認と自動プリントの設定をする」(P.8-39)

🔗 「メールフィルタリストに登録する」(本ページ下)

🔗 「未読メールをプリントする」(P.8-37)

1  [メニューを開く] を押す

2 [8] 「メール機能」 →
[4] 「受信メール機能」
を順に押す

1.メール表示順序
2.自動到着確認
3.自動プリント
⋮

3 [3] 「自動プリント」 →
[2] 「メールフィルタを使用」
を順に押す

メールフィルタを使用：
・する
・しない

4 [▲] または [▼] で
メールフィルタを使用「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

5 「設定しました」と表示されたら [ストップ] を押す

お買い求め時の設定：しない

メールフィルタの使用について

する：メールアドレスをメールフィルタリストに登録したメールだけ自動プリントする🔗
「メールフィルタリストに登録する」(本ページ下)

しない：すべてのメールを自動プリントする

メールフィルタリストに登録する

メールアドレスまたはドメインをメールフィルタリストに登録します。

お知らせ

- **登録できる件数**：メールアドレス／ドメインを合わせて最大20件
- **ドメインとは**：メールアドレスの「@」以降の部分のことです。
- 「メールフィルタリストフル」と表示されたときは、すでに20件のメールアドレス／ドメインが登録されています。
- 「メールフィルタリストに登録済みです」と表示されたときは、すでにそのメールアドレス／ドメインはメールフィルタリストに登録されているため、追加登録されません。

1  [メニューを開く] を押す

2 [8] 「メール機能」 →
[5] 「メールフィルタリスト」
を順に押す

メールフィルタリスト：
・登録
・確認

3 [▲] または [▼] で
「登録」を選び
[セット] を押す

4 メールアドレスまたはドメインを入力し
[セット] を押す

xxx@abc.def.ne.jp

メールフィルタリストに
登録しました

🔗 「文字入力について」(P.10-13)

メールアドレス／ドメインの文字数：

英数字／記号で最大半角50文字
ドメインは「@」なしでも登録できます。

登録例：「xyz.co.jp」と登録した場合

フィルタ条件として、下記のどちらのメールアドレスでも有効です。

・ abc@xyz.co.jp

・ abc@△△△.xyz.co.jp

(次ページにつづく) 8-41

5 続けて登録するときは
[5]「メールフィルタリスト」を押し
手順3～4をくり返す

6 すべての登録を完了したら【ストップ】を押す

■ メールフィルタリストを確認するときは

1. 手順3で、[▲] または [▼] で「確認」を選び、[セット] を押す。
2. [▲] または [▼] でメールアドレス／ドメインを確認し、【ストップ】を押す。

■ 登録したメールアドレス／ドメインを消去するときは

1. 手順3で、[▲] または [▼] で「確認」を選び、[セット] を押す。
2. [▲] または [▼] で消去するメールアドレス／ドメインを選ぶ。
3. 【消去する】を押し、【ストップ】を押す。

■ 登録したメールアドレス／ドメインを変更するときは

変更するメールアドレス／ドメインを消去し、登録し直す。

メール一覧などからドメインをメールフィルタリストに登録する

受信メール一覧、受信メール本文表示、送信メール一覧からドメインをメールフィルタリストに登録します。

1 受信メール一覧、受信メール本文表示または送信メール一覧を開く

受信メール一覧の例



送信メール一覧を開くには：  「送信メール一覧画面の説明」(P.8-25)

受信メール本文表示を開くには：  「受信したメールをディスプレイに表示する」手順1～3 (P.8-28)

受信メール一覧を開くには：  「受信したメールをディスプレイに表示する」手順1～2 (P.8-28)

受信メール本文表示を開いた場合は、【メニューを開く】を押し
手順3へ進む

2 [▲] または [▼] で
ドメインをメールフィルタリストに
登録するメールを選び

【メニューを開く】を押す

1.このメールを印刷する
2.このメールに返信する
3.このメールを転送する
...

3 [▲] または [▼] で
「ドメインをフィルタ登録する」を選び
[セット] を押す

@abc.def.ne.jp
登録しますか？

受信メール一覧または受信メール本文表示の場合は手順5へ進む

4 「フィルタ登録アドレス選択」画面で登録するアドレスを選び
[セット] を押す

5 【はい】を押す

6 すべての登録が完了したら
【ストップ】を押す

登録をやめる場合は： 【いいえ】を押す。

誤って登録したドメインを消去するときは： 「登録したメールアドレス／ドメインを消去するときは」(本ページ上)

メール一覧などからメールアドレスをメールフィルタリストに登録する

受信メール一覧、受信メール本文表示、送信メール一覧からメールアドレスをメールフィルタリストに登録します。

1 受信メール一覧、受信メール本文表示または送信メール一覧を開く

受信メール一覧の例



送信メール一覧を開くには：  「送信メール一覧画面の説明」(P.8-25)

受信メール本文表示を開くには：  「受信したメールをディスプレイに表示する」手順1～3 (P.8-28)

受信メール一覧を開くには：  「受信したメールをディスプレイに表示する」手順1～2 (P.8-28)

受信メール本文表示を開いた場合は、【メニューを開く】を押し
手順3へ進む

- 2 [▲] または [▼] で
メールアドレスをメールフィルタリストに
登録するメールを選び



[メニューを開く] を押す

1.このメールを印刷する
2.このメールに返信する
3.このメールを転送する
...

- 3 [▲] または [▼] で
「アドレスをフィルタ登録する」を選び
[セット] を押す

xxx@abc.def.ne.jp

- 4 「フィルタ登録アドレス選択」画面で登録するアドレスを選び
[セット] を押す

受信メール一覧または受信メール本文表示の場合は手順6へ進む

- 5 はい [はい] を押す

- 6 すべての登録が完了したら
[ストップ] を押す

誤って登録したメールアドレスを消去するときは：

→ 「登録したメールアドレス／ドメインを消去するには」(P.8-42)

迷惑メールフィルタの設定をする

受信したくない相手先からのメールや、特定の件名で送られてくるメールを「迷惑メール」として扱うことができます。「迷惑メール」として扱われたメールは、「迷惑メールフィルタ」の設定をすると、自動プリントを使用した場合も迷惑メールフィルタに登録した判定キーワードを件名に含むメールや、迷惑メールフィルタに登録したメールアドレスから送信されたメールの自動プリントを禁止したり自動消去することができます。

「迷惑メール件数プリント」を設定すると、迷惑メールの件数がプリントされ、迷惑メールの件数がわかります。

- 1 メニューを開く [メニューを開く] を押す

- 2 [8] 「メール機能」→
[4] 「受信メール機能」
を順に押す

1.メール表示順序
2.自動到着確認
3.自動プリント
...

- 3 [3] 「自動プリント」→
[3] 「迷惑メールフィルタを使用」
を順に押す

迷惑メールフィルタを使用：
・する
・しない

- 4 [▲] または [▼] で
「する」を選び
[セット] を押す

迷惑メール消去：
・する
・しない

- 5 [▲] または [▼] で
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

迷惑メール件数プリント：
・する
・しない

- 6 [▲] または [▼] で
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

設定しました

- 7 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定：しない

「しない」を押すと、自動プリント画面に戻ります。

迷惑メール消去を「する」に設定した場合：

- 「受信したメールを自動プリントする（メールtoプリント）」(P.8-38)
- 「未読メールをプリントする」(P.8-37)を利用したときに、迷惑メールの消去も一緒に行います。

迷惑メール件数プリントを「する」に設定した場合：

- 「受信したメールを自動プリントする（メールtoプリント）」(P.8-38)
- 「未読メールをプリントする」(P.8-37)のメールのプリントが完了したあとに、迷惑メールの件数をプリントします。

メールフィルタを使う

8

メールネットワーク機能を使う

迷惑メールフィルタリストに登録する

迷惑メールを判別するための「件名」「メールアドレス」「ドメイン」に登録できます。

お知らせ

- 登録できる件数：件名／メールアドレス／ドメインを合わせて最大10件
- ドメインとは：メールアドレスの「@」以降の部分のことです。
- 「迷惑メールフィルタリスト フル」と表示されたときは、すでに10件の件名／メールアドレス／ドメインが登録されています。
- 「迷惑メールフィルタリストに登録済みです」と表示されたときは、すでにその件名／メールアドレス／ドメインは迷惑メールフィルタリストに登録されているため、追加登録されません。

1  [メニューを開く] を押す

2 [8] 「メール機能」 →
[6] 「迷惑メールフィルタリスト」
を順に押す

迷惑メールフィルタリスト：
・登録
・確認

3 [▲] または [▼] で
「登録」を選び
[セット] を押す

判定箇所：
・件名
・メールアドレス

4 [▲] または [▼] で
「件名」または「メールアドレス」を選び
[セット] を押す

判定キーワードを
入力します
セットを押して下さい

5 判定キーワードを入力する

「件名」の場合の入力例

Spam

「メールアドレス」の
場合の入力例

XXX@abc.def.jp

入力できる文字：

「件名」の場合
漢/かな、全カナ、半英字、半数字
「アドレス」の場合
半英字、半数字

📖 「文字入力について」(P.10-13)

メールアドレス/ドメインの文字数：

英数字/記号で最大半角50文字

ドメインは「@」なしでも登録できます。

登録例：「xyz.co.jp」と登録した場合

フィルタ条件として、下記のどちらのメールアドレスでも有効です。

・ abc@xyz.co.jp
・ abc@△△△.xyz.co.jp

6 [セット] を押す

迷惑メールフィルタリストに
登録しました

7 「登録しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

■ 迷惑メールフィルタリストを確認するときは

- 手順3で、[▲] または [▼] で「確認」を選び、[セット] を押す。
- [▲] または [▼] で件名/メールアドレス/ドメインを確認し、[ストップ] を押す。

■ 登録したキーワードを消去したいときは

- 手順3で、[▲] または [▼] で「確認」を選び、[セット] を押す。
- [▲] または [▼] で消去したい件名/メールアドレス/ドメインを選ぶ。
-  [消去する] を押し、[ストップ] を押す。

■ 登録した件名/メールアドレス/ドメインを変更するときは

変更する件名/メールアドレス/ドメインを消去し、登録し直す。

受信したメールから迷惑メールフィルタリストに登録する

1 [見てから] または
 [メールを使う] を押す

[見てから] を押した場合

受信メール一覧を見る
受信ファクス一覧を見る

 [メールを使う]
を押した場合

1. 受信メール一覧を見る
2. 送信メール一覧を見る
3. 送信メールを作る
4. 未読受信メールを印刷する

2 [▲] または [▼] で
「受信メール一覧を見る」を選び
[セット] を押す

📧 13:30 佐藤 こんにちは
📧 10:20 鈴木 明日の予定
📧 3/30 田中 ファイルを送ります

受信メール一覧が表示されます。📖 「受信メール一覧画面の説明」(P.8-29)

3 [▲] または [▼] で迷惑メールフィルタリストに登録する相手先を選び



[メニューを開く] を押す

- 1.このメールを印刷する
- 2.このメールに返信する
- 3.このメールを転送する
- ...

■件名を登録する場合

4 [▲] または [▼] で「件名を迷惑フィルタ登録する」を選び [セット] を押す

5 判定キーワードを入力し [セット] を押す

6 「登録しました」と表示されたら [ストップ] を押す

■メールアドレスを登録する場合

4 [▲] または [▼] で「アドレスを迷惑フィルタ登録する」を選び [セット] を押す

5 「登録しました」と表示されたら [ストップ] を押す

■ドメインを登録する場合

4 [▲] または [▼] で「ドメインを迷惑フィルタ登録する」を選び [セット] を押す

5 確認画面が表示されたら はい [はい] を押す

6 「登録しました」と表示されたら [ストップ] を押す

迷惑メールを消去する

1 [見てから] または メールを使う [メールを使う] を押す

[見てから] を押した場合

受信メール一覧を見る
受信ファクス一覧を見る

メールを使う [メールを使う]
を押した場合

- 1.受信メール一覧を見る
- 2.送信メール一覧を見る
- 3.送信メールを作る
- 4.未読受信メールを印刷する

2 [▲] または [▼] で「受信メール一覧を見る」を選び [セット] を押す

13:30 佐藤 こんにちわ
10:20 鈴木 明日の予定
3/30 田中 ファイルを送ります

受信メール一覧が表示されます。→「受信メール一覧画面の説明」(P.8-29)

3 メニューを開く [メニューを開く] を押す

- 1.このメールを印刷する
- 2.このメールに返信する
- 3.このメールを転送する
- ...

4 [▲] または [▼] で「迷惑メールを消去する」を選び [セット] を押す

5 はい [はい] を押す

お知らせ

- 電話帳データの保存用メールは消去されません。
→「電話帳データを復元する」(P.3-6)

携帯電話やパソコンの電話帳データを電話帳に登録する (vCard登録)

携帯電話やパソコンから、vCard形式で登録されている電話帳データを、メールに添付して本商品に送信することで、電話帳データの氏名、電話番号やメールアドレスなどの情報を、簡単なメール受信操作で電話帳登録することができます。携帯電話やパソコンから電話帳のデータをメールに添付して送信する方法については、携帯電話やパソコンの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 1通の受信メールに複数のvCardファイルが添付されてきた場合、10件まで登録します。
- vCardファイルの電話帳データが200件を超える場合、200件まで処理します。
- vCardファイルのバージョンが2.1または3.0以外のファイルの登録はできません。
- メール自動プリント、未読受信メールプリントではvCard登録を行いません。
- 画像データやムービーデータを含むvCardファイルの登録はできません。
- vCardファイルが添付されているメールは、自動プリント後に消去「する」に設定されている場合でも、自動消去されません。
- vCardファイルのメールアドレス種別が携帯電話またはPHSに設定されている場合、アドレス属性は「携帯」に、それ以外は「PC」に設定されます。
- 本商品に登録されている電話帳と名前情報が一致（先頭の8文字が一致）すると、その電話帳をvCardファイルの内容で上書きします。ただし、vCardの電話番号、メールアドレスが空欄のときは本商品の電話帳が削除されます。
- 電話帳に同じ名前がふたつ以上登録されている場合、いずれかひとつに対して上書きします。上書きされる電話帳は特定できません。電話帳には同じ名前をふたつ以上登録しないでください。
- 名前情報がない場合は「<名前未登録>」で登録されます。
- 名前に本商品で使用できない文字が含まれている場合は、「※」として登録されます。また、半角文字は全角文字で登録されます。
- 読みカナに本商品で使用できない文字が含まれている場合は、空白として登録されます。また、全角文字は半角文字で登録されます。
- 電話番号に空白が含まれている場合は、これを削除して登録されます。また、「P」が含まれる場合は、「P」の前までが登録されます。
- 名前／読みカナが登録可能な桁数を超えた場合、各項目の最大文字数（桁数）までが登録されます。
- 電話番号、メールアドレスが登録可能な桁数を超えた場合や本商品で使用できない文字を含む場合、その項目は登録されません。
- 電話番号、メールアドレスに、通常使用選択が設定されている場合には、その電話番号・メールアドレスが登録されます。通常使用選択の設定がない場合には、最初に記載されている電話番号、メールアドレスが登録されます。

1 [見てから] を押す

 受信メール一覧を見る
 受信ファクス一覧を見る

 [メールを使う]

[1] 「受信メール一覧を見る」を押して、手順2の受信メール一覧を表示することもできます。

2 [▲] または [▼] で「受信メール一覧を見る」を選び [セット] を押す


13:30 佐藤 電話帳
10:20 鈴木 明日の予定
3/30 田中 ファイルを送ります

受信メール一覧が表示されます。📖「受信メール一覧画面の説明」(P.8-29)

3 [▲] または [▼] でメールを選び [表示する] を押す

日付: 2009/ 4/ 1 21:13:30
差出人: 佐藤
件名: 電話帳

「メール受信中」と表示されたあと、受信メールが表示されます。

4 [添付一覧を開く] を押す

[VCF]XXX.vcf

5 [▲] または [▼] で登録するvCardファイルを選び [登録する] を押す

vCard登録しますか?

「xxx.vcf」ファイルは、携帯電話メール機能などを使って、携帯電話の電話帳データを電話帳登録できるファイルです。

6 [はい] を押す

電話帳登録中
登録しました

vCardを登録しないときは:  [いいえ] を押す。

●登録結果

- 「登録しました」: すべて登録できた
- 「登録できません」: すべて登録できなかった
- 「一部登録しました」: 一部登録できなかった

7 [ストップ] を押す

受信メール一覧からメールをプリントしたあと画面に「vCard登録しますか?」と表示されたときは:

 [はい] を押す。

電話帳が登録されます。登録結果が本文に続いてプリントされます。

登録した内容を確認するには:

電話番号リストやメールアドレスリストをプリントして確認します。📖「リストをプリントする」(P.7-11)

パソコンとつないで使う

パソコンにつなぐと次の機能を使えるようになります。

- ・スキャンした画像をパソコンに保存する（スキャンtoパソコン）
- ・ファクス受信文書をパソコンに保存する（ファクスtoパソコン）
- ・パソコンで設定や閲覧をする（機能設定メニュー）

ユーティリティソフト（アプリケーション）のインストールをする

ご使用のパソコン環境（OS）に合わせて、ユーティリティソフト（アプリケーション）をパソコンにインストールする必要があります。

なお、パソコンにつながらない場合は、インストールする必要はありません。

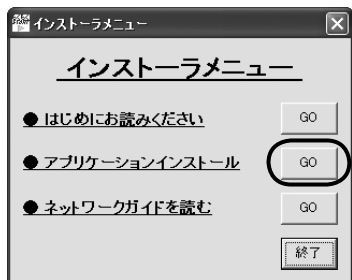
お知らせ

- ユーティリティソフト(アプリケーション)とは:「AddressResolver」「ImageReceiver」「ポート番号確認ユーティリティ」を指します。
- Windows® XP、Windows Vista®が正しく動作し、CD-ROMドライブが使用できる環境で操作してください。
推奨解像度は、1024×768ピクセル以上です。
- 下記は、Windows® XPにインストールする場合の画面の例に説明しています。Windows Vista®にインストールする場合の画面の例は、ネットワークガイドをご覧ください。📖「ネットワークガイドの開きかた」(P.8-49)

1 付属のCD-ROMをセットする

Windows® XPまたはWindows Vista®を起動し、ユーティリティソフト（CD-ROM）を挿入する。

2 インストーラメニューから、「アプリケーションインストール」の[GO]をクリックする



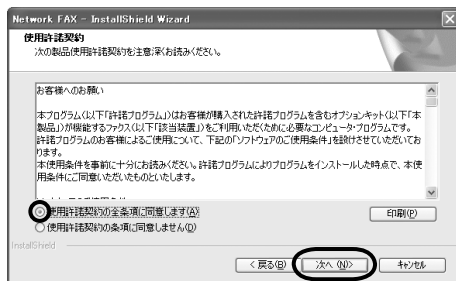
3 インストールを開始する

[次へ (N) >] をクリックする。



4 使用許諾契約を確認する

「使用許諾契約の条項に同意します (A)」をクリックし、**「次へ (N) >」** をクリックする。



お知らせ

- 使用許諾契約に同意いただけない場合は、Network FAXをインストールできません。

5 Network FAXのインストール

5-1 インストール先のフォルダを指定する
インストールされるフォルダを確認し、**[次へ (N) >]**をクリックする。



インストールするフォルダを変更したいときは：

[**変更(C)...**] をクリックし、Network FAXをインストールするフォルダを指定する。

インストールダイアログボックスを操作している間に設定を間違えたり、設定を変更したい場合は：[＜戻る (B)] をクリックして前画面に戻り、設定をやり直す。

(次ページにつづく) 8-47

パソコンとつないで使う

8 ネットワーク機能を使う

5-2 インストールを開始する

「インストール」をクリックすると、インストールを開始する。



インストール完了前にファイアウォールの解除画面が表示されたときは：

次の画面が表示されたら「OK」をクリックする。



お知らせ

- 必要な部分のブロックのみを解除します。すべてのブロックを解除するわけではありません。
- 上記のWindowsファイアウォールのブロック解除を行わないと、ユーティリティソフト（アプリケーション）が正しく動作せず、「スキャンtoパソコン」、「ファクス toパソコン」、「機能設定メニュー」がご使用になれません。

6 インストールを完了する

「完了」をクリックする。



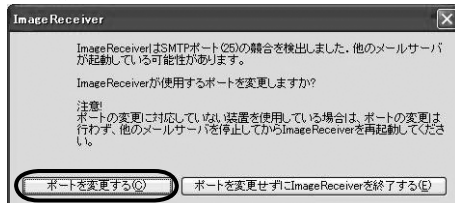
お知らせ

- ユーティリティソフト（アプリケーション）のインストール完了後は、必ずパソコンを再起動してください。再起動しないと、正常に動作しないことがあります。

お知らせ

- ImageReceiverの使用ポート変更画面が表示されたときは：ImageReceiverに設定されている使用ポート（初期値）を、他のアプリケーションがすでに使用しているときにポート変更画面が表示されます。

「ポートを変更する (C)」をクリックし、インストールを継続してください。



- ポートを変更した場合は：ImageReceiverの使用ポートと本商品のパソコン送信ポートの番号の設定を合わせる必要があります。

ImageReceiverの変更したポート番号を確認する

「スタート」→「すべてのプログラム」→「Network FAX」→「ポート番号確認」の順にクリックすると、変更したポート番号が表示されます。



上記で表示された番号を、パソコン送信ポート番号として本商品で設定する→「パソコン送信ポート番号を変更する」(P.8-9)

- インストーラメニューが自動で立ちあがらないときは：エクスプローラ等でCD-ROMを開き、「setup.exe」を実行する。

■ ユーティリティソフト（アプリケーション）のアンインストール

- ① Windowsの「スタート」→「コントロールパネル (C)」を順にクリックし、コントロールパネルを開く。
- ② 「プログラムの追加と削除」を開く。
- ③ 「Network FAX」を選択し、「削除」をクリックする。
- ④ 「はい (Y)」をクリックする。
- ⑤ 表示に従い、アンインストールを行う。
- ⑥ アンインストール完了画面で「完了」をクリックする。

■ ユーティリティソフト（アプリケーション）のアップグレード

動作が不安定になったときなどに行ってください。

- ① Windows® XPまたはWindows Vista®を起動し、ユーティリティソフト（CD-ROM）を挿入する。
- ② インストーラメニューから「アプリケーションインストール」の「GO」をクリックする。
- ③ 「このセットアップはアップグレードを実行します。続行しますか？」と表示されたら、「はい (Y)」をクリックする。
「InstallShield (R) WizardはNetwork FAXを修復しています」と表示されます。
ファイアウォールブロック画面が表示されたときは、「OK」をクリックしてください。
- ④ 「完了」をクリックして、インストールを完了する。

お知らせ

- ユーティリティソフト（アプリケーション）のアップグレード完了後は、必ずパソコンを再起動してください。再起動しないと、正常に動作しないことがあります。

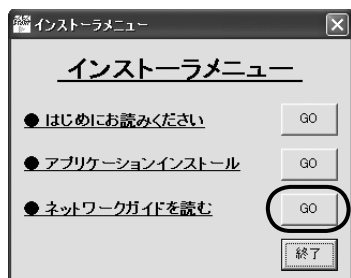
ネットワークガイドの開きかた

ネットワークガイドには、本商品をパソコンにつないだときの説明や操作手順が詳しく記載されています。本書とあわせてご覧ください。

1 付属のCD-ROMをセットする

Windows® XPまたはWindows Vista®を起動し、ユーティリティソフトCD-ROMを挿入する。

2 インストーラメニューから、「ネットワークガイドを読む」の【GO】をクリックする



ネットワークガイド 目次

このマニュアルの見かた
ユーティリティソフトのインストール
「ImageReceiver」の使い方
「機能設定メニュー」の使い方
 起動方法
 メニュー
機能
 機器情報表示
 受信ファクス画像閲覧
 電話帳登録
ネットワーク・メール設定
 ネットワーク機能
 メール設定
 送信メール機能
 受信メール機能
 メールフィルタ リスト設定
 迷惑メールフィルタ リスト設定
 受信ファクス転送設定
メンテナンス
 電話帳保存
 電話帳復元
 ネットワーク・メール設定初期化
お困りのときには

パソコンとつないで使う

8

メール／
ネットワーク
機能を使う

スキャンした画像をパソコンに保存する(スキャンtoパソコン)

スキャンした画像をJPEG、PDFまたはTIFFの形式にファイル化し、パソコンに送信することができます。

スキャンした画像を送れるパソコンは、あらかじめユーティリティソフト(アプリケーション)を送りたいパソコンにインストールする(→P.8-47)ことで自動的に表示されます(最大3台まで)。

1 原稿をセットする

2 [パソコンへ送る] を押す

PC1
PC2
手動宛先設定1
手動宛先設定2
手動宛先設定3

3 [▲] または [▼] で 送信するパソコンを選ぶ

4 [送信する] を押す

原稿読取中 P01

↓
原稿が排出されると(読み取りを完了)、送信を開始します。

送信中

通信終了

→「原稿セットのしかた」(P.5-1)

→「スキャンする原稿の画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度、明暗、輝度を変える」(本ページ下)

送信可能なパソコンが表示されます。

「手動宛先設定1」～「手動宛先設定3」には、パソコン送信宛先設定で設定したパソコンが表示されず。

転送先のパソコンが自動で見つからない場合は：

→「スキャンtoパソコンで送信するパソコンのIPアドレスを手動で設定する」(P.8-9)

お知らせ

●複数のパソコンを選ぶことはできません。

「スタート/コピー」を押しても、原稿読み取りを開始することができます。

途中でスキャンをやめるときは：

「ストップ」を押す。原稿が排出されずに残ったときは、もう一度「ストップ」を押すと排出される。

お知らせ

- 原稿は自動的に排出されます。途中で一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。
- パソコンへの送信が正常に終了しないと「通信エラー」と表示されて送信されず、再送信もされません。

スキャンする原稿の画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度、明暗、輝度を変える

パソコンに送信する原稿を読み取るときの設定を変更できます。「画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度、明暗、輝度の設定一覧」(→P.8-51)を参照のうえ、設定してください。

1 原稿をセットし



[パソコンへ送る] を押す

2 [画質を変更する] を押す

3 [▲] または [▼] で 「スキャンtoパソコン画質」を選び [セット] を押す

4 [▲] または [▼] で 設定を選び [セット] を押す

5 [変更を完了する] を押す

→「画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度、明暗、輝度の設定一覧」(P.8-51)

変更を取り消し、もとの設定に戻したいときは：

 [変更を取り消す] を押す。

画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度、明暗、輝度の設定一覧

[▲] または [▼] で画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度、明暗、輝度を選んで [セット] を押し、[▲] または [▼] で設定を選びます。選択終了後、[セット] を押すと設定を完了します。選択できる設定と詳細は下記の通りです。

	パソコンに送信する場合		
スキャン画質	カラー画像	モノクロ画像	文字
スキャンサイズ	A4 / A5 / B5		A4
ファイル形式	JPG (JPEG) / PDF		TIFF / PDF
スキャン濃度	明暗／輝度	濃度	濃度
階調	1677 万色 (カラー)	256 階調 (モノクロ)	2 階調 (白／黒)
送信可能枚数	5 枚		
ファイル容量の目安 (※) / 1 枚あたり (参考値)	A4 : 約 880KB A5 : 約 400KB B5 : 約 600KB	A4 : 約 400KB A5 : 約 260KB B5 : 約 330KB	約 40KB

※：画質「カラー画像」「モノクロ画像」は文字と写真・絵が混在した原稿（独自）の場合、画質「文字」はA4判700字程度の原稿（独自）の場合のファイル容量の目安です。

ファイル容量は原稿によって異なります。

(1) 画質

「カラー画像」……文字と写真・絵が混在している原稿に適しています。また、カラーでスキャンしたいときに選択します。

「モノクロ画像」…文字と写真・絵が混在している原稿に適しています。また、モノクロでスキャンしたいときに選択します。

「文字」……………文字の多い原稿に適しています。また、ファイル容量を小さくしたいときに選択します。

(2) 原稿サイズ

送信する原稿にあわせて指定します。原稿サイズによって、ファイル容量が異なります。

(3) ファイル形式

「JPG (JPEG)」画質で「文字」以外を選択したときに設定できます。

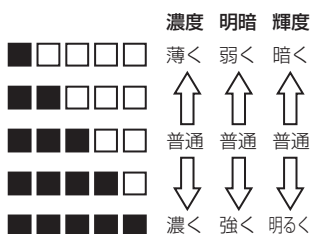
「TIFF」……………画質で「文字」を選択したときに設定できます。

「PDF」(※1) ……画質(※2)を問わず保存できます。

※1：PDFを表示するには送信先のパソコンにPDFビューアが必要です。

※2：「画質」の種類は「カラー画像」「モノクロ画像」「文字」です。

(4) 明暗 (コントラスト) / 輝度 (明るさ) / 濃度の設定方法



「カラー」の画質を選んだときは「明暗／輝度」、「モノクロ」「文字」の画質を選んだときは「濃度」の調整ができます。

原稿が極端に薄い場合などを除き、普通の設定で使用されることをおすすめします。

ファクス受信文書をパソコンに保存する(ファクスtoパソコン)

ファクス受信文書をPDF形式に変換し、パソコンに送信することができます。

受信したファクスを転送できるパソコンは、あらかじめユーティリティソフト(アプリケーション)を送りたいパソコンにインストールする(➡P.8-47)ことで自動的に表示されます。

お知らせ

- 正常にパソコンに送信されると、ファクス受信文書はメモリから削除されます。
- 送信に失敗したときは、1分間隔で5回再送されます。
- 再送に失敗したとき、ファクス受信文書はメモリに残ります。
- パソコンの電源が入っていない場合は、パソコンに電源が入りしだい転送されます。

転送先にするパソコンを設定する

1  [メニューを開く] を押す

2 [3]「ファクス機能」→
[7]「受信ファクスの扱い」
を順に押す

受信ファクスの扱い：
・プリント
・**見てから**
・パソコンへ転送

3 [▲] または [▼] で
「パソコンへ転送」を選び
[セット] を押す

PC1
PC2
手動宛先設定1
手動宛先設定2
手動宛先設定3

4 [▲] または [▼] で
保存するパソコンを選び
[セット] を押す

5 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定：見てから

受信ファクスの扱いについて

プリント : 記録紙にプリントする
見てから : ファクス受信文書をプリントしない。ディスプレイで確認してプリントする。➡「受信したファクスをディスプレイで表示する(見てからプリント)」(P.5-10)

パソコンへ転送 : ファクス受信後にパソコンへ転送する「手動宛先設定1」～「手動宛先設定3」には、パソコン送信宛先設定で設定したパソコンが表示されます。

転送先のパソコンが自動で見つからない場合は

➡「スキャンtoパソコンで送信するパソコンのIPアドレスを手動で設定する」(P.8-9)

お知らせ

- 「パソコンへ転送」を設定すると、メモリの中に残っていたファクス受信文書もパソコンに転送されます。

お知らせ

- 転送待ち文書がある場合は、転送先を変更できません。転送するのを待たずに転送先を変更したい場合は、[ストップ] を押して「PC転送待ち」をキャンセルし、設定し直してください。

ファクス受信文書をメール送信する(ファクスtoメール転送)

ファクス受信文書をPDF形式に変換し、指定した携帯電話やパソコンのメールアドレスに送信(※)することができます。

※: 送信に失敗しても、再送信は行いません。

お知らせ ● 携帯電話への転送は、機種によってできないことがあります。

転送先のメールアドレスを登録する

1  [メニューを開く] を押す

2 [3] 「ファクス機能」 →
[8] 「ファクスtoメール転送」
を順に押す

ファクスtoメール転送:
・ する
・ しない

3 [▲] または [▼] で
「する」を選び
[セット] を押す

1. 電話帳から入力する
2. 直接入力する

4 [▲] または [▼] で
「電話帳から入力する」 または 「直接入力する」 を選び
[セット] を押す

手順4の選択に応じて次に示す手順に進む

電話帳から相手先を選ぶ → ■ 電話帳から入力する
メールアドレスを入力する → ■ 直接入力する

■ 電話帳から入力する

5 電話帳から転送する相手先を選び
[セット] を押す

6 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

■ 直接入力する

転送先メールアドレスを
入力します
セットを押して下さい

5 [セット] を押し
メールアドレスを入力し
[セット] を押す

6 「設定しました」と表示されたら
[ストップ] を押す

お買い求め時の設定: しない

ファクスtoメール転送しない場合は:

「しない」を選び、[セット] を押す。
「設定しました」と表示されたら解除されました。
[ストップ] を押すと待受中に戻ります。

相手先を選ぶには:

📖 「電話帳表示画面の説明」(P.3-2)

お知らせ

- 電話帳にメールアドレスが登録されていない場合は、「メールアドレスが未登録です」と表示されます。
- メールアドレスが登録されていない相手先は、表示されません。

メールアドレスの文字数:

最大英数字/記号50文字

📖 「文字入力について」(P.10-13)

パソコンとつないで使う

8

メ
ネ
ット
ワ
ーク
機
能
を
使
う

パソコンで設定や閲覧をする（機能設定メニュー）

Internet ExplorerなどのWebブラウザで、電話帳の編集や受信したファクス受信文書を見ることができます。ユーティリティソフト（アプリケーション）をインストール後に、パソコンのタスクトレイに表示される「AddressResolver」のアイコンから操作を進めます。詳しい使いかたはネットワークガイドをご覧ください。パソコンで設定や閲覧をする場合、推奨解像度は1024×768ピクセル以上です。

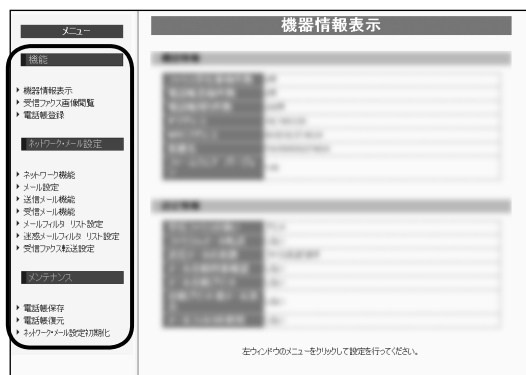
- 1 タスクトレイの「AddressResolver」() アイコンを右クリックし、「設定」から機器を選択する

お知らせ

- 本商品の装置名が表示されない（Not Foundと表示された）場合は：タスクトレイの「AddressResolver」アイコンを右クリックし、「更新」をクリックすると本商品の装置名が表示される。➡「装置名を変更する」（P.8-9）



- 2 「メニュー」から項目を選択して操作を進める

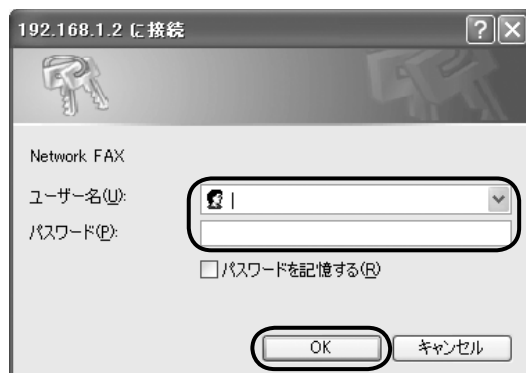


■ ログインユーザ名、ログインパスワードを設定するには

「Webログイン認証」を「する」に設定すると、右下の画面が表示されます。お買い求め時、ログインユーザ名は「user」、ログインパスワードは「password」に設定されています。➡「Webログインユーザ名、パスワードを設定する」（P.8-12）

ログインユーザ名とログインパスワードを設定すると：「パソコンで設定や閲覧をする（機能設定メニュー）」（➡本ページ上）の手順1のあと、右の画面が表示されます。ログインユーザ名とログインパスワードを入力し、「OK」をクリックして手順2へ進んでください。

「Unauthorized」と表示された場合は：ユーザー名またはパスワードを間違えています。正しいユーザー名とパスワードを入力してください。



ソフトウェアを更新する

ネットワーク通信を使って、本商品のソフトウェアを最新に更新します。

ソフトウェアを常に最新にさせていただくことにより、本商品を最適な状態に保つことができます。

お知らせ

- ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の着信／発信、内線通話、ボタン操作などのすべての操作をお使いになれません。
- ソフトウェア更新中は、電源を切らないでください。
- ソフトウェア更新は、登録された電話帳や設定などのデータを残したまま行うことができます。

自動更新する／しないの設定

新しいソフトウェアがあるかどうかを、あらかじめ本商品に設定されている時間に自動でチェックするかどうかの設定です。

1  **【メニューを開く】**を押す

2 **【0】「その他」→
【3】「ソフトウェア更新」**
を順に押す

1.ソフトウェア情報表示
2.ソフトウェア更新の実行
3.更新内容の印刷
4.自動更新設定

3 **【▲】**または**【▼】**で
「自動更新設定」を選び
【セット】を押す

自動更新設定：
・する
・しない

4 **【▲】**または**【▼】**で
「する」を選び
【セット】を押す

5 「設定しました」と表示されたら**【ストップ】**を押す

お買い求め時の設定：する

新しいソフトウェアがあるかどうかの自動確認を行
わない場合は：「しない」を選び、**【セット】**を押す。

「設定しました」と表示されたら解除されました。
【ストップ】を押すと待受中に戻ります。

ソフトウェア更新を行う

新しいソフトウェアがあるかどうかを、あらかじめ本商品に設定されている時間に自動でチェックします。

更新が必要になった場合は、「ソフトウェア更新あり」画面が表示されます。

お知らせ

- 時刻が未設定の場合、ソフトウェア自動更新は動作しません。
- 他の機能を利用中に更新時刻になった場合は、機能終了後に「ソフトウェア更新あり」画面が表示されます。
- 本商品の電源を頻繁に切る運用をされる場合、新しいソフトウェアがあるかどうかの自動チェックが行われない場合があります。電源を頻繁に切る運用をされるお客様は、定期的に「すぐにソフトウェア更新を行う」(P.8-56)を実行されることをおすすめいたします。

更新が必要なソフトウェアがある場合、以下の画面が表示される

ソフトウェア更新あり  スタート押下

1 **【スタート/コピー】**を押す

更新されたソフトウェアが
あります
セットを押して下さい

2 **【セット】**を押す

「ソフトウェア更新中」と
表示されている間は、
電源を切らないで下さい
また、更新中は、
電話をご利用になれません

3  **【実行する】**を押す

ソフトウェア取得中

電源を切らないで
少しお待ち下さい
ソフトウェア更新中

更新が完了しました

更新を中止するときは： **【後で更新する】**を押す。

「通信エラー：XXX」と表示されたときは：

「ファイルエラー」と表示されたときは：

「更新に失敗しました」と表示されたときは：

ネットワーク設定やネットワーク環境をご確認の
うえ、しばらくたってからもう一度、手順1から
やり直してください。

4 自動的に本商品が再起動する

再起動します

再起動後、「更新内容に関わるお知らせ」がある場合、以下の画面が表示される

お知らせがあります



スタート押下

以下の手順に従って「更新内容に関わるお知らせ」をプリントする

5 [スタート/コピー]を押す

更新内容の印刷を行います
セットを押すと、
印刷を開始します
更新内容の印刷はメニュー
からも行うことができます



【後で印刷する】を押して中止することもできます。

6 [セット]を押す

印刷ファイル取得中

プリント中

待機画面へ

【通信エラー：XXX】と表示されたときは：

【ファイルエラー】と表示されたときは：

ネットワーク設定やネットワーク環境をご確認のうえ、しばらくたってからもう一度、手順5からやり直してください。

【更新内容印刷できません】と表示されたときは：

本商品に異常が発生しているため、プリントが開始できません。画面の指示にしたがって異常を解除し、手順5からやり直してください。

【更新内容の印刷があります】と表示されたときは：

プリント中に異常が発生したため、プリントが保留されています。画面の指示にしたがって、プリントを再開してください。

すぐにソフトウェア更新を行う

本機能をお使いいただくことにより、お客様がソフトウェアを更新したいときすぐに更新を行うことができます。

1 [メニューを開く]を押す

2 [0]「その他」→ [3]「ソフトウェア更新」 を順に押す

1.ソフトウェア情報表示
2.ソフトウェア更新の実行
3.更新内容の印刷
4.自動更新設定

3 [▲] または [▼] で 「ソフトウェア更新の実行」を選び [セット]を押す

更新されたソフトウェアが
あります
セットを押して下さい

4 [セット]を押す

「ソフトウェア更新中」と
表示されている間は、
電源を切らないで下さい
また、更新中は、
電話をご利用になれません

5 [実行する]を押す

ソフトウェア取得中

電源を切らないで
少しお待ち下さい
ソフトウェア更新中

更新が完了しました

6 自動的に本商品が再起動する

再起動します

更新されたソフトウェアがない場合は、「更新は必要ありません このままご利用下さい」と表示されます。
この場合、以下の手順は実行する必要ありません。

更新を中止するときは：【後で更新する】を押す。

【通信エラー：XXX】と表示されたときは：

【ファイルエラー】と表示されたときは：

【更新に失敗しました】と表示されたときは：

ネットワーク設定やネットワーク環境をご確認のうえ、しばらくたってからもう一度、手順4からやり直してください。

再起動後、「更新内容に関わるお知らせ」がある場合、以下の画面が表示される

お知らせがあります



スタート押下

以下の手順に従って「更新内容に関わるお知らせ」をプリントする

7 「スタート/コピー」を押す

更新内容の印刷を行います
セットを押すと、
印刷を開始します
更新内容の印刷はメニュー
からも行うことができます

8 「セット」を押す

印刷ファイル取得中

プリント中

待機画面へ

更新内容に関わるお知らせがある場合のみ、この画面が表示されます。

お知らせがない場合は、表示されません。

「後で印刷する」を押して中止することもできます。

「通信エラー：XXX」と表示されたときは：

「ファイルエラー」と表示されたときは：

ネットワーク設定やネットワーク環境をご確認のうえ、しばらくたってからもう一度、手順7からやり直してください。

「更新内容印刷できません」と表示されたときは：

本商品に異常が発生しているため、プリントが開始できません。画面の指示にしたがって異常を解除し、手順7からやり直してください。

「更新内容の印刷があります」と表示されたときは：

プリント中に異常が発生したため、プリントが保留されています。画面の指示にしたがって、プリントを再開してください。

現在のソフトウェアの情報を表示する

現在お使いのソフトウェア情報（バージョン情報）を表示します。

1 「メニューを開く」を押す

2 [0]「その他」→ [3]「ソフトウェア更新」 を順に押す

1.ソフトウェア情報表示
2.ソフトウェア更新の実行
3.更新内容の印刷
4.自動更新設定

3 [▲] または [▼] で 「ソフトウェア情報表示」を選び [セット] を押す

「機種」
SP-NA665
「バージョン」
1.00

4 確認したら [ストップ] を押す

更新内容を手動でプリントする

更新されたソフトウェアに関するお知らせをプリントすることができます。
本機能をご使用になることにより、過去の更新内容も確認することができます。

お知らせ

●ソフトウェアのバージョンによっては、更新されたソフトウェアに関するお知らせがない場合があります。

1 「メニューを開く」を押す

2 [0]「その他」→ [3]「ソフトウェア更新」 を順に押す

1.ソフトウェア情報表示
2.ソフトウェア更新の実行
3.更新内容の印刷
4.自動更新設定

3 [▲] または [▼] で 「更新内容の印刷」を選び [セット] を押す

更新内容取得中

4 [セット]を押す

更新日時	内容
4/31	補足説明書4
3/30	補足説明書3
3/20	補足説明書2
2/10	補足説明書1

印刷ファイル取得中

プリント中

待機画面へ

「更新内容ファイルはありません」と表示されたときは：

現在、更新されたソフトウェアに関するお知らせがありません。

「更新内容印刷できません」と表示されたときは：

- ・「ソフトウェア更新あり」「お知らせがあります」「更新内容の印刷があります」のいずれかが表示されている状態では、本機能を開始することができません。画面の指示にしたがい、ソフトウェアの更新もしくは更新内容の印刷を実施したあとで、本機能を実行してください。
- ・本商品に異常が発生しているため、プリントが開始できません。画面の指示にしたがって異常を解除し、手順1からやり直してください。

「更新内容の印刷があります」と表示されたときは：

プリント中に異常が発生したため、プリントが保留されています。画面の指示にしたがって、プリントを再開してください。

リモートメンテナンスを実行する

お客様ご相談窓口にお問い合わせいただいたとき、「リモートメンテナンスモードに設定してください」とお願いする場合があります。以下の手順で実行してください。

お知らせ

- リモートメンテナンスを実行中は、ボタン操作が無効になります。

1  [メニューを開く] を押す

2 [0]「その他」→
[2]「リモートメンテナンス」
を順に押す

リモートメンテナンスを
開始しますか？

3  [はい] を押す

リモートメンテナンス情報
取得中
少しお待ち下さい

リモートメンテナンス中
アドレス情報[17桁]：
XXX-XXX-XXX
XXX-XXX-XX
接続ID[4桁]1234
バージョン：1.10

リモートメンテナンスをやめるときは：

 [いいえ] を押す。

途中でやめるときは：

 [終了する] を押す。

エラー番号が表示されたときは：エラー番号（RM-XXXX）を控えておいてください。

お客様ご相談窓口の係員が、アドレス情報、接続ID、バージョンをお伺いします。
表示されている数字を順番に伝えてください。

9 こんなときは

困ったときは

紙づまりのとき

紙づまりが起きるとディスプレイに次のメッセージが表示されます。メッセージに応じてつまった紙を取り除いてください。

ディスプレイの表示	原因／対処方法／参照先
記録紙づまり 「パネル開けて下さい」と交互に表示される。	・記録紙がつまっているときは、つまった紙を取り除いてください。 ・記録ローラの汚れが考えられます。記録ローラをお掃除してください。 →「日ごろのお手入れ」(P.9-18)
原稿づまり	・原稿がつまっているときは、つまった紙を取り除いてください。

つまった紙を取り除く

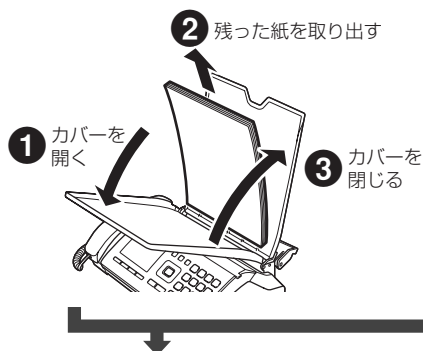
お知らせ

- 操作パネルを開くときは確実にいっぱいまで開いてください。途中で止めるとパネルの重さで閉まってしまうことがあります。
- 作業中は指などをはさまないように注意してください。

■ 記録紙カセットを使用している場合

1 記録紙カセットに残った紙を取り出す

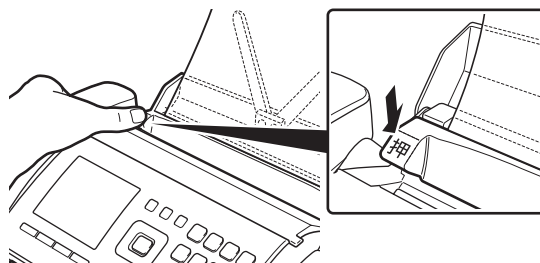
- ① 記録紙カバーを開き、手前にたおす
- ② 残った紙を取り出す
- ③ 記録紙カバーを閉じる



■ 記録紙サポーターを使用している場合

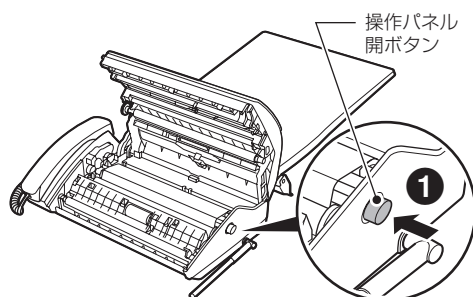
1 記録紙サポーターに残った紙を取り出す

- ① 記録紙セットレバーを押しながら、残った紙を取り出す
- ② 記録紙セットレバーから手を離す
- ③ 記録紙サポーターを収納する

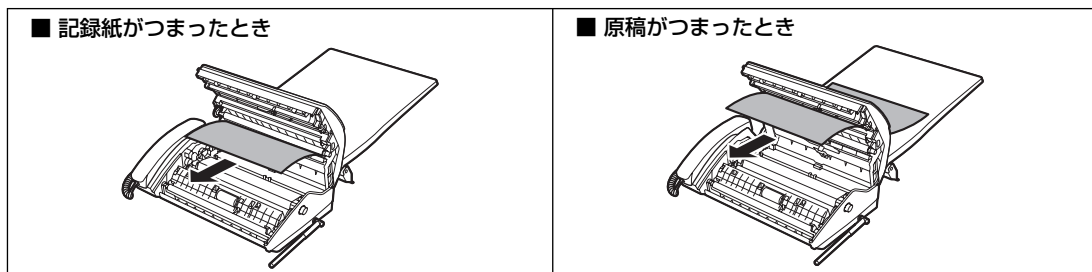


2 つまんだ紙を取り除く

- ① 操作パネル開ボタンを押して図のように操作パネルを開く
・確実にいっぱいまで開いてください。



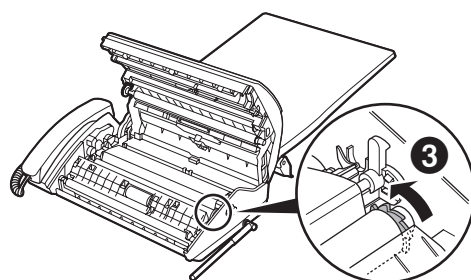
② つまった紙を図に示す矢印の方向にゆっくりと引き抜く



・破れたときは紙片を残さず取り除いてください。

③ 図に示すように青色のギヤを回してインクフィルムのたるみをとる

④ 操作パネルを閉じる



・図のように左右の端を上の方から、カチッと音がするまで押さえます。

・手前の端を押さえると閉まりにくいことがあります。

⑤ 右に示すメッセージが表示されたら、 [いいえ] を押す



3 記録紙を入れる

➡ 「記録紙のセット」(P.1-13)

つまった紙を取り除いても次のメッセージが表示されることがあります。メッセージに応じて対処してください。

ディスプレイの表示	原因／対処方法／参照先
記録紙づまり	記録ローラの汚れが考えられます。ローラをお掃除してください。 ➡ 「日ごろのお手入れ」(P.9-18)
操作パネル確認	操作パネルが完全に閉まっていません。もう一度、カチッと音がするまで閉め直してください。
ローラ清掃 「原稿づまり」と交互に表示されます。	原稿送り用ローラの汚れが考えられます。ローラをお掃除してください。 ➡ 「日ごろのお手入れ」(P.9-18)

ファクスが正常に送れない／受けられないとき

ファクスの送信中／受信中に異常があるとディスプレイにメッセージが表示されます。それぞれの状況に応じて対処してください。

ディスプレイの表示	送信中／受信中	レポートのプリント
通信異常 この他にも異常を示すメッセージがあります。	送信中	「不達レポート」がプリントされます（不達レポート➡ P.5-6）。
	受信中	「通信管理レポート」をプリントしてください。➡ 「リストをプリントする」(P.7-11)

それぞれのレポートには「通信結果」を示す欄があります。レポートに記されたエラーコード（2桁の数字）からエラーコード表の「内容と対処方法」を参照し、対処してください。➡ 「エラーコード表」(P.7-12)

停電したとき

停電したときや親機の電源プラグをコンセントから抜いたときは、親機／子機ともにご利用になれません。

親機で電話帳などの登録中、各種設定の操作中、ファクスの送信中／受信、メッセージなどの録音中に停電したときは、操作を完了していない登録内容、設定値、送信内容／受信内容、メッセージ、用件は保存されません。

親機に記録された設定や情報には、停電したときに消えてしまうものと消えないものがあります。

消えない設定／情報	参照先
親機	
・リダイヤルに記録された電話番号	P.2-3
・着信履歴※	P.6-9
・ファクス受信文書	P.5-9
・自作の応答メッセージ	P.4-7
・留守番電話の用件	P.4-1
・保存したさかのぼり録音の内容	P.2-10
・通信管理レポート	P.7-11
・インクフィルム残量の記録	P.15
・電話帳に登録した内容	P.3-1
・おやすみモードの開始時刻／終了時刻	P.4-5
・各種設定	P.10-6
・スキャン to メール、スキャン to パソコンの画質	P.8-23、8-50
・送信メール	P.8-25

消えてしまう設定／情報	参照先
親機	
・時刻の設定	P.1-11
・おやすみモード	P.4-5
・ファクス、コピーの画質	P.5-2
・スキャン to メール、スキャン to パソコンで読み取ったデータ	P.8-21、8-50

※：ナンバー・ディスプレイをご利用のとき

■ 停電から復旧したら

親機は自動的に使用できる状態に戻ります。

・親機の時刻を設定してください。→「時刻の設定」(P.1-11)

※ インターネットに接続できる環境で、本商品のNTP時刻設定が「する」に設定されている場合は、停電復旧時に自動的に時刻を取得して設定します（接続状況によっては時刻取得に失敗し、設定されない場合があります）。

■ 子機の場合

停電しても、子機の設定／情報に影響はありません。ただし、電池パックを抜くと消えてしまう設定／情報がありますのでご注意ください。→「■電池パックを外したあとの設定／情報」(P.9-17)

操作ができなくなったとき

親機または子機のボタンを押しても何も反応しないときは、次の操作をお試しください。

親機	電源プラグをコンセントからいったん抜いて、再度差し込む。
子機	電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度差し込む。

お知らせ

● この操作を行うと、消えてしまう設定／情報がありますのでご注意ください。

親機：→「停電したとき」(本ページ上)

子機：→「■電池パックを外したあとの設定／情報」(P.9-17)

● 本商品の自己診断機能が異常と判断した場合、自動的にリセット処理を行う場合があります。

困ったときは（Q&A）

	こんなときは	内容	参照ページ
待受中	ディスプレイに何も表示されない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？ ・節電モードになっていませんか？【 セット 】を押してください。	P.1-8～ 1-10
	“操作パネル確認”と表示が出た	・操作パネルを閉じてください。	P.9-16
	“インクフィルム交換”と表示が出た	・インクフィルムがなくなっています（残っていても表示されるときは、インクフィルムのたるみを取って、操作パネルを閉じてください）。	P.9-15
	“メモリ受信文書あり”“インクフィルム交換”と表示が出た	・メモリ代行受信したファクス受信文書がありますが、インクフィルムがないためプリントできません。まず、インクフィルムを交換してください。（インクフィルムが残っていても表示されるときは、インクフィルムのたるみを取って、操作パネルを閉じてください。）次に記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.1-13、 9-15
	“記録紙づまり”“パネル開けて下さい”と交互に表示が出た	・記録紙がつまっていますか？ 記録紙がつまっている場合は、操作パネルを開けて記録紙を取り除いてください。 ・記録ローラを清掃してください。	P.9-1 P.9-18
	“メモリ受信文書あり”“スタート押下”と交互に表示が出た	・メモリ代行受信したファクス受信文書のプリント待ちです。記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.1-13、 5-9
	“レポートあり”“スタート押下”と交互に表示が出た	・リストやレポートのプリント待ちです。記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.1-13、 7-11
	“チャイルドロック中 解除 #を2秒押す”と表示が出た	・【#】を2秒以上押して、チャイルドロックを一時的に解除してください。	P.7-7
	“ソフトウェア更新あり”“スタート押下”と交互に表示が出た	新しいソフトウェアがあるかどうかを、本商品が自動でチェックした結果、新しいソフトウェアがあると判断された場合に表示されます。画面の指示に従って、ソフトウェアの更新を行ってください。	P.8-55
	“お知らせがあります”“スタート押下”と交互に表示が出た	更新されたソフトウェアに関するお知らせがあります。画面の指示に従って、更新内容のプリントを行ってください。	P.8-56、 8-57
電話（親機／子機）	“セーフモード”と表示が出た	ソフトウェア更新中に停電が発生しました。このままの状態では、電話機能を含めたすべての機能がご利用になれません。 以下の手順に従って、速やかに本商品の復旧を行ってください。 1.  【 メニューを開く 】を押す。 2.  または  で「その他」を選び、【 セット 】を押す。 3.  または  で「ソフトウェア復旧」を選び、【 セット 】を押す。	—
	受話器から何も聞こえない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？ ・電話回線ケーブル、受話器用コードが接続されていますか？ ・子機を使用中ではありませんか？	P.1-7～ 1-10 P.2-1
	電話を受けられるが、かけることができない	・回線種別の設定が合っていますか？ ・ターミナルアダプタ（TA）を使用していないですか？	P.1-11
	電話をかけることはできるが、受けることができない	・ナンバー・ディスプレイやダイヤルインのサービスに加入している場合は、必ず「利用する」に設定してください。 ・ターミナルアダプタ（TA）を使用していて、ターミナルアダプタ（TA）側でダイヤルインの設定をしている場合は、本商品側のダイヤルインの設定を「利用しない」にしてください。	P.6-2、 7-3 P.7-3
	呼出ベルが鳴っているのに、親機で電話を受けることができない	・受話器が外れていませんか？ 受話器を親機に戻し、再度受話器をとってみてください。	—
	ベルが鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？	P.2-14
	ベルの音が小さい（大きい）	・ベルの音量を調整してください。	P.2-14
	ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	・相手先がファクスかもしれません。親機の【 スタート／コピー 】（子機では【 内線 】を押したあと【 6 】）を押してください。	P.5-7
	相手先の声が聞き取りにくい	・受話音量を調整してください。	P.2-15
	着信ベル／呼出ベルの意味がわからない	・「電話やファクスの受けかた」（☎ P.5-7）、「ベルが鳴る回数を変える」（☎ P.7-8）をご覧ください。	—

	こんなときは	内容	参照ページ
電話 (親機／子機)	公衆電話で電話をかけた相手先から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出音が少しおかしいと言われた	・「ベルが鳴る回数を変える」(➡ P.7-8)をご覧ください。	—
	電話をかけたとき、相手先に自分の電話番号が表示されるのか？	・相手先が NTT 東日本または NTT 西日本のナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます。 ・ファクス送信のとき、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手先のファクスに表示されます。	P.6-1 P.5-4
	親機から子機を呼び出せない 子機から、親機や他の子機が呼び出せない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？ ・子機を親機に近づけてみてください。 ・親機あるいは子機の近くに無線 LAN 機器や電子レンジがありませんか？ ある場合は 3m 以上離してご使用ください。 ・近くで他のコードレス電話機を使用していませんか？ ・子機は充電されていますか？	P.1-8 ~ 1-10 P.1-2 P.1-3 P.1-5
	通話中に雑音が入るとき	・親機のアンテナの向きを変えてみてください。	P.1-2
	電話をかけてから呼出音が聞こえ始めるまでに時間がかかる	・相手先がナンバー・ディスプレイを利用している場合は、接続までに時間がかかることがあります。 ・事業者識別番号を自動的につけて電話をかけた場合は、接続までに時間がかかることがあります。	P.6-1 P.2-12
	“回線確認”と表示が出た	・電話回線ケーブルが抜けていませんか？ ・話し中に相手先が電話を切り、一定の時間が経つと表示されます。	P.1-7 ~ 1-10
	受話器が温かい	・コピーやファクスを送受信したあとは、受話器が温かくなることがありますが、問題なくご使用いただけます。	—
	トーン（ブッシュ）信号の送出のしかたは？	・「ダイヤル回線でトーン信号を送る」(➡ P.2-13)をご覧ください。	—
	電話がかかけられない（「ツー」という音が聞こえない）	・親機の電源プラグは、コンセントに差し込んでありますか？ ・子機は充電されていますか？ ・親機に電話回線ケーブルが接続されていますか？ ・親機から離れ過ぎていませんか？ 親機に近づいてください。 ・親機または他の子機が通話中、またはファクスの送信／受信、コピー、スキャン to パソコンで読み取り動作をしていませんか？ ・ 【通話】 を押ししましたか？	P.1-8 ~ 1-10 P.1-5 P.1-7 ~ 1-10 P.1-2 P.2-1
	ベル（呼出音）が鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？ ・親機に近づいてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・子機は充電されていますか？ ・子機の充電器と携帯電話の充電器が同じコンセントにつながっていませんか？ ・おやすみモードになっていませんか？ おやすみモードになっているとベルが鳴りません。	P.2-14 P.1-2 P.1-5 P.4-5
電話 (子機)	相手先の声が聞き取りにくい	・受話音量を調整してください。	P.2-15
	通話中に声が途切れたり雑音が入る	・子機は電波を使っているため、通話中に声の途切れや雑音が入ることがありますが、故障ではありません。雑音がひどい場合は、次のことをご確認ください。 — 親機に近づけてみてください。 — 親機のアンテナの向きを変えてみてください。 — 無線 LAN 機器や電子レンジなどの電気機器から離してみてください。 — 蛍光灯が近くにあったら離してみてください。 — 子機の近くに携帯電話などの充電器があったら離してみてください。 — ダブルアクセスの設定を変更してみてください。	P.1-2、 1-3 P.7-10
	通話中に「ピピピピッ…」という音が鳴り、  が点灯した	・電池パックの充電残量が少なくなっています。充電してください。	P.1-5

	こんなときは	内容	参照ページ
電話（子機）	通話中にすぐに電池がなくなる	・電池パックを交換してください。	P.9-17
	充電器に置いたとき、[切] が点灯しない	・充電器の電源プラグをコンセントに差し込んでありますか？ ・充電器に正しく置いてください。	P.1-5
	“ツウワ ケンガイ” と表示が出た	・親機の電源プラグは、コンセントに差し込んでありますか？ ・親機から離れすぎていませんか？ 親機に近づいてください。 ・親機に近づいても、すぐに接続動作が行われない場合があります。これは3分ごとに接続動作を行うためです。すぐに接続したいときは【通話】を押してください。 ・WIFI BAND の設定を変更してみてください。	P.1-8 ~ 1-10 P.1-2 P.7-10
	“シヨウチュウ” と表示が出た	・親機でコピー・ファクス・スキャン to パソコン等での読取動作や、メニュー設定、電話帳登録をしていませんか？	P.2-1
	他のファクスの子機を本商品の子機として使えるのか？	・使えません。子機を増設する場合は指定の増設コードレス電話機セットをお買い求めください。	P.9-22
	増設子機が使えない	・増設子機を使う状態にするには、増設の操作をしていただく必要があります。	P.9-22
	子機で通話中、突然通話が切れて、親機が保留状態になる	・親機に近づけて使用してください。 ・電池パックを交換してください。	P.1-2 P.9-17
	コピーが白紙になる	・コピーする面を裏向きにして原稿をセットしましたか？	P.5-1
ファクス（コピー）	コピー中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴った	・【ストップ】を押すと、音が止まります。 ・原稿がつまっています。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙をセットし直してください。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	P.9-1 P.1-13 P.1-13、9-1
	コピーががすれた、うすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーをとってください。	P.5-2
	コピーが鮮明でない	・原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。 ・当社指定の記録紙を使用してください。	P.9-18 P.1-13
	コピー面の左端または右端が欠ける	・原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。	P.5-1
	記録紙の裏面が汚れる	・記録ローラを清掃してください。	P.9-18
	原稿とプリント結果のサイズが違う	・原稿の厚さと表面状態の差により、送り誤差（原稿読み取りの伸び縮み）があります。 ・原稿送り用ローラが汚れていると、送り誤差がでる場合があります。原稿送り用ローラを清掃してください。	P.9-18
	原稿をセットすると“原稿づまり”の表示が出る 原稿をセットしたのに“原稿がありません”の表示が出た 原稿が送り込まれていかない	・いったん操作パネルを開け、操作パネルを閉じてください。 ・原稿送り用ローラと原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。 ・原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。 ・原稿が本商品で読み取れるサイズや厚さではありません（厚すぎる／薄すぎる／小さすぎる）。他のコピー機で普通紙にコピーしてからファクスしてください。	P.9-1 P.9-18 P.5-1
	原稿が斜めに入った	・原稿を取り除き、もう一度やり直してください。 ・原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。	P.9-1 P.5-1 P.9-18
ファクス（送信）	原稿の読み取り中に「ピーピーピーピーピー」という音がして止まってしまい、“原稿づまり”と“ローラ清掃”という表示が交互に出た	・原稿を取り除き、やり直してください。 ・原稿送り用ローラと原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。	P.9-1 P.9-18
	原稿が送られず、“相手先無応答”と表示が出た	・相手先の電話番号を確認してください。 ・相手先が電話に出ません。しばらくしてから、かけ直してください。 ・相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送り直してください。 ・相手先が番号非通知の着信を拒否している可能性があります。電話番号を通知して、もう一度送り直してください。	— P.6-3
	原稿が送られず、“相手先話し中”と表示が出た	・相手先が話し中です。しばらくしてから、かけ直してください。 ・回線が混み合っています。しばらくしてから、かけ直してください。	—

	こんなときは	内容	参照ページ
ファックス(送信)	何回送信しても“リダイヤル待ち”になる	・相手先が話し中です。 ・電話がかけられるかを確認してください。 ・電話をかけてそのまま通話中に送信してみてください。 ・「ダイヤルトーン検出」を「しない」に設定してみてください。	P.5-3 P.5-3 P.5-5
	送信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・相手先のファクスに記録紙切れなどが起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送り直してください。	—
	送信に時間がかかる	・画質の設定が「写真」のときは、「普通」や「小さい」のときに比べ、送信に時間がかかります。 ・原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏にプリントがあるときは、送信に時間がかかります。 ・回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。	P.5-2
	モーター音が大きくなることもある	・送信に時間がかかるときには、モーター音が若干大きくなる場合がありますが、故障ではありません。	P.5-2
	海外への送信ができない	・海外へ送信するときは、国内と違い接続に時間がかかります。電話をかけてそのまま通話中に送信した方が確実に送れます。 ・海外通信の設定をすると、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。	P.5-3 P.5-6
	送受信でサイズが違う	・ファクスの場合は、送受信で若干の差が出ます。原稿／記録紙の送り誤差（原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み）があります。	—
	送信した原稿が相手先で白紙になる	・原稿を表裏逆にセットしませんでしたか？ 送る面を「裏向き」にセットし、もう一度送り直してください。 ・相手先の記録紙の向き（表裏）が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送り直してください。	P.5-1
	相手先で受信した記録がかすれた／うすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送り直してください。	P.5-2
	相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	・本商品でコピーをとってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。コピーが鮮明なときは回線または相手先に原因があると思われます。もう一度送り直してください。 ・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してください。 ・画質を変えてもう一度送り直してください。	P.5-14、 9-18 P.7-1 P.5-2
	相手先で受信した記録に黒いすじが入る	・本商品でコピーをとってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り面（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。コピーが正常なときは、相手先に原因があると思われます。もう一度送り直してください。	P.5-14、 9-18
ファックス(受信)	“少しお待ち下さい”と表示が出たままになった	・電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください。	—
	“操作パネル確認”と表示が出た	・操作パネルを閉じてください。	P.9-2
	“インクフィルム交換”と表示が出た	・インクフィルムがなくなっています（残っていても表示されるときは、インクフィルムのたるみを取って、操作パネルを閉じてください）。	P.9-15
	“記録紙ありません”と表示が出た	・プリント中に記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙をセットし直してください。	P.1-13
	“記録紙づまり”と表示が出た	・記録紙がつまっています。 ・記録ローラを清掃してください。	P.9-1 P.9-18
	ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない	・受信したファクスをプリント中は受信できません。 ・コピー中や登録・設定中のときは、【ストップ】を押して、コピーや登録をやめてください。 ・相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。手動受信を行ってください。 ・「着信ベル回数」が「8回」以上に設定されている場合、相手先が電話をかけずにファクスを送ったときは受信できないことがあります。 ・「着信モード」を「電話専用」に設定しているときは自動受信できません。 ・応答メッセージやさかのぼり録音、留守電の要件でメモリがいっぱいのときは、ベルが鳴り続けて受信できません。不要な要件を消去してください。 ・ファクス受信文書があるときは、出力操作をするか、消去してください。	P.5-7 P.7-8 P.5-12 P.4-3 P.5-10

	こんなときは	内容	参照ページ
ファクス（受信）	受信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・[ストップ]を押すと音が止まります。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙をセットし直してください。 ・記録紙がつまったり、なくなっています。 ・インクフィルムがなくなっています。 ・相手先のファクスに原稿づまりなどが起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、送り直してもらってください。	P.1-13 P.1-13、 9-1 P.9-15
	受信した記録紙が白紙になる	・相手先が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。	—
	受信した記録紙のほかに白紙が出た	・送信側で原稿を読み取る際、本来の長さより伸びたり縮んだりすることがあります。読み取りが伸びた場合に、受信側で余白部分を2枚目と認識して白紙の記録紙を出力することがあります。 ・「受信縮小率」を「100%」に設定している場合は、記録紙が2枚に分かれ、2枚目が白紙になることがあります。	P.5-13
	受信した画像が鮮明でない	・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してもらってください。 ・本商品でコピーをとってください。コピーが鮮明なときは、回線または相手先に原因があると思われます。相手先に連絡して、もう一度送り直してもらってください。	P.7-1 P.5-14
	受信した記録紙に黒いすじが入る	・本商品でコピーをとってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手先に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送り直してもらってください。 ・コピーに黒いすじが入るときは、原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。	P.5-14 P.9-18
	記録紙を入れるたびに、同じ内容がプリントされる	・A4長を超える原稿を受信した場合、記録紙が2枚以上に分割されます。このとき、記録紙が1枚しかセットされていないと、プリント中に記録異常となり、記録紙を追加しても、はじめからプリントし直します。記録紙は常に多めにセットしておいてください。	—
	記録紙がつまる 記録紙が送られない	・当社指定の記録紙を使用してください。 ・セットできる枚数は、記録紙力セット使用時は20枚まで、記録紙サポーター使用時は5枚までです。 ・記録紙を補充するときは、記録紙力セットまたは記録紙サポーターに残っている記録紙をすべて取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。 ・しわのある記録紙、折れている記録紙、湿っている記録紙などは使用しないでください。 ・記録ローラ、ゴム板を清掃してください。	P.1-13 P.9-18
	記録紙が一度に複数枚送られる	・当社指定の記録紙を使用してください。 ・記録紙を補充するときは、記録紙力セットまたは記録紙サポーターに残っている記録紙をすべて取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。 ・しわのある記録紙、折れている記録紙、湿っている記録紙などは使用しないでください。 ・ゴム板を清掃してください。	P.1-13 P.9-18
	プリントした記録紙が汚れるとき	・記録ローラを清掃してください。	P.9-18
	ファクスの送信はできるが、受信ができない	・応答メッセージやさかのぼり録音、留守電の用件でメモリがいっぱいになっていると、メモリ代行受信ができません。不要な用件などを消去してください。本商品に蓄積できるファクス受信文書は50件までです。50件を超えた分は、ファクス受信されません。不要なファクス受信文書は消去してください。	P.4-3、 5-10

	こんなときは	内容	参照ページ
ファクス (受信)	メモリーオーバーによる通信異常が多発する	・本商品は、ファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリー代行受信がはたらくように、いったんメモリーに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できる記憶容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリーオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。 － 不要な用件を消去する － メモリー代行受信したファクス受信文書をプリントする － メモリー内の不要なファクス受信文書を消去する	P.4-3 P.5-10
	海外からの受信ができない	・国によっては著しく回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。 ・ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。 ・コールバックサービスをご利用のときは、送受信の手順などが違う場合があります。サービス提供会社などにお問い合わせください。	P.4-1
	海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信」を「する」に設定しておく方がよいのか？	・海外通信の設定は、ファクスを送るとき機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。	—
	ファクスかんたん受信ができない	・「ファクスかんたん受信」が「する」に設定されていますか？ ・受話器から「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断されます。 ・周囲に騒音などはありませんか？ ・相手先がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。親機の「スタート/コピー」を押してください。子機では「内線」を押したあとに「6」を押してください。 ・受信したファクスをプリント中は受信できません。	P.5-12 P.5-7
	A4の原稿を受信しているが、縮小されてしまう	・相手先（送信側）で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。 ・「受信縮小率」を「93%」、「90%」、「85%」に設定していませんか？	P.5-13
	記録紙、インクフィルムがなくなったときはどうなるのか？	・記録紙、インクフィルムがなくなったページからメモリー代行受信します。	P.5-9
	子機で受けたときのファクスの受信方法は？	・「内線」を押したあとに「6」を押してください。 ・さかのぼり録音中のときは、録音を終了（「メニュー」を押し、[▲]または[▼]で「ロクオン シュウリョウ」を選び、「メニュー」を押す）させてから、「内線」[6]を押してください。	P.5-7
留守番電話	留守設定ができない	・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。メモリー代行受信したファクス受信文書があるときは、出力操作をするか、消去してください。	P.4-3、 5-10
	留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい	・「トールセイバ」を「しない」に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが鳴ります。	P.4-10
	留守番電話の内容が聞こえなくなってしまった（用件件数は表示されている）	・モニタスピーカ音量が「切」になっています。	P.2-15
	留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	・「着信ベル回数」を「7回」以下に設定してください。	P.7-8
	外出先から操作（リモート操作）できない	・留守設定にしていますか？ ・パスワードは登録しましたか？ ・ブッシュ信号の出せる電話機で操作していますか？ ・「リモート操作」を「する」に設定していますか？	P.4-1 P.4-8
	留守電ケータイ転送は6秒以上メッセージが録音されないで転送されないのか？	・転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています。	P.4-10
	応答メッセージが流れない	・着信中に「留守」を押したとき、留守設定はされますが、モニタスピーカからメッセージは流れません。 ・おやすみモードになっていませんか？	P.4-2 P.4-5

	こんなときは	内容	参照ページ
いろいろなサービス	キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた場合のファクスの使用上の問題点は？	・「キャッチホン」(☎ P.7-1) をご覧ください。	—
	停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？	・使用できません。	P.7-3
	ダイヤルインサービスを利用して いるが、留守電ケータイ転送は できるか？	・留守電ケータイ転送はご利用になれます。	P.4-10
	NTT 東日本または NTT 西日本の ボイスワープ（転送サービス）に 加入したが、電話への転送がで きるか？	・「着信ベル回数」を、ボイスワープ（転送）するまでに鳴らすベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本商品が自動的に回線を接続する前にボイスワープ（転送）するようにしなければなりません。 ・ボイスワープに加入すると、相手先が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。	P.7-8
	ナンバー・ディスプレイに加入し、 使用しているが、着信履歴が親機 には残るが、子機に残らないとき がある	・子機が親機の電波の届かない場所に置かれていませんか？ 子機を親機に近づけてみてください。 ・子機の呼び出しが行われる前に親機で電話に出ていませんか？ ・着信拒否やプライベートコール設定により、子機の呼び出しが行われず着信データが子機に残らないことがあります。	P.1-2 P.6-4、 6-8
接続方法	ホームテレホンまたはビジネスホ ンにファクスを接続できるか？	・接続できません。	—
	パソコンと接続しているが、ファ クスの受信ができない	・「IP 電話機能付き ADSL モデムに接続したときの注意」(☎ 付属の「かんたん設定ガイド」) をご覧ください。	—
	パソコンと接続しているが、時々 ファクスが動作し、パソコン通信 ができない	・パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。本商品とパソコンを離して置いてみてください。	P.1-2
その他	“原稿づまり” と表示されるが、原 稿が取れない	・操作パネルを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	P.9-1
	発信元登録で電話番号を入れた が、登録されない	・数字は「文字入力について」(☎ P.10-13) に従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません。	—
	さかのぼり録音ができない	・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。メモリ代行受信したファクス受信文書があるときは、出力操作をするか、消去してください。 ・さかのぼり録音の設定ができていかどうかを確認してください。	P.4-3、 5-10 P.2-9
	本商品のどのボタンを押しても何 も反応しない	・親機の場合は、電源プラグをコンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください。 ・子機の場合は、電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度取り付けてください。	P.1-8 ~ 1-10 P.1-5 P.9-3
	引越しなどで電話番号が変更にな ったときは？	・回線種別の設定が合っているか確認してください。 ・回線付加サービスに加入している方は再度、サービスごとの設定を確認してください。 ・親機に、発信元や自分の電話番号を登録している場合は、新しい電話番号を登録し直してください。	P.1-11 P.1-15 P.5-4
	操作を間違えた	親機は 【ストップ】 を、子機は 【切】 を押し、操作や設定をキャンセルします。	—
	ネットワーク通信がうまくいかな い	・本商品を含めたルータに接続されている機器すべてを、「DHCP を使用」を「する」に設定して使用することを推奨いたします。 ・ルータや他の機器を含めたネットワークの設定を再度ご確認ください。	P.8-7
ネットワーク機能（全般）	通信エラー XXXXXX と表示された	・エラー番号表をご覧ください	P.8-10
	通信エラー XXXXXX と表示された が、メモをとる前に消えてしまった	 【メニューを開く】 [9] 「最新のエラー表示」を順に押すと、最後に発生したエラー番号と解決策が表示されます。	P.8-10
	自動的に時刻が表示されない	・手動時刻取得の操作を行ってください。	P.8-13
	手動時刻取得の操作をすると、“接 続失敗” と表示される	・LAN ケーブルの接続、IP アドレスなどネットワーク環境をご確認ください。	P.1-7 ~ 1-9、8-7
	手動時刻取得の操作をすると、“時 刻取得失敗” と表示される	・NTP サーバに接続できませんでした。再度、手動時刻取得を行ってみるか、時刻を設定し直してください。	P.1-12、 8-13

	こんなときは	内容	参照ページ
ネットワーク機能（全般）	本商品の登録／設定をお買い求め時の状態に戻す操作など（＊）を実行したら、ネットワークにつながらなくなった。（＊本商品の機能メニューから「出荷時に戻す」を実行する、またはパソコンで「機能設定メニュー」の「メンテナンス」－「ネットワーク・メール設定初期化」を実行する）	・本商品の「登録／設定」をお買い求め時に戻す操作や「ネットワーク・メール設定初期化」を実行すると、ネットワーク設定の「DHCP を使用」が「する」に設定されます。そのため、固定 IP アドレスを設定して使用していた場合、ネットワークを使用する機能が使用できなくなったり、パソコンの Web ブラウザからアクセスできなくなったりすることがあります。LAN ケーブルを一度抜いてから、本商品で「IP アドレス設定」を設定し直してください。	P.1-7、8-7
	パソコンの名称が正しく表示されない	・パソコンの名称は半角英数字のみ対応しています。全角文字の場合、正しく表示されません。	—
	LAN ケーブルを差し込んででも  が表示されない	・ネットワーク接続、またはネットワーク機器に問題があります。次を参考に現在の設定環境をご確認ください。 － 本商品の LAN 端子と、接続先の機器（ルータ、ハブ等）の LAN 端子に、LAN ケーブルが正しく接続されていますか？ － 本商品やルータの電源を入れ直してみてください。 ・上記で改善されなければ、本商品、ルータ、ハブが故障している可能性があります。	P.1-7
	LAN ケーブルを差し込んで  が表示されたが、ネットワークにつながらない	・IP アドレスの設定を間違えている可能性があります。次のことをご確認ください。 － 「IP アドレス表示」で、「0.0.0.0」以外の IP アドレスが表示されることをご確認ください。「0.0.0.0」が表示されている場合は、IP アドレスが正しく取得できていません。 正しく IP アドレスが取得できていない場合は、「DHCP を使用」を「する」に設定してください。 － 「DHCP を使用」が「する」に設定されていても IP アドレスが「0.0.0.0」と表示される場合は、お使いのルータの DHCP サーバ機能が無効になっている可能性があります。 ルータの DHCP サーバ機能を使用する設定にするか、本商品の「DHCP を使用」を「しない」に設定し、「手動」で固定 IP アドレスを設定してお使いください。 ※ IP アドレスを固定で設定するときは、本商品の IP アドレスが、ルータやパソコンなどの他の機器と重複しないようにご注意ください。 他の機器と重複する IP アドレスを本商品に設定すると、正常に通信できません。	P.8-7
	ネットワーク設定を変更していないのに、突然通信エラーが出て通信できなくなった	・「ネットワークの接続修復」を実行してみてください。正常に戻ることがあります。「ネットワークの接続修復」を行うと、本商品のネットワークがいったん切断されて、再び接続されます。	P.8-10
	パソコンから「ネットワーク設定」で「DHCP 使用：する」から「DHCP 使用：しない」に変更し、IP アドレスの設定したが、 【登録】 をクリックしても登録完了画面が表示されない	・IP アドレスを変更したため、ブラウザ表示ができなくなっています。 【AddressResolver】 アイコンを右クリックしてタスクトレイの 【更新】 をクリックし、同じタスクトレイの 【設定】 をクリックして本商品の装置名を選択してください。	P.8-54
ネットワーク機能（メール送受信）	IMAP4 はサポートしているか？	・メール受信は POP3 のみ対応しています。IMAP4 はサポートしていません。	P.8-5
	メール受信ができない	・本商品に登録されたメール受信設定の内容が間違えている可能性があります。「受信メールサーバ」、「メールアカウント」、「メールパスワード」、「メール受信ポート番号」、「APOP 認証」（APOP 認証が必要な場合）が正しく設定されているかをご確認ください。	P.8-14
	メール送信ができない	・本商品に登録されたメール送信設定の内容が間違えている可能性があります。「送信メールサーバ」、「メール送信ポート番号」※ 1、「送信メールサーバの認証」※ 2、「送信前に受信」※ 3 が正しく設定されているかをご確認ください。 ※ 1：送信メールサーバの認証をお使いのお客様は、特にお気をつけください。 ※ 2：お使いのメールサーバで、SMTP 認証が必要かをご確認ください。 ※ 3：お使いのメールサーバで、「POP before SMTP」の設定が必要かをご確認ください。	P.8-14

	こんなときは	内容	参照ページ
ネットワーク機能（メール送受信）	1 回のメール送信に、複数の相手先を指定できるのか？	・最大 5 宛先まで指定できます。 ファクス to メール転送は 1 宛先になります。	P.8-19
	複数の相手先を指定してメールを送信するとき、パソコンのアドレスと携帯電話のアドレスを同時に指定できるのか？	・指定できます。ただし、宛先に携帯電話のアドレスがひとつ以上ある場合、スキャンする「画質、原稿サイズ、ファイル形式」は、自動的に携帯電話向けの設定に変更されます。	P.8-23
	メールを確認するとき、新しいメールを先に確認したいのに、古い順に表示される	・メールの表示順序は、ご契約されているプロバイダのメールサーバの設定によって異なります。「メール表示順序」で設定を変更してください。	P.8-18
	受信メールを確認中に「メール消去済み」と表示される	・メールを確認中に消去したメールがある場合、「メール消去済み」と表示されます。	—
	消去したはずの受信メールが、消去されていない	・「メールリスト取得中」や「メール受信中」と表示が出ているときに[ストップ]を押すと、消去したはずの受信メールが消去されないことがあります。再度、消去し直してください。	—
	本商品でメールを消去していないのに「メール消去済み」と表示される	・パソコンや他の機器で、同じメールアドレスを使用していないですか？ ご契約のメールアドレスによっては、同一アカウントへの同時ログインを許可している場合があります。その場合、本商品がメールサーバにアクセスしているときに、他の機器からメールを削除すると「メール消去済み」が表示されます。	—
	本商品から突然「ピーピーピー」という音が鳴った	・IP アドレスの設定を間違えていると、メールの自動到着確認の動作時にアラーム音が鳴ります。ご確認ください。	P.8-7
	メールプリント中に用紙切れになり、「記録紙をセットしてスタート押下」と表示されている間に記録紙をセットして[スタート/コピー]を押したが、プリントが再開されない	・プリントを再開する際、プリントするページが多いと、プリントしていないページの検索に数分かかる場合があります。故障ではありませんので、しばらくお待ちください。	—
	メールアドレス、受信メールサーバを変更したあと、一度プリントしたメールが再度プリントされた	・メールアドレス、受信メールサーバを変更すると、変更する前のプリント済みメール情報が失われます。 ※メールアドレス、受信メールサーバをもとに戻しても、プリント済みメール情報はもとに戻りません。	P.8-14
	いったん自動プリントしたメールは、本商品の電源を入れ直すと再度プリントされるのか？	・プリント済みメール情報はバックアップされているため、電源を入れ直してもプリント済みのメールは自動プリントされません。	P.8-38
	自動プリントした受信メールを自動的に消去するように設定したが、自動プリントしても受信メールが消去されない	・添付ファイルの内容がすべてプリントされないと消去されません。プリントできないファイルが添付されたメールは手動で消去してください。	P.8-38
	受信メールをプリントしたときに、「添付ファイルは印刷することができません」とプリントされる	・次のような受信メールの場合、本商品で添付ファイルを表示／プリントできないことがあります。 －JPG（JPEG）、TIFF、PDF、TXT 以外の形式のファイルが添付されている場合 －添付ファイルが壊れている場合 －添付ファイルのサイズが大きすぎる場合	—
	受信メールをプリントしたときに、添付ファイルがないのに「添付ファイルは印刷することができません」とプリントされる 添付ファイル一覧を液晶ディスプレイに表示したときに、添付ファイルがないのに、「[----] 受信できません」と表示される	・メールの送り主のメールソフトが、本商品で対応していない形式のファイルを、自動的に添付することがあるため、メール送り元で添付ファイルをつけていないにもかかわらず、このメッセージが表示／プリントされることがあります。	—

	こんなときは	内容	参照ページ
ネットワーク機能 (メール送受信)	受信メールをプリントしたときに、“メール本文が見つからないため、印刷できませんでした”とプリントされる／本文が空白となってプリントされる 受信メールを液晶ディスプレイに表示したときに、「メール本文が見つからないため、表示できません」と表示される	・相手先が HTML 形式でメール送信したり、本文を入力せずにメール送信すると、相手先のメーラによっては本商品でメール本文を表示／プリントできません。 相手先に、テキスト形式にして送り直してもらう、本文を入力して送り直してもらう、パソコンでメールを受信する等をお試しください。	—
	受信メールをプリントしたときに、メールの件名が文字化けしたり、メール to プリントが正常に動作しない／絵文字がプリントされない 受信メールを液晶ディスプレイに表示したときに、メールの件名や本文が文字化けする／絵文字が表示されない	・本商品で対応している文字コードは「新 JIS」等、一部の文字コードのみです。その他の文字コードでエンコードされたメールや、携帯電話や PHS 等の絵文字には対応していません。	P.8-38
	受信メールをプリントしたときに、「未対応の文字コードを使用しているため印刷できませんでした」とプリントされる 受信メールを液晶ディスプレイに表示したときに、「未対応の文字コードを使用しているため、表示できません」と表示される	・本商品で未対応の文字コードを使用している受信メールは表示／プリントできません。パソコンでメールを受信し直してください。	—
	受信メールをプリントすると、「本文または添付ファイルが、印刷できませんでした」とプリントされる 受信メールを液晶ディスプレイに表示すると、「本文または添付ファイルが、表示できません」と表示される	・次の場合、受信メールを本商品で表示／プリントできないことがあります。 — 受信メールのサイズが大きすぎる場合 — 受信メールの 1 行あたりの文字数が多すぎる場合 — 画像などで装飾してあるメールや、特殊な形式のメールを受信した場合 — 対応していないフォーマットの場合 表示／プリントできない場合は、相手先に本商品が対応できる形式で送信し直していただくか、パソコンでメールを受信し直してください。	—
	“メールがあります” “スタート押下” と交互に表示が出た	・メールのプリント待ちです。記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.8-38
	メール to プリントでプリント可能な ファイルは？ 液晶ディスプレイに表示可能な、ファイルは？	・PDF、JPG (JPEG)、TIFF、TXT です。同じ機種から発信されたファイルのみサポートします。	—
	メールプリント中に用紙切れになった	・“メールがあります” “スタート押下” が交互に表示されます。記録紙をセットして【スタート／コピー】を押すと、用紙切れになったページからプリントされます。	P.8-38
	手動プリント中にインクフィルムがなくなった	・インクフィルムを交換し、メールをプリントし直してください。	P.8-35、 9-15
	メールのプリントを行うと、通信エラーになる 受信メールを液晶ディスプレイに表示しようとする、通信エラーになる	・メールサーバによっては、メール受信と中断を何度も繰り返し行くと、通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生した場合は、しばらく時間をおいてから操作してください。	—
	プリントされた添付ファイル名が実際のファイル名と異なる 液晶ディスプレイに表示された添付ファイル名が、実際のファイル名と異なる	・次の場合、実際のファイル名と異なる名前で、添付ファイル名が表示／プリントされることがあります。 — ファイル名や拡張子が長い場合 — ファイル名や拡張子に対応していない文字コードを使用している場合	—

	こんなときは	内容	参照ページ
ネット機能(メール送信)	添付ファイルを複数つけたメールを受信したが、添付ファイル名がすべてプリントされない	・受信したメールに、プリントできない形式の添付ファイルが複数添付されていた場合、そのうちの 1 つのファイル名をプリントします。	—
	A5 サイズの記録紙にメールをプリントしたい	・「メール to プリント」は、A4 サイズ以外の記録紙を使用すると正しくプリントできません。A4 サイズの記録紙をご使用ください。	—
ネットワーク機能(vCard)	vCard が添付されたメールを受信したが電話帳に登録されない	・メール自動プリント、未読受信メールプリントでは、vCard 登録は行いません。受信メール一覧から操作を行い、vCard が添付されたメールを手動でプリントするか、添付一覧から登録してください。 ・電話帳フルの場合、登録できません。 ・受信メール一覧からプリントしたとき、vCard が 11 件以上添付されている場合は、10 件のみ登録します。10 件を超えた分は登録されません。 ・html メールに添付されている場合、vCard を認識しない場合があります。 ・1 通のメールに、vCard と vCard 以外のファイルが添付されている場合、vCard を認識しないことがあります。 ・vCard ファイルに画像データやムービーデータが含まれている場合は電話帳登録できません。	P.8-46
ネットワーク機能(ファクス to メール転送)	ファクス to メール転送を行うと、通信エラーが表示される	・本商品に登録されたメール送信設定の内容が間違えている可能性があります。「送信メールサーバ」、「メール送信ポート番号」※ 1、「送信メールサーバの認証」※ 2、「送信前に受信」※ 3 が正しく設定されているかをご確認ください。 ※ 1：送信メールサーバの認証をお使いのお客様は、特にお気をつけください。 ※ 2：お使いのメールサーバで、SMTP 認証が必要かをご確認ください。 ※ 3：お使いのメールサーバで、「POP before SMTP」の設定が必要かをご確認ください。 ・メールの送信の設定をご確認ください。 ・「受信ファクスの扱い」を「見てから」にしている場合、本商品に蓄積できるファクス受信文書は 50 件までです。50 件を超えた分はファクス受信されないため、ファクス to メール転送も行われません。	P.8-4、 8-14 P.8-14 P.5-8
	転送時のファイル形式を変更できるか？	・転送時のファイル形式は PDF のみです。ファイル形式を変更することはできません。	P.8-53
	ファクス to メール転送で、送信メールの件名、メール本文を変更することはできるか？	・送信メールの件名、メール本文は固定のものを使用しています。変更することはできません。	—

お手入れのしかた

インクフィルムを交換する

インクフィルムがなくなるとディスプレイに次のメッセージが表示されます。また、「インクフィルム残量」の表示を見るとおよその残量がわかります。メッセージに応じてインクフィルムを交換してください。

ディスプレイの表示

フィルム残量

インクフィルム交換

🔍 「ディスプレイの見かた」(P.15)

お知らせ

プリントできる枚数（インクフィルム1本、記録紙サイズA4の場合）

交換用インクフィルム（別売）

型名 SP-FA524S (24m) : 約75枚

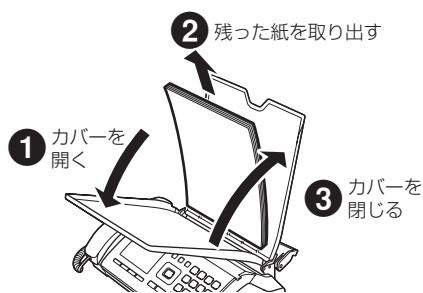
SP-FA530 (30m) : 約95枚

- 当社製のインクフィルム以外はお使いになれません。
- 次のインクフィルムは当社の製品ですが本商品ではお使いになれません。
・ SIF-A4040 ・ SIF-A4030T ・ SP-FA430
- 指定のインクフィルムをお使いにならないと、きれいな印字ができないことがあります。また、故障の原因になることがあります。
- 操作パネルを開くときは確実にいっぱいまで開いてください。途中で止めるとパネルの重さで閉まってしまうことがあります。
- 作業中は指などをはさまないように注意してください。
- インクフィルムがない状態で操作パネルを閉じると、「パチッ」という音がする場合があります。これは内部のギヤのかみ合いの音です。インクフィルムがないまま操作パネルの開閉を続けると、故障の原因となることがあります。

■ 記録紙カセットを使用している場合

1 記録紙カセットに残った紙を取り出す

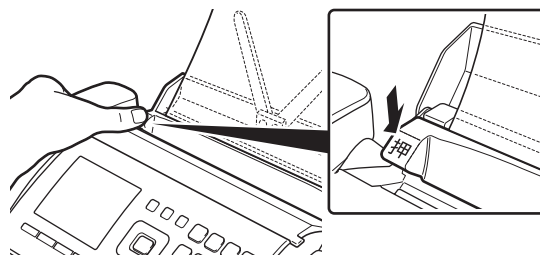
- ① 記録紙カバーを開き、手前にたおす
- ② 残った紙を取り出す
- ③ 記録紙カバーを閉じる



■ 記録紙サポーターを使用している場合

1 記録紙サポーターに残った紙を取り出す

- ① 記録紙セットレバーを押しながら、残った紙を取り出す
- ② 記録紙セットレバーから手を離す
- ③ 記録紙サポーターを収納する



2 インクフィルムを交換する

- ① 操作パネル開ボタンを押し、図のように操作パネルを開く
・ 確実にいっぱいまで開いてください。
- ② 使用済みのインクフィルム（巻き取られたインクフィルムとカラになった白色の棒の2本）を取り出す
・ サーマルヘッドの両端にある金属部分には手を触れないでください。

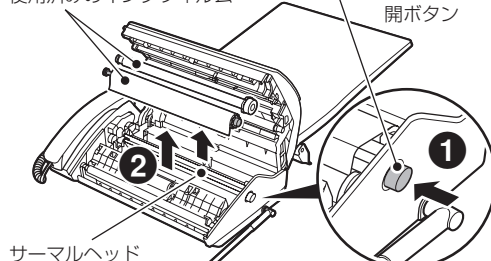


高温注意

サーマルヘッドやその周辺には手を触れないでください。高温でやけどすることがあります。

使用済みのインクフィルム

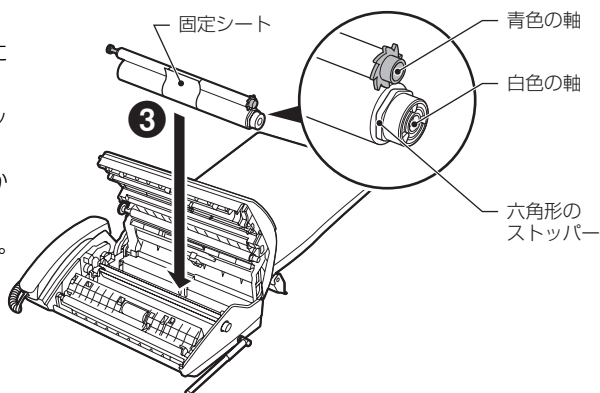
操作パネル開ボタン



サーマルヘッド

③ 新しいインクフィルムを入れる

- ・ 固定シートをつけたまま図のように本商品の奥にある溝に入れます。
- ・ 白色の軸のロールを下側にして、六角形のストッパーがある方を右側にします。
- ・ 六角形のストッパーが、本商品の取付部にしっかりとハマっていることを確かめてください。
- ・ 白色の軸の左側もしっかり取り付けてください。



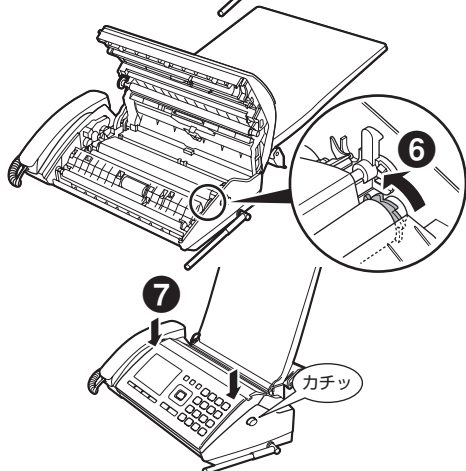
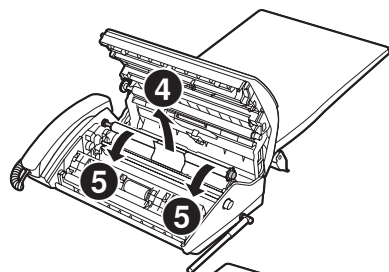
④ インクフィルムの固定シートをはがす

- ・ 接着された部分をはがし、図に示す矢印の方向に抜き取ります。

⑤ 青色の軸をセットする

- ・ 青色の軸を持ってインクフィルムを少し引き出し、そのまま青色の軸を本商品の手前にある溝にセットします。

⑥ 青色のギヤを回してインクフィルムのたるみをとる



⑦ 操作パネルをゆっくり閉じる

- ・ 図のように左右の端を上の方から、カチッと音がするまで押さえます。
- ・ 手前の端を押さえると閉まりにくいことがあります。

3 インクフィルムの残量表示をリセットする

- ① 右に示すメッセージが表示されたら、 [はい] を押す
・ 「はい」を選ばないとインクフィルム残量が正しく表示されません。
- ② 右に示すメッセージが表示されたら、 [はい] を押す
・ リセットしないとインクフィルム残量が正しく表示されません。

① インクフィルムの交換を行いましたか？

② フィルム残量をリセットしますか？

4 記録紙を入れる

📄 「記録紙のセット」(P.1-13)

お知らせ

- 新しいインクフィルムを取り付けたときは、インクフィルム残量をリセットします(手順3)。リセットしないとインクフィルム残量が正しく表示されません。使用中のフィルムを入れ直したときは、リセットしなければもとの残量を表示できます。
- インクフィルムは、廃棄するときを除いて分解しないでください。
- 巻き戻したインクフィルムはお使いにならないでください。きれいに印字できなかったり故障の原因になることがあります。

■ 使用済みのインクフィルムの処分

- ・ 使用済みのインクフィルムにはプリントした内容が残ります。内容を見られたくないときは、ハサミなどで切ってから捨ててください。
- ・ お住まいの地域で定められたゴミの分別ルールに従って処分してください。
フィルム：ポリエステル 芯：ポリスチレン、ポリアセタール、ABS樹脂

子機の電池パックを交換する

子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、電池パックを交換してください。

■ 電池パックを安全にお使いいただくためのご注意

⚠ 危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を、針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災、感電の原因となります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因になることがあります。
- 電池パック内部の液が入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。
また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

■ 電池パックのリサイクルについて



Ni-MH

電池パックにはニッケル水素電池を使用しています。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった電池パックや、本商品を廃棄する際に取り出した電池パックは、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、お近くの「ニッケル水素電池リサイクル協力店」へお持ちください。

- 「ニッケル水素電池リサイクル協力店」へのお問い合わせは下記へお願いします。
 - ・ 当社相談窓口
 - ・ 「(社) 電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ」事務局（(社) 電池工業会ホームページ <http://www.baj.or.jp/>（2009年7月現在）をご参照ください）

交換用の電池パックは当社相談窓口にお問い合わせください。

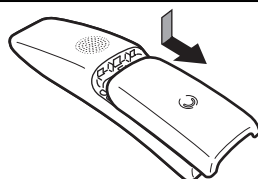
ニッケル水素電池 3.6V 600mAh
品名：SP-D3

お知らせ

- 必ず指定の電池パックをお使いください。
- 電池パックを外すと消えてしまう情報があります。必要な情報はあらかじめメモをとるなど記録しておいてください。📖 「■電池パックを外したあとの設定／情報」（本ページ下）
- 電池パックのコードは強く引っ張らないでください。また電池カバーを取り付けるときに、はさまないでください。
- 電池パックが入っていない子機を充電器に置かないでください。

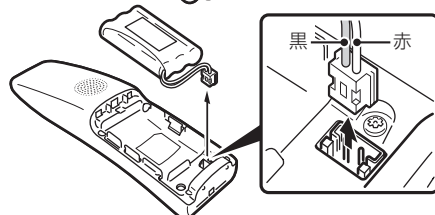
1 電池カバーをあける

図のように電池カバーを下に押しながら手前に引きます。



2 古い電池パックを取り出す

コネクタをまっすぐ上に引き抜きます。



3 新しい電池パックを取り付け、電池カバーを取り付ける

📖 「子機を組み立てる」（P.1-5）

お知らせ

- 新しい電池パックは充電されていません。子機に入れたあと充電してください（約10時間）。📖 「子機を充電する」（P.1-5）

■ 電池パックを外したあとの設定／情報

消えてしまう設定／情報	参照先
・ 着信データ※	P.6-9
・ リダイヤルに記録された電話番号	P.2-3
・ 時刻	P.1-6

消えない設定／情報	参照先
・ 電話帳に登録した内容	P.3-7
・ 各種設定	—

※：ナンバー・ディスプレイをご利用のとき

日ごろのお手入れ

本商品を良好な状態でお使いになるためには、定期的に外装や内部をお掃除してください。

お知らせ

- お手入れの前には電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜くと消えてしまう設定や情報があります。必要な情報はあらかじめメモをとるなど記録しておいてください。🔌「停電したとき」(P.9-3)

親機／子機の外装のお掃除

うすめた台所用中性洗剤に浸した布を固く絞ってから、本商品の表面の汚れを拭き取ってください。そのあとは、乾いた柔らかい布で拭いてください。水拭きをするときは布を固く絞ってから拭いてください。

お願い

- ペンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

親機内部のお掃除（原稿送り用ローラ／記録ローラ／ゴム板／インクフィルム押さえ部／原稿読み取り部）

こんなときにお掃除してください	お掃除する箇所	お掃除の周期
原稿が送れない	原稿送り用ローラ	月に1度ぐらい
記録紙がうまく送れない	記録ローラ、ゴム板	
プリントした記録紙が汚れる	記録ローラ、インクフィルム押さえ部	記録紙が汚れるとき
コピーや相手先の記録紙に汚れが写る	原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）	月に1度ぐらい
スキャン画像に縦線が入る	原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）	スキャン画像に縦線が入るとき

お知らせ

- 操作パネルを開くときは確実にいっぱいまで開いてください。途中で止めるとパネルの重さで閉まってしまうことがあります。
- 作業中は指などをはさまないように注意してください。

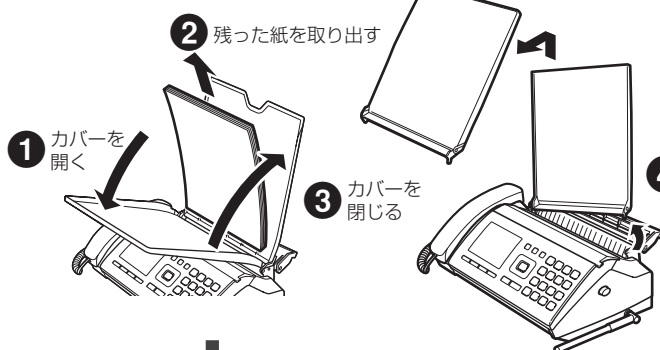
1 電源プラグをコンセントから抜き、電話回線ケーブルとLANケーブルを親機から抜く

🔌「親機を接続する」(P.1-7)

■記録紙カセットを使用している場合

2 記録紙カセットに残った紙を取り出し、記録紙カセットを取り外す

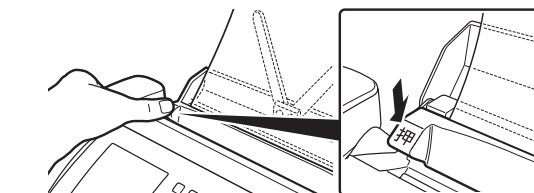
- 1 記録紙カバーを開き、手前にたおす
- 2 残った紙を取り出す
- 3 記録紙カバーを閉じる
- 4 記録紙カセットを取り外す



■記録紙サポーターを使用している場合

2 記録紙サポーターに残った紙を取り出す

- 1 記録紙セットレバーを押しながら、残った紙を取り出す
- 2 記録紙セットレバーから手を離す
- 3 記録紙サポーターを収納する

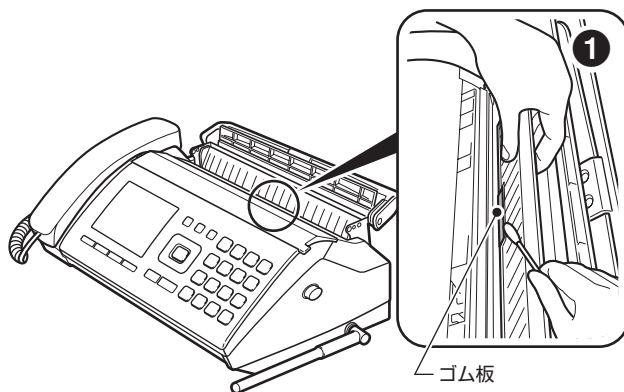


手順3へ

3 ゴム板を掃除する

片方だけ水に浸した綿棒を用意してください。

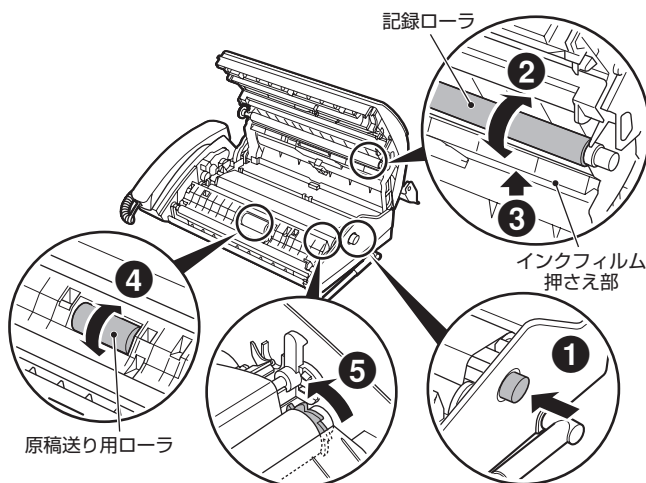
- ① ゴム板が付いている部分を図のように指で開く
- ② ゴム板部分にできた隙間に綿棒を差し込んで、ゴム板を拭く
 - ・綿棒の水に浸した方でゴム板の汚れを拭き取ったあと、乾いた側で水分を拭き取ります。



4 ローラ、インクフィルム押さえ部を掃除する

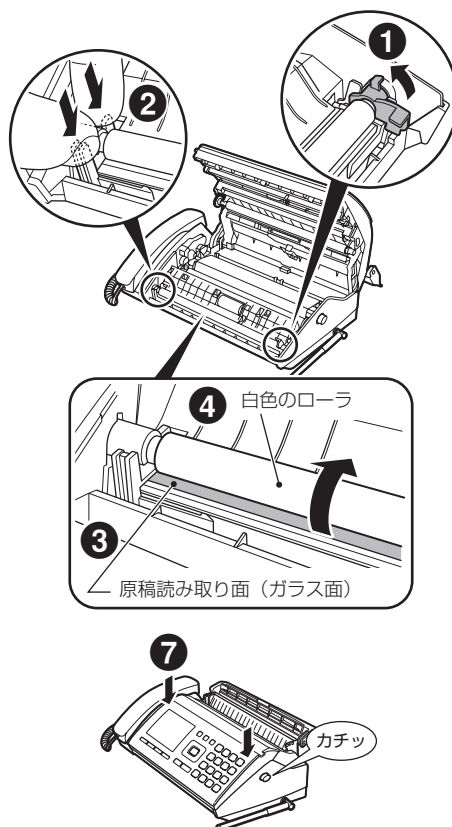
水に浸した布を固くしぼり、ローラを図に示す矢印の方向に回しながら拭きます。

- ① 操作パネル開ボタンを押して図のように操作パネルを開く
 - ・確実にいっぱいまで開いてください。
- ② 記録ローラを拭く
- ③ インクフィルム押さえ部を拭く
- ④ 原稿送り用ローラを拭く
- ⑤ 青色のギャを回してインクフィルムのたるみを取る



5 原稿読み取り部を掃除する

- ① 白色のローラの右端にある緑色のレバーを図に示す矢印の方向に起こす
 - ・原稿読み取り部の右側が白色のローラから少し離れます。
- ② 原稿読み取り部の左端を固定している黒色の突起を左手の指で押し下げる
 - ・原稿読み取り面と白色のローラの掃除が終わるまで押し下げたままにします。
- ③ 原稿読み取り面（ガラス面）を柔らかい布または綿棒で拭く
 - ・白色のローラとの間にできた隙間に布を差し込んで拭きます。
- ④ 白色のローラを拭く
 - ・水に浸した布を固くしぼり、ローラを図に示す矢印の方向に回しながら拭きます。
 - ・矢印と反対の方向に回すと、緑色のレバーが倒れてしまうことがあります。
- ⑤ 白色の突起から左手を離し、緑色のレバーをもとに戻す（倒す）
- ⑥ 青色のギャを回してインクフィルムのたるみを取る → 手順4⑤（本ページ上）
- ⑦ 操作パネルを閉じる
 - ・左右の端を上の方から、「カチッ」と音がするまで押さえます。
 - ・手前の端を押さえると閉まりにくいことがあります。



6 記録紙カセットを設置、または記録紙サポーターを 起こし、回線や電源をもと通りに接続する

📖 「親機を接続する」(P.1-7)

7 記録紙を入れる

📖 「記録紙のセット」(P.1-13)

インクフィルム／記録紙の保管

品質の劣化したインクフィルムや記録紙をお使いになると、きれいにプリントできなったり故障の原因になったりします。インクフィルムや記録紙の保管には次のことをお守りください。

■ インクフィルム（本商品にセットする前のもの）

- ・ 直射日光が当たる場所を避け、袋に入れて気温が0 ～ 35℃の場所に保管してください。
- ・ 結露があるインクフィルムは乾燥させてからお使いください。

■ 記録紙

- ・ 湿気の多い場所、高温になる場所を避け、乾燥した冷暗所に保管してください。
- ・ 本商品の記録紙カセットに長期間セットしたままにしないでください。

修理・保守／増設／廃棄

お客様ご相談窓口

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本取扱説明書が掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」をご覧ください。

修理・保守のご案内

サービス	引取りサービス※1	
保証期間内※2	送料	無料
	技術工料／部品代	無料
保証期間終了後	送料	無料
	技術工料／部品代	有料

※1：ご希望日にお客様のご自宅へ宅配業者が商品を引き取りにお伺いし、修理後にご自宅へお届けします。

※2：保証書の規定に従って修理させていただきます。

- 修理を依頼される前には不具合の内容をもう一度ご確認ください。📖「困ったときは（Q&A）」（P.9-4）
- 修理を依頼されるときは、製品の型名と不具合の内容をお知らせください。
- 子機の修理を依頼される場合は、親機も一緒にお預かりいたします。

■保証書の保管

「保証規定」（📖巻末）をご確認のうえ、大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期限

本商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後、5年間保有しております。

消耗品・オプション品のご案内

消耗品は、通信販売（スピークス オフィシャル ショップ「Shop@speax」）でお買い求めください。詳しくは、添付の「消耗品・オプション 注文のご案内」（別紙）をご覧ください。

消耗品	型名	仕様
インクフィルム	SP-FA530	A4サイズ 30m
	SP-FA524S	A4サイズ（セキュリティ強化タイプ） 24m ※ 使用済みインクフィルムの抜けあとが、見えにくくなります（当社従来品比）。
電池パック	SP-D3	コードレス子機用 ニッケル水素電池
キャリアシート	SP-CS01	A4サイズ 1枚
記録紙	スピークス用 普通紙	A4×100枚 ※ 一般のコピー用紙もお使いいただけます。ただし、本商品を安定した性能でお使いいただくために、次のような記録紙をお使いください。 オーバーコートなど表面処理をしていない普通紙（コピー用紙） サイズ：A4 厚さ：0.08mm～0.1mm (500枚包でおおよそ40mm～50mmの厚さ) (この取扱説明書の本ページの厚さが約0.08mmです)

オプション品	型名	仕様
増設コードレス電話機セット	SP-ZD51 (S)	子機増設用 色：シルバー カナ表示

子機を増設するとき

増設する子機は、(スピークス オフィシャル ショップ「Shop@speax」) でお買い求めください。詳しくは、添付の「消耗品・オプション 注文のご案内」(別紙) をご覧ください。

お求めの際は、必ず子機の型名をご指定ください。➡「消耗品・オプション品のご案内」(P.9-21)

お知らせ ● 増設できる子機の台数は、合計で2台です。➡「はじめに」(P.2)

増設のしかた (識別番号の登録)

■ 増設をする前のご注意

- 増設用子機の登録には、現在お使いのファクス本体(親機)が必要です。
- あらかじめすべての子機の電池を充分充電しておいてください。初めて使用するときは充電されていません。10時間以上充電してください。
- **内線番号について**
増設した子機は、増設した順に内線3、内線4となります。
- **電波に関するご注意**
本商品の子機と同じ周波数帯域(2.4GHz)の電波を利用している電子機器の近くでは、電波干渉により子機の増設が失敗する可能性があります。失敗した場合は、再度増設の操作をやり直してください。
- 「オヤキニ ゾウセツシテクダサイ」と表示しているときに[メニュー]を押すと、空白表示になります。[切]を押して「オヤキニ ゾウセツシテクダサイ」の表示に戻してから、増設の操作をしてください。

お知らせ ● 増設中は、すでに増設されている子機の操作を行わないでください。
● 増設が成功すると、すでに増設されていた子機の画面に「セツゾクチュウ」と表示されます。これは新しく増設された子機の情報が通知されているためです。

1 親機の電源を入れる

2 増設する子機に電池パックを入れる

<子機の画面>

オヤキ
ゾウセツシテクダサイ

3 親機の【保留/内線】を約2秒間押す

4 30秒以内に増設する子機の【内線】を押す

<子機の画面>

ゾウセツ ヨウイ OK

5 親機の画面に「増設 OK」と表示されたら、親機の【ストップ】を押す

<親機の画面>

増設 OK

増設を開始します。親機に手順5の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

親機の画面に「増設 NG」と表示されたときは：
増設ができていません。親機の【ストップ】と、子機の【切】を押して、手順3からやり直してください。

本商品の登録／設定をお買い求め時に戻したいとき

本商品を廃棄、譲渡などで手放す際は、本商品に登録、記録されたお客様の大事な情報を、すべて消去することをおすすめします。登録、記録された情報をすべて消去し、お買い求め時の設定に戻すには次の操作をします。

お知らせ

- 外線通話中および親機と子機での内線通話中は操作できません。
- 子機と子機での内線通話中（子機が2台以上のとき）は操作が可能ですが、操作後、再起動するときに内線通話が切れます。

親機

1  **【メニューを開く】** を押す

2 **【0】「その他」→
【4】「出荷時に戻す」**
を順に押す

登録／設定を
出荷時に戻します
実行しますか？

3  **【はい】** を押す

少しお待ち下さい

中止するときは： **【いいえ】** を押す。

4 この後、本商品を使わないときは
右のメッセージが表示されてから
電源プラグを抜く

出荷時へ
戻しました

電源に接続したまましばらくすると、本商品が再起動します。このとき、「再起動します」とメッセージが表示されます。

子機

1 **【メニュー】** を押す

メニュー
◆デノンチョウトウロク

【通話】 が点灯しているときは：
【切】 を押してから **【メニュー】** を押す。

2 **【▲】** または **【▼】** で
「シュッカジヘモドス」を選び
【メニュー】 を押す

メニュー
◆シュッカジヘモドス

ジッコウ シマスカ？
◆ハイ

3 **【メニュー】** を押す

ジッコウ シマシタ

中止するときは：
【▲】 または **【▼】** で **【いいえ】** を選び、**【メニュー】**
を押す。

主な仕様

ファクス

原稿サイズ	最大：210（幅）× 600（長さ）mm 最小：128（幅）× 128（長さ）mm
記録紙サイズ	普通紙 ・ A4 サイズ（210 × 297mm） ・ 厚さ 0.08 ～ 0.1mm
記憶容量※ 1	A4（700 文字程度）の原稿で約 85 枚（最大 50 文書）
有効読取幅	208mm
有効記録幅	205mm
読取方式	CIS による原稿移動型平面走査
走査線密度	主走査 8 画素 /mm 副走査 小さい： 7.7 本 /mm 普通： 3.85 本 /mm
通信モード	G3/ECM
通信速度	9600/7200/4800/2400bps
電送時間※ 2	G3：約 30 秒 ECM：約 24 秒
記録方式	熱転写記録方式
適用回線	・ 一般電話回線 ・ NCC 回線 ・ モデムダイヤルイン回線
自動受信	有（電話／ファクス自動切替機能内蔵）
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	待機時：約 3.8W 送信時：約 16W（標準的原稿） 受信時：約 17W（標準的原稿） コピー時：約 26W（標準的原稿） 最大時：約 120W
直流抵抗	113 Ω（30mA）
外形寸法 （アンテナな どの突起部を 除く）	約 297（幅）× 224（奥行）× 111（高さ）mm 約 297（幅）× 224（奥行）× 207（高さ）mm（記録紙サポーター使用時） 約 297（幅）× 226（奥行）× 365（高さ）mm（記録紙力セット使用時）
質量	約 3.0kg （記録紙、インクフィルムを除く）
使用環境	温度：5 ～ 35℃ 湿度：35 ～ 85%
推奨環境	温度：15 ～ 30℃ 湿度：35 ～ 70%

お知らせ

- 本商品の外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本商品を設置する場所が、NTT東日本またはNTT西日本の交換機施設から離れていると、使用できないことがあります。speax（スピークス）インフォメーションセンターにご相談ください（☎裏表紙）。

コードレス電話

使用可能距離	見通し距離：約100m
使用周波数帯	2.4～2.4835GHz
〈子機〉	
電源	DC 3.6V（専用ニッケル水素電池使用）
電池充電時間	約10時間
電池持続時間	連続待受時：約300時間※3 連続通話時：約6時間※4
外形寸法	約44（幅）×34（奥行）×159（高さ）mm
質量	約130g（電池パックを含む）
〈子機充電器〉（充電端子のない無接点充電方式です。）	
外形寸法	約87（幅）×87（奥行）×43（高さ）mm
質量	約130g（電源コード含む）
消費電力	約1.0W（充電時）／約0.3W（充電器のみ）
電源	AC100V 50/60Hz

留守番電話

録音方式	DSP方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	約40分
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作：2 固定：1

ネットワーク

インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX
通信プロトコル	TCP/IP,SMTP,POP3,HTTP,DHCP, DNS,NTP

※1：記憶容量は、留守番電話の応答メッセージや用件、さかのぼり録音、メモリ代行受信などを含むすべての記憶容量となります。

※2：電送時間は、A4判700文字程度 of 原稿を画質モード「普通」（8×3.85本/mm）、通信速度9600bit/sで送ったときの速さです。これは、画像情報の電送時間のみを示しており、通信の制御時間は含まれません。実際の通信時間は、原稿の内容、相手の機種、回線の状態により変化します。

※3：待受時とは、充電が完了したあと子機を充電器から外し、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信ベルが鳴ったりした場合には、待受時の電池持続時間が短くなります。また、親機の電源がオフのときも短くなります。

※4：ダブルアクセス（☎P.7-10）を「OFF」に設定した場合の連続通話時間です。「ON」に設定した場合は約4時間、「AUTO」にした場合は約4～6時間になります。

利用可能OS

利用可能OS Windows[®] XP 日本語版 (Windows[®] XP Professional x64 Editionは除く)
 ／ Windows Vista[®] 正規版 (日本語版)
 (Windows Vista[®] x64 Editionは除く)

対応ブラウザ Microsoft[®] Internet Explorer[®]
 Ver.6.0以上
 Windows[®] Internet Explorer[®] 7以上

お知らせ

- 利用可能OSの対応状況は、本商品のホームページ (http://www.necat.co.jp/network_speax/) をご確認ください。

操作早わかりガイド

親機

: 受話器をとる : 受話器を戻す ○: ボタンを押す

電話	
電話をかける	→ 相手先番号 → 通話 →
オンフックでかける	→ 相手先番号 → → 通話 →
リダイヤルする	→ → 相手先を選ぶ → → 通話 →
電話を受ける	着信音 (ベル) → → 通話 →
保留にする	通話中 → → 保留中
電話に戻る	保留中 → → 通話
子機で話す	保留中 → → 通話 → 子機で通話 → または
転送子機へ	外線と通話中 → → 内線番号* → 転送を伝える → ・子機が出ないときは【保留/内線】ボタンを押します。
〈子機〉	親機からの呼出 → → 通話 → 親機と通話 → 外線と通話
内線通話	→ 内線番号* → → 子機と通話 →
〈子機〉	親機からの呼出 → → 通話 → 親機と通話 → または
電話帳でかける	→ → 相手先を選ぶ → → 通話 →
さかのぼり録音	通話中に操作する 外線と通話中 → →
電話を切ってから操作する	→ 保持時間内に
録音内容を聞く	→ 再生 → ストップ ・外線と通話中に【再生】を押すと、録音内容や留守電の用件を相手先と一緒に聞けます。

電話	
迷惑電話お断り	着信があった通話のとき → →
ベル音量	待受中 → → 切 → 1 ~ 6 → ステップアップ
音量調整	モニタスピーカ音量 → → 切 → 小 → 中 → 大
受話音量	通話中 → → 小 → 中 → 大
トーン信号を送る	電話をかける → 以後のダイヤルはトーン（プッシュ）信号で送出される
キャッチホンの利用	外線と通話中 → 「ブルル・ブブブ」 → → 次の人と通話 ↑ 最初の人と通話 ←
チャイルドロックの一時解除	2秒以上押す
ファクス/コピー	
送信	原稿セット → 相手先電話番号 → スタート/コピー
電話帳で送信	原稿セット → → → 相手先を選ぶ → スタート/コピー
手動送信	原稿セット → → 相手先番号 → 通話 → → 相手先が受信操作 → → スタート/コピー
手動受信	かんたん受信「する」 着信音 (ベル) → → 「ポーポーポー」 → 「ファクシミリを受信します…」 → かんたん受信「しない」 着信音 (ベル) → → 「ポーポーポー」 → スタート/コピー → 通話してから受信する 通話中 → 相手先が送信操作 → 「ポーポーポー」 → スタート/コピー →
コピー	原稿セット → スタート/コピー

*内線番号
・親機……………内線1
・付属の子機…内線2
・増設子機………1台目：内線3、2台目：内線4
・すべての子機を一斉に呼ぶとき…【*】
(子機を2台以上使用している場合)

留守番		
留守の 設定／解除	留守 	
用件の 再生	 再生	※聞き終えた用件を一度に 消去したいときは 「用件は以上です」の あと  を押しま す。
用件の 消去	消去した い用件を 再生中 	
おやすみモード の設定／解除	おやすみ 	

ネットワーク機能		
スキャンした画像をメール送信する		
メール手動受信		
手動でメールを受信・プリントする		

子機

: 充電器から取る
 : 充電器に戻す
 : ボタンを押す

クイック通話がONのとき
 電話がかかってきたとき、充電器に置いてある子機をとると「通話」を押さずに相手先と話すことができます。

クイック通話がOFFのとき
 電話がかかってきたとき、相手先を確認してから、「通話」を押して相手先と話すことができます。
 (本ガイドは、クイック通話OFFのときの説明です。)

電話	
電話をかける	
オンフックでかける	
リダイヤルする	
電話を受ける	
保留にする	
電話に戻る	
親機で話す	
迷惑電話お断り	
転送	親機へ 外線と通話中 → 内線 → 1ア → 転送を伝える → または切 ・親機が出ないときは「内線」を押し、外線通話に戻ります。 〈親機〉 子機からの呼出 → 子機と通話 → 外線と通話 他の子機へ 外線と通話中 → 内線 → 内線*番号 → 転送を伝える → または切 ・子機が出ないときは「内線」を押し、外線通話に戻ります。 〈子機〉 子機からの呼出 → 子機と通話 → 外線と通話

*内線番号

- ・親機……………内線1
- ・付属の子機…内線2
- ・増設子機………1台目：内線3、2台目：内線4
- ・すべての子機を一斉に呼びとき…[*]
 (子機を2台以上使用している場合)

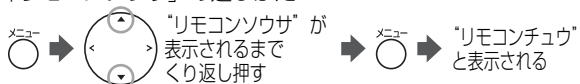
電話	
内線通話 親機へ	
〈親機〉	子機からの呼出 → → 子機と通話 →
他の子機へ	
〈子機〉	子機からの呼出 → → 通話 → 子機と通話 → または 切
電話帳でかける	
すばやく探してかける	
さかのぼり録音	
音量調整	ベル音量 待受中 → 切 → 小 → 中 → 大 受話音量
トーン信号を送る	電話をかける → 以後のダイヤルはトーン（プッシュ）信号で送出される
キャッチホンの利用	外線と通話中 → 「プルルー・プップ」 → キャッチ → 次の人と通話 ↑ ↓ 最初の人と通話 ← キャッチ
チャイルドロックの一時解除	2秒以上押す

*内線番号 ・親機……………内線1 ・付属の子機……………内線2
・増設子機……………1台目：内線3、2台目：内線4
・すべての子機を一斉に呼ぶとき…【*】（子機を2台以上使用している場合）

ファクス	
手動受信 かんたん受信「する」	
	→ 「ファクシミリを受信します…」 → または 切
かんたん受信「しない」	
	→ 内線 → 6ハ → または 切
通話してから受信する	通話中 → 相手先が送信操作 → 「ポーポーポー」 → 内線 → 6ハ

留守番	
設定	待受中 → 「リモコンソウサ」を選ぶ（下記参照） → 1分以内に 7マ → または 切
解除	待受中 → 「リモコンソウサ」を選ぶ（下記参照） → 1分以内に 9ラ → または 切
用件の再生	待受中 → 「リモコンソウサ」を選ぶ（下記参照） → 1分以内に 2カ → 再生 → または 切
早送り	用件を再生中 → 3サ
巻き戻し	用件を再生中 → 1ア
再生中の用件を消去	用件を再生中 → 8ヤ
聞き終えた用件を一度に消去	用件を再生 → 「用件は以上です」 → 「ピッピッピッ」 → → 6秒以内に 8ヤ → または 切

「リモコンソウサ」の選びかた



外出先からの操作（外線リモート）	
本商品に電話をかける	
操作コード	・巻き戻し… ・留守設定解除… ・用件再生… ・用件消去… ・早送り… ・留守電ケータイ転送設定… ・留守設定… ・留守電ケータイ転送解除…

機能設定／登録早見表

<手順>

メインメニュー選択

機能メニュー選択

設定／登録

メニュー
を開く



ダイヤルボタン
(メインメニュー番号を入力する)



ダイヤルボタン
(機能メニュー番号を入力する)



操作

メインメニュー	機能メニュー	設定／登録 (はお買い求め時の状態です)	参照 ページ
1. 初期設定	1. かんたん設定シート読取	「かんたん設定シート (QRコード)」の読み取りを開始	P.8-3
	2. 日付・時刻	年月日と時刻の設定	P.1-12
	3. 回線種別	PB、 DP、自動回線選択	P.1-12
	4. かんたんメール設定	ウィザード形式でメール設定を行う	P.8-4
	5. 表示濃度	■■■■■■■■~■■■■■■■■ (8段階)、 ■■■■■■■■	P.7-6
	6. 自分の電話番号	自分の電話番号 (最大20桁) を登録する	P.5-4
	7. 発信元記録	する、しない	P.5-5
	8. 発信元登録	自分の名前 (最大40文字) を登録する	P.5-4
	9. キータッチトーン	する、しない	P.7-6
	0. チャイルドロック	する、 しない	P.7-7
2. 電話機能	1. 電話帳登録	電話帳を登録する	P.3-1
	2. ベル音・メロディ	ベル (標準)、ベル (鳴り分け)、メロディ (A~C)	P.7-8
	3. 着信モード	電話／ファクス切替、ファクス専用、電話専用	P.5-12
	4. 着信ベル回数	0~19回、 6回	P.7-8
	5. 呼出ベル回数	1~19回、 10回	P.7-9
	6. ケータイお得意ダイヤル	する、 しない、事業者識別番号の登録 IP電話解除：する、 しない、IP電話解除番号 (最大16桁) の登録	P.2-12
	7. 保留メロディ	聖者の行進、茶色の小瓶	P.7-9
	8. 電話帳転送	親機の電話帳を子機に転送する (一斉転送、個別転送)	P.3-4
	9. WIFI BAND	設定1、 設定2、設定3、設定4	P.7-10
3. ファクス機能	1. ファクスかんたん受信	する、しない	P.5-12
	2. 海外通信	する、 しない	P.5-6
	3. 不達レポート	する、しない	P.5-6
	4. 受信縮小率	85%、90%、 93%、100%	P.5-13
	5. 分割記録	する、しない	P.5-13
	6. ダイヤルトーン検出	する、 しない	P.5-5
	7. 受信ファクスの扱い	プリント、 見てから、パソコンへ転送	P.5-8-52
		以下は受信ファクスの扱いを「パソコンへ転送」に設定した場合のみ	
		転送先にするパソコンを設定する	P.8-52
	8. ファクスtoメール転送	する、 しない	P.8-53
		以下はファクスtoメール転送を「する」に設定した場合のみ	
	1. 電話帳から入力する	電話帳から転送先のメールアドレスを選ぶ	P.8-53
	2. 直接入力する	転送先メールアドレス (最大英数字／記号50文字) を入力して登録する	P.8-53

メインメニュー	機能メニュー	設定／登録 (はお買い求め時の状態です)	参照ページ
4. 留守番電話機能	1. 全用件消去	すべての用件を消去する	P.4-4
	2. 直前の通話内容の消去	通話終了後に直前のさかのぼり録音の内容を消去する	P.2-11
	3. 応答メッセージ録音	応答メッセージの録音 (応答メッセージ1・応答メッセージ2)	P.4-7
	4. 応答メッセージ消去	応答メッセージの消去 (応答メッセージ1・応答メッセージ2)	P.4-7
	5. トールセイバ	する、 しない	P.4-10
	6. リモート操作	する、 しない、リモートパスワード (4桁) の登録	P.4-8
	7. 留守電ケータイ転送	する、 しない、転送先電話番号 (最大40桁) の登録、転送回数の設定 (1～ 10回)	P.4-10
	8. おやすみタイマ切替	おやすみ開始タイマ：する、 しない、おやすみ開始時刻の設定 おやすみ終了タイマ：する、 しない、おやすみ終了時刻の設定	P.4-5
	9. さかのぼり録音	する、しない、保持時間の設定 (0分、5分、無制限)、 自動録音モード1 (しない、みんな録音、非通知録音)、 自動録音モード2 (しない、迷惑電話録音)	P.2-9
5. ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ	する、しない	P.6-2
	以下はナンバー・ディスプレイを「する」に設定した場合のみ		
	1. 鳴分&プライベートコール	着信鳴り分け指定： 指定なし、ベル (標準)、ベル (鳴り分け)、メロディ (A～C) プライベートコール指定： すべて、内線番号*	P.6-4
	2. とくていコール	する、 しない 電話帳設定： 電話帳すべて、電話帳個別 公衆・圏外設定： なし、公衆電話、表示圏外、公衆&圏外	P.6-5
	3. 番号リクエスト	する、 しない	P.6-6
	4. 着信拒否	する、しない 公衆電話：する、 しない 表示圏外：する、 しない	P.6-8
	5. 着信拒否リスト設定	着信拒否リスト (最大 50 件) の登録、確認	P.6-7、6-8
	6. 応答メッセージ選択	する、 しない	P.6-3
	7. キャッチホン	する、 しない	P.7-1
	8. ダイヤルイン	する、 しない、 ファクス専用 (する、 しない)、ファクスと親機の番号 (4桁) の登録、 以下はダイヤルインを「する」に設定した場合のみ 共通鳴動 (する、 しない)、子機用番号 (4桁) の登録	P.7-3
6. リストプリント	1. 電話番号リスト	親機の電話番号リストをプリントする	P.7-11
	2. 着信履歴リスト	親機に記録された着信履歴をプリントする	P.7-11
	3. システムリスト	各種設定内容をプリントする	P.7-11
	4. 通信管理レポート	通信管理レポートをプリントする	P.7-11
	5. メールアドレスリスト	メールアドレスリストをプリントする	P.7-11

* 内線番号・親機……………内線 1 ・ 付属の子機……………内線 2 ・ 増設子機……………1 台目：内線 3、2 台目：内線 4

メインメニュー	機能メニュー	設定／登録 (はお買い求め時の状態です)	参照ページ
7. ネットワーク機能	1. IPアドレス設定	DHCPを使用: 、しない	P.8-7
	DHCPを使用「する」に設定した場合のみ		
	DNS設定	手動、	P.8-7
	DNSを「手動」に設定した場合のみ		
	DNSサーバアドレス1、DNSサーバアドレス2を手動で設定する		P.8-7
	DHCPを使用「しない」に設定した場合のみ		
	IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバアドレス1、DNSサーバアドレス2を設定する		P.8-8
	2. IPアドレス表示	IPアドレスを表示する	P.8-8
	3. MACアドレス表示	MACアドレスを表示する	P.8-8
	4. 装置名編集	装置名 (最大英数字20文字) を変更する	P.8-9
	5. パソコン送信宛先設定	送信先のパソコンを手動で設定する (手動宛先設定1~3 : 3件まで)	P.8-9
	6. パソコン送信ポート番号	, 10025、20025、30025、40025、50025、60025	P.8-9
	7. ネットワークの接続修復	ネットワークの接続を修復する	P.8-10
	8. DNS応答待ち時間	秒、60秒	P.8-10
	9. Web ログイン設定	する、	P.8-12
	Webログイン設定を「する」に設定した場合のみ		
	ログインユーザ名	最大半角英数字10文字、	P.8-12
	ログインパスワード	最大半角英数字10文字、	P.8-12
	0. NTP 時刻設定		P.8-13
8. メール機能	1. 自動時刻更新	、しない	P.8-13
	2. 手動時刻取得	操作後、すぐに時刻を更新する	P.8-13
	3. NTP アドレス指定	する、	P.8-13
	NTP アドレス指定を「する」に設定した場合のみ		
	NTP サーバのアドレス (最大英数字／記号 50 文字) を設定する		P.8-13
	1. メール設定		
	1. 設定確認／設定変更	メール設定の一覧を表示する。機能メニューから設定を変更する	P.8-14
	メールアドレス設定		
	自分のメールアドレス	自分のメールアドレスを登録する (最大英数字／記号50文字)	P.8-4
	送信者名登録	する、	P.8-14
	送信者名登録を「する」に設定した場合のみ		
	送信者	メールに付加する名前を登録する (最大全角20文字)	P.8-14
	送信メールサーバ	送信メールサーバのアドレスを設定する (最大英数字／記号50文字)	P.8-4
	受信メールサーバ	受信メールサーバのアドレスを設定する (最大英数字／記号50文字)	P.8-4
	メールアカウント	受信メールサーバのアカウント名を設定する (最大英数字／記号50文字)	P.8-4
	メールパスワード	受信メールサーバのパスワードを設定する (最大英数字／記号32文字)	
	送信前に受信	する、	P.8-14
	送信メールサーバの認証	する、	P.8-14
	送信メールサーバの認証を「する」に設定した場合のみ		
	認証ユーザ名	認証ユーザ名を設定する (最大英数字／記号50文字)	P.8-15
	認証パスワード	認証パスワードを設定する (最大英数字／記号32文字)	
	APOP認証	する、	P.8-15
	メール送信ポート番号	任意のポート番号を設定する (1 ~ 65535、)	P.8-16
	メール受信ポート番号	任意のポート番号を設定する (1 ~ 65535、)	P.8-16
	2. メール接続テスト	メール接続の確認を行う	P.8-5

メインメニュー	機能メニュー	設定／登録 (はお買い求め時の状態です)	参照ページ
8. メール機能	2. メールアドレス表示	現在登録中のメールアドレスを表示する	P.8-6
	3. 送信メール機能		
	1. 冒頭文の編集	冒頭文を登録する（最大英数字／記号全角100文字。全半角混在可） 「メールを送ります。」	P.8-27
	2. 定型文の編集	自由定型文1～20（未登録）を編集、登録する。最大全角19文字。 全半角混在可	P.8-27
	4. 受信メール機能		
	1. メール表示順序	昇順、降順	P.8-18
	2. 自動到着確認	する、 しない	P.8-39
	自動到着確認を「する」に設定した場合のみ		
	到着確認間隔	メール確認間隔（5～90分、 10分、5分刻み）	P.8-39
	自動プリント	する、 しない	P.8-39
	3. 自動プリント		
	1. プリント後消去	する、 しない	P.8-40
	2. メールフィルタを使用	する、 しない	P.8-41
	3. 迷惑メールフィルタを使用	する、 しない	P.8-43
	迷惑メールフィルタを使用を「する」に設定した場合のみ		
	迷惑メール消去	する、 しない	P.8-43
	迷惑メール件数プリント	する、しない	P.8-43
	4. 件名と時間のプリント	する、しない	P.8-17
	5. プリント縮小率	85%、90%、93%、 100%	P.8-17
	6. プリント分割	する、しない	P.8-17
9. 最新のエラー表示	5. メールフィルタリスト	メールフィルタリストを登録（最大20件。メールアドレス／ドメイン：最大英数字／記号50文字）、確認する	P.8-41
	6. 迷惑メールフィルタリスト	迷惑メールフィルタリストを登録（最大10件。判定キーワード（件名：最大全角25文字、メールアドレス：最大英数字／記号50文字）、確認する	P.8-43
0. その他	1. 電話帳データ送信		P.3-5
	1. 手動送信	手動送信の開始	P.3-5
	2. 自動送信	する、 しない	P.3-5
	2. リモートメンテナンス	リモートメンテナンスの実行開始	P.8-58
	3. ソフトウェア更新		
	1. ソフトウェア情報表示	現在お使いのソフトウェア情報（バージョン情報）を表示する	P.8-57
	2. ソフトウェア更新の実行	操作後、すぐにソフトウェア更新を実行する	P.8-56
	3. 更新内容の印刷	更新されたソフトウェアに関するお知らせをプリントする	P.8-57
	4. 自動更新設定	する、しない	P.8-55
	4. 出荷時に戻す	登録、用件、メモリ受信文書の初期化	P.9-23

索引

英数字

30 秒スキップ再生	4-4
ADSL 回線	1-8
APOP 認証	8-15
DNS 応答待ち時間	8-10
IP アドレス	8-7
確認	8-8
IP 電話	1-9、2-13
IP 電話解除番号	2-13
LAN ケーブル	1-1、1-7
LAN 端子	11、1-7
MAC アドレス	8-8
NTP 時刻設定	8-13
PPPoE 接続	10-17
Q&A	9-4
SMTP 認証	8-14
vCard	8-46
WIFI BAND	
(ワイファイ バンド)	7-10

ア行

安全にお使いいただくために	3
アンテナ	11
インクフィルム	
交換	9-15
残量の表示	15
保管	9-20
インストール	
(ユーティリティソフト)	8-47
絵表示 (ディスプレイ表示)	15、16
エラー番号	8-10
最新のエラー番号を表示する	8-10
応答メッセージ	
選択	4-8、6-3
録音/消去	4-7
オートリダイヤル	5-3
お客様ご相談窓口	9-21
お手入れのしかた	9-15
インクフィルム押さえ部の	
お掃除	9-18
親機/子機の外装のお掃除	9-18
原稿送り用ローラ/	
記録ローラのお掃除	9-18
原稿読み取り部のお掃除	9-18
ゴム板のお掃除	9-18
オプション品	9-21
おやすみモード	4-5
おやすみモードタイマ切替	4-5
オンフックダイヤル	2-4
音量調整	2-14

カ行

海外へ送るとき (ファクス)	5-6
外出先から操作する	
(外線リモート)	4-8
外出先から用件の再生	4-9
外出先から留守設定をする	4-8

回線種別を設定する	1-11、1-12
外線転送	2-7
外線リモート	4-8
外線リモート操作	4-9
かんたん設定シート	
(QR コード)	8-3
かんたん登録	6-11
かんたんメール設定	8-4
キータッチトーン	7-6
記憶容量	
(メモリ容量)	5-9、5-10、10-1
機能設定/登録早見表	10-6
キャッチホン	7-1
キャッチホン・ディスプレイ	7-1
キャリアシート	5-1、8-24、9-21
共通鳴動	7-4
記録紙	
おすすめする記録紙	1-13
記録紙づまり	9-1、9-2
セット	1-13
保管	9-20
記録紙カセット	1-1、1-13
記録紙サポーター	11、1-14
記録紙セットレバー	
	11、1-13、1-14
記録紙挿入口	11、1-14
記録紙挿入口カバー	
	11、1-13、1-14
記録紙排出口	11
クイック通話	2-5
携帯電話への通話サービスを	
かんたんに使う	2-12
ケータイお得ダイヤル	2-12
原稿	
画質	5-2、8-23、8-50
原稿セットのしかた	5-1
原稿づまり	9-1、9-2
読み取り濃度	5-2
読み取れる原稿のサイズ/	
読み取れる範囲	5-1
原稿セットガイド	5-1
原稿挿入口カバー	11、5-1
原稿排出口	11
コールバック	6-10
子機	14
キータッチトーンの設定	7-6
子機から子機にかける	2-8
充電	1-5
充電器	14、1-1、1-5
受話音	2-15
使用できる範囲	1-2
スピーカの音量	2-15
増設子機	9-22
電池パックの取り付け	1-5
電波に関するご注意	1-3
電話帳の登録	3-7
ベルの音量	2-14
固定応答メッセージの種類	4-2
コピー	5-14
コピーが禁止されているもの	5-14

サ行

再生音 (スピーカ) の音量	2-15
再ダイヤル (リダイヤル)	2-3
さかのぼり録音	2-9
自動録音モード	2-9
保持時間	2-9
事業者識別番号	2-12
時刻を設定する	1-11、1-12
自動時刻更新	8-13
自分の名前や電話番号	5-4
充電 (子機の充電)	1-5
充電器	14、1-1、1-5
修理・保守	9-21
縮小率	5-13、8-17
受信 (ファクス)	
自動受信	5-7、5-8
縮小率	5-13
手動受信	5-7
ファクスかんたん受信	5-12
分割記録	5-13
メモリ代行受信	5-9
受信 (メール)	
消去	8-33
転送	8-32
表示する	8-28
返信	8-32
受信ファクスの取り扱い	5-8
手動時刻取得	8-13
受話音	2-15
受話器	11、1-7
受話器端子	11、1-7
受話器の取り付け	1-7
受話器用コード	11、1-7
仕様	10-1
消耗品	9-21
スキャン to パソコン	8-50
宛先設定	8-9
スキャン to メール	8-21
ステップアップ着信音量	2-14
スペース (設置する場所)	1-2
接続	1-7
ADSL 回線	1-8
IP 電話機能付き機器	1-9
ISDN 回線	1-9
一般電話回線	1-10
電源	1-8、1-9、1-10
光回線	1-8
設置する場所	1-2
設定	
APOP 認証	8-15
DNS 応答待ち時間	8-10
IP アドレス設定	8-7
NTP アドレス指定	8-13
SMTP 認証	8-14
WIFI BAND	
(ワイファイ バンド)	7-10
応答メッセージの選択	6-3
おやすみモード	4-5
おやすみモードタイマ切替	4-5
海外通信	5-6
回線種別	1-12
画質	5-2、8-23、8-50

かんたん設定シート読取.....	8-3
かんたんメール設定	8-4
キータッチトーン	7-6
キャッチホン・ディスプレイ ...	7-1
クイック通話	2-5
ケータイお得ダイヤル.....	2-12
件名と時間のプリント.....	8-17
さかのぼり録音	2-9
時刻設定.....	1-6、1-11、1-12
自動時刻更新	8-13
自動到着確認	8-39
自動プリント	8-39
受信縮小率	5-13
受信ファクスの扱い	5-8、8-52
送信前に受信	8-14
送信メールサーバ認証.....	8-14
ソフトウェア更新	8-55
ダイヤルイン	7-3
ダイヤルトーン検出	5-5
ダブルアクセス	7-10
チャイルドロック	7-7
着信拒否	6-7
着信鳴り分け	6-4
着信ベル回数	7-8
電話専用（着信モード）	5-12
電話帳データ自動送信.....	3-5
電話／ファクス切替 （着信モード）	5-12
到着確認間隔	8-39
トールセイバ	4-10
とくていコール	6-5
ナンバー・ディスプレイ	6-2
ネットワーク（メール）	8-2
パソコン送信宛先設定.....	8-9
パソコン送信ポート番号	8-9
発信元記録	5-5
番号リクエスト	6-6
表示濃度（ディスプレイ）	7-6
ファクス to メール転送	8-53
ファクスかんたん受信	5-12
ファクス専用（着信モード）	5-12
不達レポート	5-6
プライベートコール	6-4
プリント後消去	8-40
プリント縮小率	8-17
プリント分割	8-17
分割記録	5-13
ベルの音色／メロディ	7-8
保留メロディ	7-9
メール受信ポート番号.....	8-16
メール送信ポート番号.....	8-16
メール表示順序	8-18
メールフィルタを使用.....	8-41
文字サイズ（メール）	8-18
呼出ベル回数	7-9
読み取り濃度	5-2
リモート操作	4-8
留守設定	4-1、4-8、4-9
留守電ケータイ転送	4-9、4-10
操作ができなくなったとき	9-3
操作パネル	11、12
操作パネル確認	9-2
操作パネル開ボタン.....	11、9-1

操作早わかりガイド	10-3
送信（ファクス） 海外へ送るとき（ファクス） ...	5-6
自動送信	5-3
手動送信	5-3
送信（メール）	8-19、8-21、8-25
送信メールサーバ	8-4、8-14
ソフトウェア更新	8-55

タ 行

ダイヤル回線	1-11
タッチトーン	7-6
ダブルアクセス	1-3、7-10
端子 電話回線端子	11
チャイルドロック	7-7
着信拒否 設定／登録／確認／消去	6-7、6-8
着信データ コールバック	6-10
消去	6-9、6-10
着信データを使って電話を かける	6-10
着信データを電話帳に 登録する	6-11
表示	6-9
留守中に受けた電話を 確認する	6-10
着信鳴り分け	6-4
着信ベル	5-8、7-8
着信モード	5-12
直接配線	1-10
通信異常	9-2
通話圏外	1-4
通話時間表示	16
定型文	8-21、8-27、10-15
ディスプレイ表示（絵表示）	15、16
表示濃度	7-6
停電したとき	9-3
電源コード	11
転送	2-7、3-4、4-9、4-10、 8-32、8-52、8-53
電池パック	1-4、1-5、9-17
電池パックの取り付け	1-5
電池パックを交換する	9-17
電話 受ける	5-7
かける	2-1
電話回線 一般電話回線を接続する	1-10
電話回線ケーブル	1-1、1-7、1-8、1-9、1-10
電話回線端子	11、1-7、1-8、1-9
電話専用（着信モード）	5-12
電話帳	2-2、3-1
登録	3-1、3-7
復元	3-6
保存	3-5
電話帳データ自動送信	3-5
電話帳転送	3-4
電話／ファクス切替 （着信モード）	5-12

電話用コンセント	1-10
登録 IP 電話解除番号	2-13
vCard	8-46
親機の電話帳	3-1
子機の電話帳	3-7
事業者識別番号	2-12
自分の電話番号	5-4
装置名	8-9
着信拒否リスト	6-7
着信データ	6-11
定型文	8-27
転送先メールアドレス	8-53
発信元	5-4
冒頭文	8-27
迷惑メールフィルタリスト	8-43、8-44
メールアドレス （受信メール）	8-34
メールアドレス （送信メール）	8-26
メールフィルタリスト	8-41
リダイヤルデータ	3-8
リモートパスワード	4-8
ログインパスワード	8-12
ログインユーザ名	8-12
登録／設定をお買い求め時に 戻す	9-23
トールセイバ	4-10
トーン信号（プッシュ信号）	2-13
とくていコール	6-5

ナ 行

内線通話	2-8
内線番号	2-7
ナンバー・ディスプレイ	6-1
相手先の表示	6-2
キャッチホン・ディスプレイ ...	7-1
コールバック	6-10
自作の応答メッセージを使う ...	6-3
着信拒否の設定／登録／確認／ 消去	6-7、6-8
着信データの表示／消去	6-9
着信データを電話帳に登録する	6-11
着信鳴り分け／ プライベートコール	6-4
電話番号を通知する／ 非通知にする	6-3
とくていコール	6-5
番号リクエスト	6-6
迷惑電話を着信拒否リストに 登録する	6-7、6-11
留守録着信履歴	6-10
ネーム・ディスプレイ	6-2
ネットワークガイド	8-49
ネットワーク機能	8-1
受信したメールをプリントする	8-35
スキャンした画像をパソコンに 保存する	8-50
ネットワークガイド	8-49

ネットワークの設定	8-2
パソコンで設定や閲覧をする	8-54
ファクス受信文書をパソコンに 保存する	8-52
ファクス受信文書をメール 送信する	8-53
迷惑メールフィルタ	8-43
メールの設定	8-2、8-14
メールフィルタ	8-41
メールを送信する	8-19
ユーティリティソフト (アプリケーション)	8-47
ネットワークの接続修復	8-10

ハ 行

パソコン送信ポート番号	8-9
バックアップ	3-5
バックライト	15、16
発信元記録	5-5
番号リクエスト	6-6
ピクト (ディスプレイ表示)	15、16
非通知の相手に番号通知を お願いする	6-6
ファクス 受ける	5-7
送る	5-3
表示する	5-10
プリントする	5-11
ファクス to パソコン	8-52
ファクス to メール転送	8-53
ファクスかんたん受信	5-12
ファクス専用 (着信モード)	5-12
不達レポート	5-6
プッシュ回線	1-11
プッシュ信号 (トーン信号)	2-13
プライベートコール	6-4
プラグ式	1-10
ブランチ接続	1-10
プリント システムリスト	7-11
受信ファクス	5-10
ソフトウェア更新内容	8-56、8-57
着信履歴リスト	7-11
通信管理レポート	7-11
電話番号リスト	7-11
不達レポート	5-6
分割記録	5-13
メール to プリント	8-35、8-38
メールアドレスリスト	7-11
メモリ代行受信	5-9
ベル 着信ベル	5-8、7-8
ベル音の音量	2-14
ベルの音色やメロディ	7-8
呼出ベル	5-8、7-8、7-9
ポーズ	14、3-1
保留	2-6
保留メロディ	7-9

マ 行

見てからプリント	5-10
迷惑電話お断り	2-12
迷惑メールフィルタ	8-43
メール 作成／送信する	8-19、8-21、8-25
受信メールを表示する	8-28
定型文	8-21、8-27、10-15
返信／転送	8-32
冒頭文	8-27
メール to プリント	8-35、8-38
自動プリント	8-38
手動プリント	8-35
メールアドレス表示	8-6
メール機能	8-1
メール受信ポート番号	8-16
メール消去	8-26、8-33、8-40、8-45
メール設定	8-14
メール送信ポート番号	8-16
メールフィルタ	8-41
メッセージ 固定の応答メッセージ	4-2
自作の応答メッセージ	4-7
メモリ 記憶容量	5-9、5-10、10-1
メモリ代行受信	5-9
メロディ ベルの音色やメロディ	7-8
保留メロディ	7-9
文字サイズ (メール)	8-18
文字入力 親機	10-13、10-14、10-15
子機	10-16
モデムダイヤルイン	7-3
モニター モニタ音 (スピーカ) の音量	2-15
モニタスピーカ	11

留守設定	4-1、4-8、4-9
留守設定の解除	4-2
留守電ケータイ転送	4-10
留守番電話	4-1
外出先から用件を再生する	4-9
外出先から留守設定をする	4-8
消去する	4-3
用件を聞く	4-3
留守録着信履歴	6-10
レポート 通信管理レポート	7-11
不達レポート	5-6
録音 応答メッセージを録音する	4-7
さかのぼり録音	2-9
残量の表示	15

ヤ 行

ユーティリティソフト (インストール)	8-47
用件を消す	4-3
読み取り 画質	5-2
原稿のサイズ	5-1
読み取り濃度	5-2
読み取れる範囲	5-1

ラ 行

リダイヤル (再ダイヤル)	2-3
オートリダイヤル	5-3
電話帳に登録する	3-8
リモート 外線リモート	4-8
外線リモート操作	4-9
リモート操作を設定する	4-8
リモートパスワードの登録	4-8
リモートメンテナンス	8-58

文字入力について

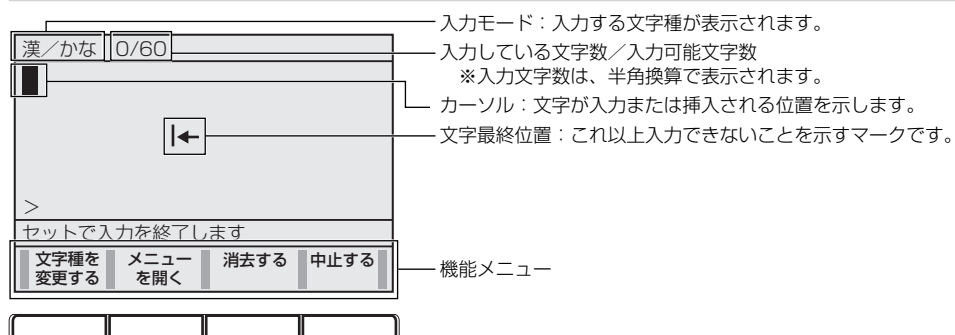
文字はダイヤルボタンで入力します。電話帳の相手先の名前など文字を入力する操作のときに、ダイヤルボタンを押すと文字や記号が表示されます。

ダイヤルボタンには50音の各行の最初の文字が記されています。同じボタンを何度か押すとその行の文字が順番に表示されます。さらに押すと数字や英字、記号が表示されます。表示された文字がそのまま入力されます。

文字には「全角文字」と「半角文字」があります。全角文字は、半角文字2文字分に相当します。なお、漢字／かなモードでは、半角入力はできません。

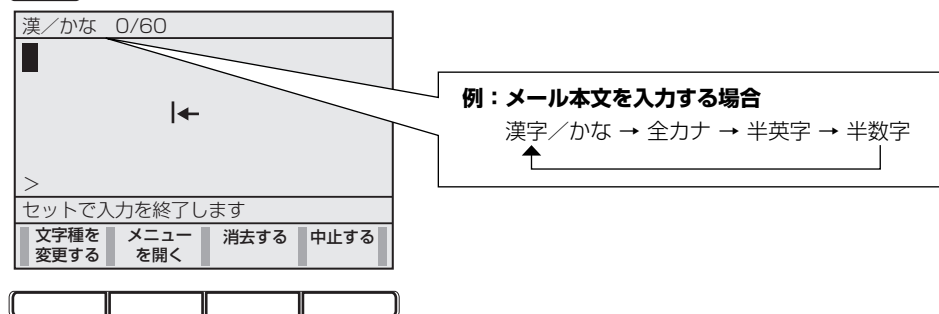
親機

文字入力画面の見かた



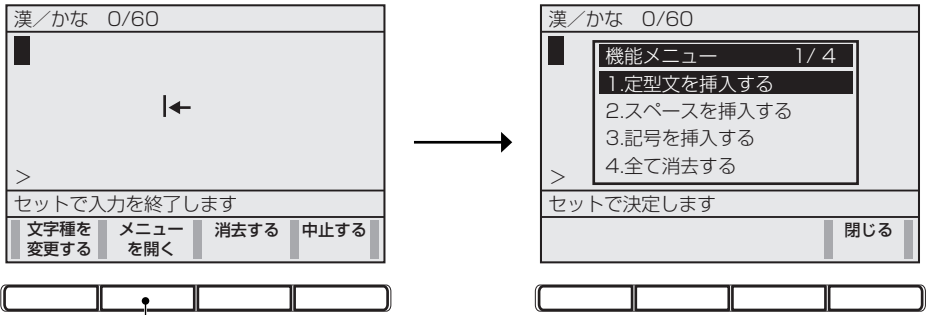
入力モードの切り替え

文字種を変更する [文字種を変更する] を押すごとに、入力モードが切り替わります。



文字入力画面のメニューについて

文字入力画面で、 [メニューを開く] を押すと、機能メニューが表示されます。



機能メニュー	
定型文を挿入する	[▲] [▼] [＜] [＞] で定型文を選んで [セット] を押すと、定型文を入力できます。
半角モードにする	文字種が全カナ、全英字、全数字のとき選択できます。
全角モードにする	文字種が半カナ、半英字、半数字のとき選択できます。
スペースを挿入する	スペースを入力できます。[＞] を押しても、スペースを入力できます。
改行を挿入する	改行を挿入します。[▼] を押しても、改行できます。 件名のときは表示されません。
記号を挿入する	[▲] [▼] [＜] [＞] で記号を選んで [セット] を押すと、記号を入力できます。
全て消去する	入力した文字をすべて消去します。

■ 文字を消去したいときは
 [消去する] を押す。

文字入力一覧表

ボタン	メール作成／電話帳入力するときなど（網掛けの文字は「電話帳の名前／発信元入力」では入力できません）					装置名を編集／ログインユーザー名／ログインパスワードのとき	
	かな	カナ	英字記号		数字	英字	数字
	入力モード						
	全角	○	○	○	○	×	×
	半角	×	○	○	○	○	○
[1]	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	1 - . &	@ / _	1	1	1
[2]	かきくけこ	カキクケコ	ABC2	abc	2	abcABC2	2
[3]	さしすせそ	サシスセソ	DEF3	def	3	defDEF3	3
[4]	たちつてとっ	タチツテトッ	GHI4	ghi	4	ghiGHI4	4
[5]	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL5	jkl	5	jklJKL5	5
[6]	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO6	mno	6	mnoMNO6	6
[7]	まみむめも	マミムメモ	PQRS7	pqrs	7	pqrsPQRS7	7
[8]	やゆやゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUV8	tuv	8	tuvTUV8	8
[9]	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ9	wxyz	9	wxyzWXYZ9	9
[0]	わをんわ。、－ () ? ! 「」	ワヲンワ。、－ () ? ! 「」	0 (スペース) () . * #	? ! , ; ' ¥ " \$ % + < = > [] ^ ` { } ~	0	0	0
[*]				.ne.jp .co.jp .ac.jp www. .com .html http:// https://	*		
[#]	(濁点半濁点)	(濁点半濁点)			#		

固定定型文一覧表

送信メールの「件名」または「本文」作成時に下記の定型文を使って入力することができます。→「定型文を入力する」(P.8-21)

定型1 (あいさつ、伝言など)	定型2 (ビジネス、返事など)	定型3 (顔文字)
文言	文言	文言
おはようございます	いつもお世話になっております	m(_)_m
こんにちは	メールを拝見しました	\ (^o^) /
こんばんは	OKです	(^^)v
おひさしぶりです	NGです	(^_^)
ご無沙汰しています	了解です	(^3^)/
お疲れ様です	至急	o(^_^)o
お元気ですか？	早急に	(^_^)/
ごめんなさい	期限までに	(;^_ ^A
すみません	ご回答	(T_T)
連絡ください	ご返事	(>_<)
電話してください	ご連絡	(;_;
メールしてください	ご確認	Σ (￣□￣;)
留守電にメッセージを入れてください	ご案内	(^_^)
添付ファイルを確認してください	ご報告	(;_+)
ありがとう	ご対応	φ (..)
ありがとうございました	ご検討	(; ' n `)
Thank you !	致します	ヾ (=^▽^=) /
Happy birthday !	お願いします	(≥ω≤)
A HAPPY NEW YEAR !	ありがとうございます	° +。 (* ' ▽ `)。 +°
Merry Christmas !	よろしく願います	(O>_<)
		読みかた
		ありがとう
		ばんざい
		ぶい
		にこ
		ちゅ
		わくわく
		さよなら
		あせあせ
		しくしく
		いたた
		えーん
		がーん
		えへん
		むか
		めも
		がまん
		こんにちは
		てれる
		しあわせ
		やだ

文字入力のしかた

入力例：「佐藤」と入力する場合

1 [3] を1回押す

>かな

2 [4] を5回押す

>さかな

3 [1] を3回押す

>さとかな

4 [変換] を押して漢字に変換する

>佐藤かな 1/1

5 [セット] を押す

佐藤
>かな

同じ行の文字を続けて入力する場合は：

カーソルを右に移動してからダイヤルボタンを押す。

カーソル（入力位置）を移動するには：

[<] または [>] を押す。

文字の消去方法：

カーソルを消去したい文字に合わせて [消去する] [消去する] を押すと、カーソルの文字が消去されます。

入力を間違えたときは：

修正する文字を消去し、入力し直します。

画面の右下に変換候補数が表示されます。

他の変換候補を表示するときは：

[▲] または [▼] を押します。

文字入力一覧表

ダイヤル ボタン	→ 押す度にこの順で表示されます →													
	カタカナ					数字	英字／小文字（カタカナ）／記号							
[1]	ア	イ	ウ	エ	オ	1	ア	イ	ウ	エ	オ			
[2]	カ	キ	ク	ケ	コ	2	A	B	C					
[3]	サ	シ	ス	セ	ソ	3	D	E	F					
[4]	タ	チ	ツ	テ	ト	4	G	H	I	ッ				
[5]	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	5	J	K	L					
[6]	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	6	M	N	O					
[7]	マ	ミ	ム	メ	モ	7	P	Q	R	S				
[8]	ヤ	ユ	ヨ	8	T	U	V	ヤ	ユ	ヨ				
[9]	ラ	リ	ル	レ	ロ	9	W	X	Y	Z				
[0]	ワ	ヲ	ン	0	ー	・	(スペース)	(	)	・	’	*	#	&
[#]	゛	゜												

文字入力のしかた

入力例：「サトウ」と入力する場合

1 [3] を1回押す

サ

2 [4] を5回押す

サト

3 [1] を3回押す

サトウ

- ・ 同じ行の文字を続けて入力する場合は、カーソルを右に移動してからダイヤルボタンを押します。
- ・ [＜] または [＞] で、カーソル（入力位置）を移動できます。

文字の消去方法：

カーソルを消去したい文字に合わせて【保留 消去】を押すと、カーソルの文字が消去されます。すべての文字を消去するには、【保留 消去】を2秒以上押します。

入力を間違えたときは：

修正する文字を消去し、入力し直します。

パソコンで PPPoE 接続をしているときのご注意

パソコンで PPPoE ※¹ 接続を行っているお客様は、本商品でネットワーク機能※² をご利用になる際に、パソコンの設定変更（「ダイヤルしない」「プロキシサーバを使用しない」設定）、およびルータ機器の設定が必要になります。

※ 1：PPPoE とは

Point to Point Protocol over Ethernet の略。ADSL などの常時接続型サービスで使われるユーザー認証技術。

Ethernet 上でダイヤルアップ接続（PPP 接続）と同じように利用者の接続先ユーザー名や接続パスワードのチェックを行う。

※ 2：ネットワーク機能については「メール／ネットワーク機能を使う」（P.8-1）をご覧ください。

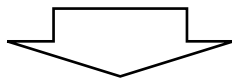
■パソコンで PPPoE 接続を行っている方とは

例)

- ・プロバイダから配布される PPPoE 接続ツールを利用し、インターネットへの接続を行っている。
- ・Windows® XP、Windows Vista® に標準搭載されている PPPoE 機能（広帯域接続）を利用してインターネットへの接続を行っている。

この項目に当てはまるご利用をされている方で、ルータ機能を持った※機器（ルータ機能を内蔵した ADSL モデム、ブロードバンドルータなど）をお持ちでない方は、別途ルータ機器が必要となります。

※：ルータ機能を持っているかいないかを確認するには、インターネット接続用にパソコンに接続している機器の取扱説明書をご覧ください。パソコンとの接続を USB で行う機器の場合、LAN で接続するタイプの機器への変更が必要です。



ルータ機器としては下記もしくは、ご加入の回線事業者が推奨する機器をお選びになることをおすすめします。

商品名	メーカー	備 考
Aterm WR8500N	NEC アクセステクニカ	PPPoE 接続機能(PPPoE マルチセッション対応) IPv6 ブリッジ機能、PPPoE ブリッジ対応、無線 LAN (Draft 11n・11a ⇄ Draft 11n・11b・11g 切替利用可能)
Aterm WR7870S	NEC アクセステクニカ	PPPoE 接続機能(PPPoE マルチセッション対応) IPv6 ブリッジ機能、PPPoE ブリッジ対応、無線 LAN (11a・11b・11g 同時利用可能)
Aterm WR8100N	NEC アクセステクニカ	PPPoE 接続機能(PPPoE マルチセッション対応) IPv6 ブリッジ機能、PPPoE ブリッジ対応、無線 LAN (Draft 11n・11b・11g 利用可能)
Aterm WR4500N	NEC アクセステクニカ	PPPoE 接続機能(PPPoE マルチセッション対応) IPv6 ブリッジ機能、PPPoE ブリッジ対応、無線 LAN (11b・11g 利用可能) (※ 11n テクノロジー対応)
Aterm WR1200H	NEC アクセステクニカ	PPPoE 接続機能(PPPoE マルチセッション対応) IPv6 ブリッジ機能、PPPoE ブリッジ対応、無線 LAN (11b・11g 利用可能)

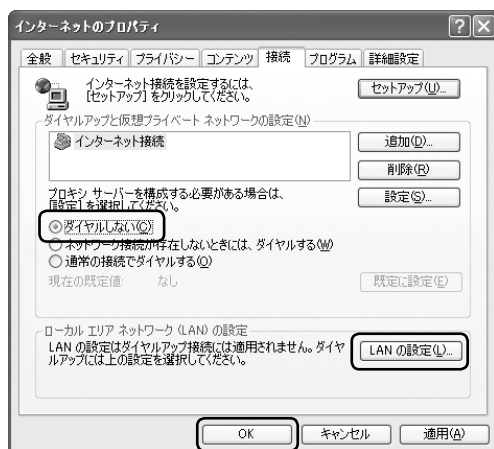
■パソコンの設定変更（接続設定を「ダイヤルしない」「プロキシサーバを使用しない」設定）

Windows® XP、Windows Vista® が正しく動作している環境で操作してください。

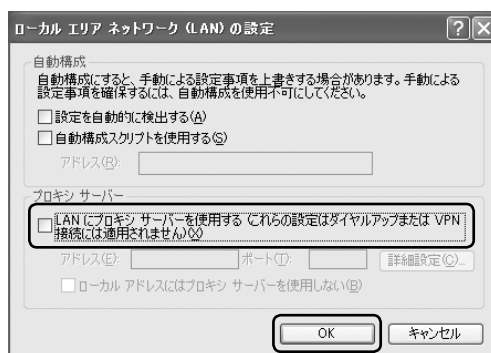
下記は、Windows® XP での画面を例に説明しています。

ルータ機器を追加される場合は、この手順に入る前に接続を行っておいてください。接続方法についてはルータ機器の取扱説明書をご覧ください。

- 1 「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット接続」→「インターネットオプション」を順にクリックし、**[接続]** タブを開きます。
- 2 **[ダイヤルしない (C)]** を選択し、次に **[LAN の設定 (L)]** をクリックします。(図 1)
- 3 **[LAN にプロキシサーバを使用する….]** のチェックが外れている状態にします。(図 2)



(図 1)



(図 2)

- 4 **[OK]** をクリックします。(図 2)
- 5 **[OK]** をクリックします。(図 1)
- 6 プロバイダから配布されている PPPoE などの接続ツールを停止もしくは、インターネットへの接続を解除します。

■ルータ機器の設定

PPPoE の接続をルータ機器で行う設定を行います。

この設定を行う方法はルータ機器の取扱説明書をご覧ください。

保証書

< 保証規定 >

1. 取扱説明書、ラベル等の注意書に基づくお客様の正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、故障箇所を無料修理させていただきます。
2. 修理は、直接持込みいただくか、当社指定の宅配業者が製品と本保証書を無料で引き取りに何う「引取りサービス」をご利用ください。また、出張修理をご希望される場合は、有料となることがありますので、事前にご確認ください。
3. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について当社はその責任を負わないものとします。
4. 海外で使用された場合、あるいは不当な改造については、当社は一切の責任を負わないものとします。
5. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - ①本保証書のご提示がない場合。
 - ②本保証書に保証期間およびお客様名の記入のない場合、または書き替えられた場合。
 - ③お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取扱が適正でないために生じた故障および損害。
 - ④お客様による使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ⑤火災、塩害、ガス害、地震、落雷、風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧、ゴキブリ等の虫の侵入などの外部要因に起因する故障および損害。
 - ⑥本商品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
 - ⑦正常なご使用でも自然消耗、摩耗、劣化した場合。
6. ご不明な点や保証期間経過後の修理などについては、当社相談窓口にお問い合わせください。
7. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

修理メモ（修理箇所、年月日、修理者名等）

※修理メモは、修理伝票等で代替する場合があります。

※この保証書による保証のほかに、販売者は使用者に対して瑕疵担保責任などの法律上の責任を負っており、本保証書の発行は、こうした販売者の責任を軽減または免除するものではありません。

【個人情報のお取り扱いについて】

当社では、個人情報保護ポリシーを制定し、お客様の個人情報保護に努めております。お客様からご提供いただく情報に含まれるお客様の個人情報は、商品の送付のために取得し、他の目的に利用することはありません。また、お客様の承諾なく第三者へ個人情報を提供することはありません。ただし、業務を委託するために業務委託先に個人情報を開示する場合があります、その場合には秘密保持条項などを含む契約を締結したうえで委託し、個人情報を適切に管理します。個人情報に関するお問い合わせやご相談がある場合は、NECアクセステクニカ株式会社 speak（スピークス）インフォメーションセンターまでお願いいたします。

本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本商品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本商品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

This equipment (including the software) has the specifications to be used only in Japan.

Also our maintenance service and technical support are not available overseas.

一般消費者様 製品廃棄方法について

この製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。
詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

事業者様 製品廃棄方法について

この製品を廃棄するときは法律や地方自治体の条例に従って産業廃棄物として適正処理してください。なおNECは法律にもとづき、使用済み製品（情報通信機器）の回収／再資源化等を有償にて行っています。詳細はこちらのページ http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html（2009年7月現在）をご覧ください。

NEC

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。（必ず、裏面をご覧ください）
お引き渡し日から左記期間中に故障が発生した場合、修理をいたしますので、本書をご確認の上、当社相談窓口にご相談ください。

★**印欄**に記入のない場合は、無効となりますので、納品書をご確認のうえ、お客様ご自身でご記入ください。
なお、納品書についても保証書と一緒に保管をお願いいたします。

本書は、再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

保証責任者： NECアクセステクニカ株式会社
および 〒436-8501 静岡県掛川市下俣800番地
保証履行者 ※電話番号は、相談窓口と同様
相談窓口： スピークスイノベーションセンター(住所は、同上)
TEL 0120-995711(または 0537-61-1107)

最新の情報は、本取扱説明書が掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」をご覧ください。



Ni-MH

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力
ください。



このマークはNECの定める環境配慮基準を満たした商品に表示されるものです。
この基準の詳細はNECのホームページをご覧ください。
<http://www.nec.co.jp/eco/ja/ecopro>
(2009年7月現在)

AM1-001033-001

2009年7月 第1版

© NEC Corporation 2009

© NEC AccessTechnica, Ltd. 2009

NECアクセステクニカ株式会社

〒436-8501 静岡県掛川市下俣800番地

この取扱説明書は古紙配合の再生紙を使用しています。

本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。